
大田原市 市民意識調査報告書

令和8年3月

大田原市

目次

I.	調査の概要.....	1
	(1) 調査の目的.....	1
	(2) 調査の方法.....	1
	(3) 回収状況.....	1
	(4) 報告書の表記.....	1
II.	調査結果.....	3
1.	回答者の属性等.....	3
	問1 性別.....	3
	問2 年齢.....	4
	問3 居住地区.....	5
	問4 居住年数.....	6
	問5 職業.....	6
	問6 勤務、通学先.....	7
	問7 家族構成.....	7
	問8 同居する家族.....	8
	問9 世帯年収.....	9
2.	大田原市の暮らしについて.....	10
	(1) 全体に関する分析.....	10
	問10 住み心地.....	10
	問10-1 住みにくい理由.....	12
	問11 住居の確保しやすさ.....	13
	問12 居住継続の意思.....	14
	問13 愛着意識.....	16
	問14 活躍機会の有無.....	18
	問15 相談相手の有無.....	20
	問16 互助意識.....	22
	問17 希望職種の有無.....	23
	問18 適正収入の確保しやすさ.....	25
	問19 成長機会の有無.....	27
	(2) 属性別分析.....	29
3.	行政への関心について.....	35
	問20 行政への関心度.....	35
	問21 市政情報の入手方法.....	37
	問22 必要とする市の情報.....	38

問 23 行政サービスのデジタル化評価.....	40
4. 大田原市の施策・事業について	42
問 24 各事業の満足度・重要度.....	42
(1) 各事業の満足度及び重要度の分析の前提	42
(2) 全事業における重要度・満足度の分析	43
(3) 分野ごとの傾向	45
5. 今後のまちづくりについて	90
問 25 市民活動の経験.....	90
問 25-1 参加したことがある市民活動・今後参加したい市民活動.....	92
問 25-2 市民活動に参加したくない理由.....	93
問 26 今後の大田原市への期待	95
問 27 自由回答	99
III. 資料.....	100

I. 調査の概要

(1) 調査の目的

本市では、令和 8 (2026) 年度を目標年度とした「大田原市総合計画（おおたわら国造りプラン）」や、人口減少克服と地方創生への課題解決に取り組むための「第 3 期大田原市未来創造戦略」に基づき、まちの将来像として掲げる「知恵と愛のある 協働互敬のまち おおたわら」の実現に向け、さまざまな施策・事業に取り組んで参りました。

この度、現行の総合計画の計画期間の終了に伴い、新たに令和 9 (2027) 年度から 8 年間のまちづくりの指針を示す「次期大田原市総合計画（基本構想及び前期基本計画）」を策定いたします。本調査は、その次期計画の策定にあたり、市の取り組みに対する市民の満足度や意識・行動を把握し、客観的なデータとして数値化・指標化することを目的として実施しました。

(2) 調査の方法

- 調査地域：大田原市内全域
調査対象：大田原市に居住する 18 歳以上の市民 3,000 人を無作為に抽出
※居住地区別人口割合に合わせて、地区別にアンケート対象者を抽出
- 調査方法：①調査票の配布は郵送により実施
②調査票の回収は以下の方法から回答者が選択する方法にて実施
 - ・ 調査票に直接回答記入し、返信用封筒で返送
 - ・ 郵送された調査票に記載されている二次元コードまたは URL から回答フォームにアクセスし、PC やスマートフォンにより回答
- 調査期間：令和 7 年 11 月 4 日（火）～令和 7 年 11 月 30 日（日）

(3) 回収状況

標本数（人）	有効回収数（件）	有効回収率（％）
3,000	1,870 (※うち郵送：1,110、WEB：760)	62.3

(4) 報告書の表記

- 各図表のタイトルや回答者数、単位は表外・図表上部に記載しています。なお、グラフ中の「n」とは、その質問への回答者数を表します。
- 集計は、小数点以下第 2 位を四捨五入しています。従って、数値の合計が 100.0% ちょうどにならない場合があります。
- クロス集計の分析では、年齢や地域別の分析などを行っていますが、「回答しない」を選択した回答者や無回答の方を除いています。従って、各項目の「n」の合計が「全体」と一致しない場合があります。
- 前回・前々回の市民意識調査と設問内容が共通するもので、かつ経年比較による分析が必要と考えられるものについては、経年比較を実施しています。（令和 2 年度、平成 27 年度実施分）
- 回答者の年齢について、5 歳区分では各区分の回答者数が少ないため、分析結果のばらつきを抑え、傾向をより適切に把握できるよう、クロス集計等では 10 歳区分に再分類して集計・分析しています。

※（参考）本調査の単純集計の信頼性について

アンケート調査では、回収された標本の回答分布と、母集団（総人口）の回答分布との間には、一定の誤差（標本誤差）が生じます。誤差の範囲は、母集団の大きさ、標本数、回答率と、信頼度（算出された範囲に誤差が収まる確率）から、統計的に求めることができます。具体的には、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（p）によって誤差幅を以下のように算出できます。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \times \frac{N - n}{N - 1} \times \frac{p(1 - p)}{n}}$$

N=母集団数(市内の18歳以上人口)
n=比率算出の基数(回答者数)
p=回答の比率(%)

一般的に、標本調査においては、標本（有効回答）から母集団（総人口）の精度として、信頼度95.0%のレベルでの結果を評価することが妥当とされています（信頼度95.0%とは、同一の調査を100回実施すれば95回は、この結果数値の前後の一定の範囲内に収まるということです。）。信頼度95.0%における主要な標本誤差は以下のとおりです。例えば、回答総数（1,870）を100.0%とする設問で、選択肢に対する回答率が90.0%であった場合、母集団における回答比率の誤差範囲は、±1.34%（88.66%～91.34%）の間であると推測できます。

図表 信頼度 95%における主要な標本誤差

回答比率 (p) 基数 (n)	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1,870	±1.34%	±1.79%	±2.05%	±2.19%	±2.24%
1,000	±1.85%	±2.46%	±2.82%	±3.01%	±3.08%
700	±2.21%	±2.95%	±3.38%	±3.61%	±3.69%
500	±2.62%	±3.49%	±4.00%	±4.28%	±4.37%
300	±3.39%	±4.52%	±5.17%	±5.53%	±5.65%
100	±5.88%	±7.83%	±8.98%	±9.60%	±9.79%

※母集団数：72,087 / 信頼度：95%（有限母集団補正あり）

※母集団数は令和2年国勢調査人口（72,087人）を使用。

II. 調査結果

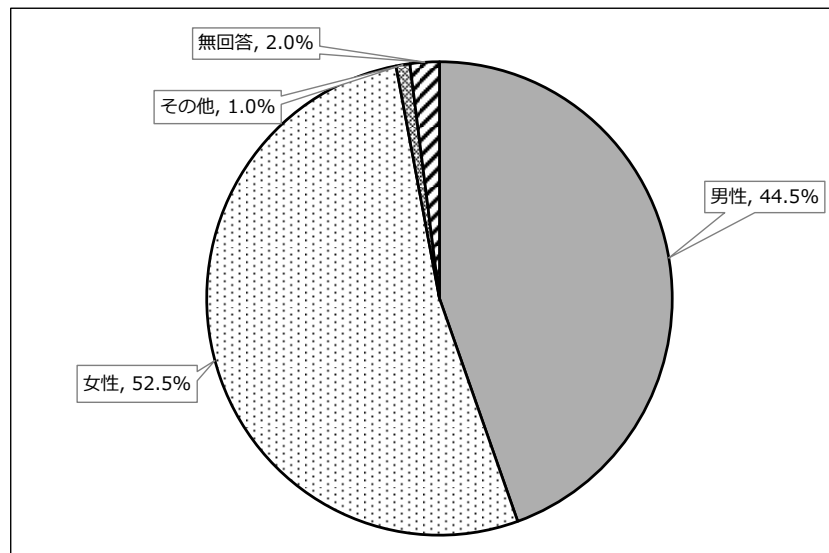
1. 回答者の属性等

問1 性別

問1 あなたの性別をおたずねします。あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

回答者の性別割合は、「男性」が44.5%、「女性」が52.5%、「その他」が1.0%となっています。

図表 性別 [n=1,870] 回答率 (%)

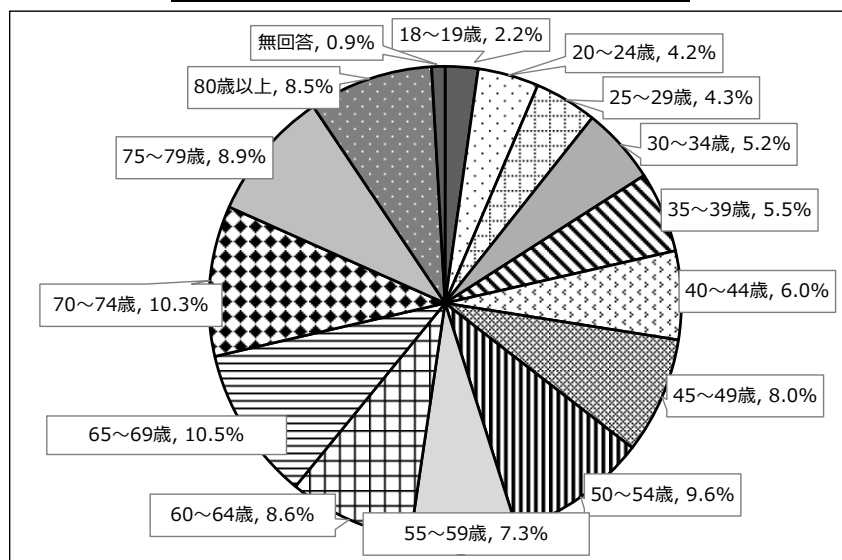


問2 年齢

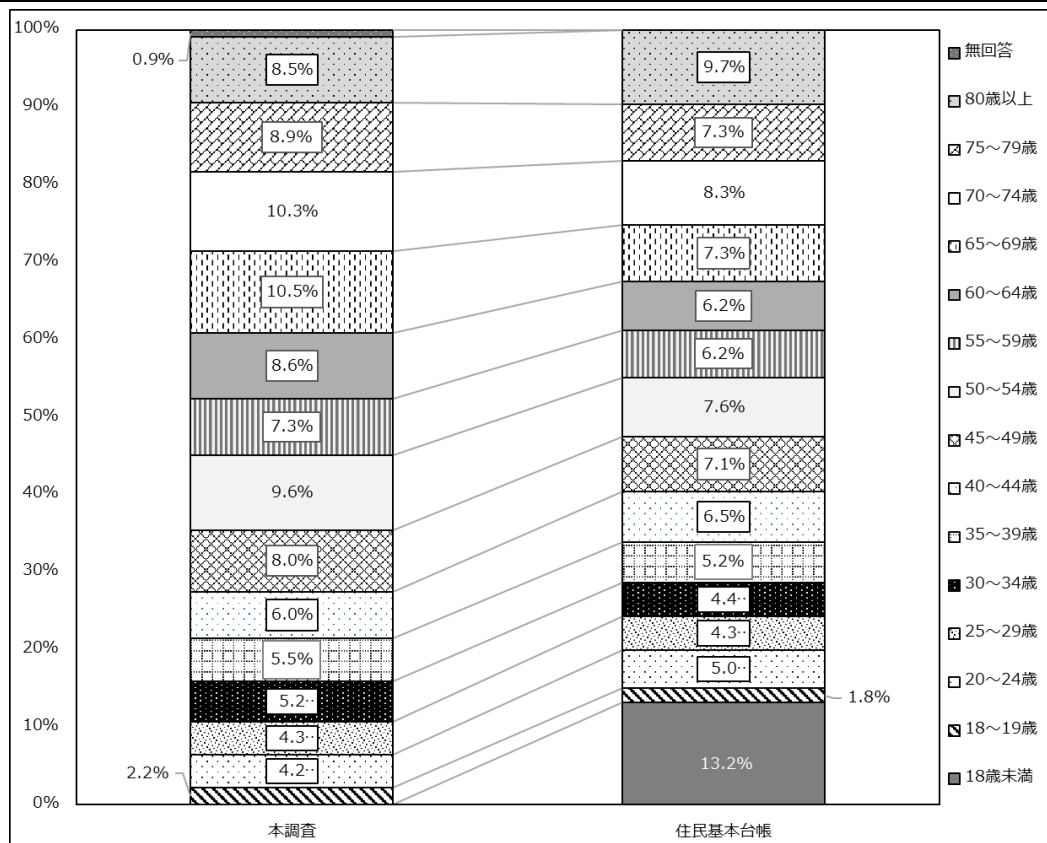
問2 あなたの年齢をおたずねします。あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

回答者の年齢別割合は、「65～69歳」が10.5%と最も高く、次いで「70～74歳」が10.3%、「50～54歳」が9.6%、「75～79歳」が8.9%と続いています。また、住民基本台帳における年齢構成と比較すると、本調査の結果では、「60～64歳」が+2.4%、「65～69歳」が+3.2%となっており、その他の年齢区分では本調査と±2.0%以内に収まっています。

図表 年齢 [n=1,870] 回答率 (%)



※参考図表 本調査の回答者と住民基本台帳における年齢構成との比較 [n=1,870] 回答率 (%)



※住民基本台帳人口の年齢区分別構成比は次のとおり算出しています。

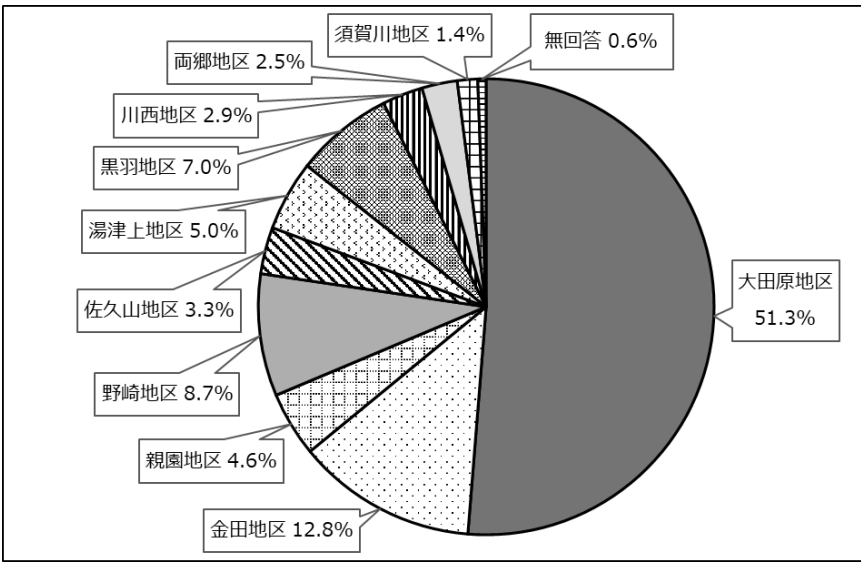
年齢区分別構成比 = 年齢区分別人口 / 人口総数 (18歳未満含む)

問3 居住地区

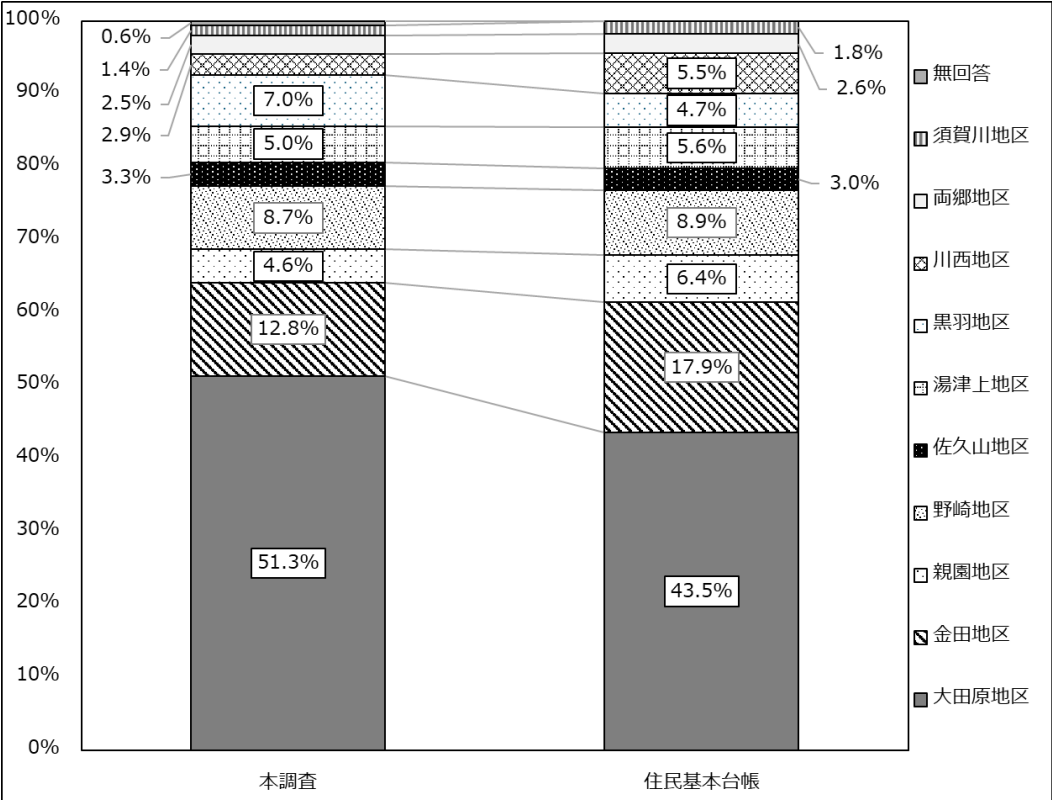
問3 あなたのお住まいの地区をおたずねします。あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

回答者の居住地区別割合は、「大田原地区」が51.3%と最も高く、次いで「金田地区」が12.8%、「野崎地区」が8.7%と続いています。また、住民基本台帳における居住地区の割合と比較すると、「大田原地区」が+7.8%、「黒羽地区」が+2.3%、「金田地区」が-5.1%、「川西地区」が-2.6%と差が大きくなっていますが、その他の地区は本調査と±2.0%以内に収まっています。

図表 居住地区 [n=1,870] 回答率 (%)



※参考図表 本調査の回答者と住民基本台帳における居住地区構成との比較 [n=1,870] 回答率 (%)



※住民基本台帳を基に居住地区別人口割合を算出しています。この住民基本台帳人口は問2と同様に、人口総数（18歳未満を含む）となっています。

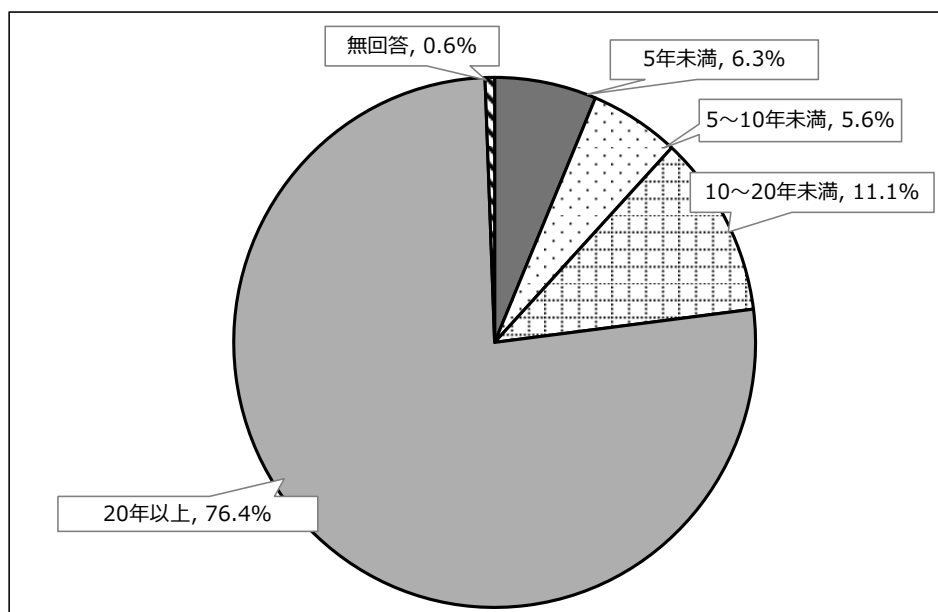
問4 居住年数

問4 あなたは大田原市に住んでから何年になりますか。

あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

回答者の居住年数別割合は、「20年以上」が76.4%と最も高く、次いで「10～20年未満」が11.1%、「5年未満」が6.3%と続いています。

図表 居住年数 [n=1,870] 回答率 (%)



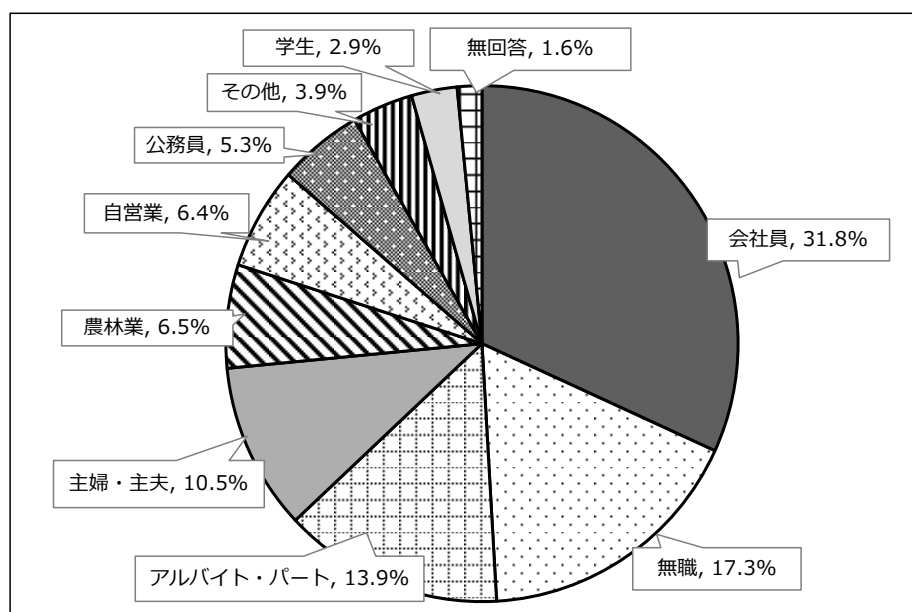
問5 職業

問5 あなたの職業はどれですか。あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

(2つ以上の職業に該当する方は主たる職業を選んでください。)

回答者の職業別割合は、「会社員」が31.8%と最も高く、次いで「無職」が17.3%、「アルバイト・パート」が13.9%、「主婦・主夫」が10.5%と続いています。

図表 職業 [n=1,870] 回答率 (%)



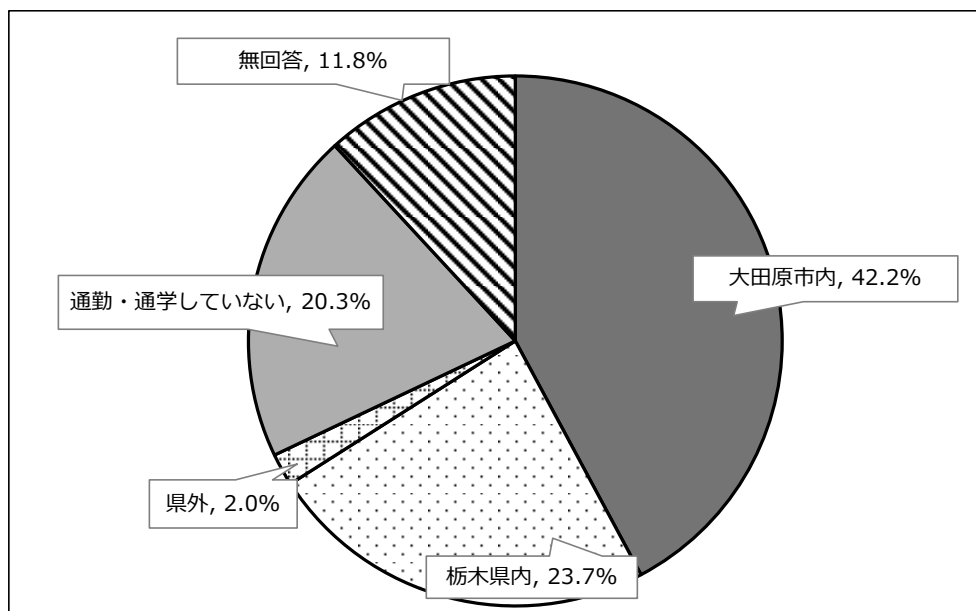
問6 勤務、通学先

問6 あなたの主な勤務先、通学先はどちらですか。あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

(2. 栃木県内、3. 県外と回答した方は市町村名を記載してください)

回答者の勤務先、通学先別割合は、「大田原市内」が42.2%と最も高く、次いで大田原市以外の「栃木県内」が23.7%、「通勤・通学していない」が20.3%、「県外」が2.0%と続いています。

図表 勤務、通学先 [n=1,870] 回答率 (%)

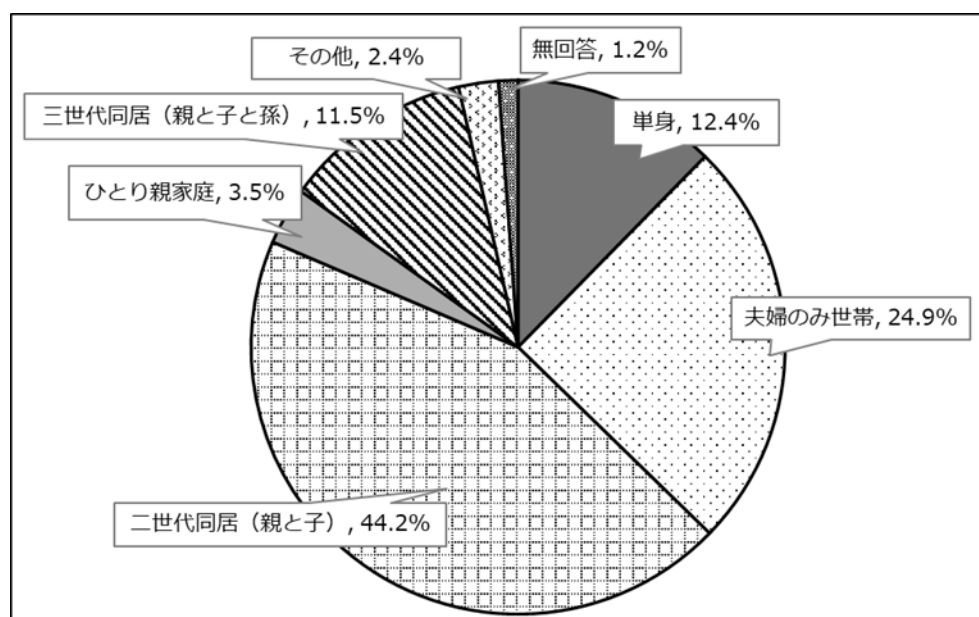


問7 家族構成

問7 あなたの家族構成についておたずねします。あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

回答者の家族構成別割合は、「二世世代同居（親と子）」が44.2%と最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」が24.9%、「単身」が12.4%、「三世世代同居（親と子と孫）」が11.5%と続いています。

図表 家族構成 [n=1,870] 回答率 (%)



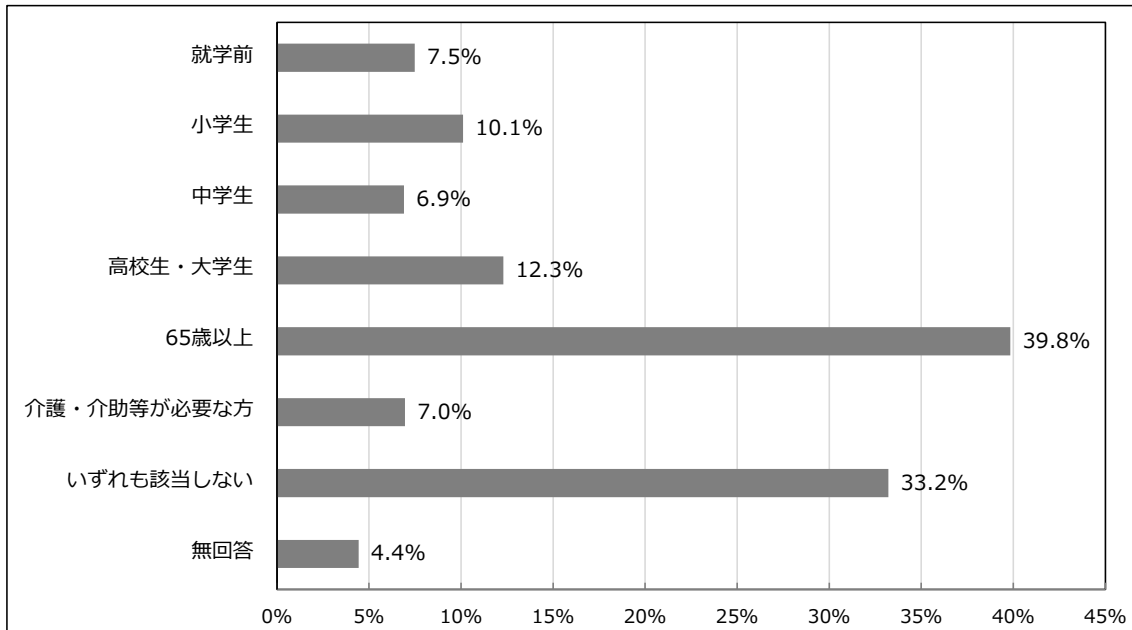
問8 同居する家族

問8 あなたを含め、現在同居している家族についておたずねします。

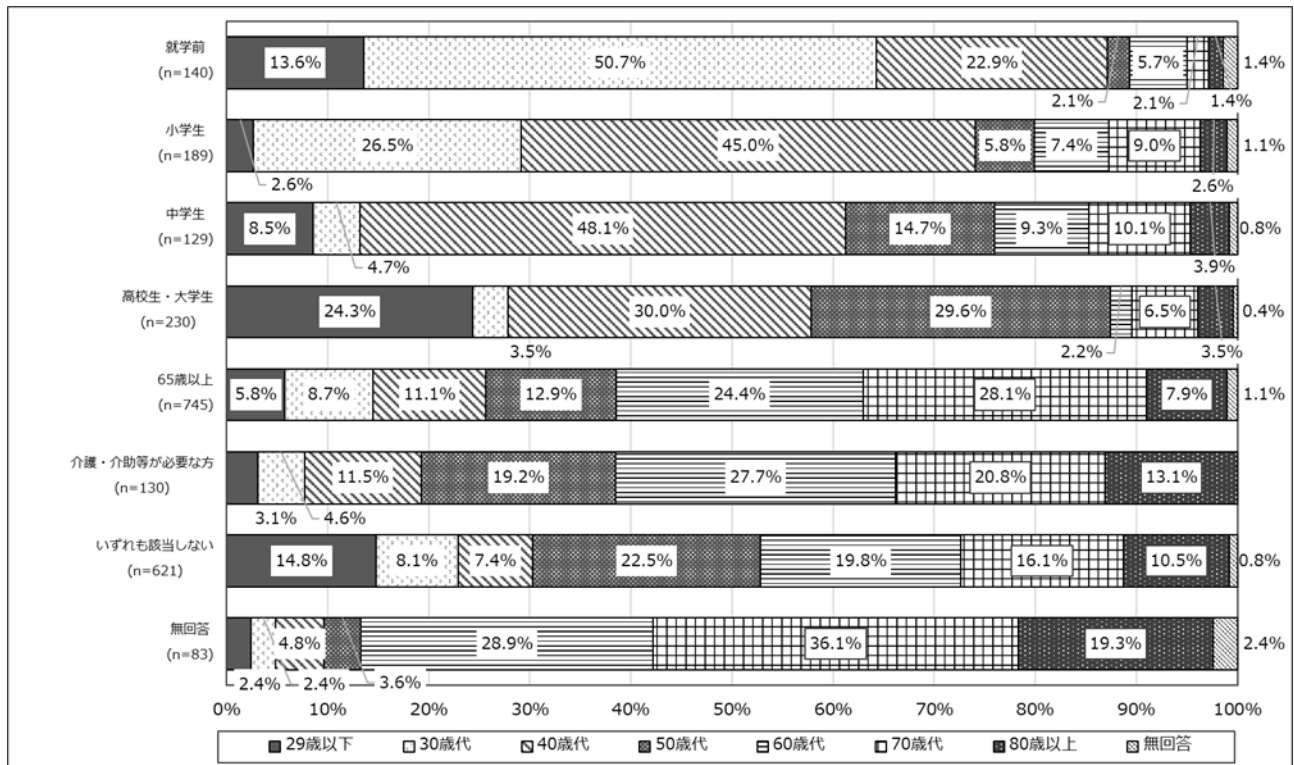
あてはまる番号すべてに丸を付けてください。

回答者の同居家族の構成は、「いずれも該当しない」を除き、「65歳以上」が39.8%と最も高く、次いで「高校生・大学生」が12.3%、「小学生」が10.1%と続いています。年代とのクロス集計では、就学前の子どもがいる世帯及び小学生の子どもがいる世帯では、30歳代・40歳の割合が高くなっています。

図表 同居する家族 [n=2,267] 回答率 (%)



図表 同居する家族 (各年代のクロス集計) [n=2,267] 回答率 (%)

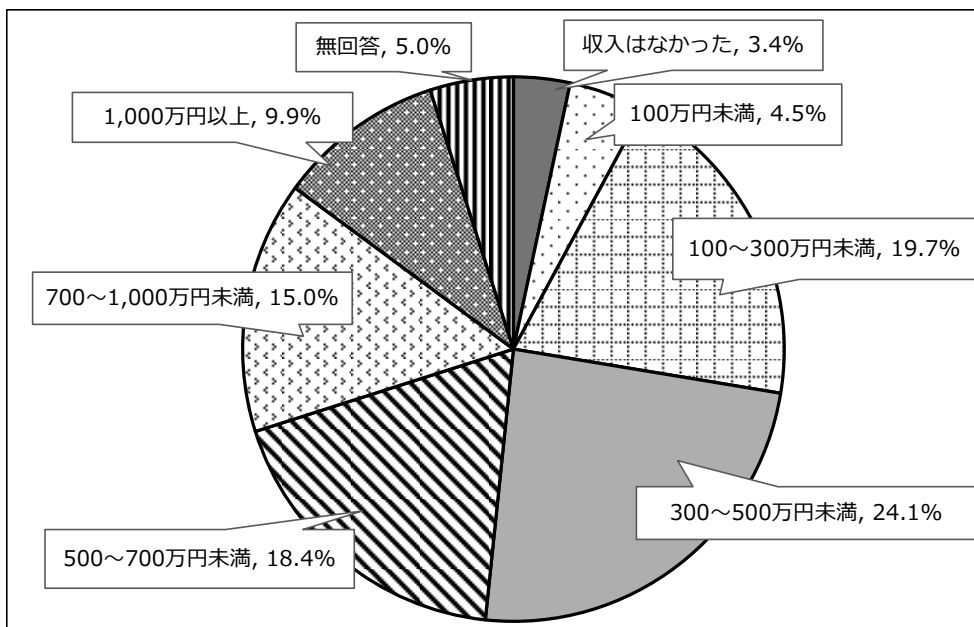


問9 世帯年収

問9 あなたを含めた世帯の総収入（令和6年の1年間）についておたずねします。
あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

世帯の合計収入は、「300～500万円未満」が24.1%となっており、次いで「100～300万円未満」が19.7%、「500～700万円未満」が18.4%、「700～1,000万円未満」が15.0%と続いています。

図表 世帯年収 [n=1,870] 回答率 (%)



2. 大田原市の暮らしについて

(1) 全体に関する分析

問10 住み心地

問10 あなたは、大田原市の住み心地についてどのように感じていますか。
あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

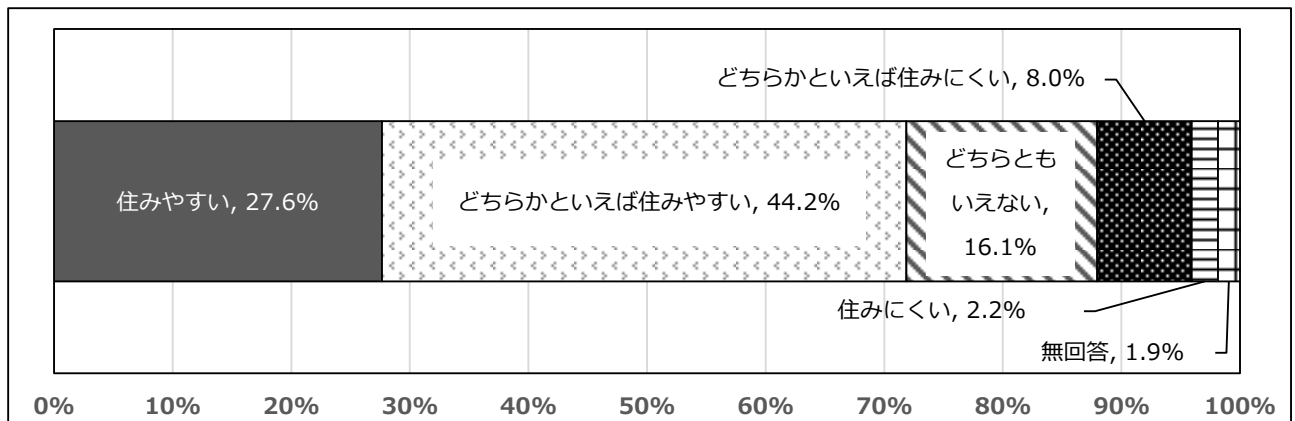
大田原市の住み心地については、「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と回答した人の割合が71.8%となっており、全体の7割以上を占めています。一方、「住みにくい」または「どちらかといえば住みにくい」と回答した人の割合は10.2%となっています。

前回（令和2年度）、前々回調査（平成27年度）結果と比較すると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した割合が前回調査から増加しており、「どちらかといえば住みにくい」と回答した割合がわずかに減少しています。

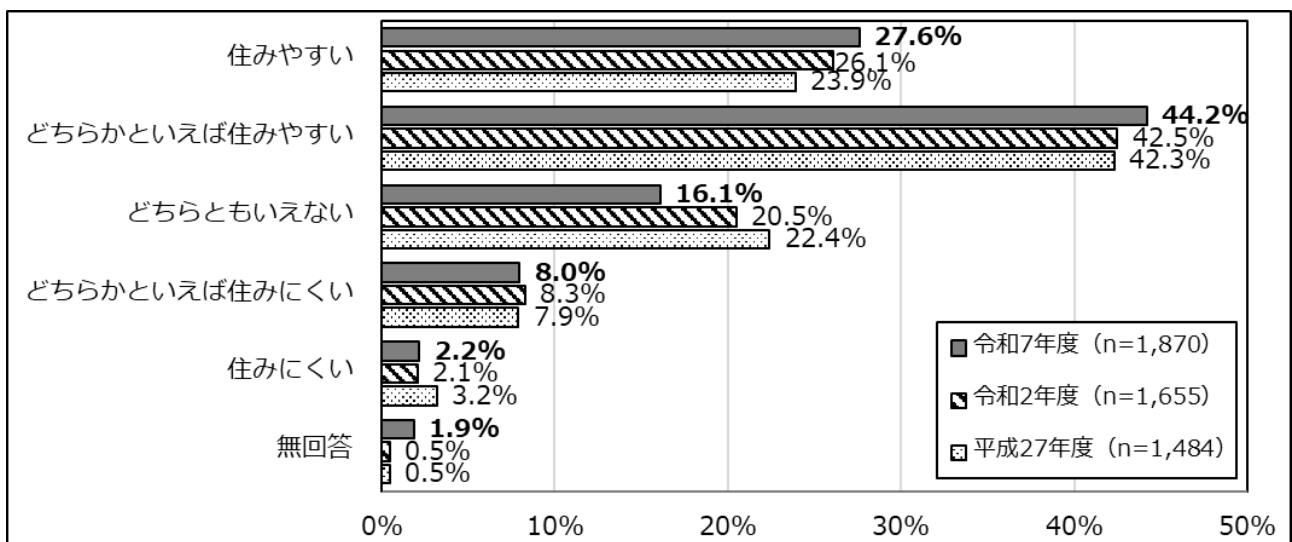
また、年代別にみると、いずれの年代においても「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と回答した人の割合が約7割を占めており、年代間で大きな差はみられません。

さらに、地域別にみると、「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と回答した人の割合は、「大田原地区」及び「親園地区」が8割程度となっているのに対し、「佐久山地区」「湯津上地区」「両郷地区」「須賀川地区」では6割を下回っており、地域間で差がみられます。

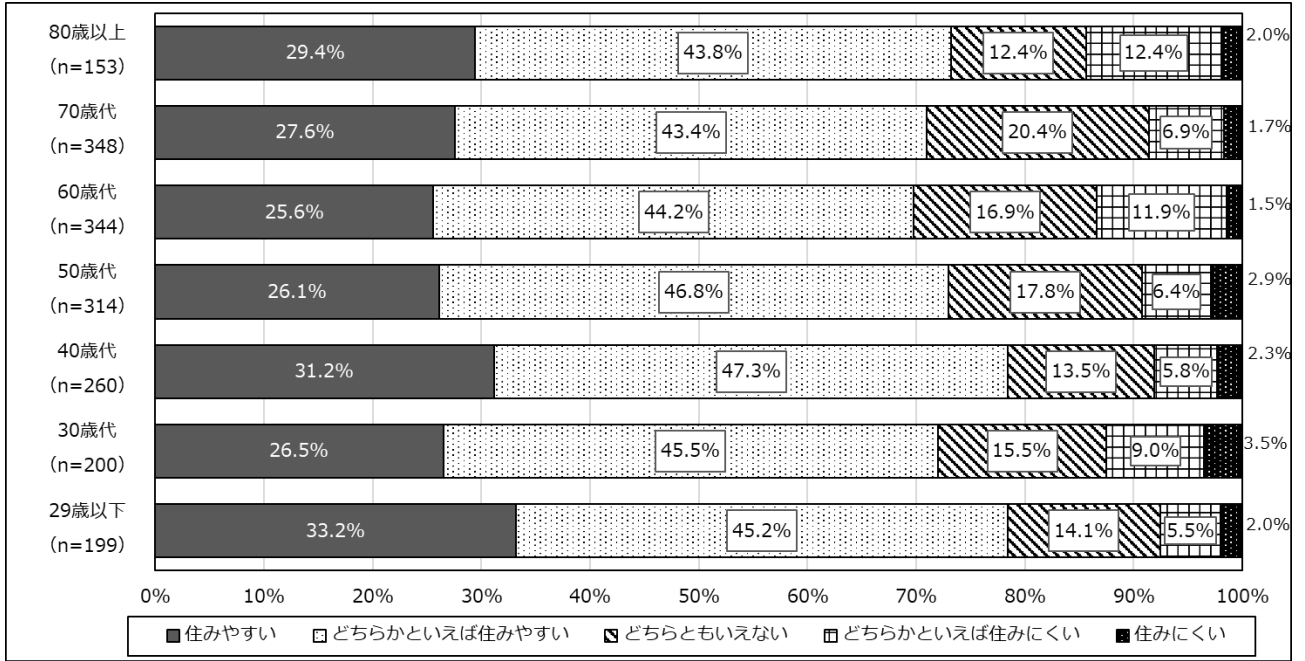
図表 住み心地 [n=1,870] 回答率 (%)



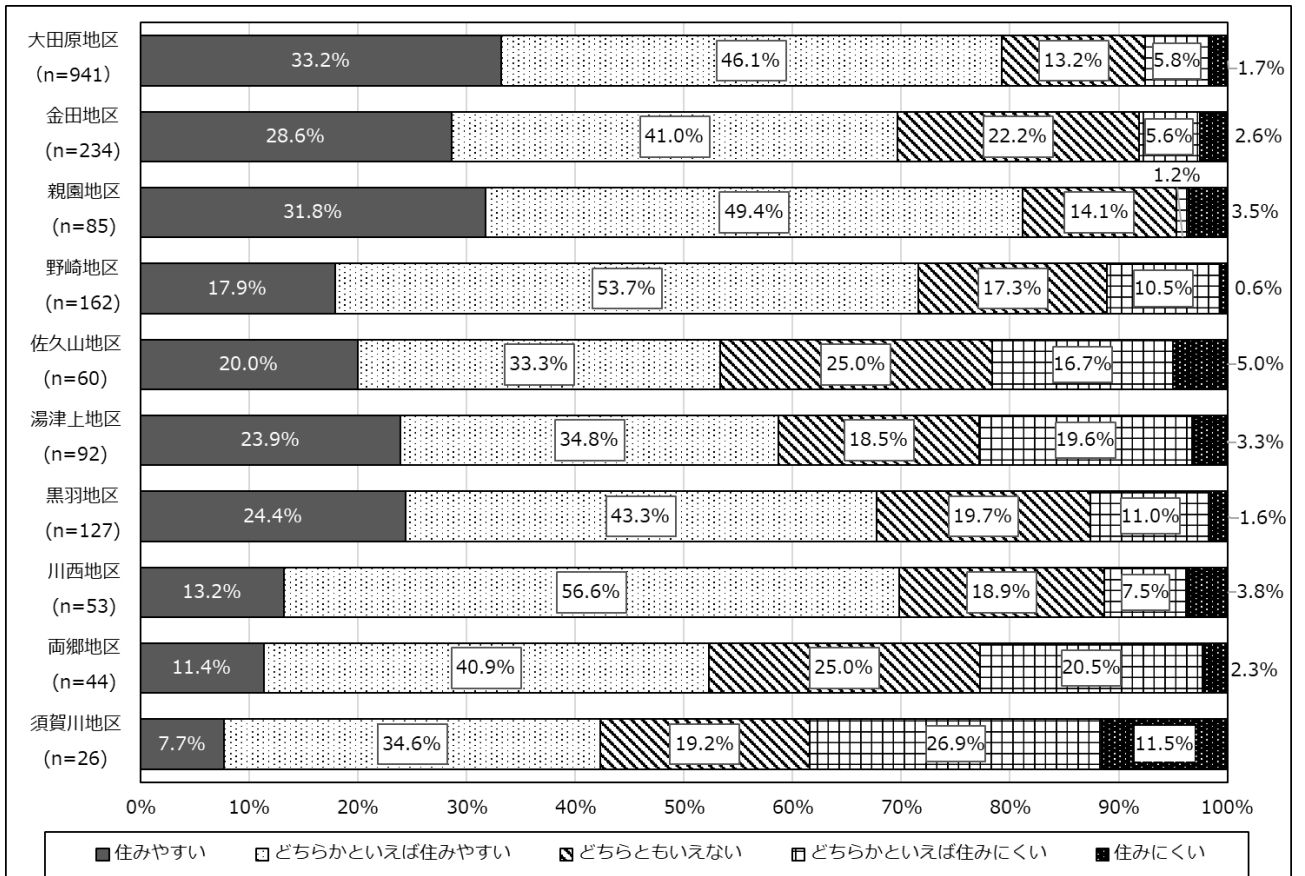
図表 住み心地の推移 回答率 (%)



図表 住み心地 (各年代のクロス集計) [n=1,818] 回答率 (%)



図表 住み心地 (居住地域ごとのクロス集計) [n=1,824] 回答率 (%)



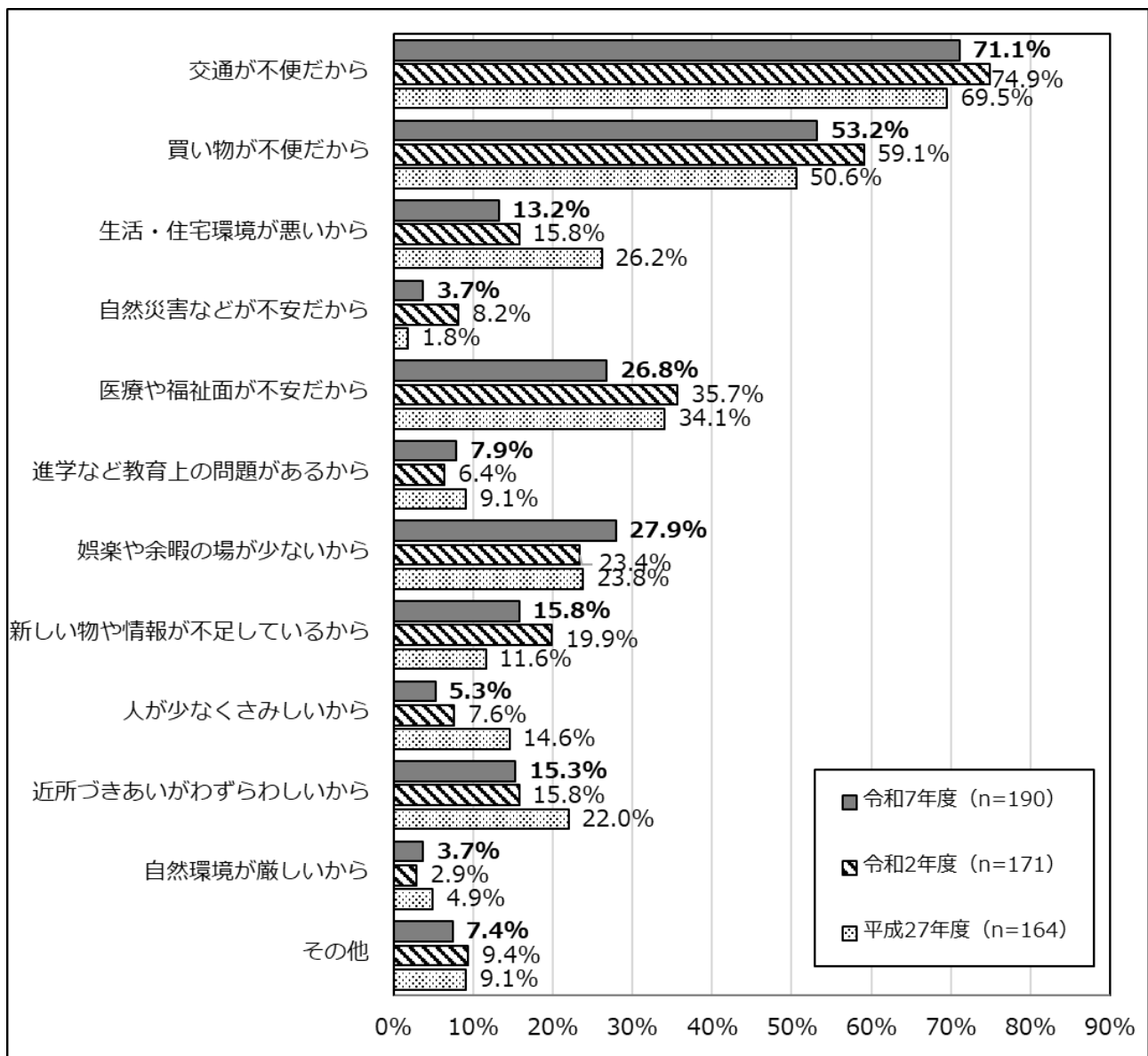
問 10-1 住みにくい理由

問 10-1 「4. どちらかといえば住みにくい」、「5. 住みにくい」と回答した方のみ
大田原市に住みにくい理由は何ですか。あてはまる番号に3つ丸をつけてください。

前問（問 10）で「どちらかといえば住みにくい」または「住みにくい」と回答した人の理由では、「交通が不便だから」が71.1%と最も高くなっています。次いで「買い物が不便だから」が53.2%、「娯楽や余暇の場が少ないから」が27.9%、「医療や福祉面が不安だから」が26.8%、「新しい物や情報が不足しているから」が15.8%、「近所づきあいがわずらわしいから」が15.3%と続いています。

前回（令和2年度）、前々回調査（平成27年度）結果と比較すると、「交通が不便だから」「買い物が不便だから」「医療や福祉面が不安だから」と回答した割合が前回調査から減少しており、「娯楽や余暇の場が少ないから」と回答した割合が増加しています。

図表 住み心地の推移 回答率（%）



問11 住居の確保しやすさ

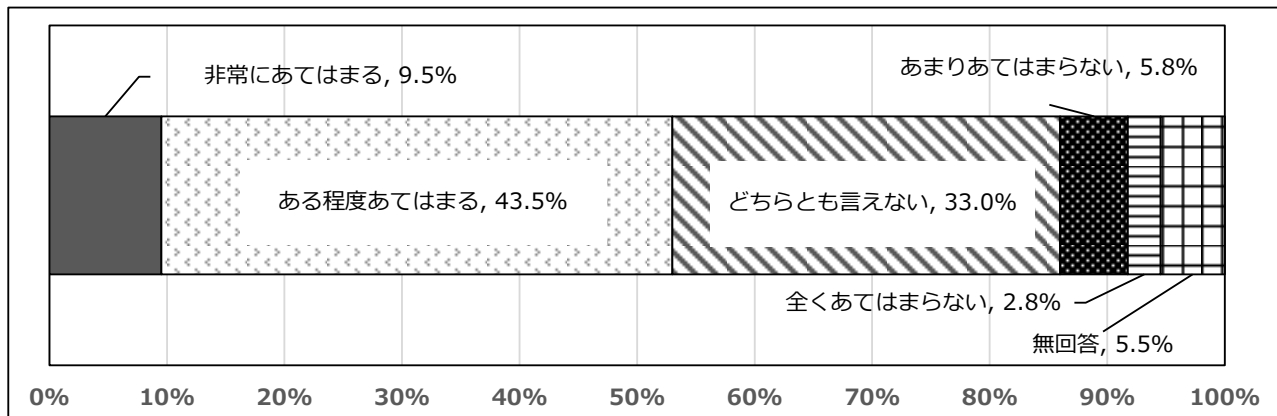
問11 大田原市では、適度な費用で住居（持ち家、借家含む）を確保できますか。
 あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

大田原市において、適度な費用で住居（持ち家、借家含む）を確保できるかについては、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した人の割合は53.0%となっています。一方、「全くあてはまらない」または「あまりあてはまらない」と回答した人の割合は8.6%となっています。

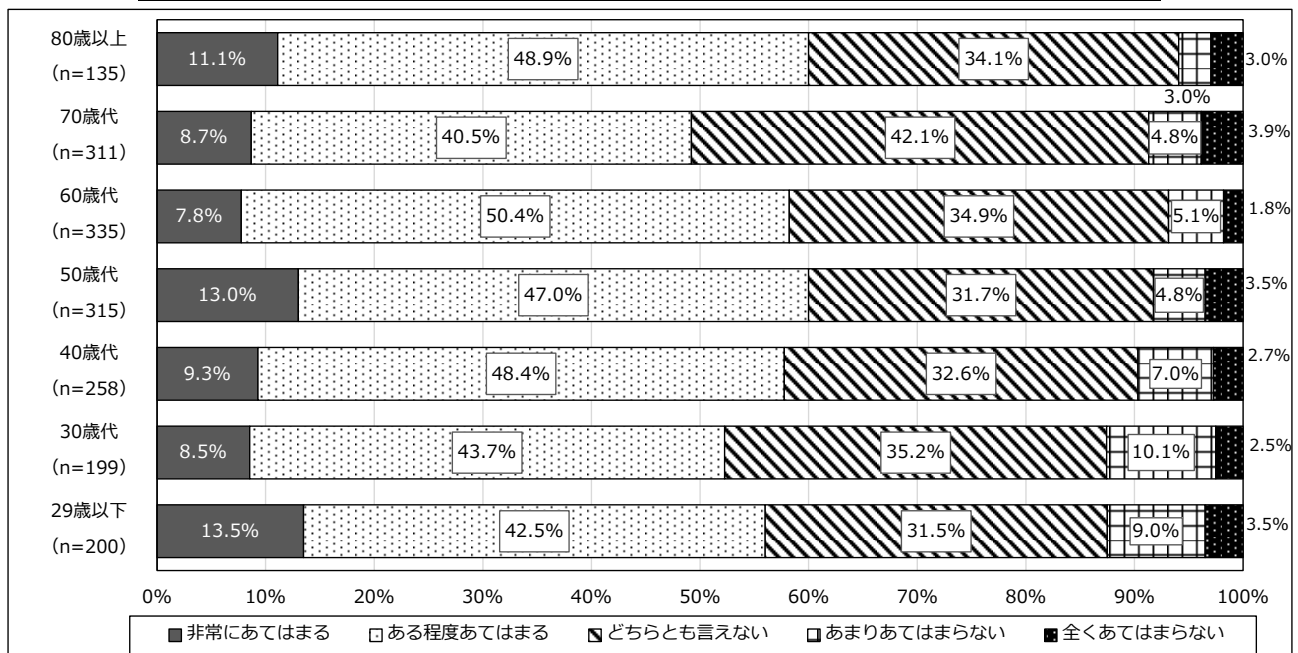
また、年代別にみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した人の割合は、80歳以上及び50歳代が60.0%である一方、70歳代では49.2%と低くなっております。

さらに、地域別にみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した人の割合は、「親園地区」が62.5%、「大田原地区」が59.7%となっている一方、「佐久山地区」「黒羽地区」「川西地区」「両郷地区」「須賀川地区」の5地区では50.0%を下回っています。

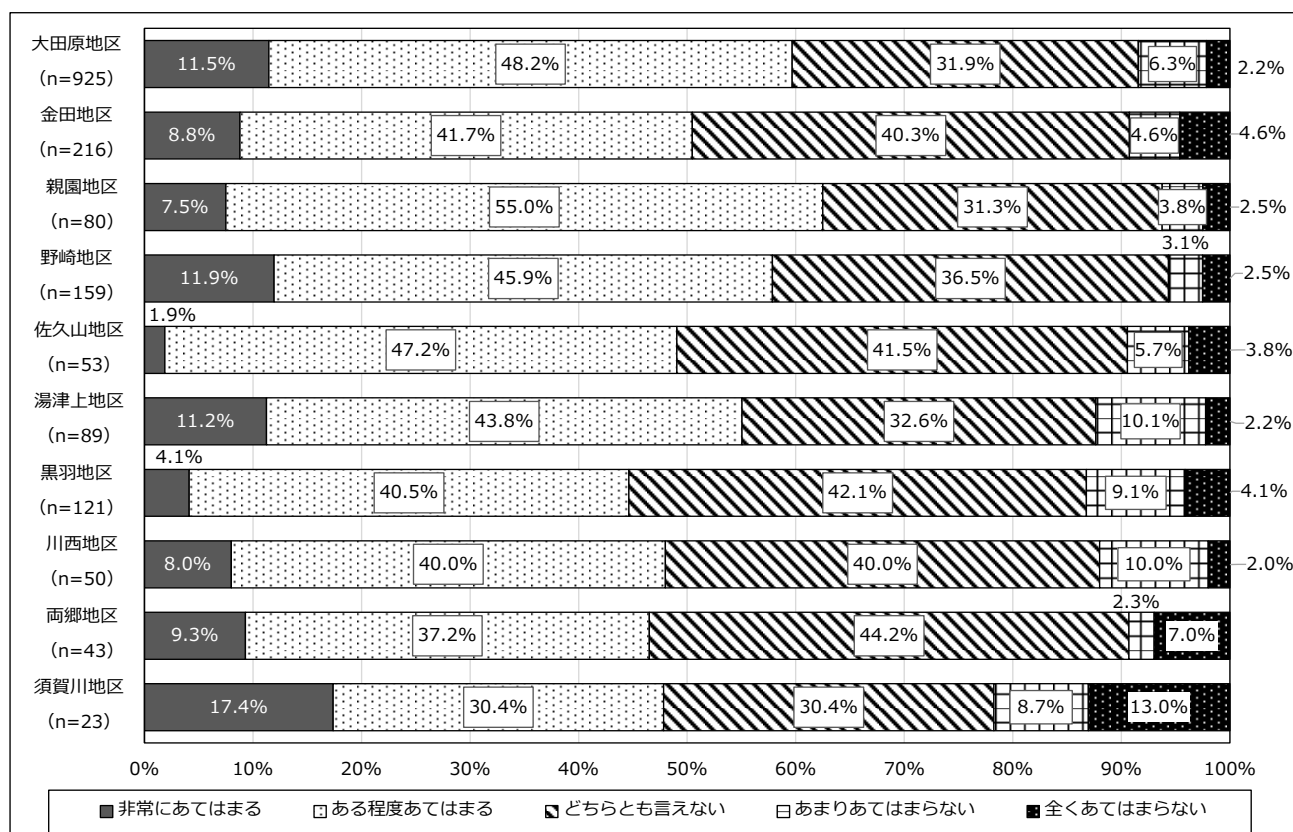
図表 住居の確保しやすさ [n=1,870] 回答率 (%)



図表 住居の確保しやすさ (各年代のクロス集計) [n=1,753] 回答率 (%)



図表 住居の確保しやすさ（居住地域ごとのクロス集計） [n=1,759] 回答率（%）



問 12 居住継続の意思

問 12 あなたは、今後、大田原市にずっと住み続けたいと思いますか。
あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

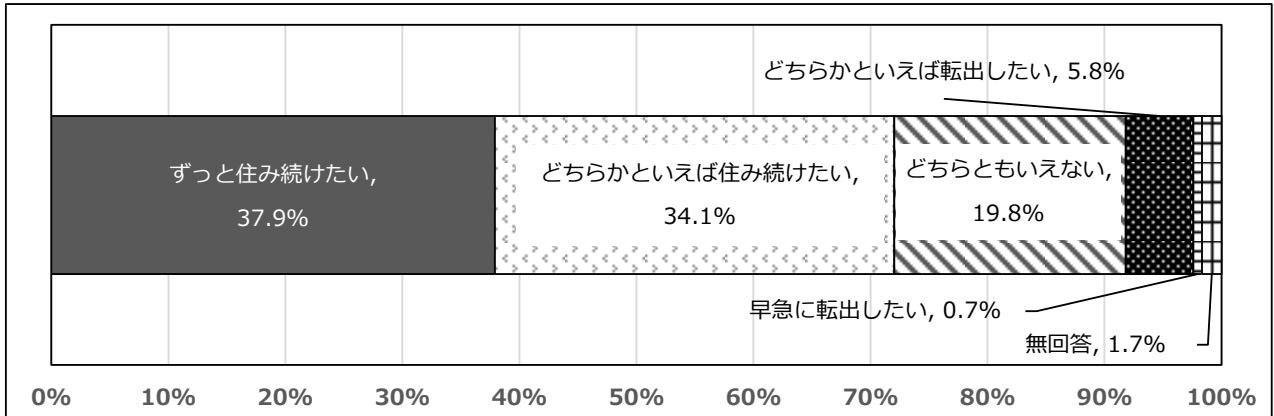
居住継続の意思については、「ずっと住み続けたい」または「どちらかといえば住み続けたい」と回答した人の割合は72.0%となっています。一方、「早急に転出したい」または「どちらかといえば転出したい」と回答した人の割合は6.5%となっています。

前回（令和2年度）、前々回調査（平成27年度）結果と比較すると、「ずっと住み続けたい」と回答した割合が大きく減少した一方で、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合はやや増加しています。

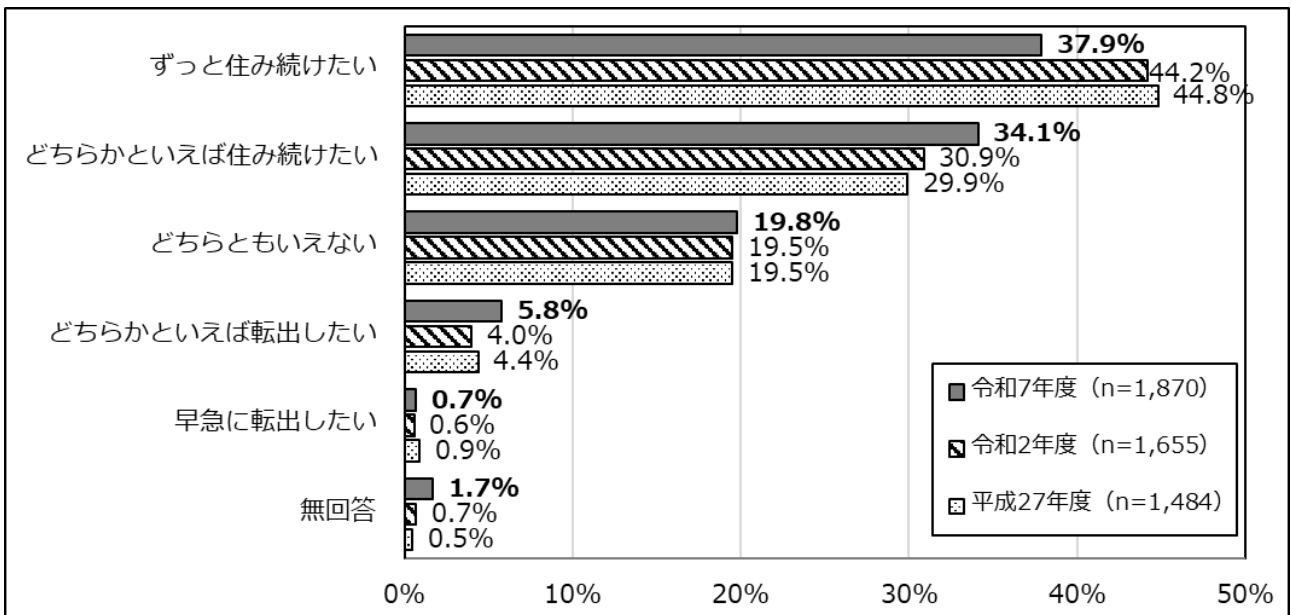
また、年代別にみると、「ずっと住み続けたい」または「どちらかといえば住み続けたい」と回答した人の割合は、80歳以上が85.1%と最も高く、50歳代を除き、年齢が低くなるにつれて割合が低下しています。

さらに、地域別にみると、「ずっと住み続けたい」または「どちらかといえば住み続けたい」と回答した人の割合は、特に「川西地区」が83.0%、「親園地区」が81.0%と高くなっています。

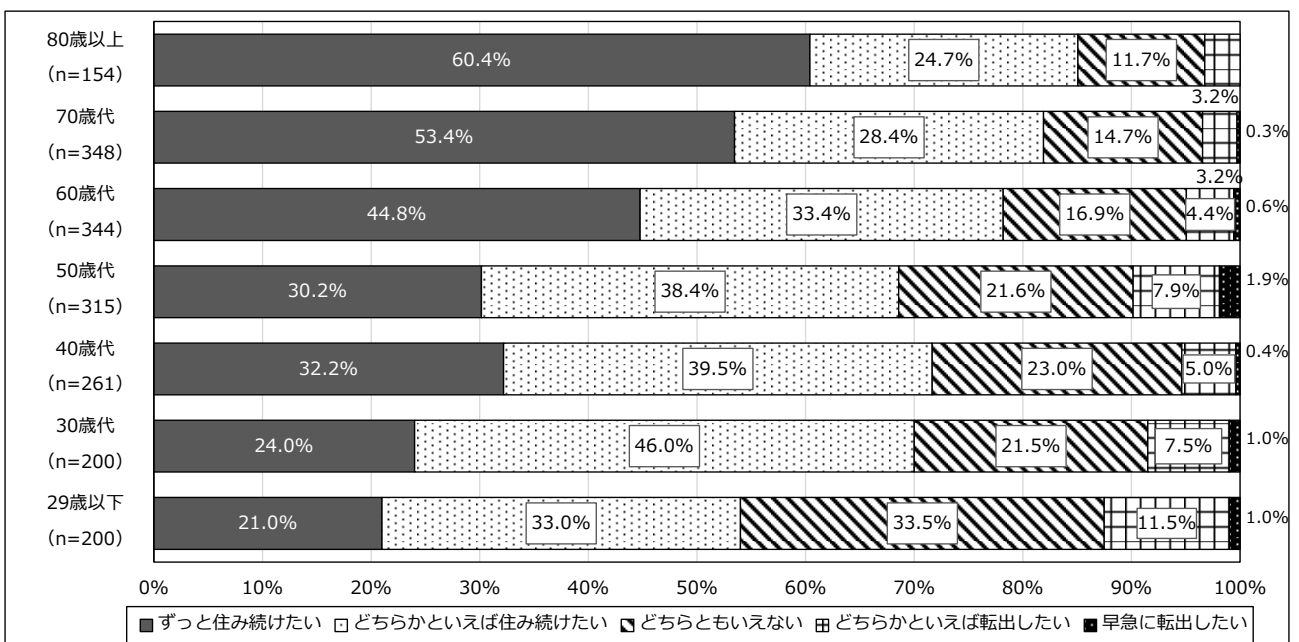
図表 居住継続の意思 [n=1,870] 回答率 (%)



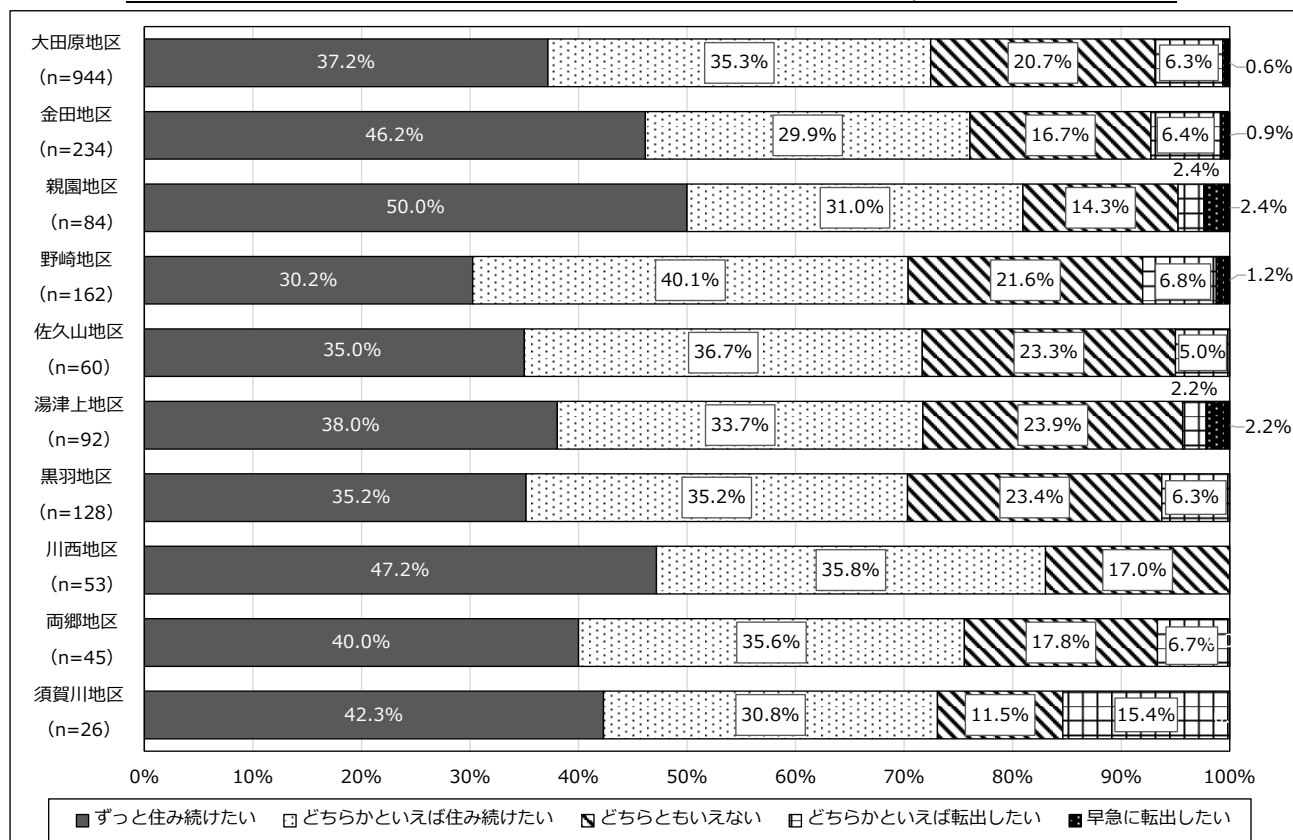
図表 居住継続の意思の推移 回答率 (%)



居住継続の意思 (各年代のクロス集計) [n=1,822] 回答率 (%)



図表 居住継続の意思（居住地域ごとのクロス集計） [n=1,828] 回答率（%）



問 13 愛着意識

問 13 あなたは、大田原市に「わがまち」といった愛着をおもちですか。
あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

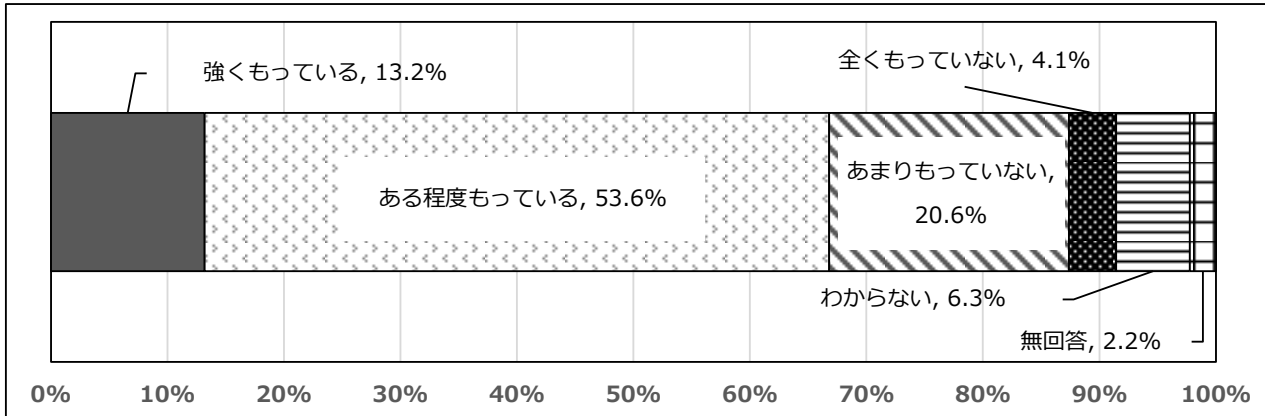
大田原市への愛着について、「強くもっている」または「ある程度もっている」と回答した人の割合は66.8%となっています。一方、「全くもっていない」または「あまりもっていない」と回答した人の割合は24.7%となっています。

前回（令和2年度）、前々回調査（平成27年度）結果と比較すると、「強くもっている」「ある程度もっている」と回答した割合がやや減少した一方で、「あまりもっていない」と回答した割合はやや増加しています。

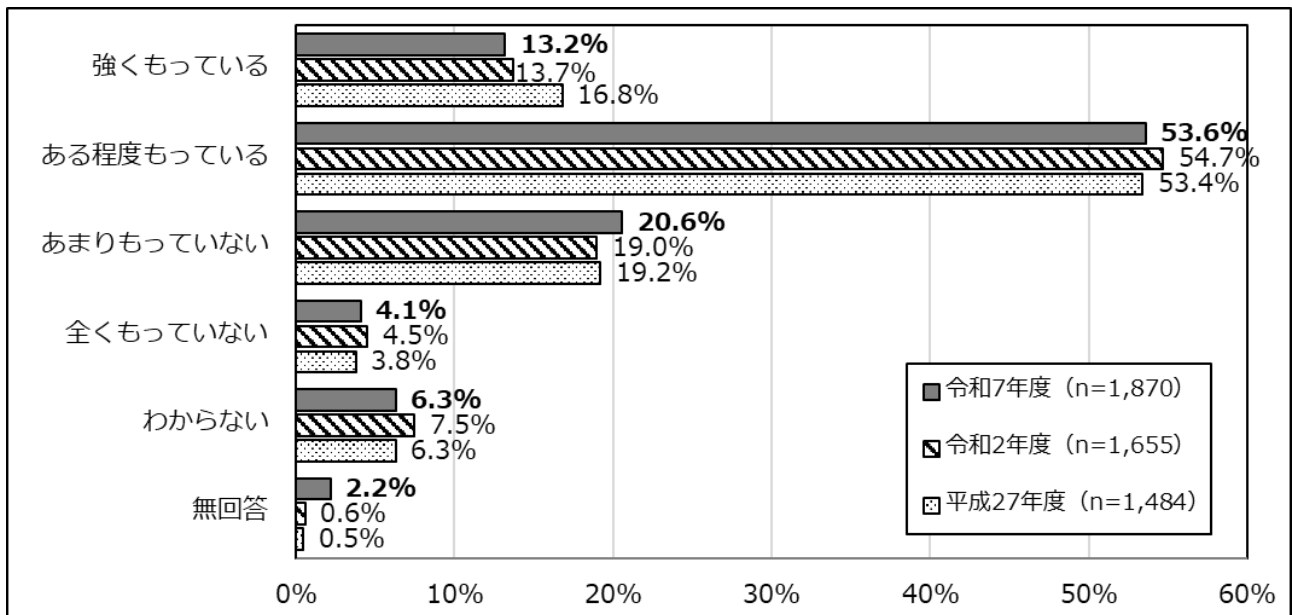
また、年代別にみると、「強くもっている」または「ある程度もっている」と回答した人の割合は、70歳代で78.9%、80歳以上で77.9%と高くなっています。一方、40歳代では59.3%、30歳代では56.0%、29歳以下では58.0%といずれも6割を下回っています。

さらに、地域別にみると、「強くもっている」または「ある程度もっている」と回答した人の割合は、「親園地区」が76.4%、「川西地区」が73.6%、「金田地区」が73.3%と7割を上回っています。

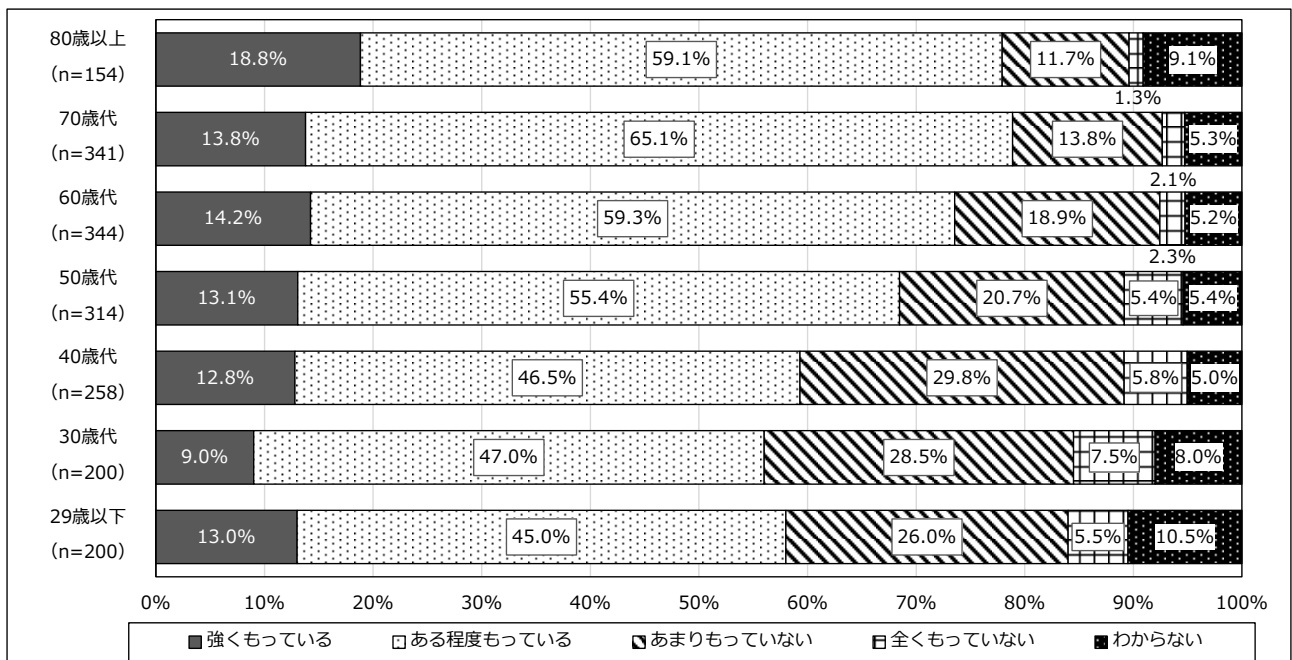
図表 愛着意識 [n=1,870] 回答率 (%)



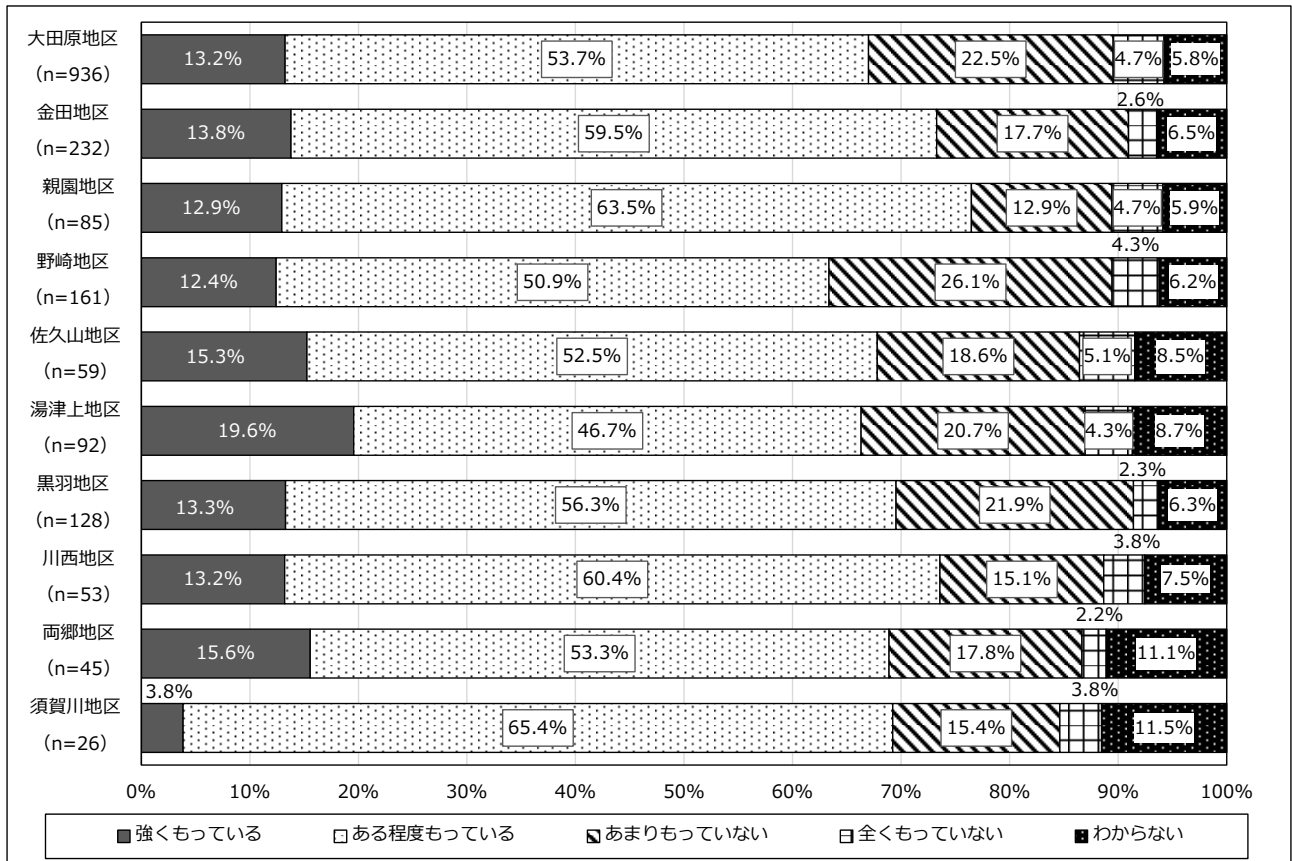
図表 愛着意識の推移 回答率 (%)



図表 愛着意識 (各年代のクロス集計) [n=1,811] 回答率 (%)



図表 愛着意識（各地域のクロス集計） [n=1,817] 回答率（%）



問 14 活躍機会の有無

問 14 大田原市には、性別・年齢に関わらず活躍しやすい雰囲気がありますか。
 あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

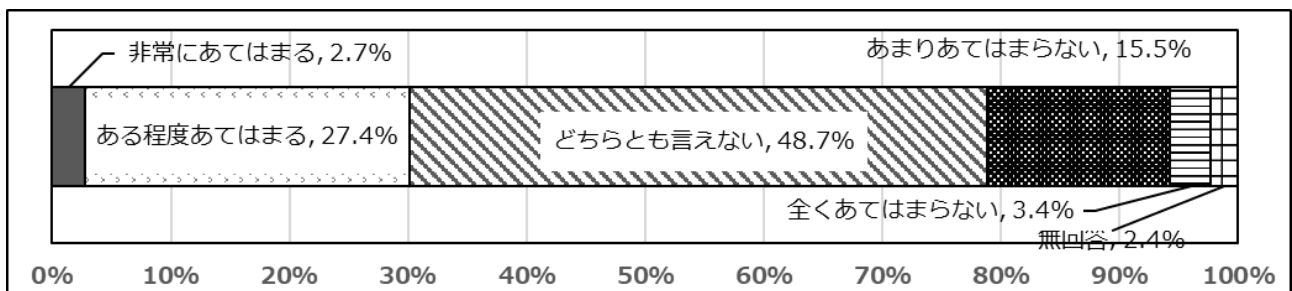
活躍しやすい雰囲気について、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した人の割合は30.1%となっています。一方、「全くあてはまらない」または「あまりあてはまらない」と回答した人の割合は18.9%となっています。

また、年代別にみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した人の割合は、80歳以上と29歳以下が他の世代と比較して高い一方で、30歳代が27.6%、40歳代が24.9%、50歳代が25.4%といずれも3割を下回っています。

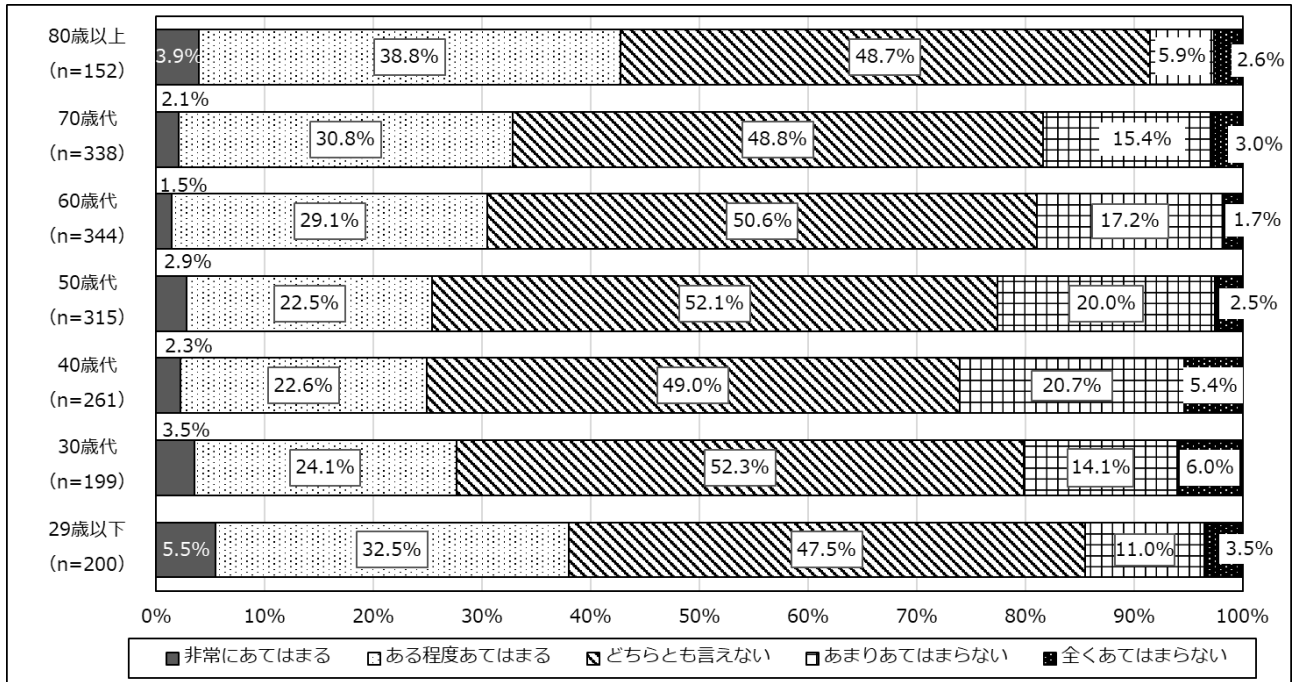
さらに、地域別にみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した人の割合は、「須賀川地区」が38.4%、「両郷地区」が35.6%と他の地区と比べ高い値となっています。

加えて、性別ごとにみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した人の割合は、男性が32.8%、女性が29.5%、その他が22.2%となっています。

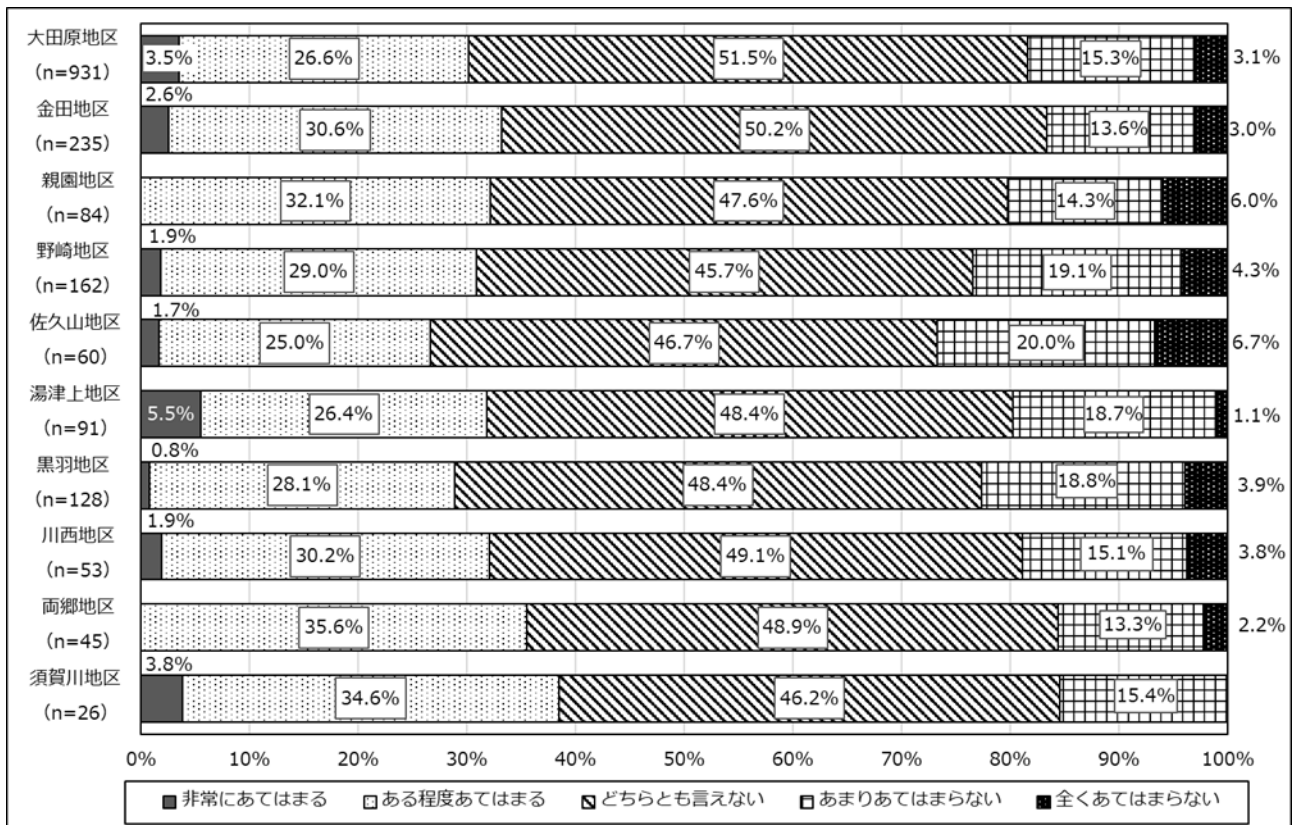
図表 活躍機会の有無 [n=1,870] 回答率（%）



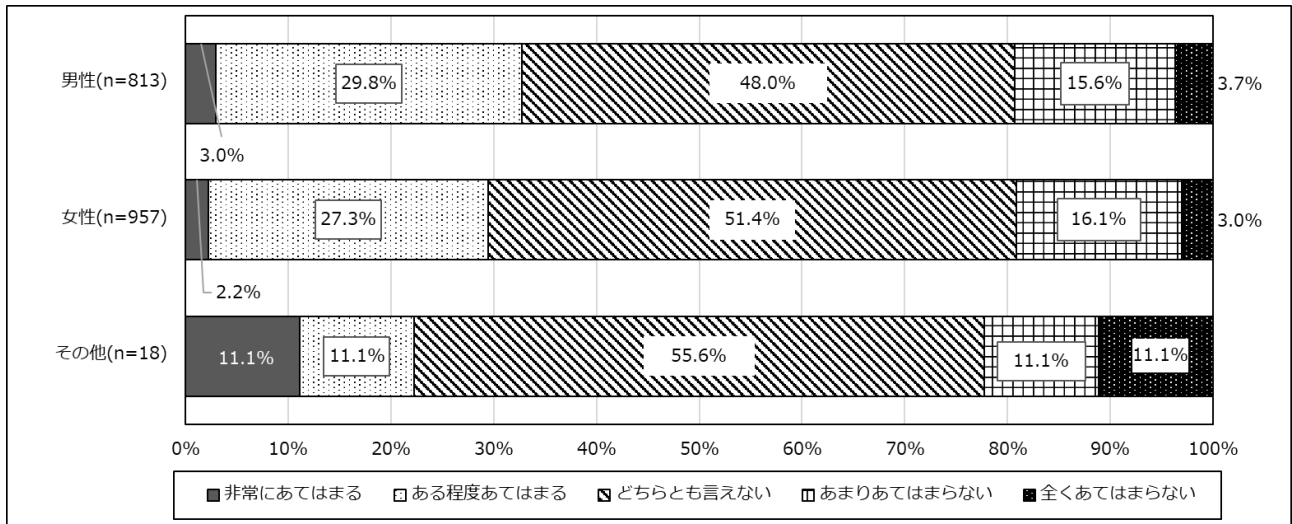
図表 活躍機会の有無（各年代のクロス集計） [n=1,809] 回答率（%）



図表 活躍機会の有無（各地域のクロス集計） [n=1,815] 回答率（%）



図表 活躍機会の有無（性別ごとのクロス集計） [n=1,788] 回答率（%）



問 15 相談相手の有無

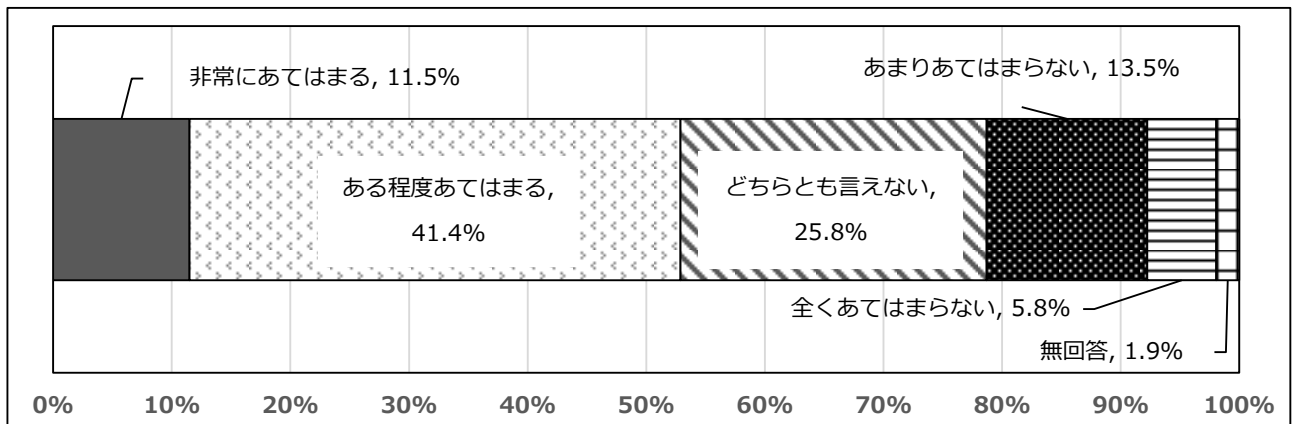
問 15 大田原市には、困ったときに相談できる人が身近にいますか。
あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

困ったときに相談できる存在について、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した人の割合は 52.9%となっています。一方、「全くあてはまらない」または「あまりあてはまらない」と回答した人の割合は 19.3%となっています。

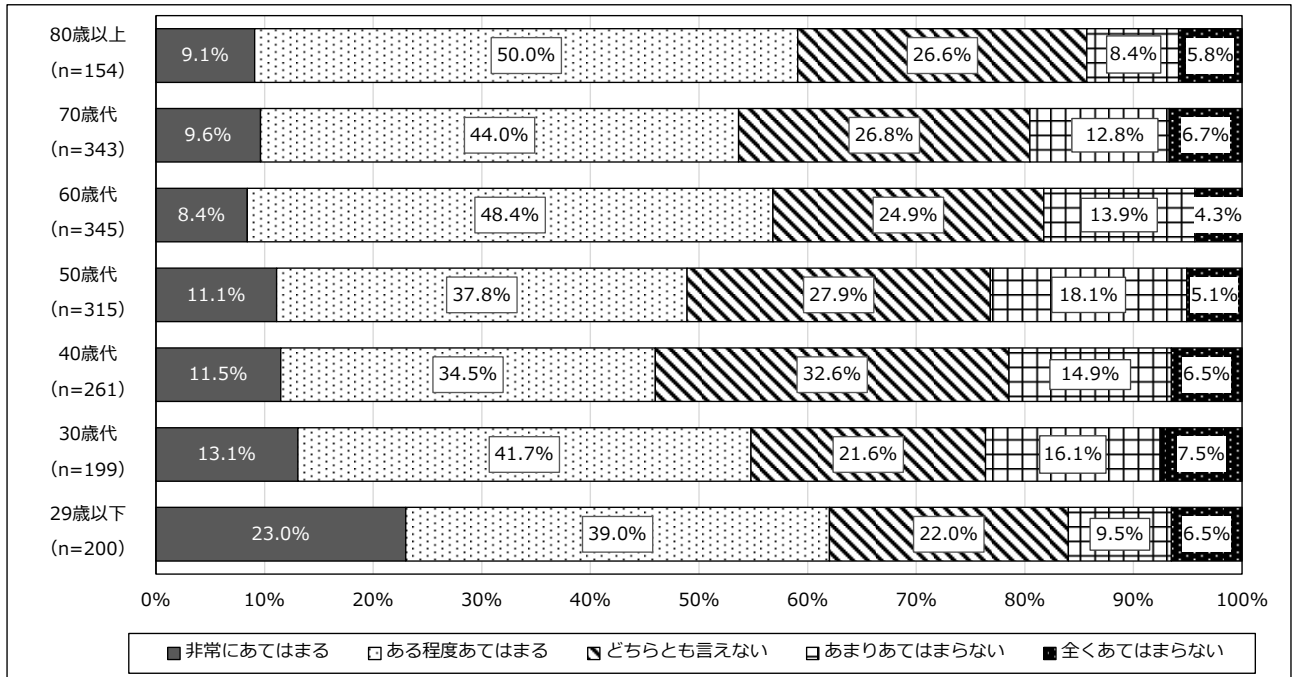
年代別にみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した人の割合は 29歳以下で 62.0%と最も高く、次いで 80歳以上で 59.1%、60歳代で 56.8%となっています。一方、40歳代では 46.0%、50歳代では 48.9%と5割を下回っています。

地域別にみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した人の割合は、「親園地区」が 69.4%、「川西地区」が 66.0%、「両郷地区」が 64.4%と高くなっています。一方、「野崎地区」では 43.2%となっており、地域間で差がみられます。

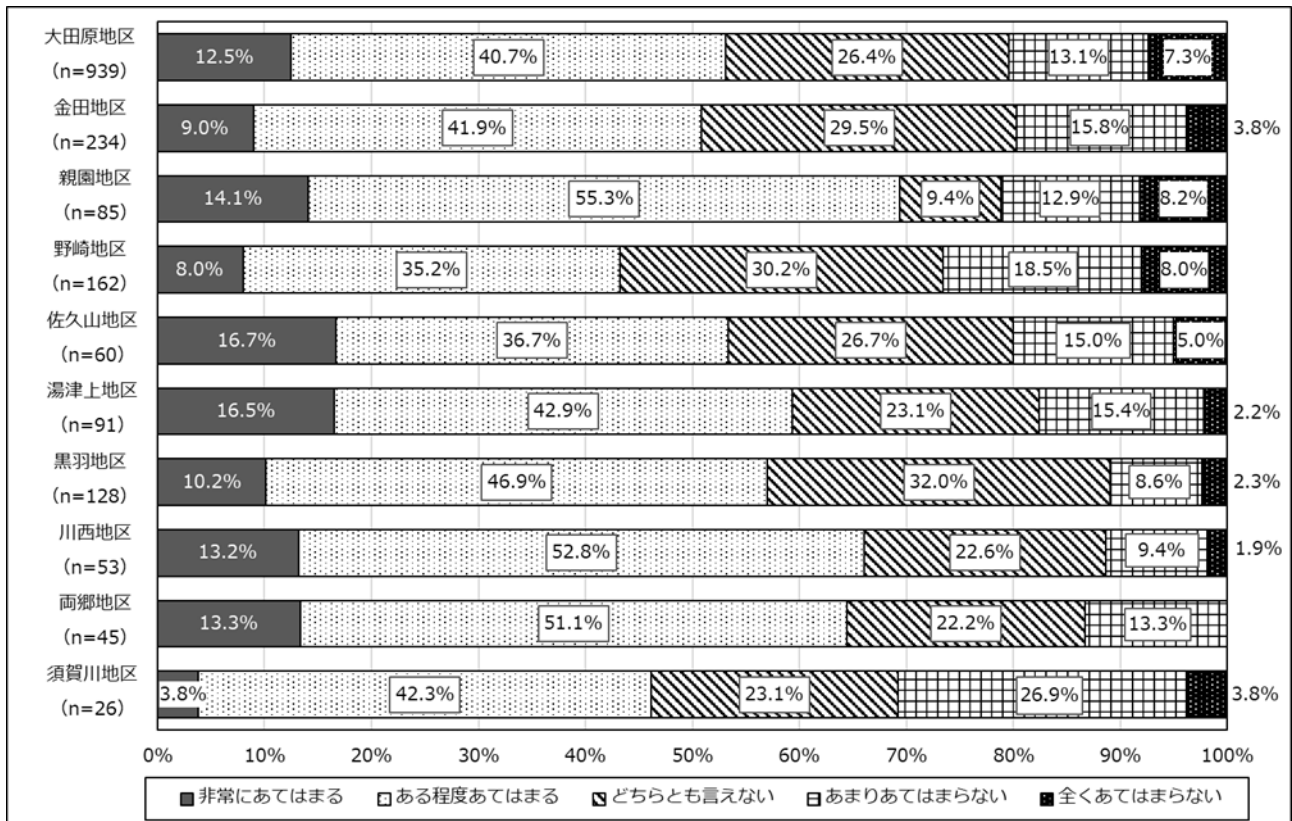
図表 相談相手の有無 [n=1,870] 回答率（%）



図表 相談相手の有無（各年代のクロス集計） [n=1,817] 回答率（%）



図表 相談相手の有無（各地域のクロス集計） [n=1,823] 回答率（%）



問 16 互助意識

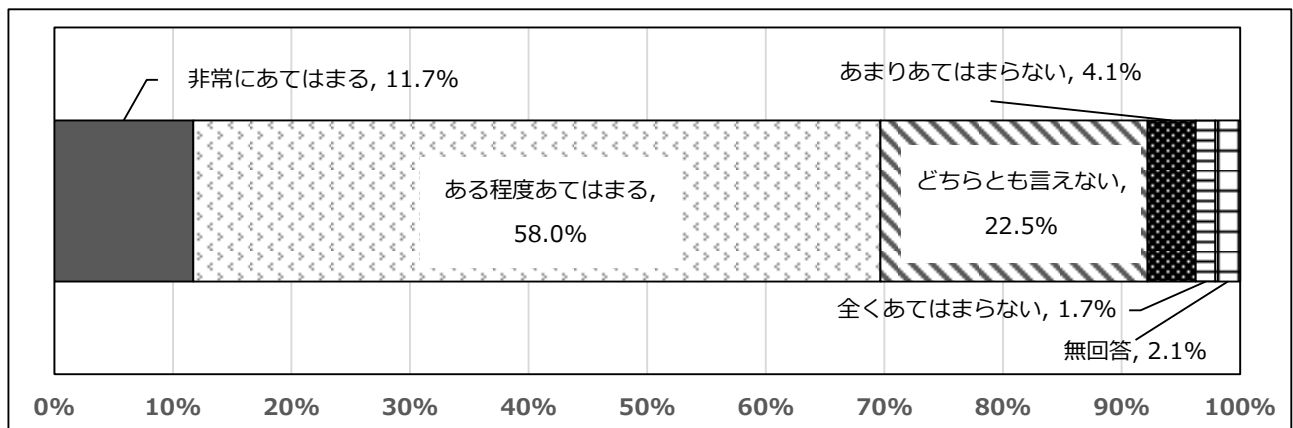
問 16 あなたは、近所の人が困っていたら手助けをしますか。
 あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

困ったときの手助けについて、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した人の割合は69.7%となっています。一方、「全くあてはまらない」または「あまりあてはまらない」と回答した人の割合は5.8%となっています。

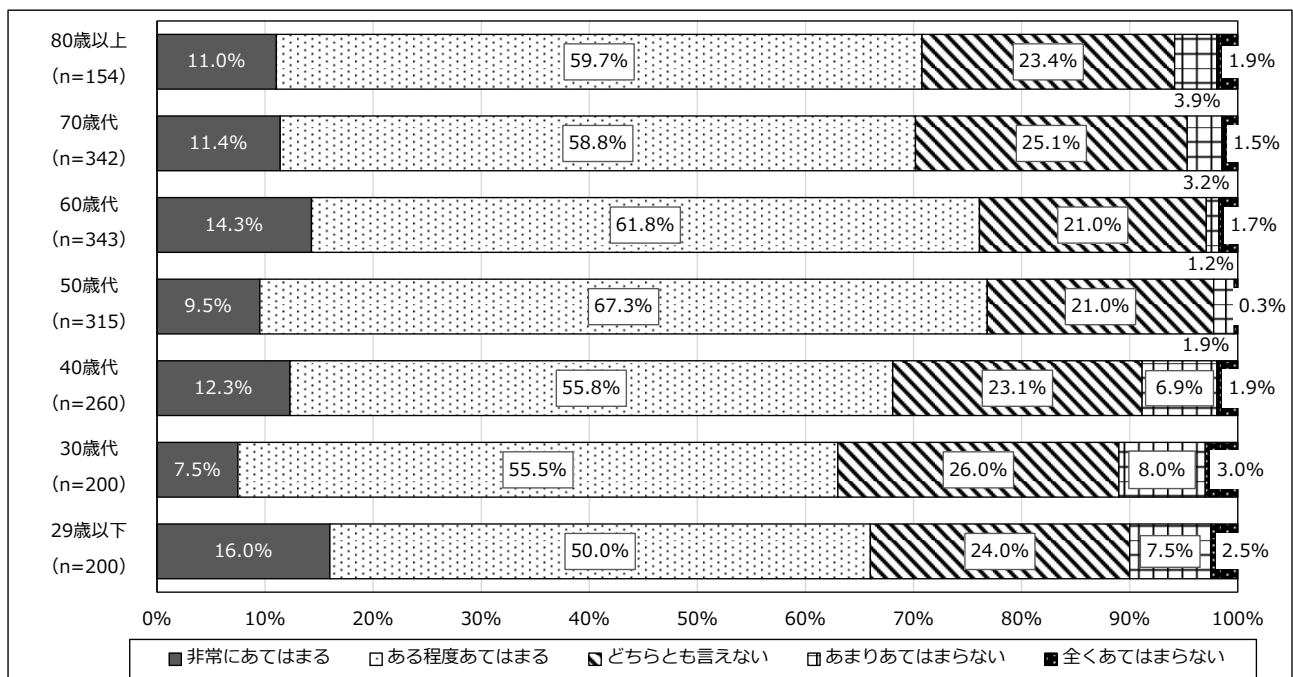
また、年代別にみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した人の割合は、50歳代で76.8%と最も高く、60歳代で76.1%、80歳以上で70.7%となっています。一方、一番低いのは30歳代の63.0%です。

さらに、地域別にみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した人の割合は、「川西地区」が81.1%、次いで「親園地区」が80.0%となっています。一方、最も割合が低い「須賀川地区」では61.5%となっており、地域間でやや差がみられます。

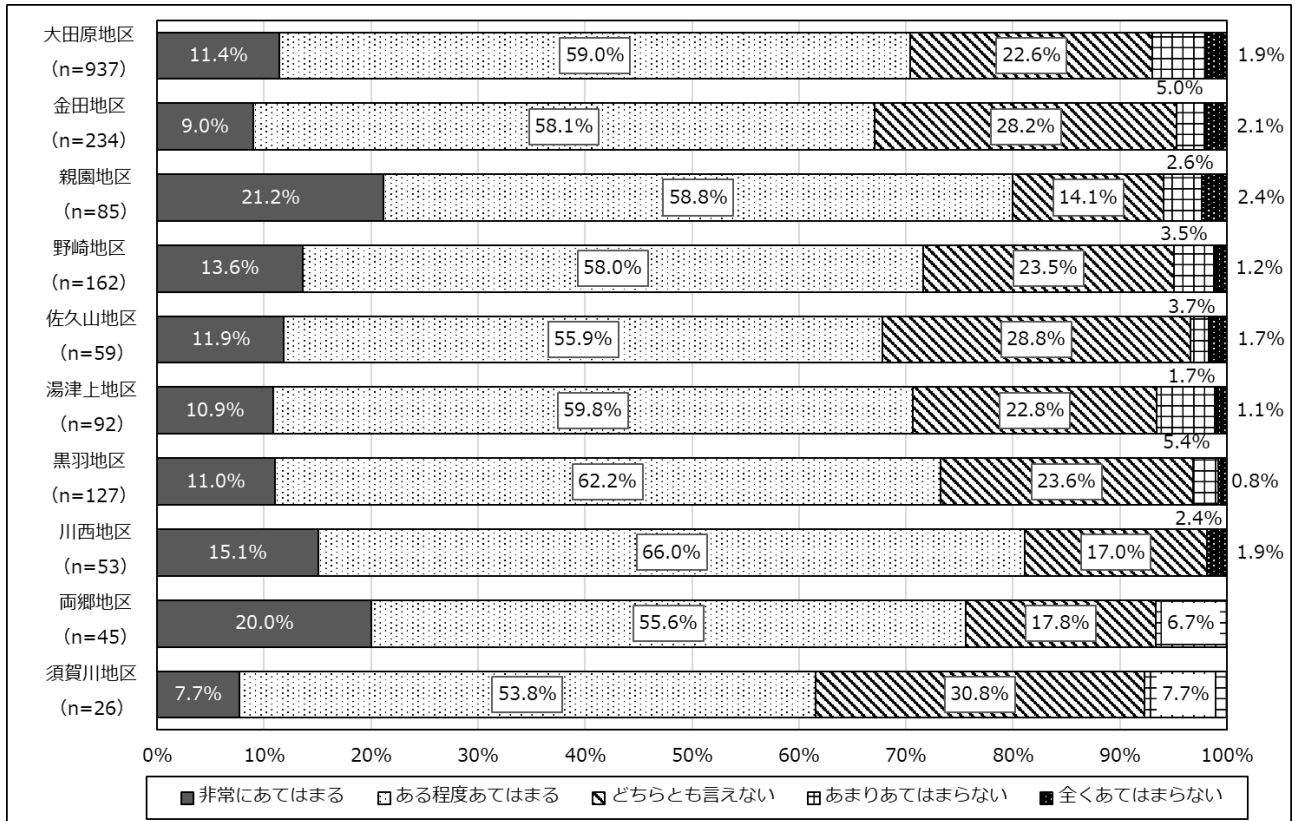
図表 互助意識 [n=1,870] 回答率 (%)



図表 互助意識 (各年代のクロス集計) [n=1,814] 回答率 (%)



図表 互助意識（地域ごとのクロス集計） [n=1,820] 回答率（%）



問 17 希望職種の有無

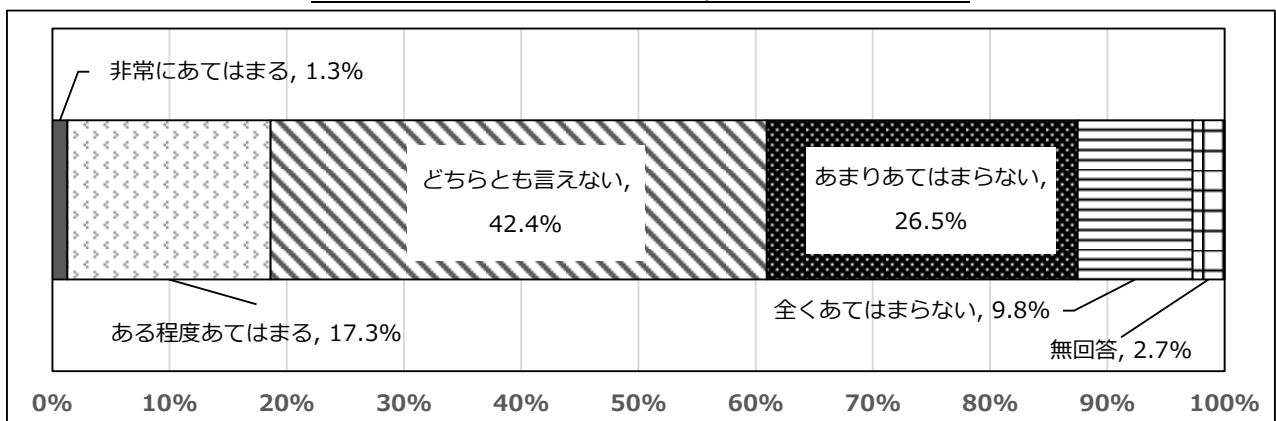
問 17 大田原市では、やりたい仕事を見つけやすいと思いますか。
あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

希望職種の有無について、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した人の割合は18.6%となっています。一方、「全くあてはまらない」または「あまりあてはまらない」と回答した人の割合は36.3%となっています。

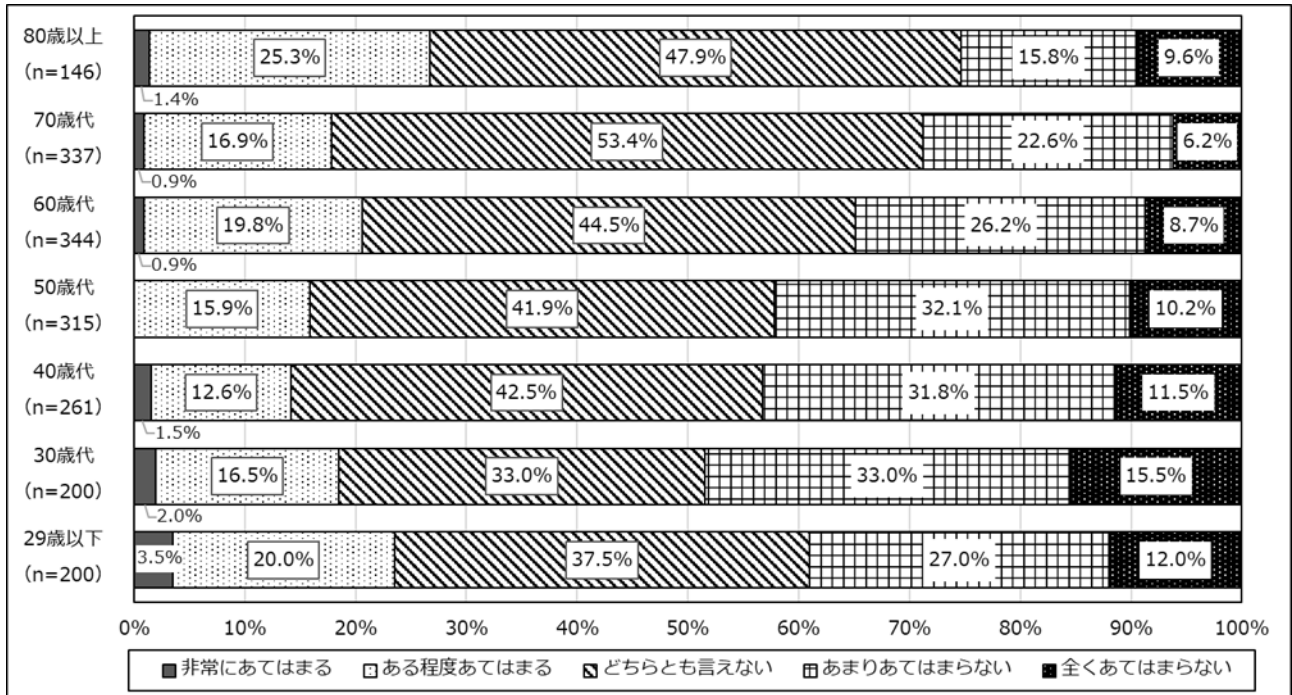
また、年代別にみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した人の割合は、80歳以上が26.7%と最も高く、次いで29歳以下の23.5%となっています。最も低いのは、40歳代の14.1%です。

さらに、地域別にみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した人の割合は、「湯津上地区」の25.0%が最も高く、「川西地区」の17.0%が最も低くなっています。

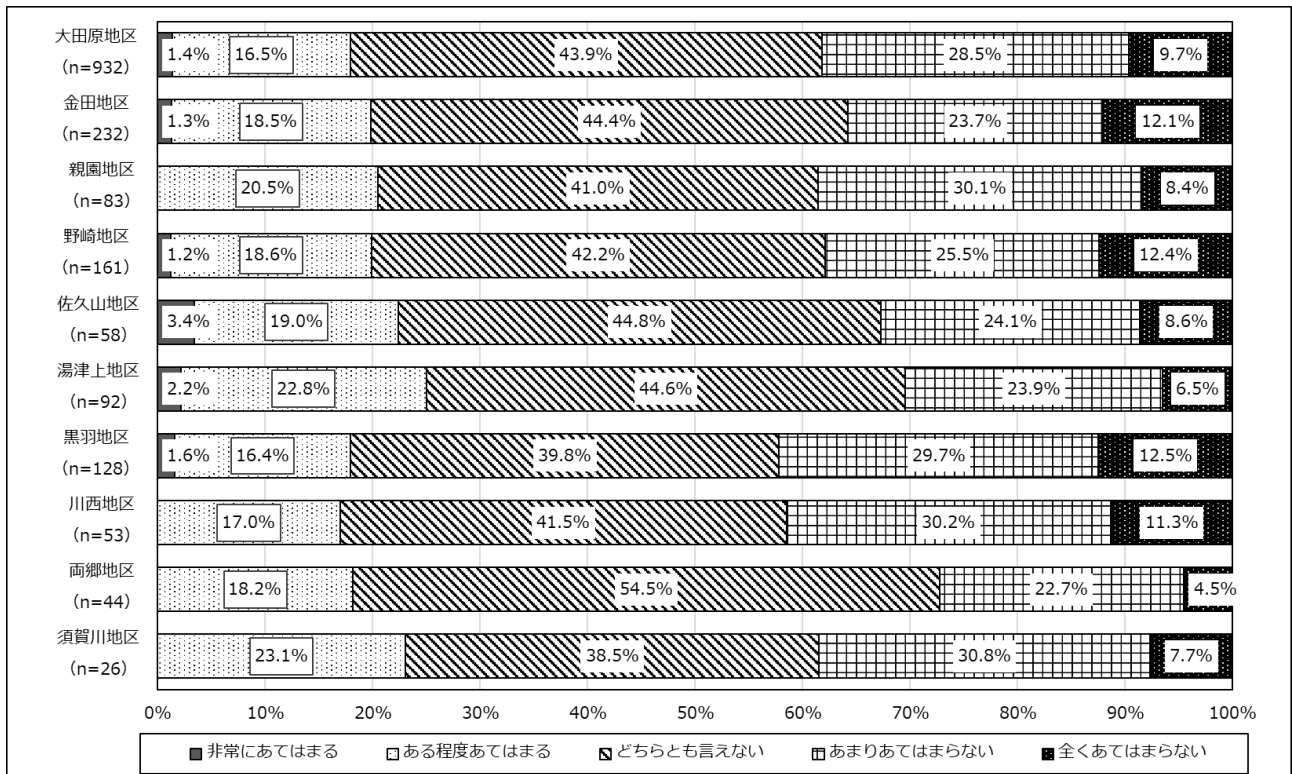
図表 希望職種の有無 [n=1,870] 回答率（%）



図表 希望職種の有無（各年代のクロス集計） [n=1,803] 回答率（%）



図表 希望職種の有無（各地域のクロス集計） [n=1,809] 回答率（%）



問 18 適正収入の確保しやすさ

問 18 大田原市では、適切な収入を得るための仕事（アルバイト含む）があると思いますか。
あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

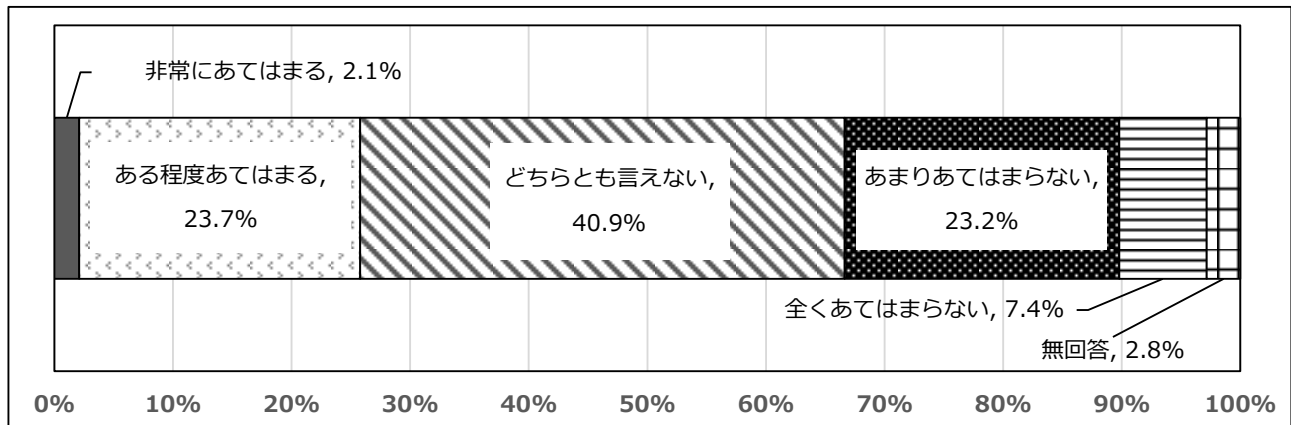
適切な収入を得るための仕事について、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した人の割合は25.8%となっています。一方、「全くあてはまらない」または「あまりあてはまらない」と回答した人の割合は30.6%となっています。

また、年代別にみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した人の割合は、29歳以下で44.5%と最も高く、次いで50歳代で26.9%、60歳代で25.8%となっています。

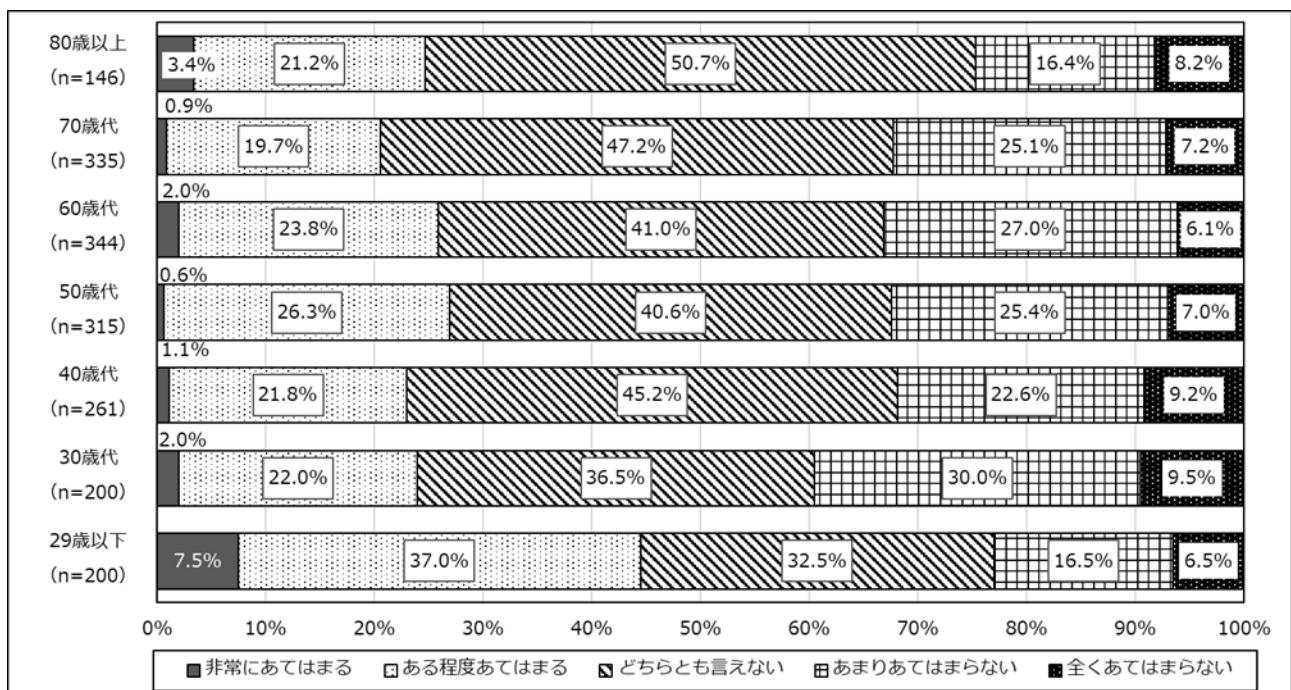
さらに、地域別にみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した人の割合は、「湯津上地区」が33.7%と高く、「川西地区」が18.9%と最も低くなっています。

性別ごとにみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した人の割合は、男性が26.6%、女性が26.9%と同程度となっています。

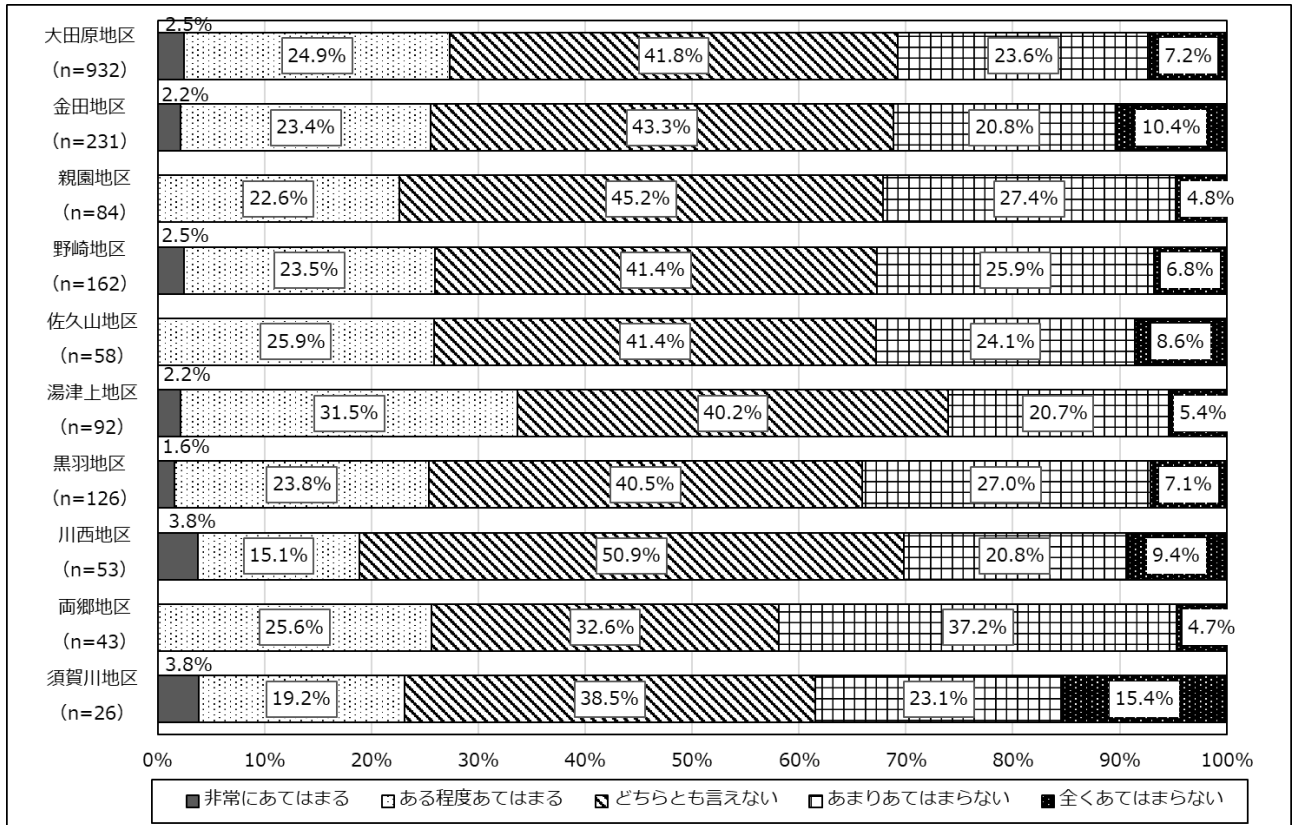
図表 適正収入の確保しやすさ [n=1,870] 回答率 (%)



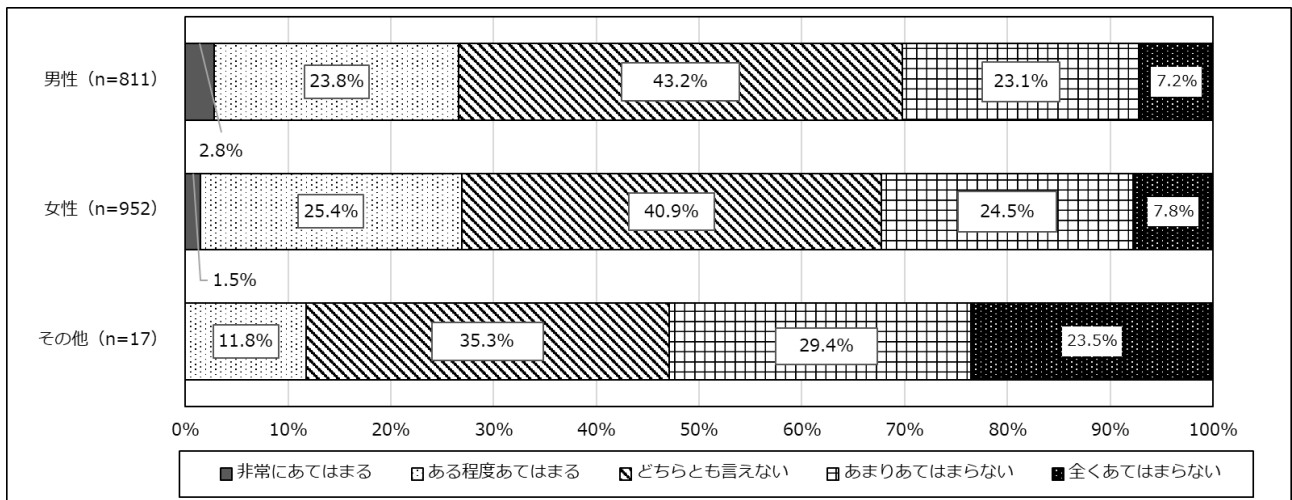
図表 適正収入の確保しやすさ (各年代のクロス集計) [n=1,801] 回答率 (%)



図表 適正収入の確保しやすさ (各地域のクロス集計) [n=1,807] 回答率 (%)



図表 適正収入の確保しやすさ (性別ごとのクロス集計) [n=1,780] 回答率 (%)



問 19 成長機会の有無

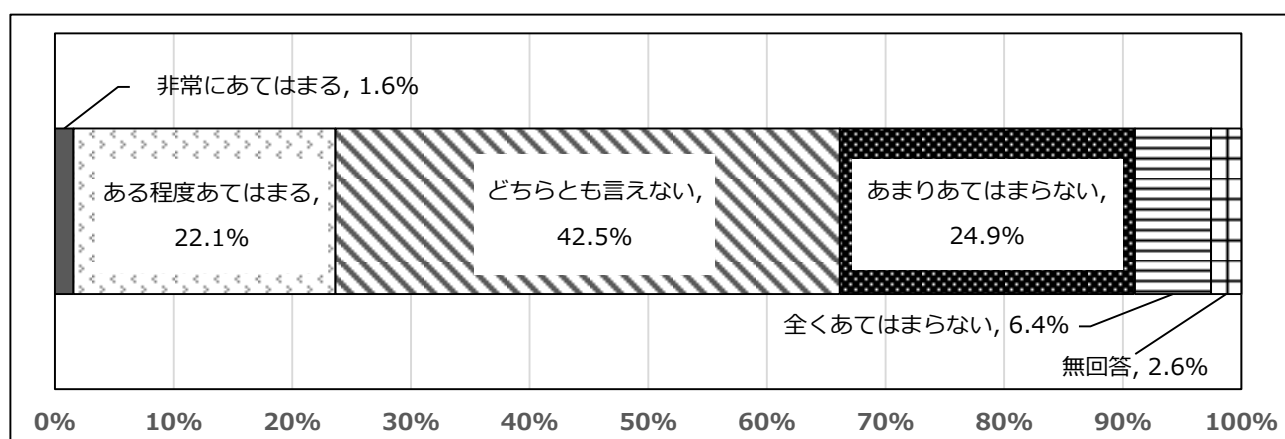
問 19 大田原市には、新たな事に挑戦・成長するための機会があると思いますか。
 なお、ここでいう「新たな事」とは仕事、学び、趣味などのことを指します。
 あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

新たな事に挑戦・成長するための機会について、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した人の割合は23.7%となっています。一方、「全くあてはまらない」または「あまりあてはまらない」と回答した人の割合は31.3%となっています。

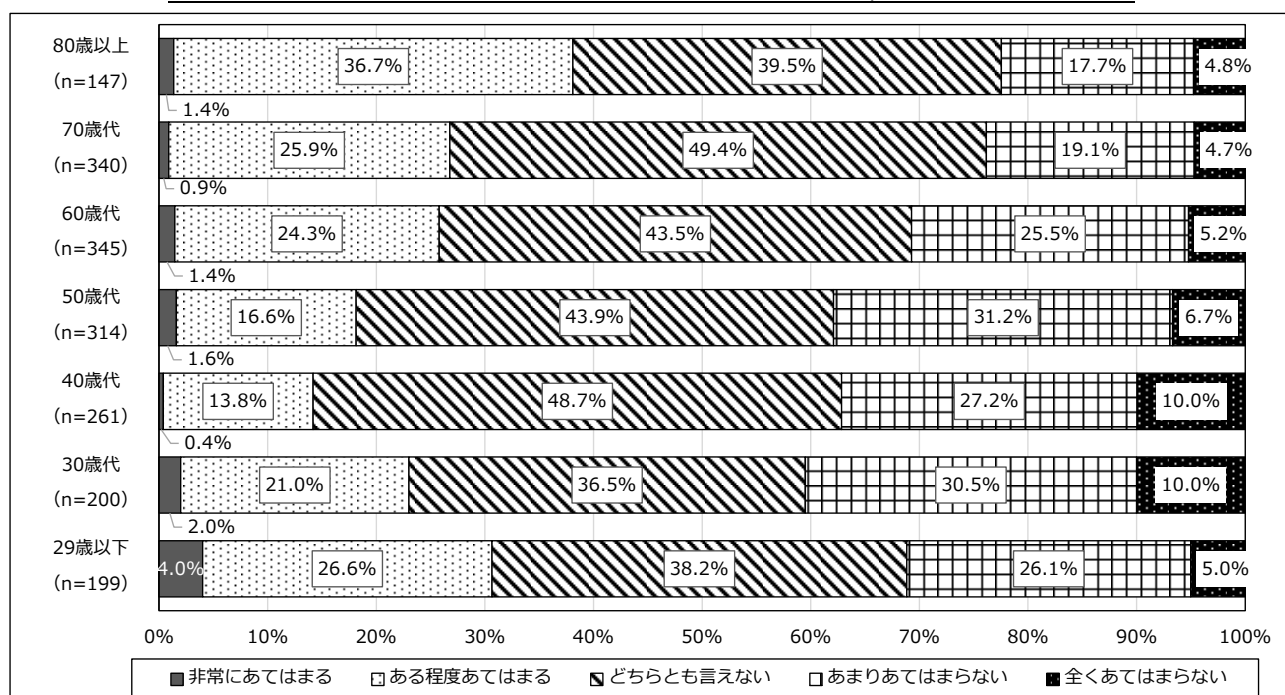
また、年代別にみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した人の割合は、80歳以上で38.1%と最も高く、次いで29歳以下で30.6%となっています。一方、40歳代では14.2%と最も低くなっています。29歳以下から40歳代にかけて割合が低下し、その後年代が上がるにつれて高くなっています。

さらに、地域別にみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した人の割合は、「湯津上地区」が38.0%と最も高く、次いで「両郷地区」が34.1%となっています。

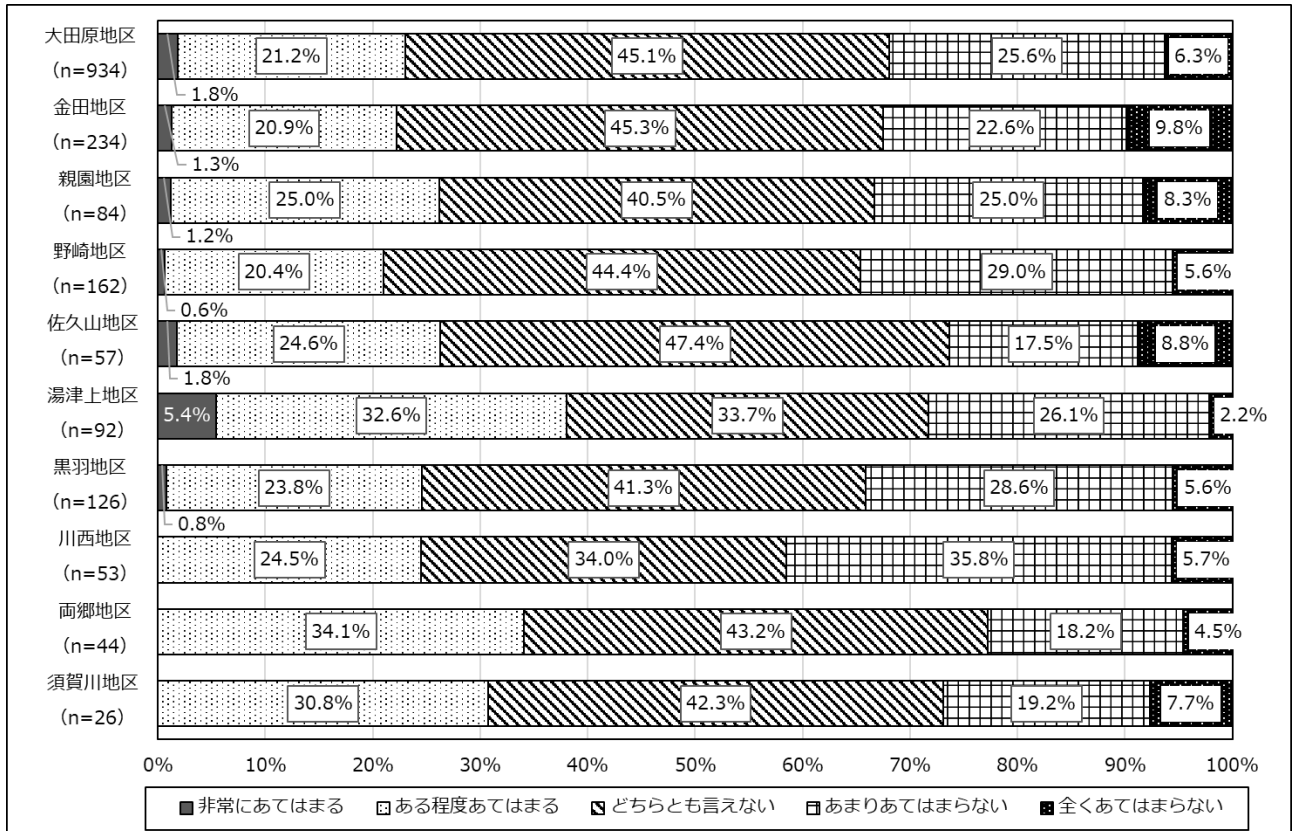
図表 成長機会の有無 [n=1,870] 回答率 (%)



図表 成長機会の有無 (各年代のクロス集計) [n=1,806] 回答率 (%)



図表 成長機会の有無（各地域のクロス集計） [n=1,812] 回答率（%）

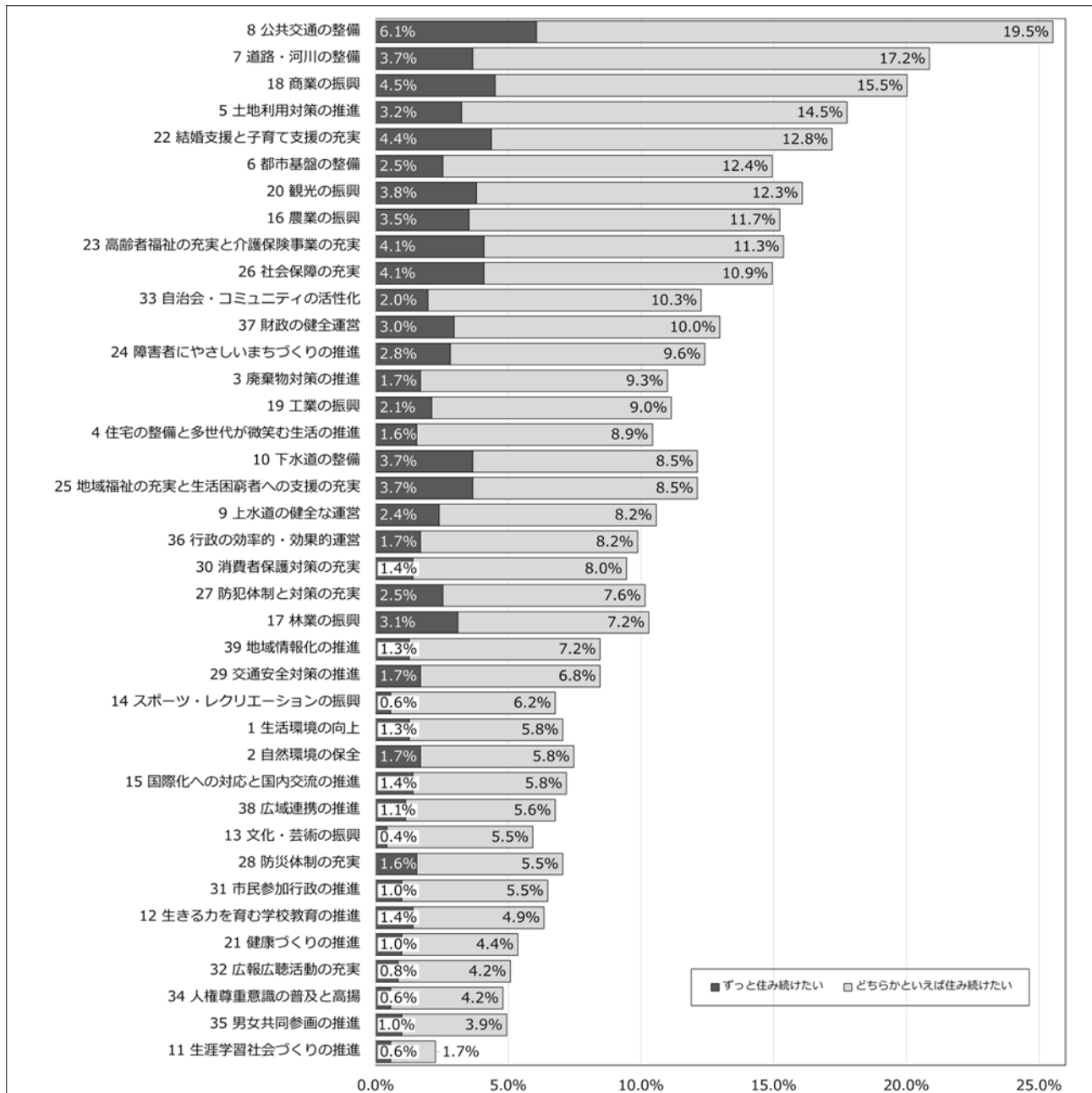


(2) 属性別分析

・「問 12 居住継続の意思」と各事業の満足度のクロス集計

居住継続の意思と各事業の満足度とのクロス集計の結果、「ずっと住み続けたい」と回答した層及び「どちらかといえば住み続けたい」と回答した層においては、「公共交通の整備」の満足度が最も高く、次いで「道路・河川の整備」「商業の振興」などの項目で満足と回答した割合が相対的に高い結果となっています。一方、「男女共同参画の推進」「生涯学習社会づくりの推進」などの項目では割合が相対的に低いことがわかります。

図表 居住継続の意思と各事業の満足度のクロス集計 [n=1,812] 回答率 (%)



※各事業の満足度・重要度のデータは「4. 大田原市の施策・事業について」をご参照ください。

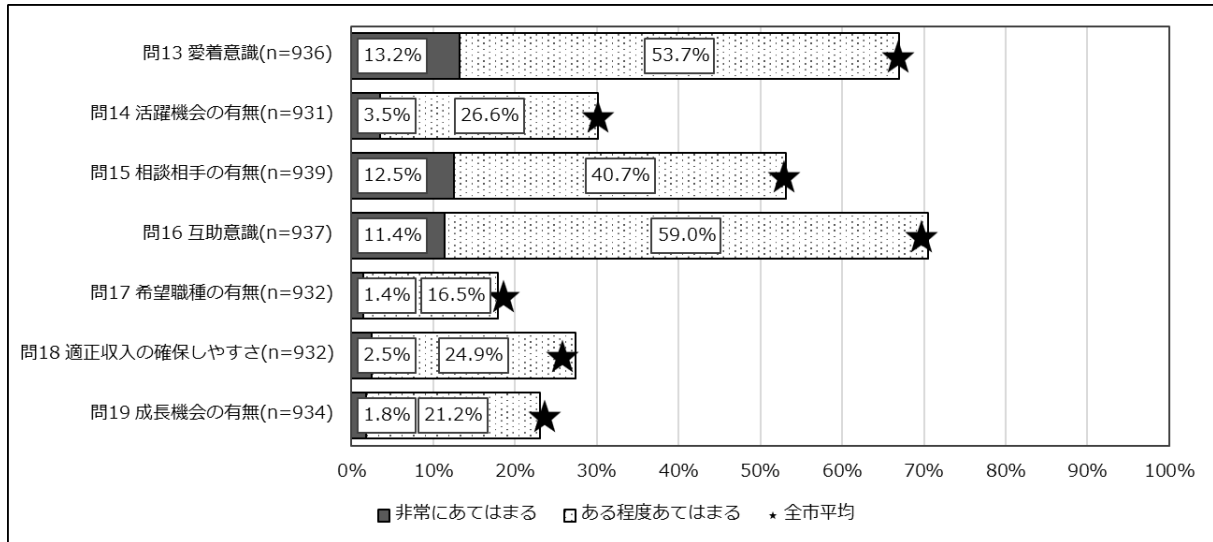
※クロス集計であり、相関関係などを示すものではありません。

・ 地区ごとの認識に関する分析

① 大田原地区

大田原地区における問 13 から問 19 の各設問の回答割合をみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した割合は「問 13 愛着意識」や「問 16 互助意識」で高い一方、「問 17 希望職種の有無」や「問 19 成長機会の有無」で低い水準となっています。
全市平均と比較すると、どの項目もほぼ平均に近い値となっています。

図表 大田原地区の意識等 回答率 (%)

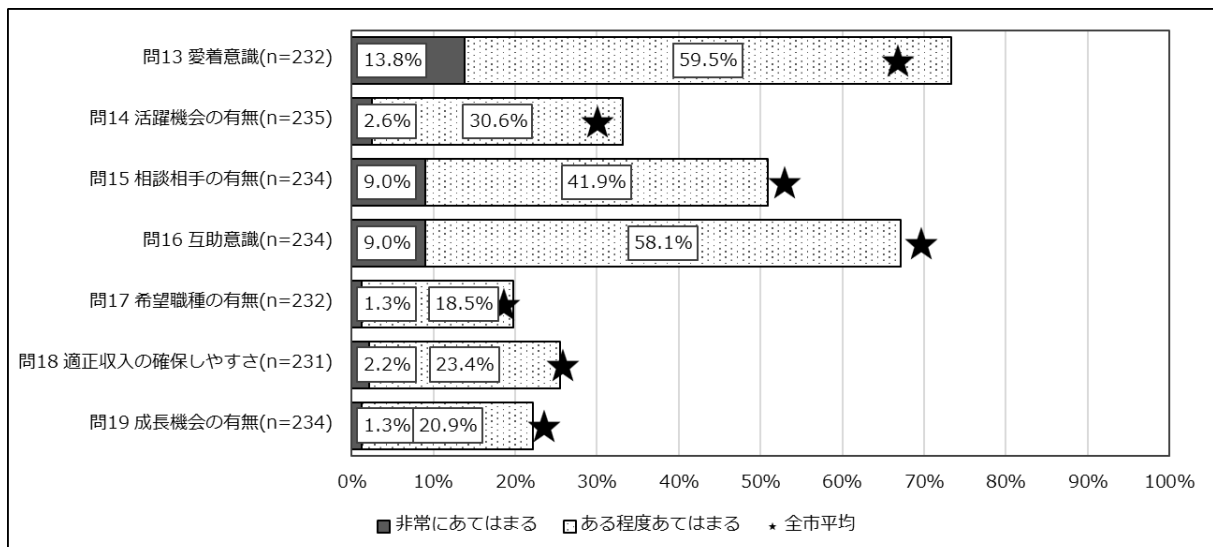


② 金田地区

金田地区における問 13 から問 19 の各設問の回答割合をみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した割合は「問 13 愛着意識」や「問 16 互助意識」で高い一方、「問 17 希望職種の有無」や「問 18 適正収入の確保しやすさ」「問 19 成長機会の有無」で低い水準となっています。

全市平均と比較すると、「問 13 愛着意識」や「問 14 活躍機会の有無」で高く、「問 15 相談相手の有無」や「問 16 互助意識」でやや低くなっています。

図表 金田地区の意識等 回答率 (%)

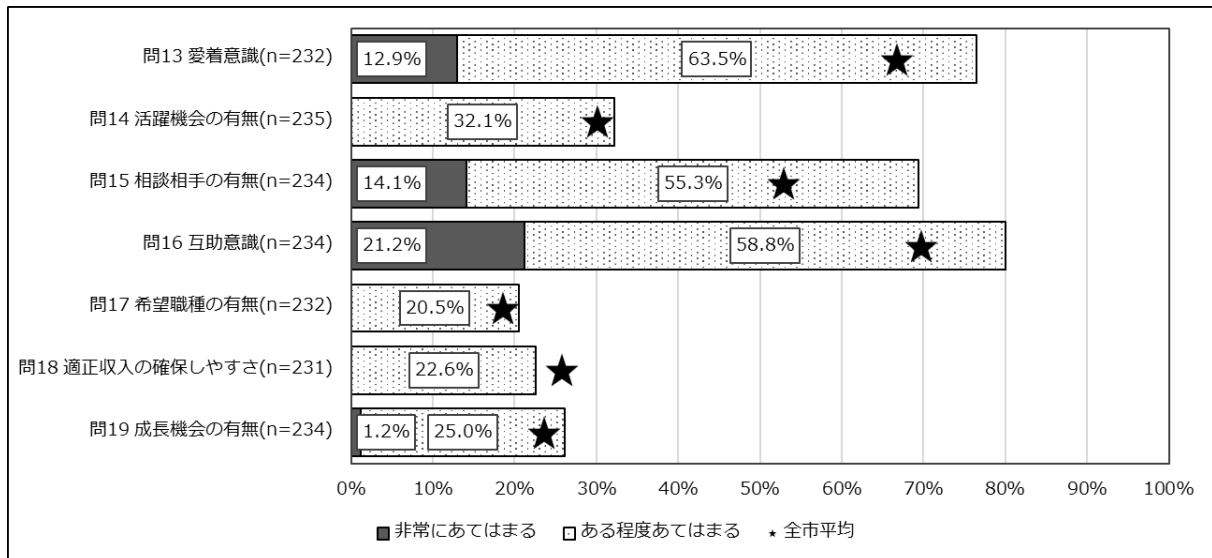


③ 親園地区

親園地区における問 13 から問 19 の各設問の回答割合をみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した割合は「問 13 愛着意識」や「問 15 相談相手の有無」「問 16 互助意識」で高い一方、「問 17 希望職種の有無」や「問 18 適正収入の確保しやすさ」「問 19 成長機会の有無」で低い水準となっています。

全市平均と比較すると、「問 13 愛着意識」や「問 15 相談相手の有無」「問 16 互助意識」で高く、「問 18 適正収入の確保しやすさ」で低くなっています。

図表 親園地区の意識等 回答率 (%)

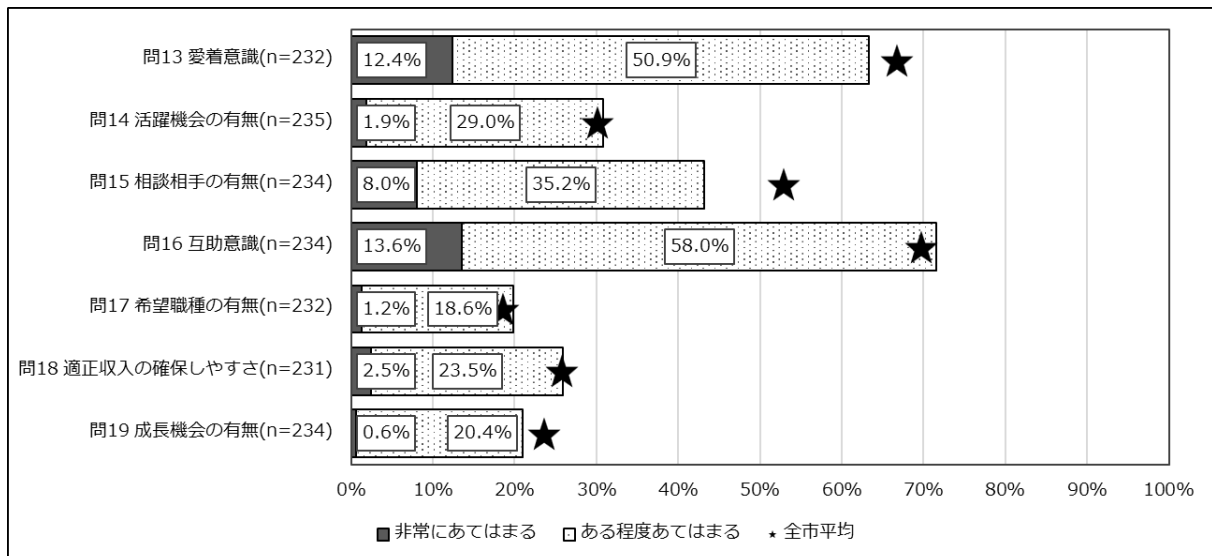


④ 野崎地区

野崎地区における問 13 から問 19 の各設問の回答割合をみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した割合は「問 13 愛着意識」や「問 16 互助意識」で高い一方、「問 17 希望職種の有無」や「問 18 適正収入の確保しやすさ」「問 19 成長機会の有無」で低い水準となっています。

全市平均と比較すると、「問 16 互助意識」で高く、「問 13 愛着意識」や「問 15 相談相手の有無」「問 19 成長機会の有無」で低くなっています。

図表 野崎地区の意識等 回答率 (%)

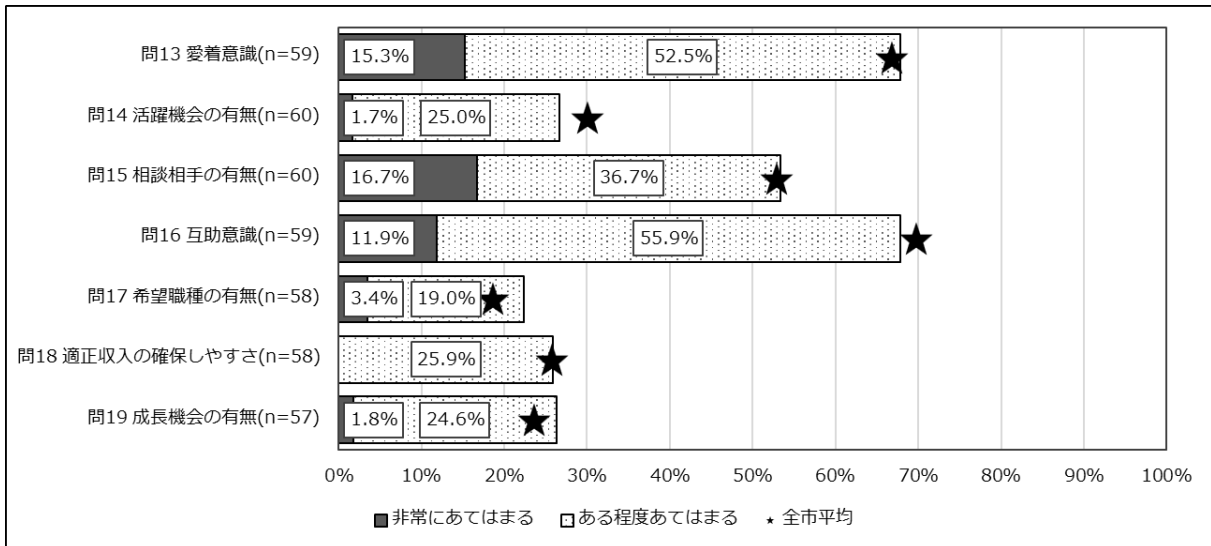


⑤ 佐久山地区

佐久山地区における問 13 から問 19 の各設問の回答割合をみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した割合は「問 13 愛着意識」や「問 16 互助意識」で高い一方、「問 17 希望職種の有無」や「問 18 適正収入の確保しやすさ」「問 19 成長機会の有無」で低い水準となっています。

全市平均と比較すると、「問 17 希望職種の有無」で高く、「問 14 活躍機会の有無」や「問 16 互助意識」で低くなっています。

図表 佐久山地区の意識等 回答率 (%)

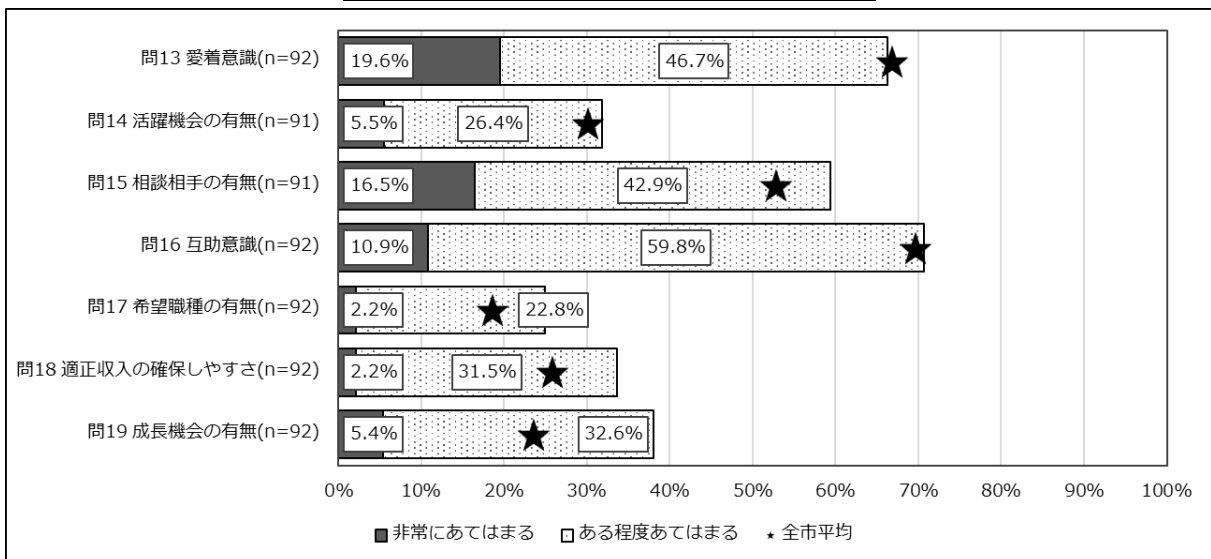


⑥ 湯津上地区

湯津上地区における問 13 から問 19 の各設問の回答割合をみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した割合は「問 13 愛着意識」や「問 16 互助意識」で高い一方、「問 17 希望職種の有無」で低い水準となっています。

全市平均と比較すると、「問 15 相談相手の有無」や「問 17 希望職種の有無」「問 18 適正収入の確保しやすさ」「問 19 成長機会の有無」で高くなっています。

図表 湯津上地区の意識等 回答率 (%)

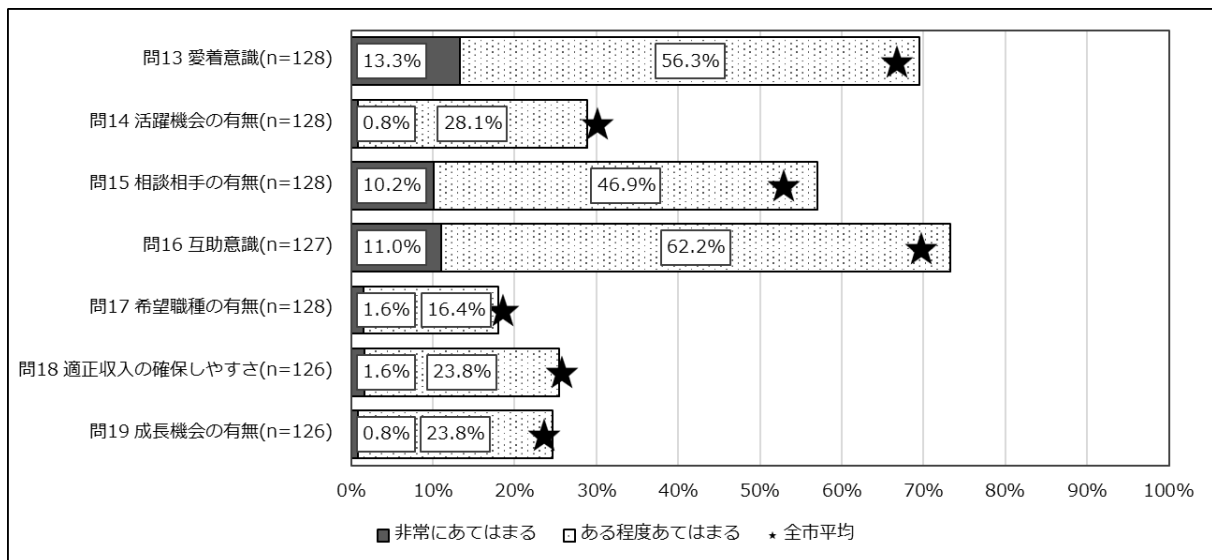


⑦ 黒羽地区

黒羽地区における問 13 から問 19 の各設問の回答割合をみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した割合は「問 13 愛着意識」や「問 16 互助意識」で高い一方、「問 14 活躍機会の有無」や「問 17 希望職種の有無」「問 18 適正収入の確保しやすさ」「問 19 成長機会の有無」で低い水準となっています。

全市平均と比較すると、「問 13 愛着意識」や「問 15 相談相手の有無」「問 16 互助意識」が高く、「問 14 活躍機会の有無」で低くなっています。

図表 黒羽地区の意識等 回答率 (%)

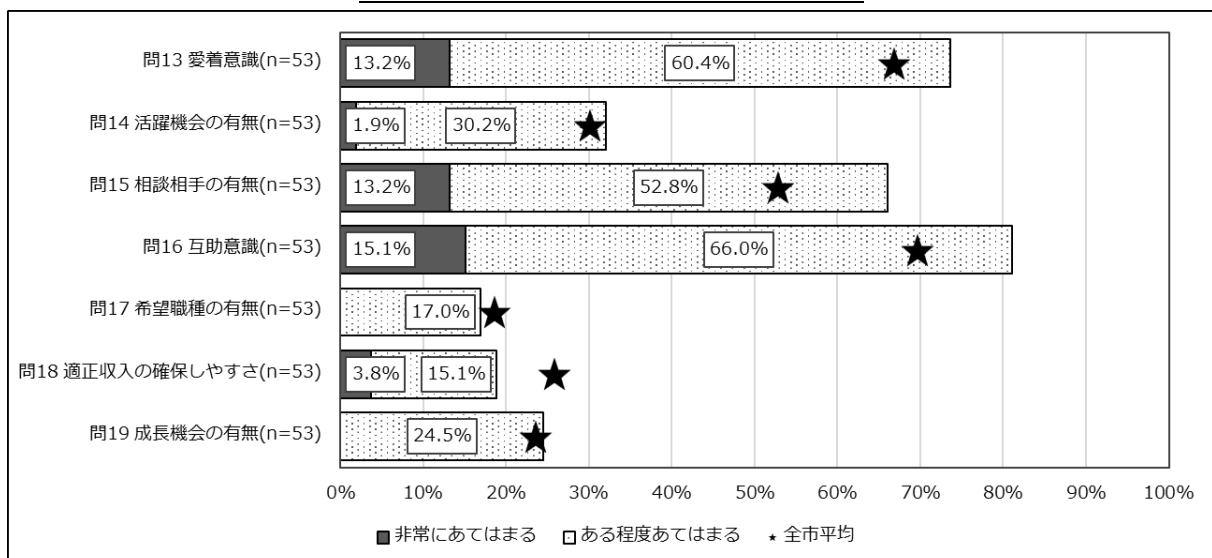


⑧ 川西地区

川西地区における問 13 から問 19 の各設問の回答割合をみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した割合は「問 13 愛着意識」や「問 16 互助意識」で高い一方、「問 17 希望職種の有無」や「問 18 適正収入の確保しやすさ」で低い水準となっています。

全市平均と比較すると、「問 13 愛着意識」や「問 15 相談相手の有無」「問 16 互助意識」が高く、「問 17 希望職種の有無」や「問 18 適正収入の確保しやすさ」で低くなっています。

図表 川西地区の意識等 回答率 (%)

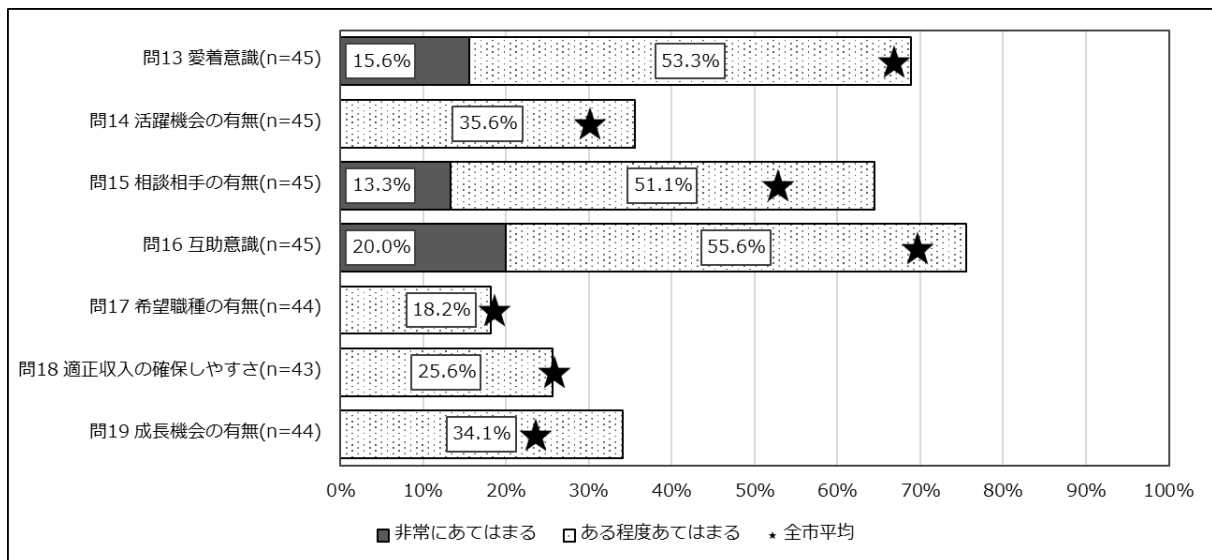


⑨ 両郷地区

両郷地区における問 13 から問 19 の各設問の回答割合をみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した割合は「問 13 愛着意識」や「問 15 相談相手の有無」「問 16 互助意識」で高い一方、「問 17 希望職種の有無」や「問 18 適正収入の確保しやすさ」で低い水準となっています。

全市平均と比較すると、「問 14 活躍機会の有無」や「問 15 相談相手の有無」「問 16 互助意識」「問 19 成長機会の有無」で高くなっています。

図表 両郷地区の意識等 回答率 (%)

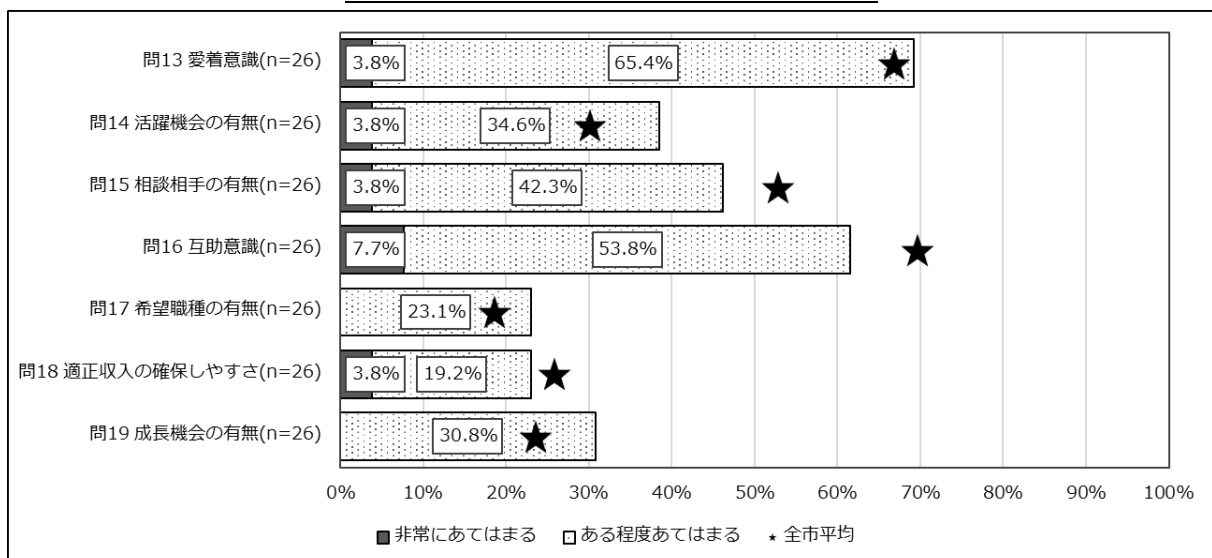


⑩ 須賀川地区

須賀川地区における問 13 から問 19 の各設問の回答割合をみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した割合は「問 13 愛着意識」や「問 16 互助意識」で高い一方、「問 17 希望職種の有無」や「問 18 適正収入の確保しやすさ」で低い水準となっています。

全市平均と比較すると、「問 14 活躍機会の有無」や「問 19 成長機会の有無」で高く、「問 15 相談相手の有無」や「問 16 互助意識」「問 18 適正収入の確保しやすさ」で低くなっています。

図表 須賀川地区の意識等 回答率 (%)



3. 行政への関心について

問 20 行政への関心度

問 20 あなたは、市の行政にどの程度関心をおもちですか。
 あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

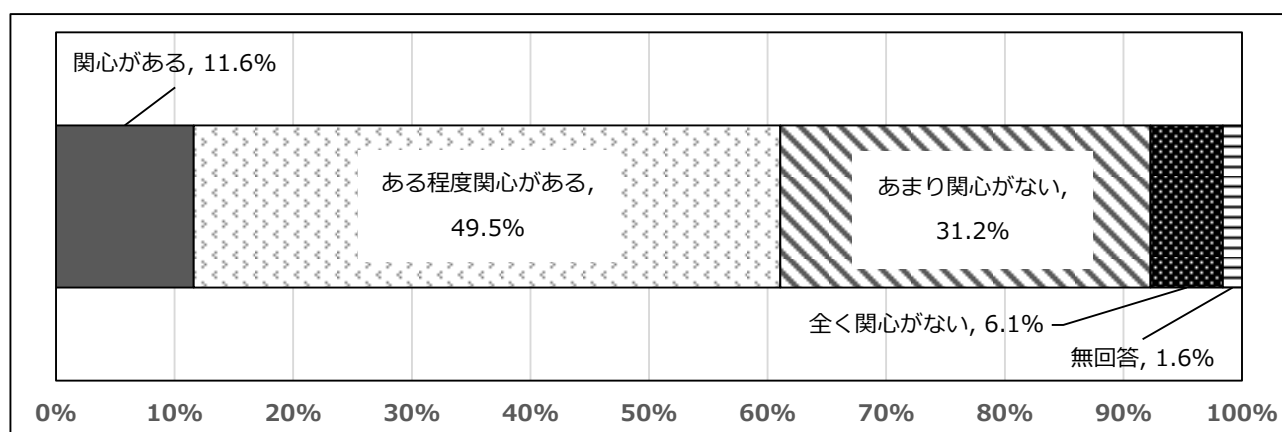
大田原市の行政への関心について、「関心がある」または「ある程度関心がある」と回答した人の割合は **61.1%** となっています。一方、「全く関心がない」または「あまり関心がない」と回答した人の割合は **37.3%** となっています。

前回（令和2年度）調査結果と比較すると、「関心がある」「ある程度関心がある」と回答した割合が減少し、「あまり関心がない」「全く関心がない」と回答した割合が増加しています。

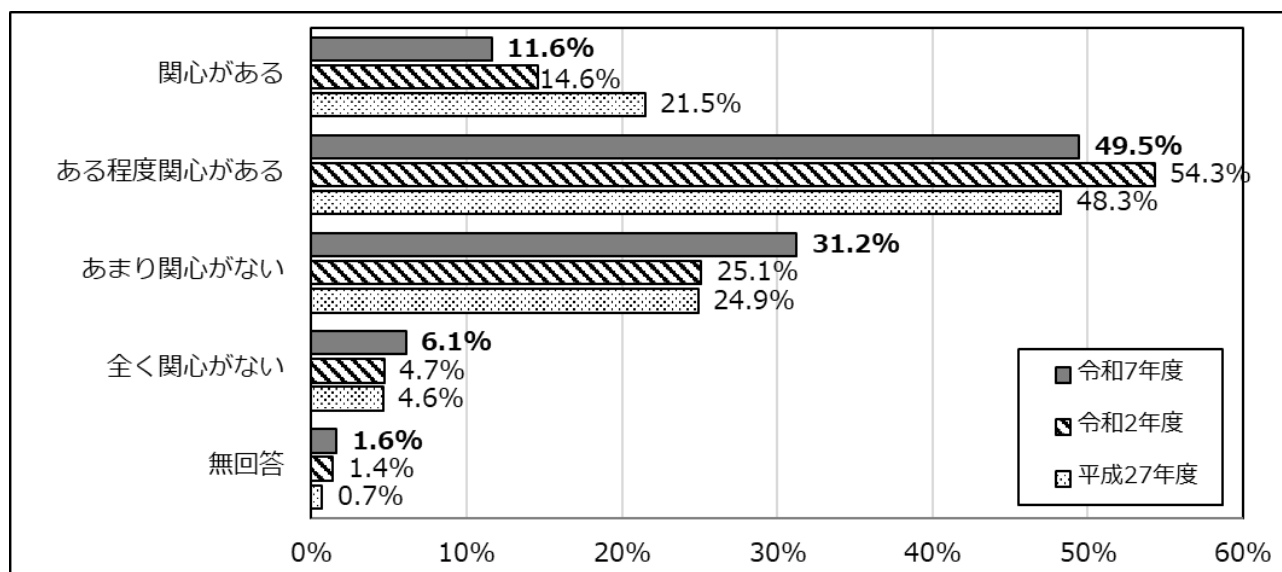
また、年代別にみると、「関心がある」または「ある程度関心がある」と回答した人の割合は、80歳以上で75.2%、70歳代で74.8%と高くなっています。一方、年代が下がるにつれて、「関心がある」または「ある程度関心がある」と回答した人の割合は低下しています。

さらに、地域別にみると、「関心がある」または「ある程度関心がある」と回答した人の割合は、「両郷地区」が76.6%、「湯津上地区」が70.7%と高くなっています。

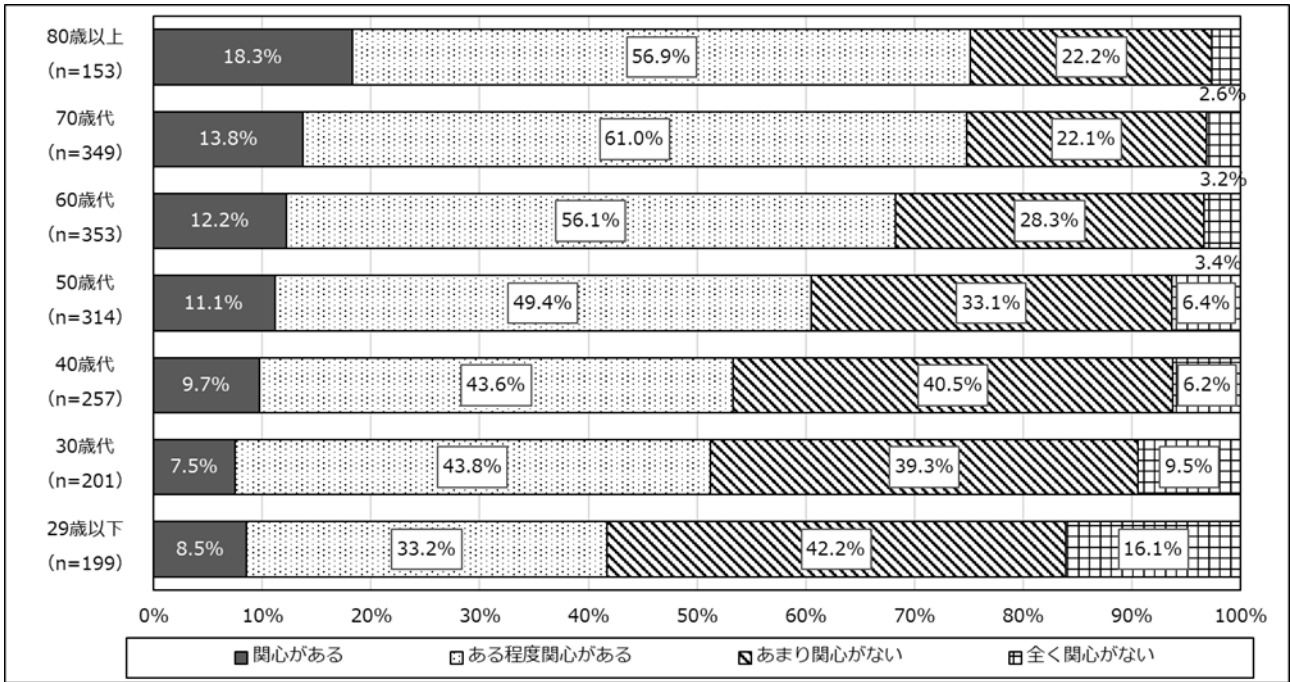
図表 行政への関心度 [n=1,870] 回答率 (%)



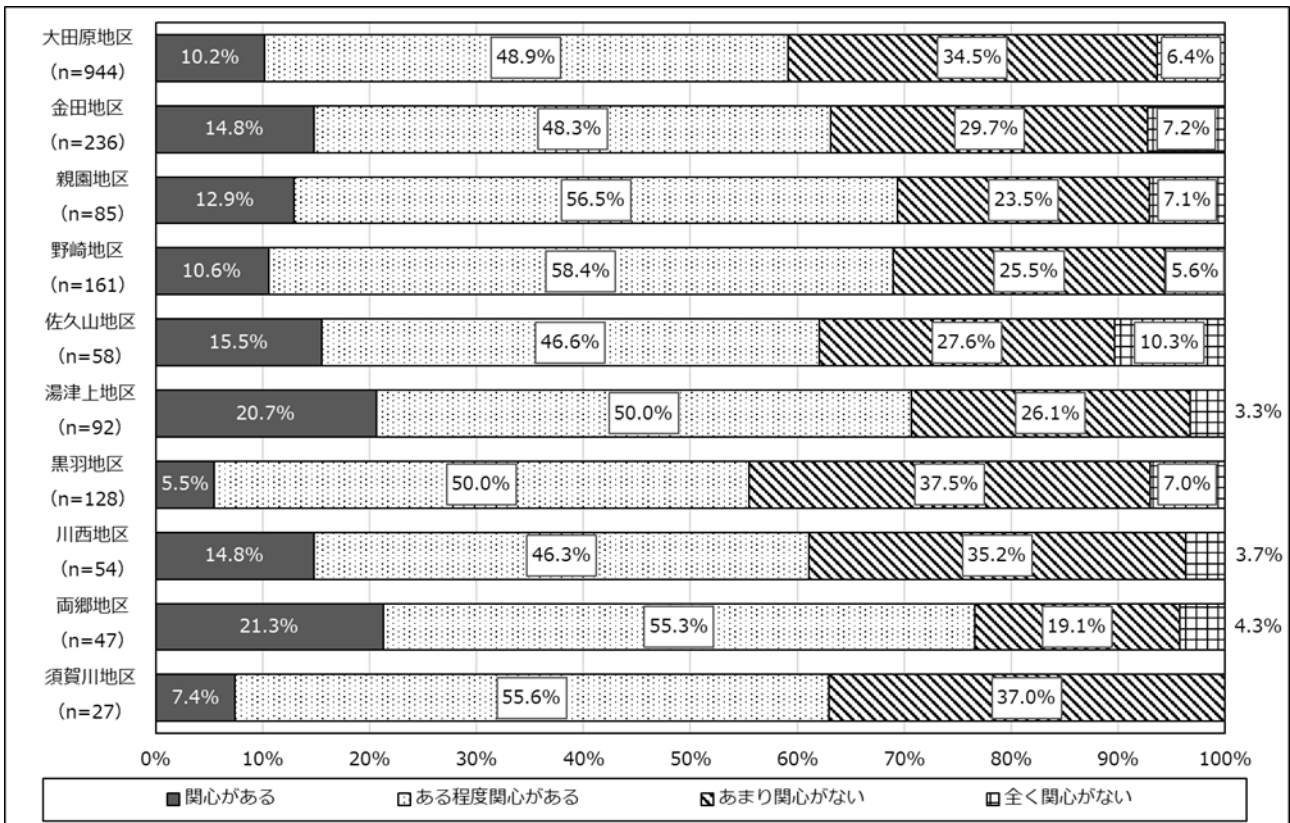
図表 行政への関心度の推移 回答率 (%)



図表 行政への関心度（各年代のクロス表） [n=1,826] 回答率（%）



図表 行政への関心度（各地域のクロス表） [n=1,832] 回答率（%）



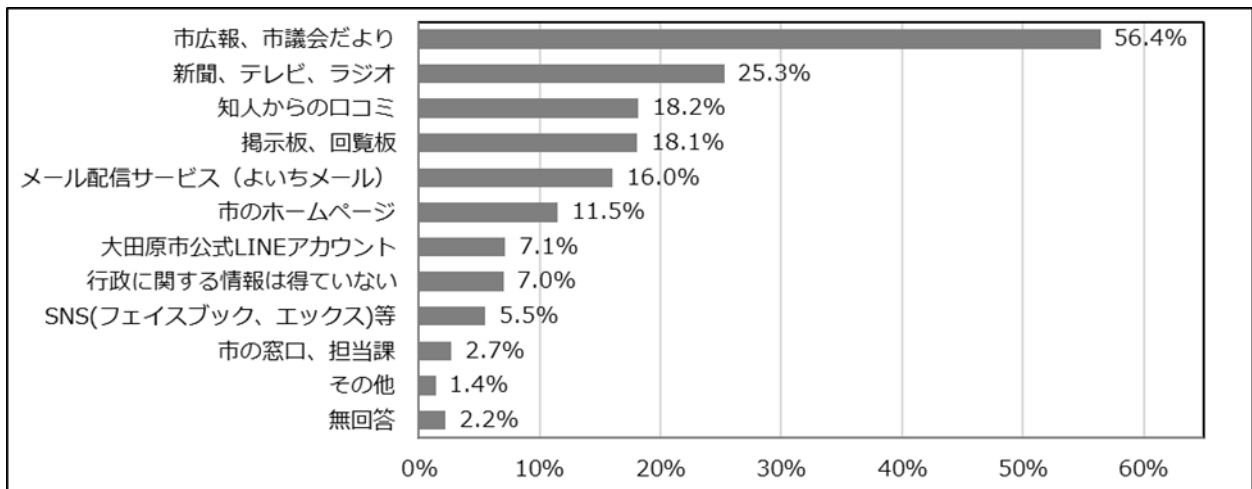
問 21 市政情報の入手方法

問 21 あなたは、市の行政に関する情報を主に何から知ることが多いですか。
 あてはまる番号に2つ丸をつけてください。

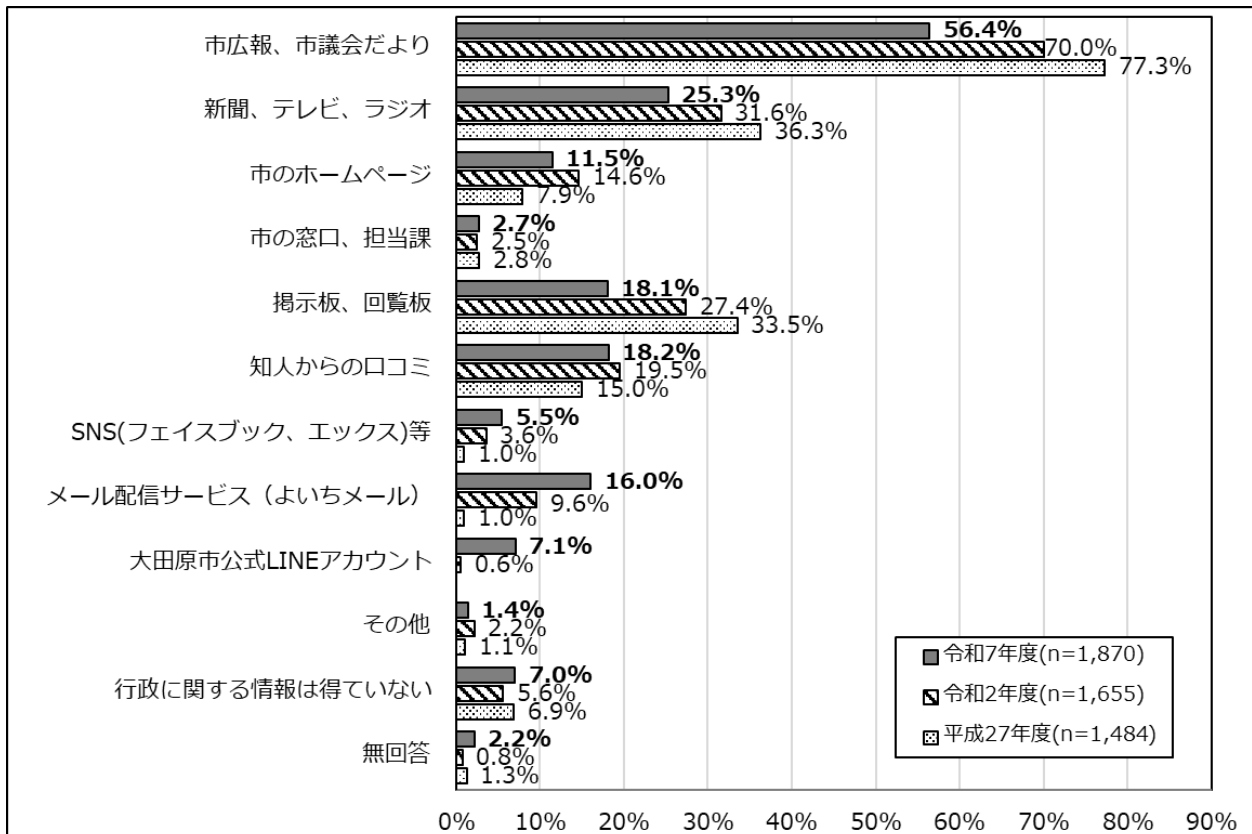
市の行政に関する情報の入手方法について、「市広報、市議会だより」が56.4%と最も高くなっています。次いで、「新聞、テレビ、ラジオ」が25.3%、「知人からの口コミ」が18.2%、「掲示板、回覧板」が18.1%、「メール配信サービス（よいちメール）」が16.0%と続いています。

前回（令和2年度）、前々回（平成27年度）調査結果と比較すると、「市広報、市議会だより」「新聞、テレビ、ラジオ」「掲示板、回覧板」と回答した割合が減少し、「SNS(フェイスブック、エックス)等」「メール配信サービス（よいちメール）」「大田原市公式LINEアカウント」と回答した割合が増加しています。

図表 市政情報の入手方法 [n=1,870] 回答率 (%)



図表 市政情報の入手方法の推移 回答率 (%)



問 22 必要とする市の情報

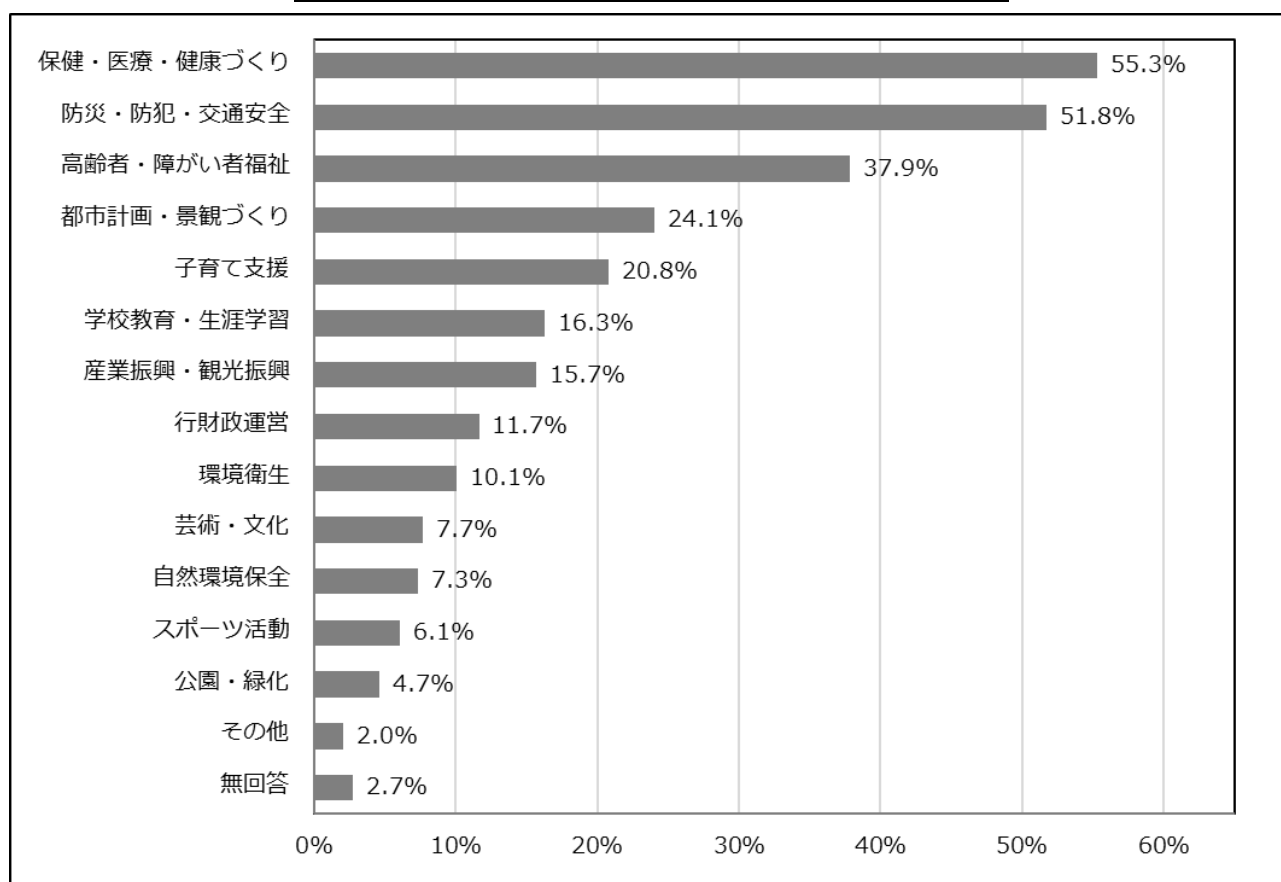
問 22 あなたは、市のどのような情報が主に必要ですか。

あてはまる番号に3つ丸をつけてください。

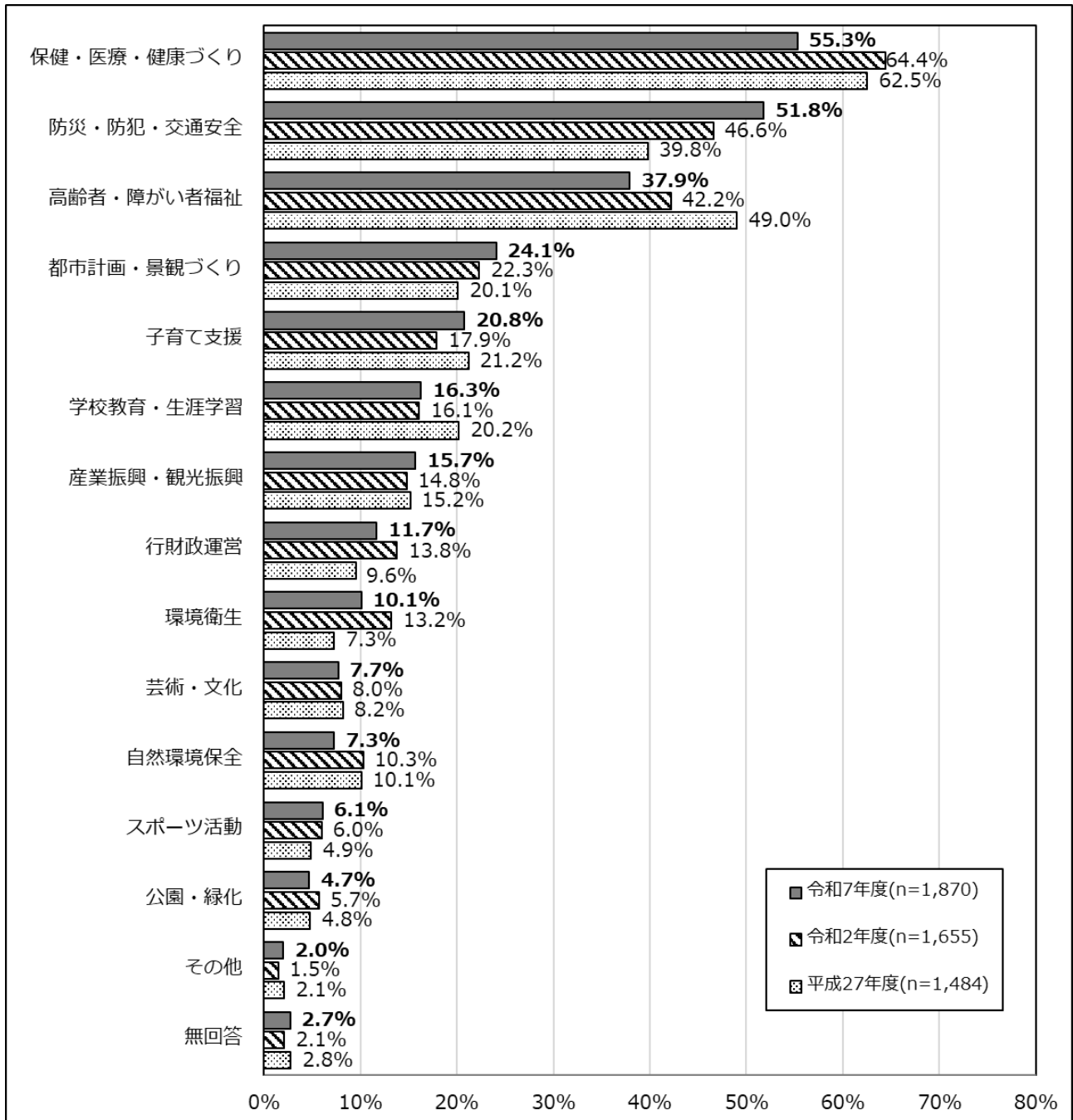
必要とする市の情報については、「保健・医療・健康づくり」が55.3%と最も高くなっています。次いで、「防災・防犯・交通安全」が51.8%、「高齢者・障がい者福祉」が37.9%、「都市計画・景観づくり」が24.1%、「子育て支援」が20.8%、「学校教育・生涯学習」が16.3%と続いています。

前回（令和2年度）調査結果と比較すると、「保健・医療・健康づくり」「高齢者・障がい者福祉」と回答した割合が減少し、「防災・防犯・交通安全」「都市計画・景観づくり」「子育て支援」と回答した割合が増加しています。

図表 必要とする市の情報 [n=1,870] 回答率 (%)



図表 必要とする市の情報の推移 回答率 (%)



問 23 行政サービスのデジタル化評価

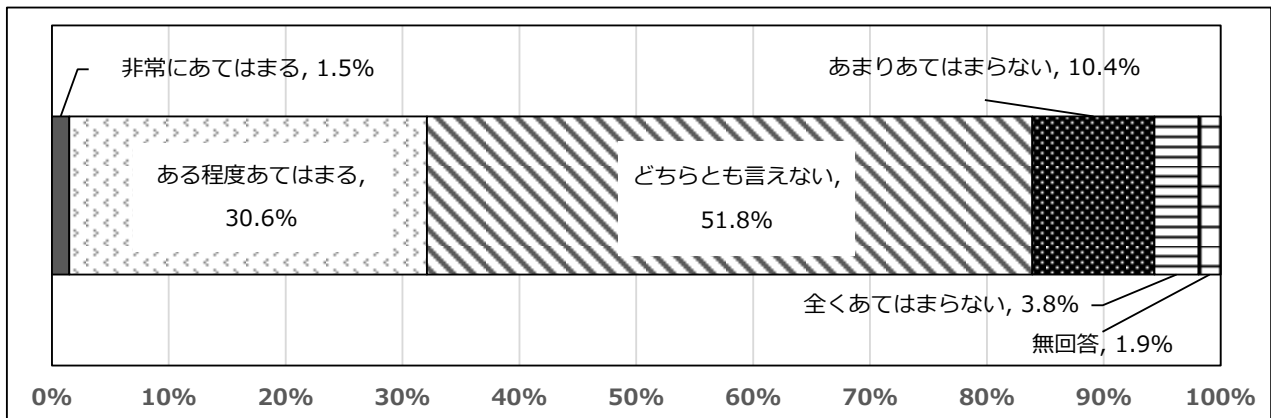
問 23 大田原市では、行政サービスのデジタル化が進んでいると思いますか。
 あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

行政サービスのデジタル化の評価について、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した人の割合は32.1%となっています。一方、「全くあてはまらない」または「あまりあてはまらない」と回答した人の割合は14.2%となっており、「どちらとも言えない」が51.8%で最も多くなっています。

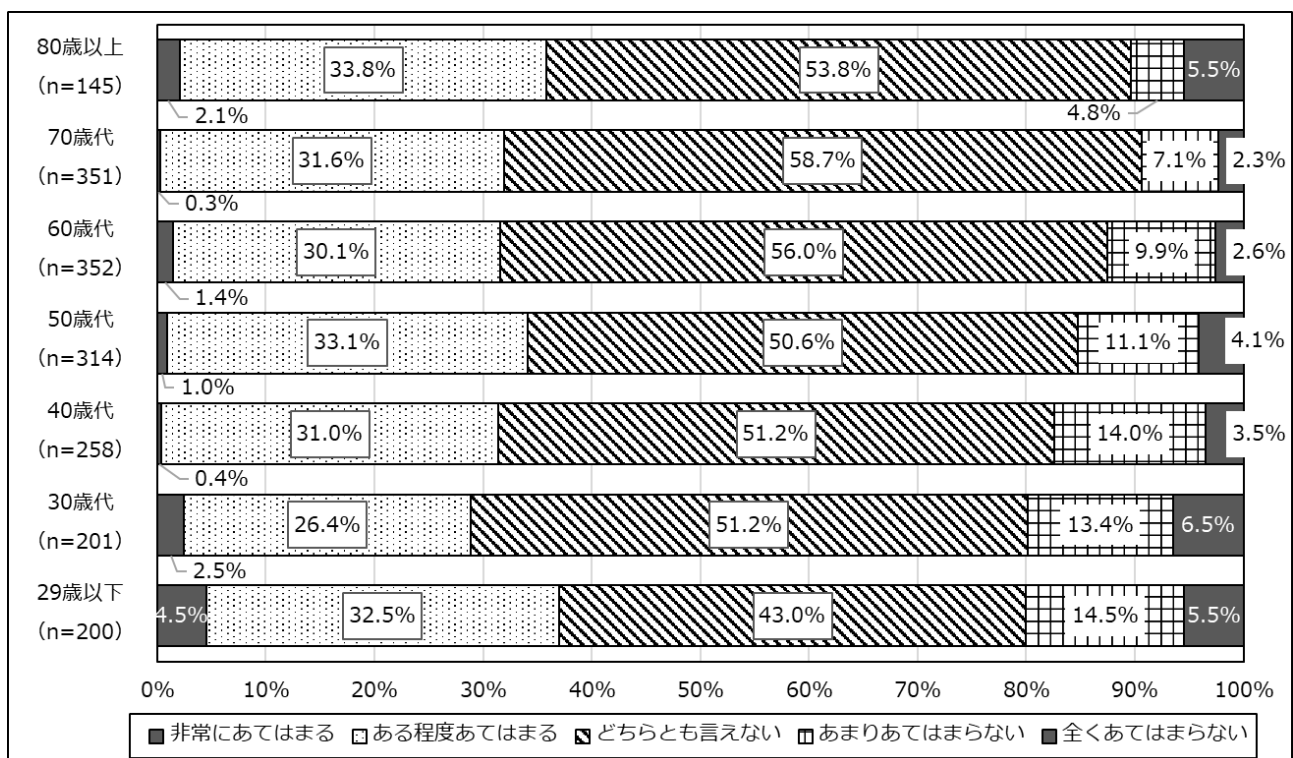
また、年代別にみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した人の割合は、29歳以下の37.0%が最も高く、次いで80歳以上の35.9%、50歳代の34.1%となっています。一方、30歳代では28.9%とやや低い割合となっています。

地区別にみると、「非常にあてはまる」または「ある程度あてはまる」と回答した人の割合は「両郷地区」の47.9%が最も高く、次いで「須賀川地区」の46.2%となっています。

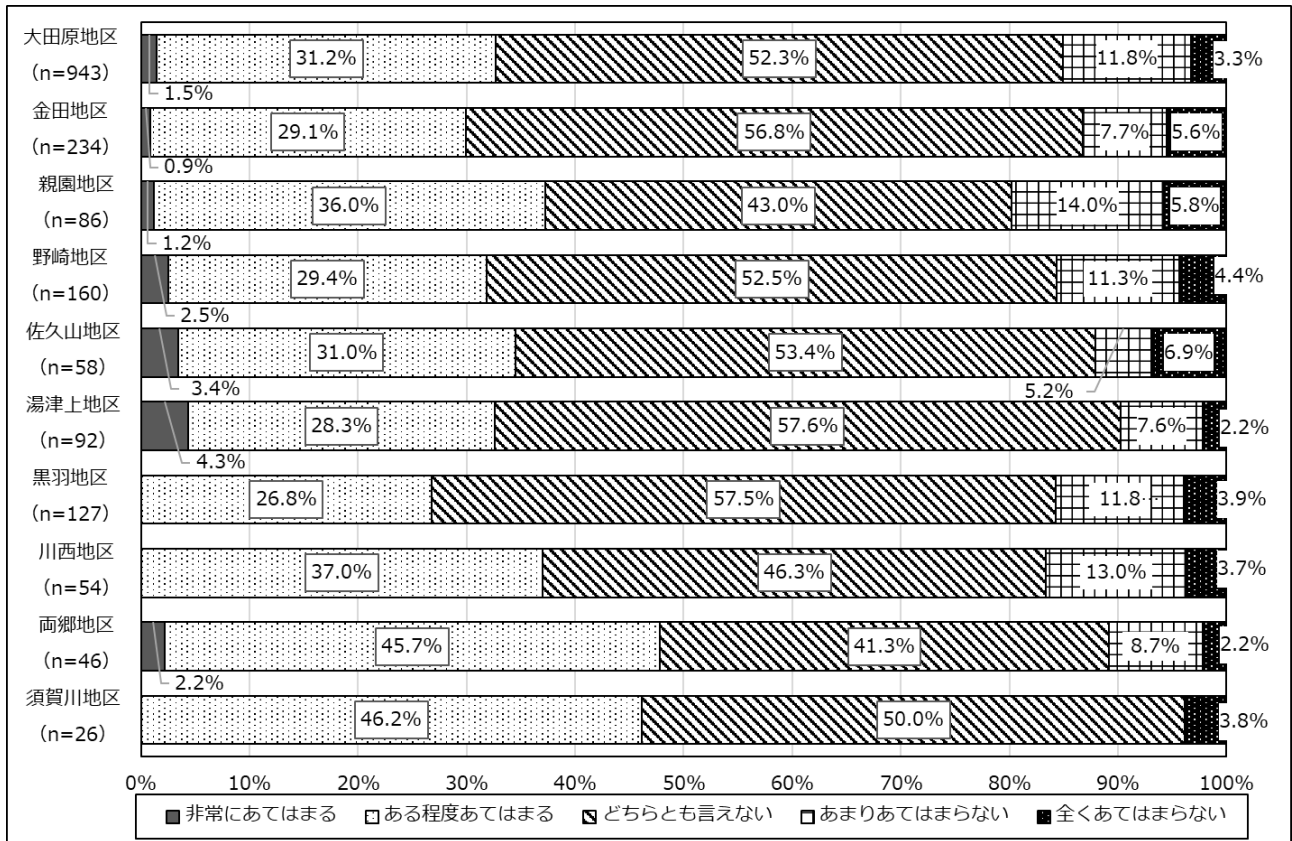
図表 行政サービスのデジタル化評価 [n=1,870] 回答率 (%)



図表 行政サービスのデジタル化評価 (各年代のクロス表) [n=1,821] 回答率 (%)



図表 行政サービスのデジタル化評価（各地域のクロス表） [n=1,826] 回答率（%）



4. 大田原市の施策・事業について

問 24 各事業の満足度・重要度

問 24 以下に示す分野ごとの施策について、どのように感じますか。

次の項目（満足度・重要度）ごとに、あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

(1) 各事業の満足度及び重要度の分析の前提

現在の大田原市総合計画の各施策(計 39 項目)について、皆さまが感じている「満足度（現状の市の対応への評価）」と「重要度（これからのまちづくりへの期待）」をお聞きしました。一般的にアンケート調査では、「どちらともいえない」という中立的な回答が多くなる傾向があります。本アンケートでは、特に優先して推進すべき施策の分野を明確化するため、「どちらともいえない」及び「無回答」の回答は集計の分母から排除しています。具体的には以下の基準で皆さまの評価を点数化し、加重平均を算出しています。中立的な回答を除外して平均化することで、賛否の意思が明確なご意見がスコアに強く反映され、プラスの数値が大きいほど「満足・重要」、マイナスが大きいほど「不満・重要ではない」という傾向がより鮮明になります。

最終的には、この算出された「満足度」と「重要度」のスコアを掛け合わせ、「市民からの重要度（期待）が高いにもかかわらず、満足度（現状の評価）が低い施策」を、市が最優先で取り組むべき課題として抽出します。

図表 評価基準ごとの加重点数

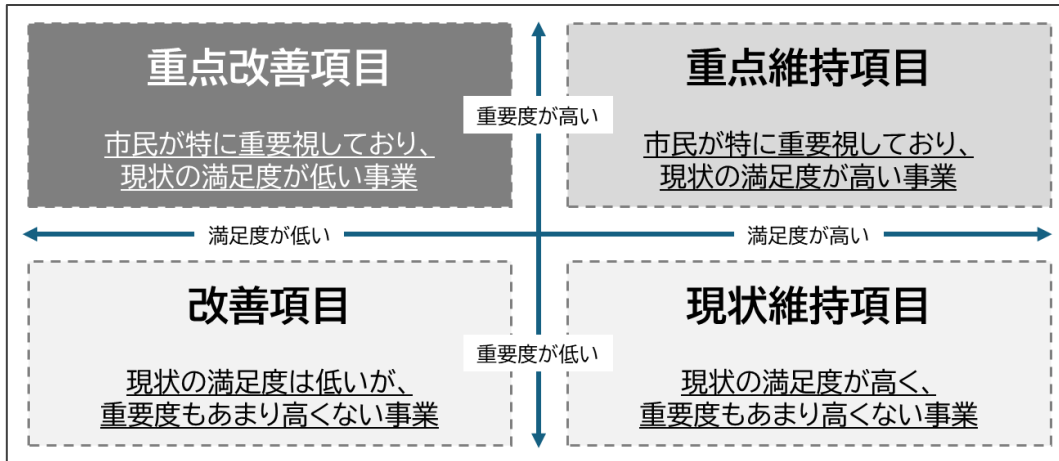
「満足度」の 評価基準 (選択肢)	加重点数	「重要度」の 評価基準 (選択肢)	加重点数
満足	2 ポイント	重要	2 ポイント
やや満足	1 ポイント	やや重要	1 ポイント
どちらともいえない	0 ポイント	どちらともいえない	0 ポイント
やや不満	-1 ポイント	あまり重要ではない	-1 ポイント
不満	-2 ポイント	重要ではない	-2 ポイント

図表 加重平均の算式

満足度	$\begin{aligned} & \left[\begin{array}{l} \text{「満足」} \times (2 \text{ ポイント}) \\ + \text{「やや満足」} \times (1 \text{ ポイント}) \\ + \text{「やや不満」} \times (-1 \text{ ポイント}) \\ + \text{「不満」} \times (-2 \text{ ポイント}) \end{array} \right] \\ & \text{各項目回答者数 (※「どちらともいえない」及び「無回答」の回答を除く)} \end{aligned}$
重要度	$\begin{aligned} & \left[\begin{array}{l} \text{「重要」} \times (2 \text{ ポイント}) \\ + \text{「やや重要」} \times (1 \text{ ポイント}) \\ + \text{「あまり重要ではない」} \times (-1 \text{ ポイント}) \\ + \text{「重要ではない」} \times (-2 \text{ ポイント}) \end{array} \right] \\ & \text{各項目回答者数 (※「どちらともいえない」及び「無回答」の回答を除く)} \end{aligned}$

加重平均により点数化した満足度・重要度のポイントを以下の図表のように集計しています。横軸は現状に対する満足度の高さを、縦軸は市民の皆さんが感じる重要度の高さを示しています。4つの区分の中でも特に、重要度が高く満足度が低い領域は「重点改善項目」となり、優先的な見直しが求められます。

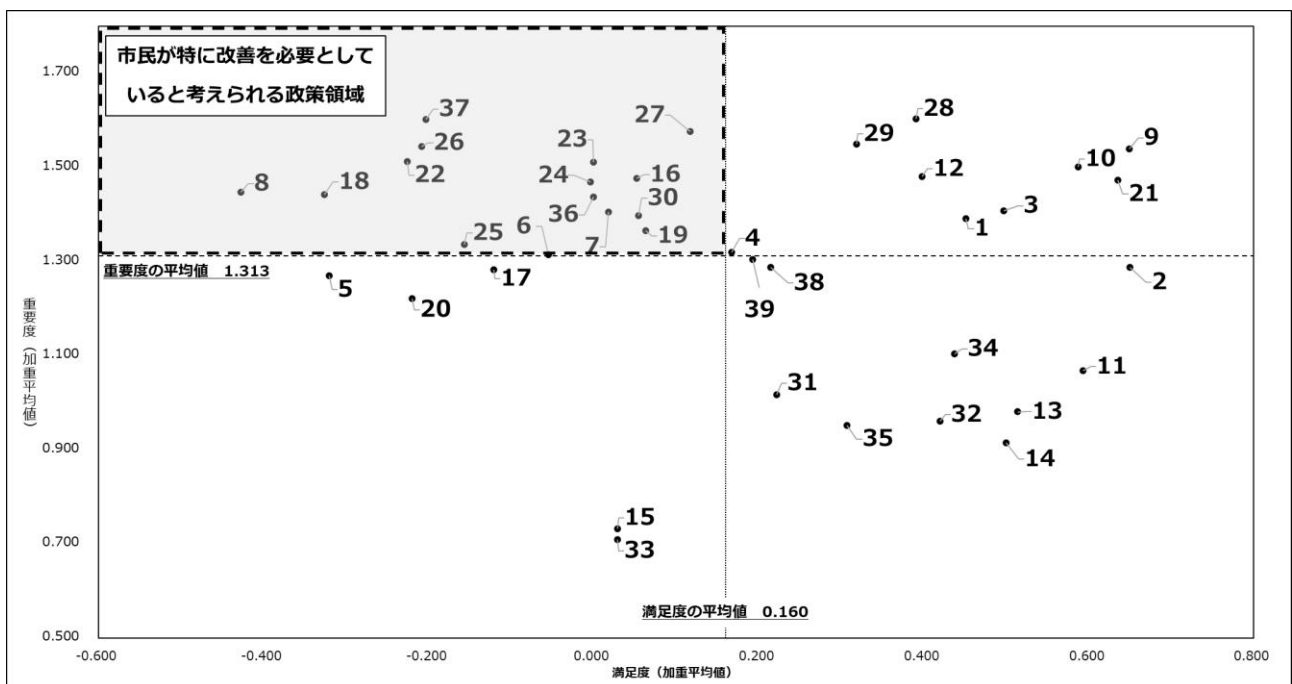
※図表 満足度・重要度の表の見方



(2) 全事業における満足度・重要度の分析

本市の全事業における満足度及び重要度の位置付けのうち、表左上の重要度が施策全体の平均を上回る一方で、満足度は平均を下回る「重点改善項目」に該当する事業であり、計 15 事業あります。具体的には、⑥「都市基盤の整備」、⑦「道路・河川の整備」、⑧「公共交通の整備」、⑬「農業の振興」、⑱「商業の振興」、⑲「工業の振興」、⑳「結婚支援と子育て支援の充実」、㉓「高齢者福祉の充実と介護保険事業の充実」、㉔「障害者にやさしいまちづくりの推進」、㉕「地域福祉の充実と生活困窮者への支援の充実」、㉖「社会保障の充実」、㉗「防犯体制と対策の充実」、㉘「消費者保護対策の充実」、㉚「行政の効率的・効果的運営」、㉛「財政の健全運営」が該当します。

図表 市の各施策に対する満足度と重要度



※横軸は満足度、縦軸は重要度を表し、点線はそれぞれの平均値（満足度 0.160、重要度 1.313）を示しています。

※図表 施策の一覧

項番	施策	項番	施策
1	生活環境の向上	21	健康づくりの推進
2	自然環境の保全	22	結婚支援と子育て支援の充実
3	廃棄物対策の推進	23	高齢者福祉の充実と介護保険事業の充実
4	住宅の整備と多世代が微笑む生活の推進	24	障害者にやさしいまちづくりの推進
5	土地利用対策の推進	25	地域福祉の充実と生活困窮者への支援の充実
6	都市基盤の整備	26	社会保障の充実
7	道路・河川の整備	27	防犯体制と対策の充実
8	公共交通の整備	28	防災体制の充実
9	上水道の健全な運営	29	交通安全対策の推進
10	下水道の整備	30	消費者保護対策の充実
11	生涯学習社会づくりの推進	31	市民参加行政の推進
12	生きる力を育む学校教育の推進	32	広報広聴活動の充実
13	文化・芸術の振興	33	自治会・コミュニティの活性化
14	スポーツ・レクリエーションの振興	34	人権尊重意識の普及と高揚
15	国際化への対応と国内交流の推進	35	男女共同参画の推進
16	農業の振興	36	行政の効率的・効果的運営
17	林業の振興	37	財政の健全運営
18	商業の振興	38	広域連携の推進
19	工業の振興	39	地域情報化の推進
20	観光の振興	—	

※灰色に色付けている施策が「重点改善項目」に該当する施策

※この分析は全施策の中での市民の皆さんの認識をもとに分類・整理したものであり、図表左上の「重点改善項目」以外の施策が重要でないことを意味するものではありません。

(3) 分野ごとの傾向

■ 基本政策 1 豊かな自然と調和する、安らぎある快適な環境のまちづくり

①基本政策 1 の各事業間の満足度・重要度

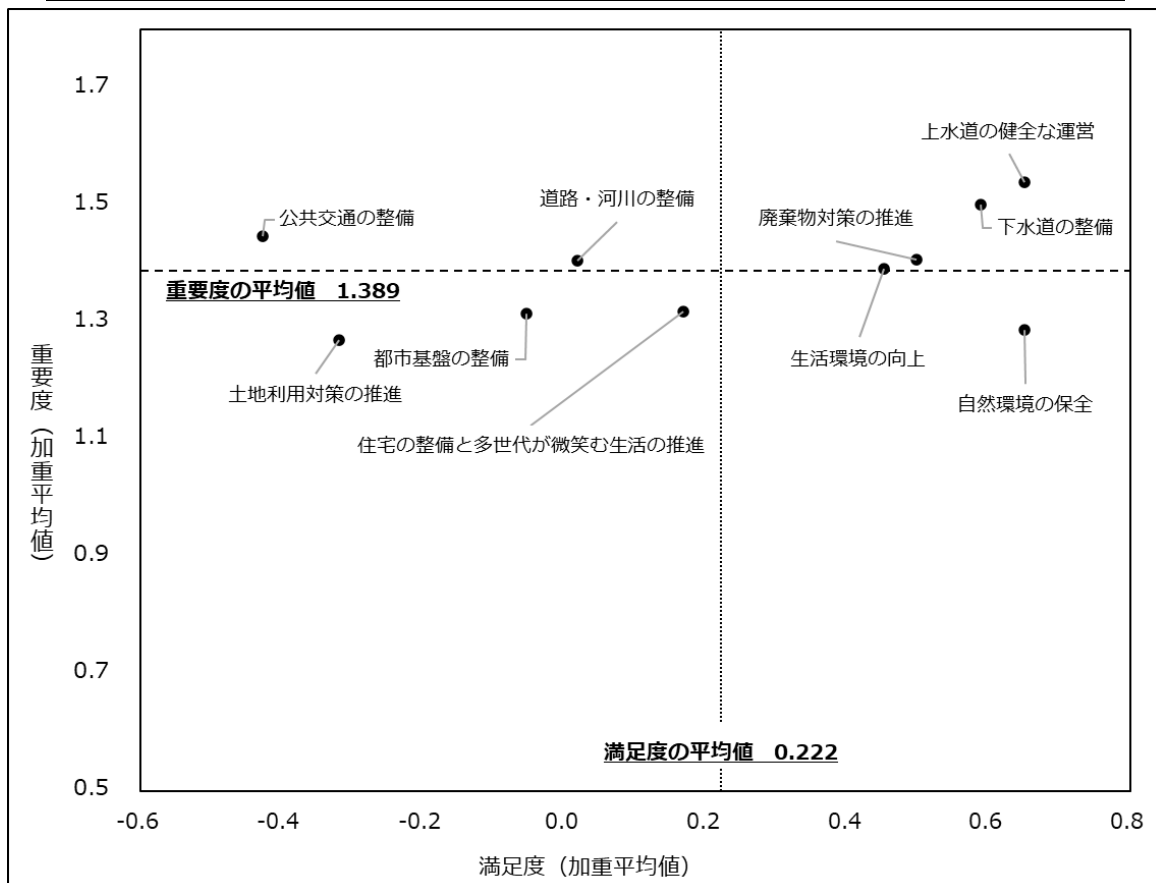
基本政策 1 の各事業における満足度及び重要度の位置付けをみると、表左上に位置する「公共交通の整備」「道路・河川の整備」は、重要度が政策全体の平均を上回る一方で、満足度は平均を下回っており、政策的な対応の優先度が高い「重点改善項目」に該当します。とりわけ公共交通の整備は重要度が高く、市民生活への影響が大きい分野であることから、利便性や運行内容の見直しなど、具体的な改善策の検討が求められます。

次に、表右上の「上水道の健全な運営」「下水道の整備」「廃棄物対策の推進」「生活環境の向上」は、満足度・重要度ともに施策全体の平均を上回っており、市民から高い評価を得ている分野です。生活基盤を支えるインフラとして重要性も高いことから、現状の水準を維持しつつ、安定的かつ持続可能な運営を継続していくことが重要です。

また、表左下の「都市基盤の整備」「土地利用対策の推進」「住宅の整備と多世代が微笑む生活の推進」は、満足度・重要度ともに平均を下回る位置にあります。相対的な優先度は高くないものの、まちづくりの基礎となる事業であることを踏まえ、計画的かつ着実な取組の推進が必要であると考えられます。

さらに、表右下の「自然環境の保全」は、満足度は平均を上回っている一方で、重要度は平均を下回っています。現状の取組に対する評価は一定程度得られていることから、当面は現状水準の維持を基本としつつ、社会情勢や市民意識の変化を踏まえながら、必要に応じて重点化を検討していくことが望まれます。

図表 基本政策 1 の各事業間の満足度・重要度 [n=1,780] 加重平均 (ポイント)



※横軸は満足度、縦軸は重要度を表し、点線はそれぞれの平均値 (満足度 0.222、重要度 1.389) を示しています。

②事業別の集計結果

➤ 1 生活環境の向上

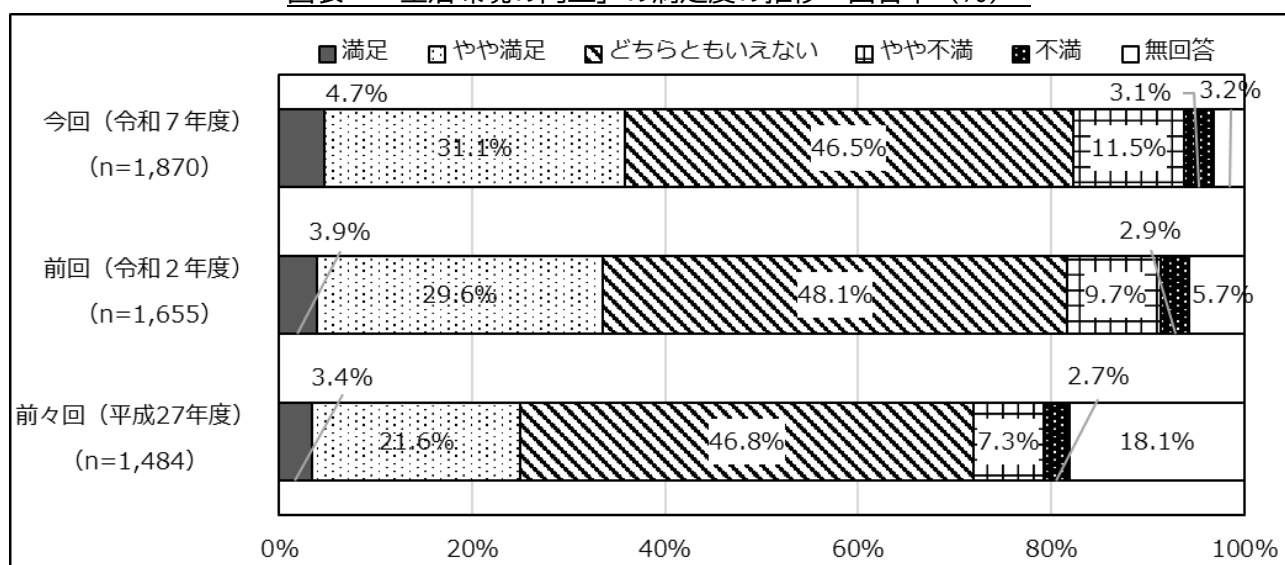
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は **35.8%**で、前回（令和2年度）の調査時点（33.5%）と比較すると、**2.3ポイント増**となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は **14.6%**で、前回の調査時点（12.6%）と比較すると、**2.0ポイント増**となっています。

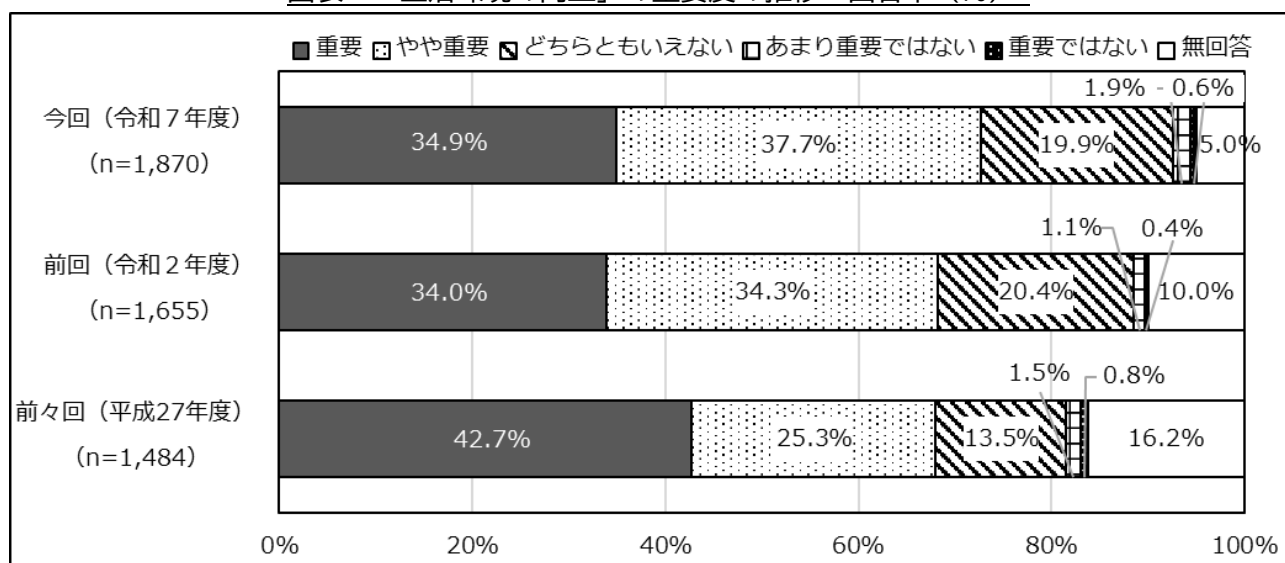
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は **72.6%**で、前回（令和2年度）の調査時点（68.3%）と比較すると、**4.3ポイント増**となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は **2.5%**で、前回の調査時点（1.5%）と比較すると、**1.0ポイント増**となっています。

図表 「生活環境の向上」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「生活環境の向上」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 2 自然環境の保全

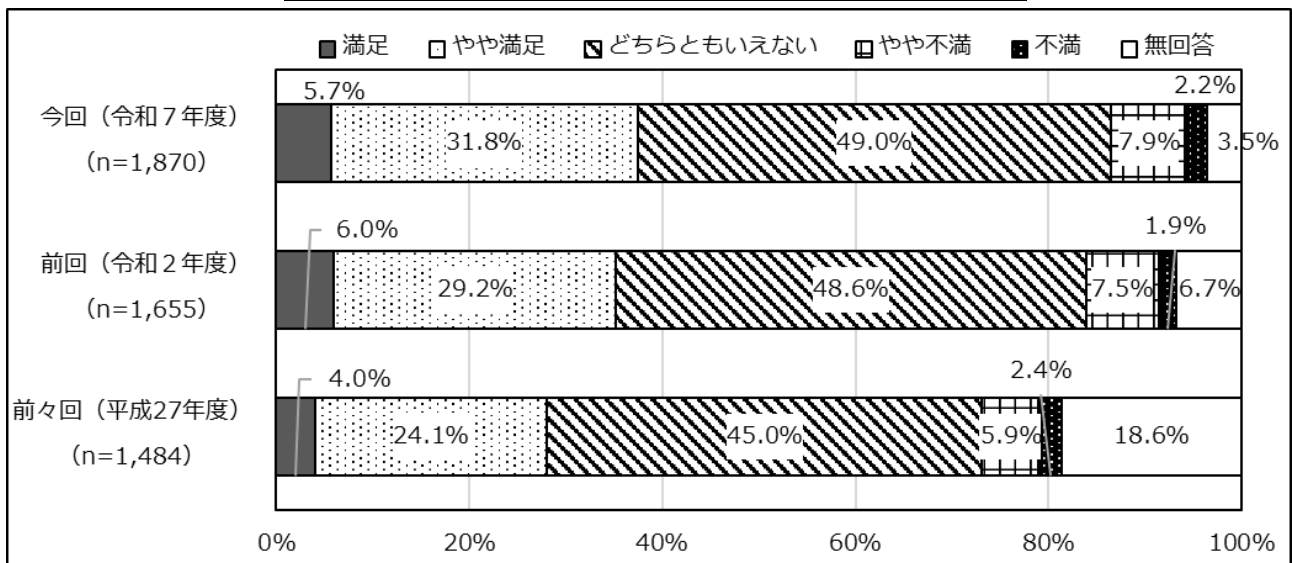
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は 37.5%で、前回（令和 2 年度）の調査時点（35.2%）と比較すると、2.3 ポイント増となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は 10.1%で、前回の調査時点（9.4%）と比較すると、0.7 ポイント増となっています。

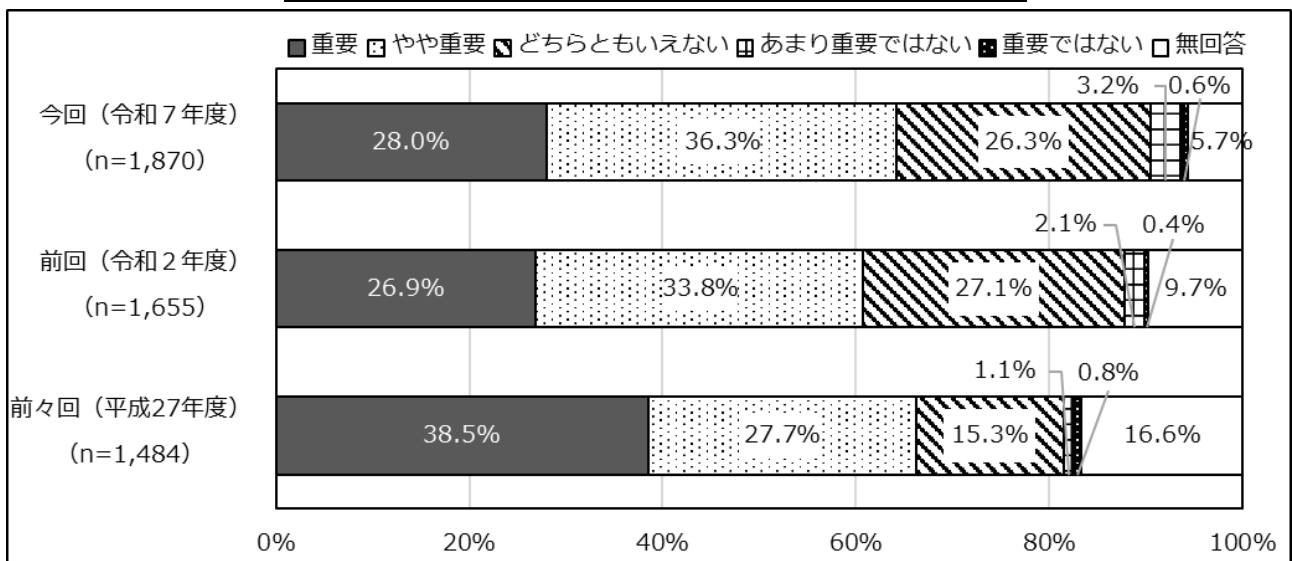
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は 64.3%で、前回（令和 2 年度）の調査時点（60.7%）と比較すると、3.6 ポイント増となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は 3.8%で、前回の調査時点（2.5%）と比較すると、1.3 ポイント増となっています。

図表 「自然環境の保全」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「自然環境の保全」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 3 廃棄物対策の推進

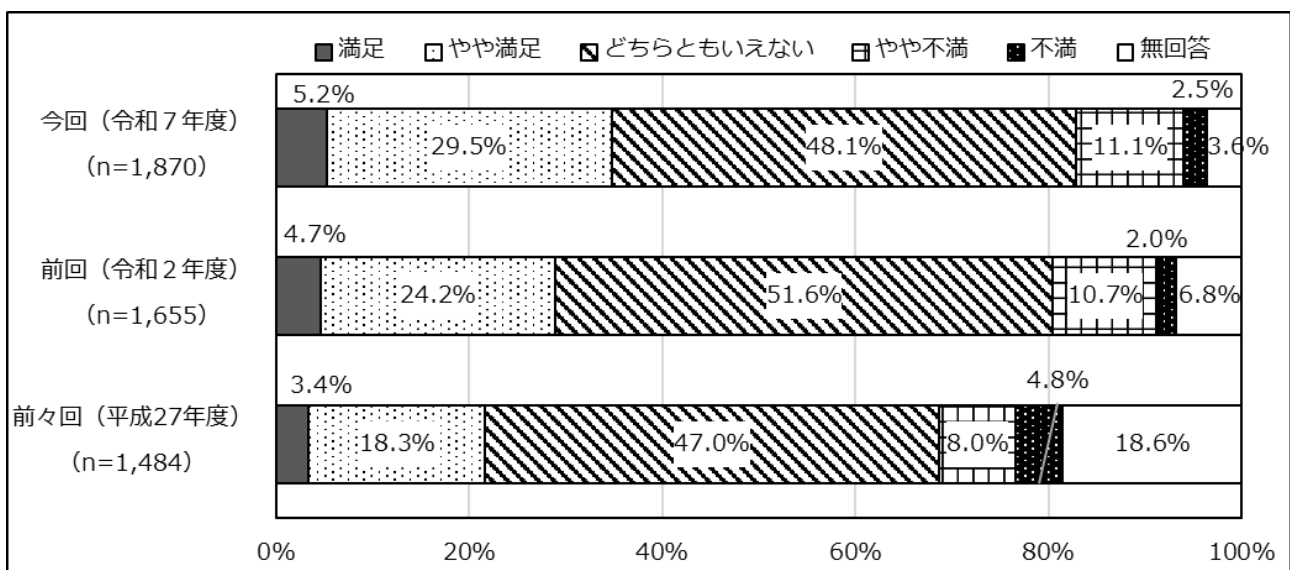
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は **34.7%**で、前回（令和2年度）の調査時点（28.9%）と比較すると、**5.8ポイント増**となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は **13.6%**で、前回の調査時点（12.7%）と比較すると、**0.9ポイント増**となっています。

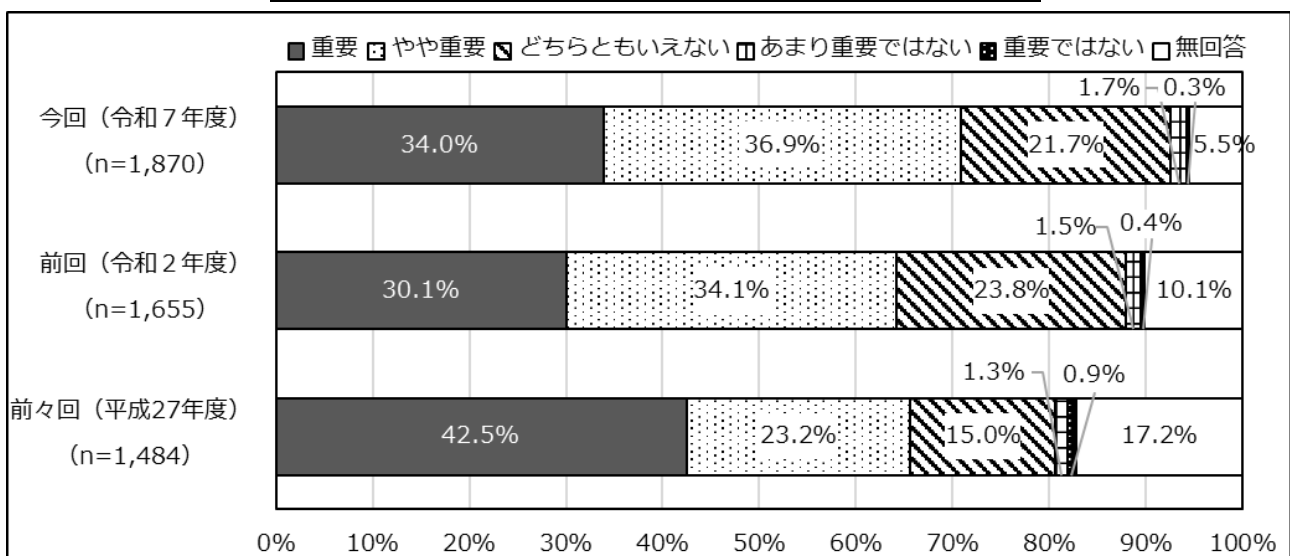
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は **70.9%**で、前回（令和2年度）の調査時点（64.2%）と比較すると、**6.7ポイント増**となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は **2.0%**で、前回の調査時点（1.9%）と比較すると、**0.1ポイント増**となっています。

図表 「廃棄物対策の推進」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「廃棄物対策の推進」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 4 住宅の整備と多世代が微笑む生活の推進

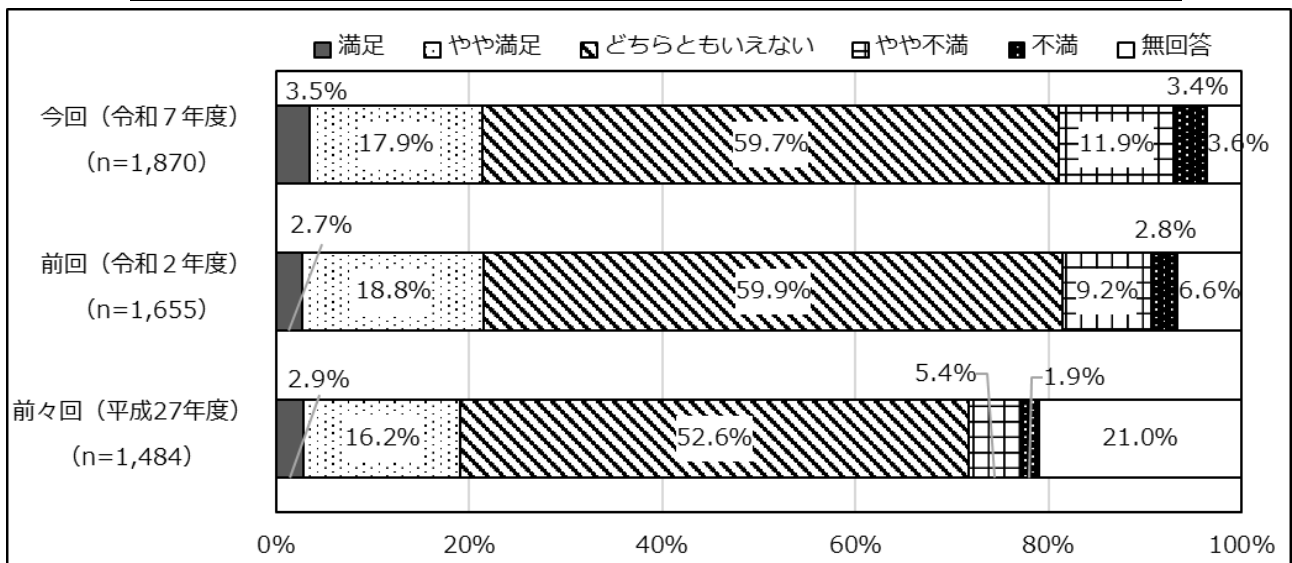
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は **21.4%** で、前回（令和 2 年度）の調査時点（21.5%）と比較すると、**0.1 ポイント減** となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は **15.3%** で、前回の調査時点（12.0%）と比較すると、**3.3 ポイント増** となっています。

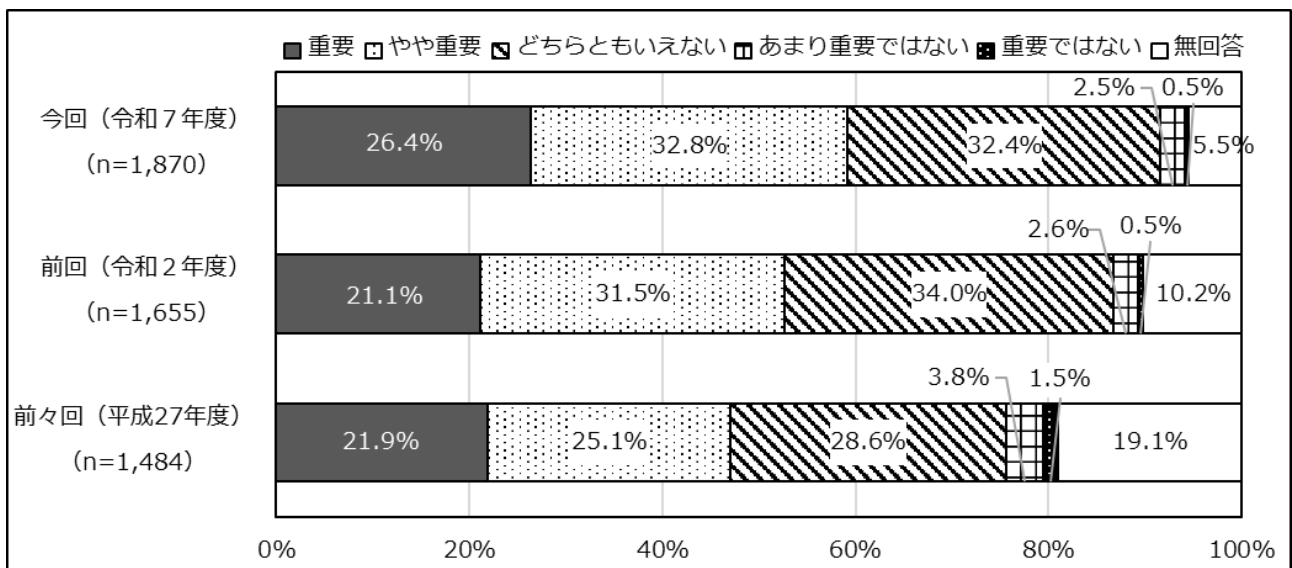
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は **59.2%** で、前回（令和 2 年度）の調査時点（52.6%）と比較すると、**6.6 ポイント増** となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は **3.0%** で、前回の調査時点（3.1%）と比較すると、**0.1 ポイント減** となっています。

図表 「住宅の整備と多世代が微笑む生活の推進」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「住宅の整備と多世代が微笑む生活の推進」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 5 土地利用対策の推進

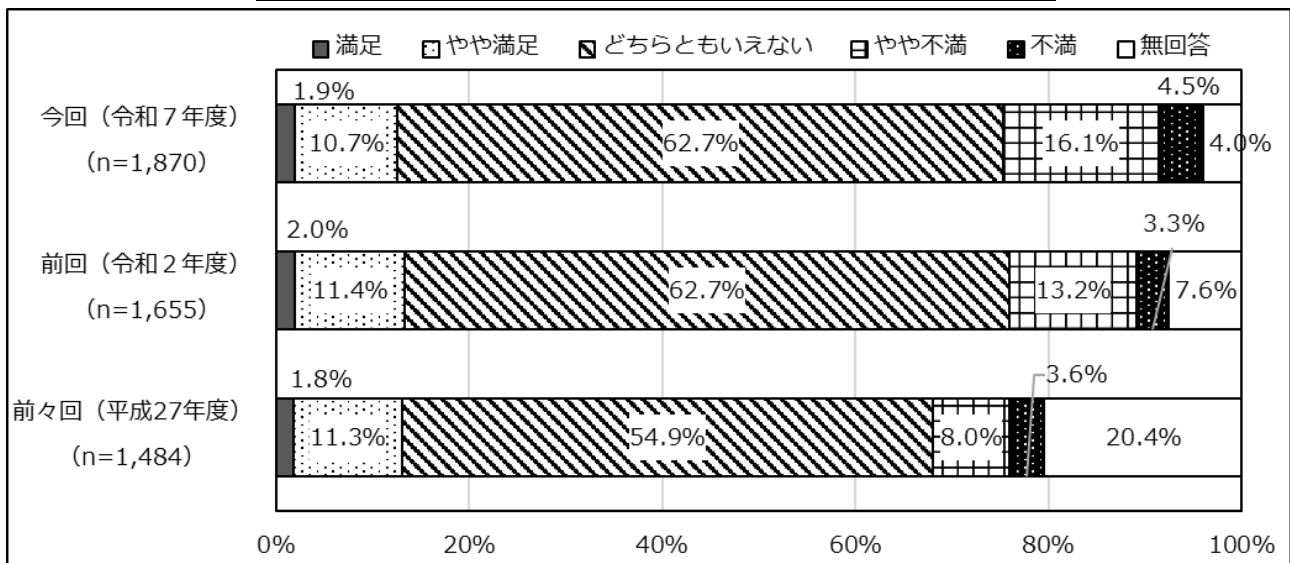
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は12.6%で、前回（令和2年度）の調査時点（13.4%）と比較すると、0.8ポイント減となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は20.6%で、前回の調査時点（16.5%）と比較すると、4.1ポイント増となっています。

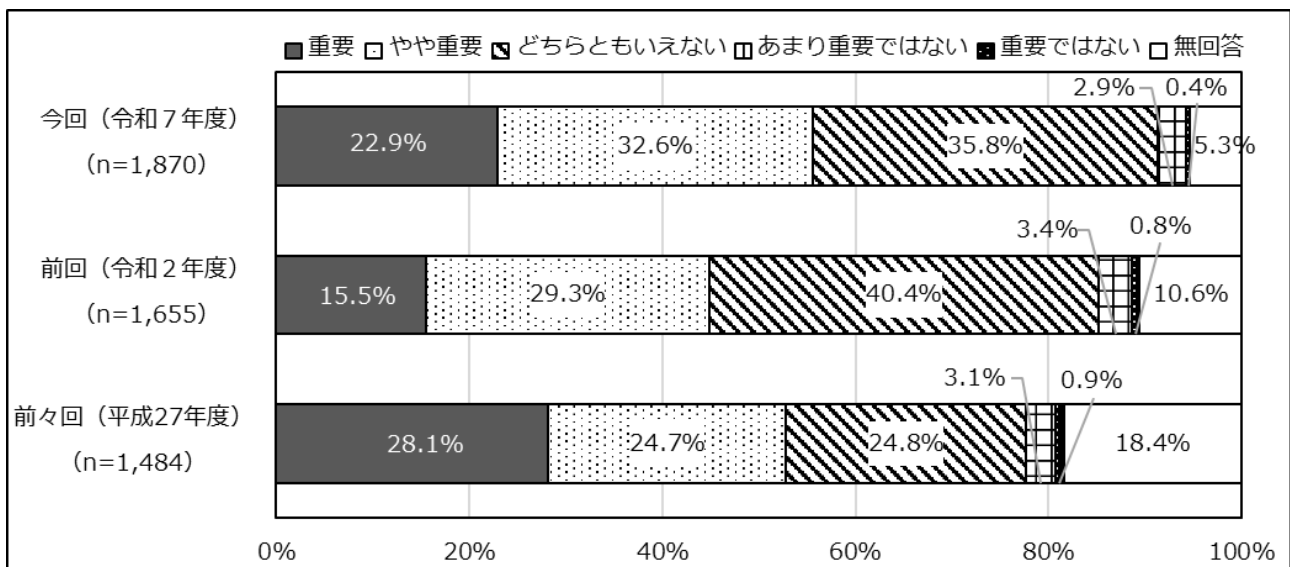
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は55.5%で、前回（令和2年度）の調査時点（44.8%）と比較すると、10.7ポイント増となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は3.3%で、前回の調査時点（4.2%）と比較すると、0.9ポイント減となっています。

図表 「土地利用対策の推進」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「土地利用対策の推進」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 6 都市基盤の整備

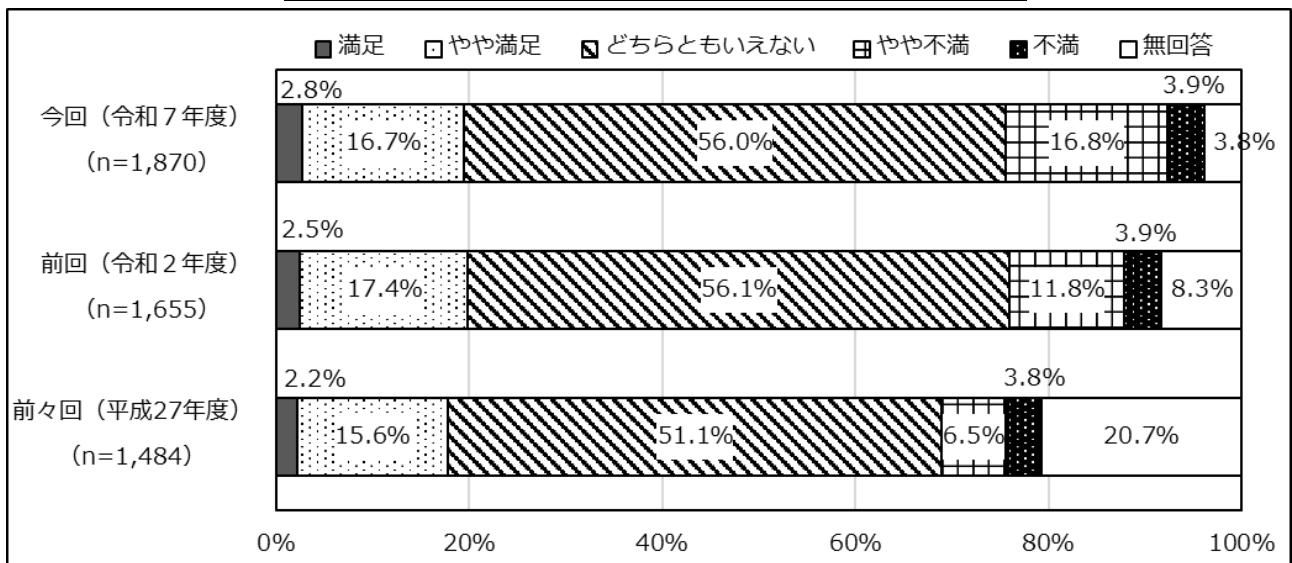
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は **19.5%** で、前回（令和 2 年度）の調査時点（19.9%）と比較すると、**0.4 ポイント減** となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は **20.7%** で、前回の調査時点（15.7%）と比較すると、**5.0 ポイント増** となっています。

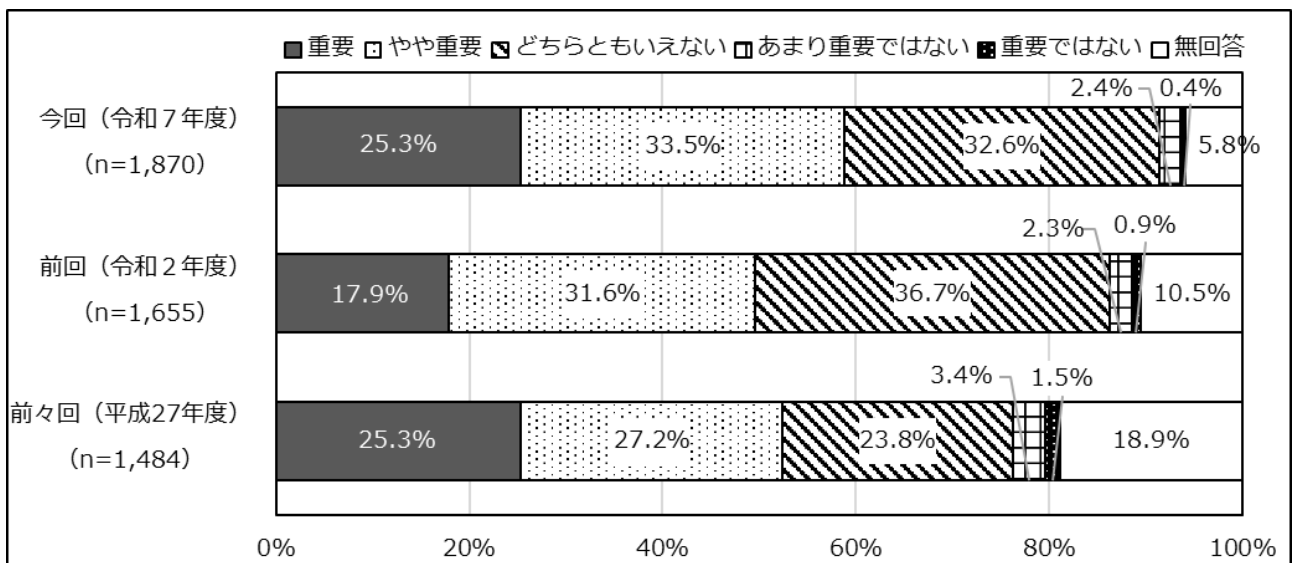
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は **58.8%** で、前回（令和 2 年度）の調査時点（49.5%）と比較すると、**9.3 ポイント増** となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は **2.8%** で、前回の調査時点（3.2%）と比較すると、**0.4 ポイント減** となっています。

図表 「都市基盤の整備」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「都市基盤の整備」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 7 道路・河川の整備

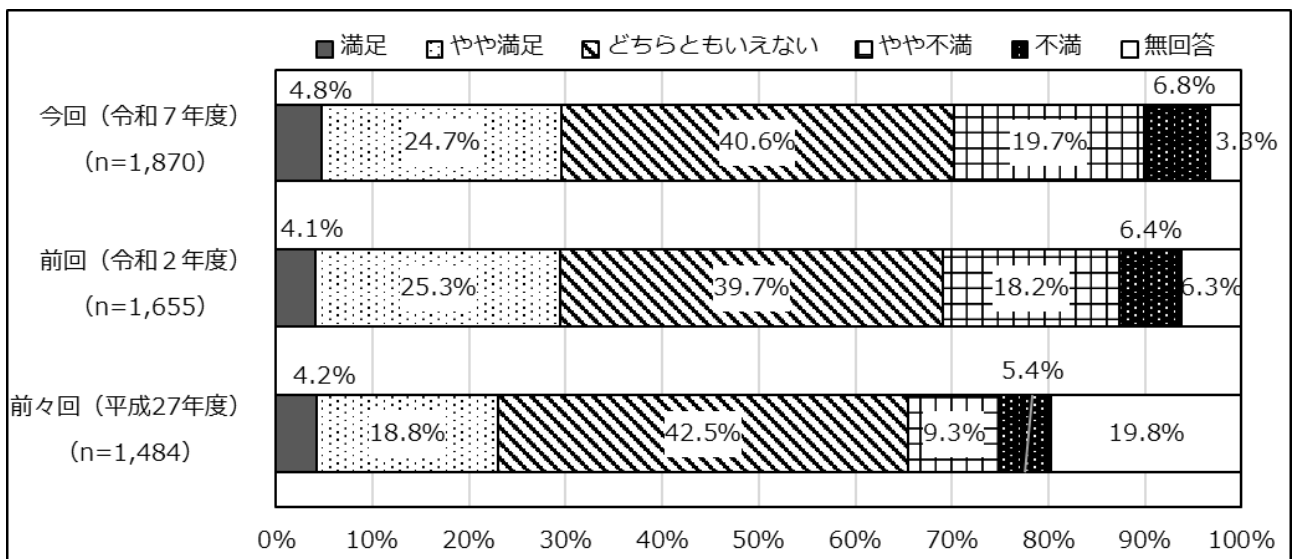
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は **29.5%** で、前回（令和 2 年度）の調査時点（29.4%）と比較すると、**0.1 ポイント増** となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は **26.5%** で、前回の調査時点（24.6%）と比較すると、**1.9 ポイント増** となっています。

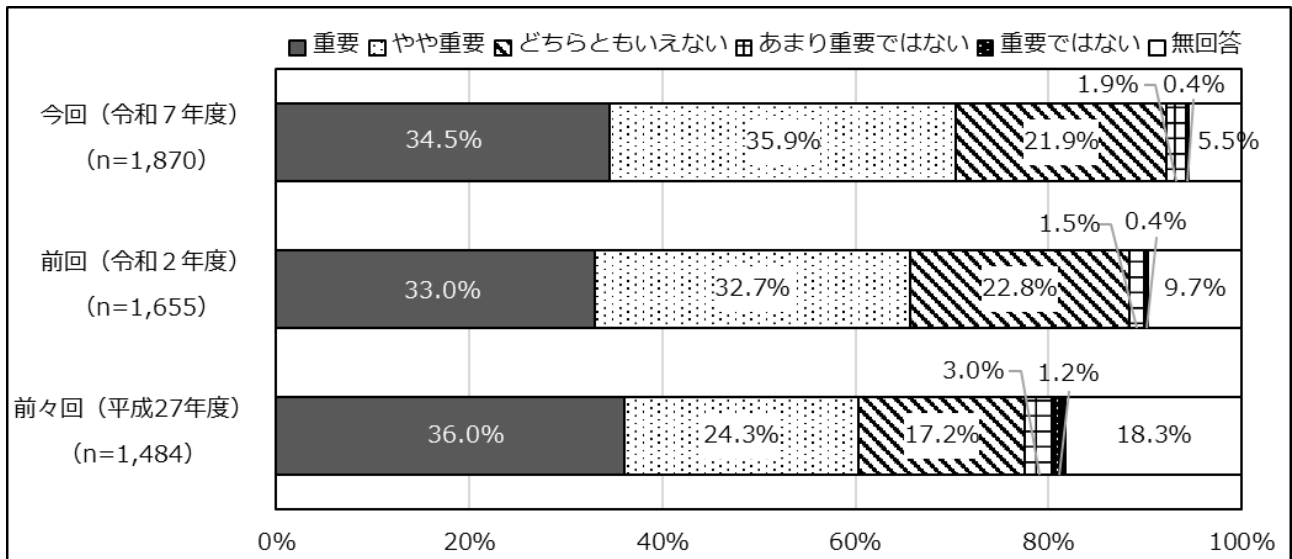
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は **70.4%** で、前回（令和 2 年度）の調査時点（65.7%）と比較すると、**4.7 ポイント増** となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は **2.3%** で、前回の調査時点（1.9%）と比較すると、**0.4 ポイント増** となっています。

図表 「道路・河川の整備」の満足度の推移 回答率 (%)



図表 「道路・河川の整備」の重要度の推移 回答率 (%)



➤ 8 公共交通の整備

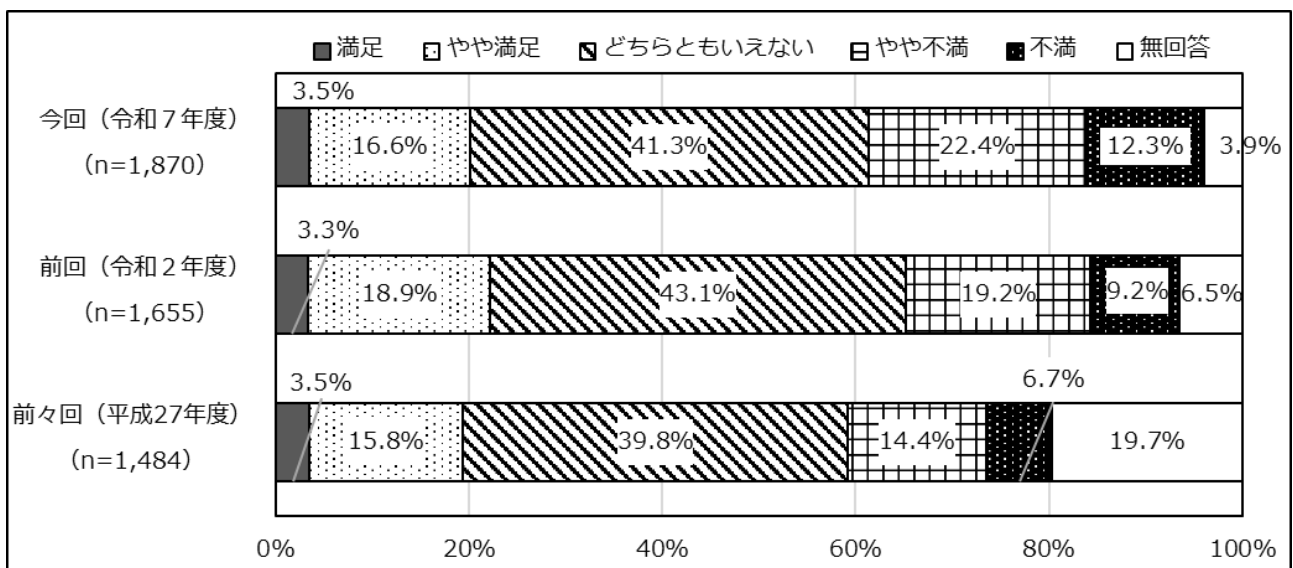
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は **20.1%**で、前回（令和2年度）の調査時点（22.2%）と比較すると、**2.1ポイント減**となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は **34.7%**で、前回の調査時点（28.4%）と比較すると、**6.3ポイント増**となっています。

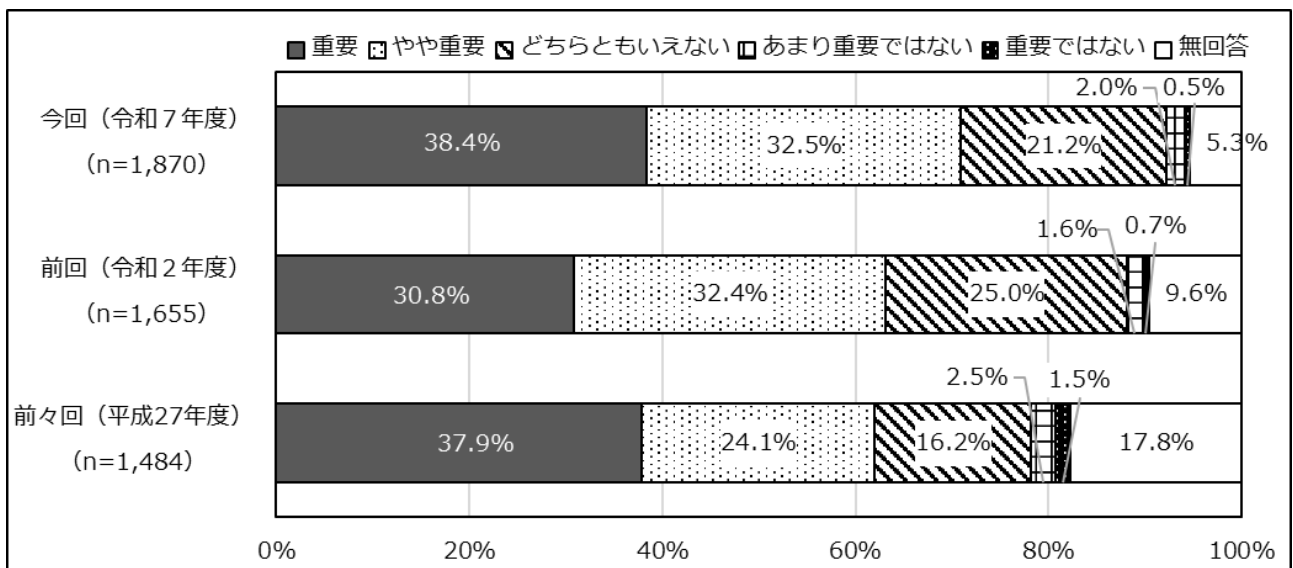
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は **70.9%**で、前回（令和2年度）の調査時点（63.2%）と比較すると、**7.7ポイント増**となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は **2.5%**で、前回の調査時点（2.3%）と比較すると、**0.2ポイント増**となっています。

図表 「公共交通の整備」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「公共交通の整備」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 9 上水道の健全な運営

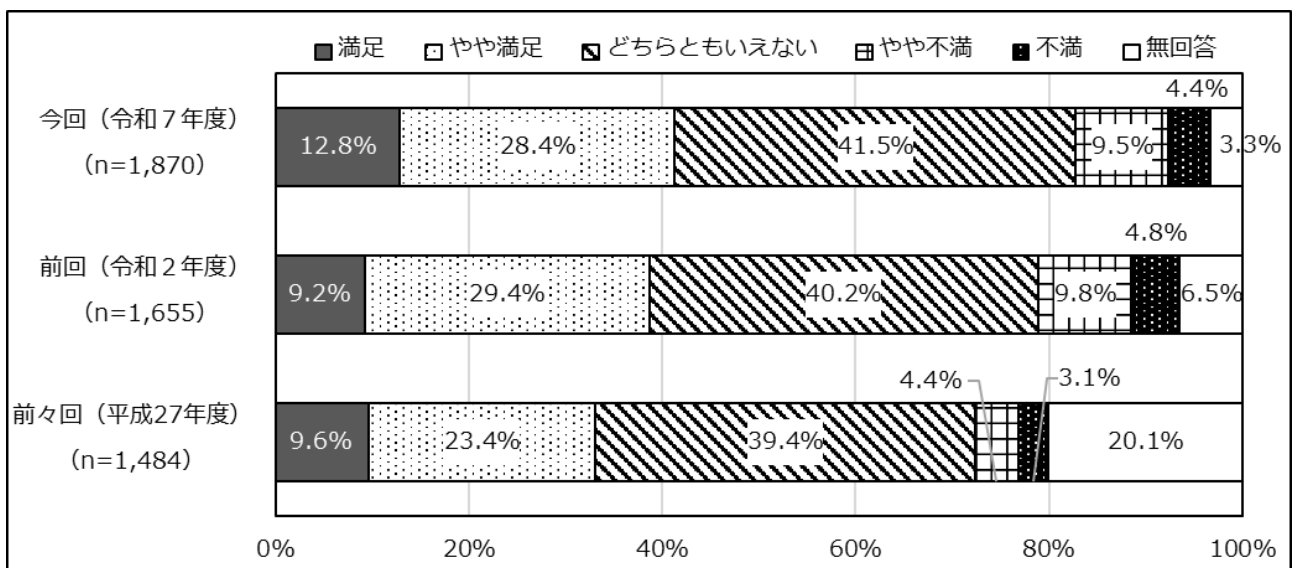
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は **41.2%** で、前回（令和 2 年度）の調査時点（38.6%）と比較すると、**2.6 ポイント増** となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は **13.9%** で、前回の調査時点（14.6%）と比較すると、**0.7 ポイント減** となっています。

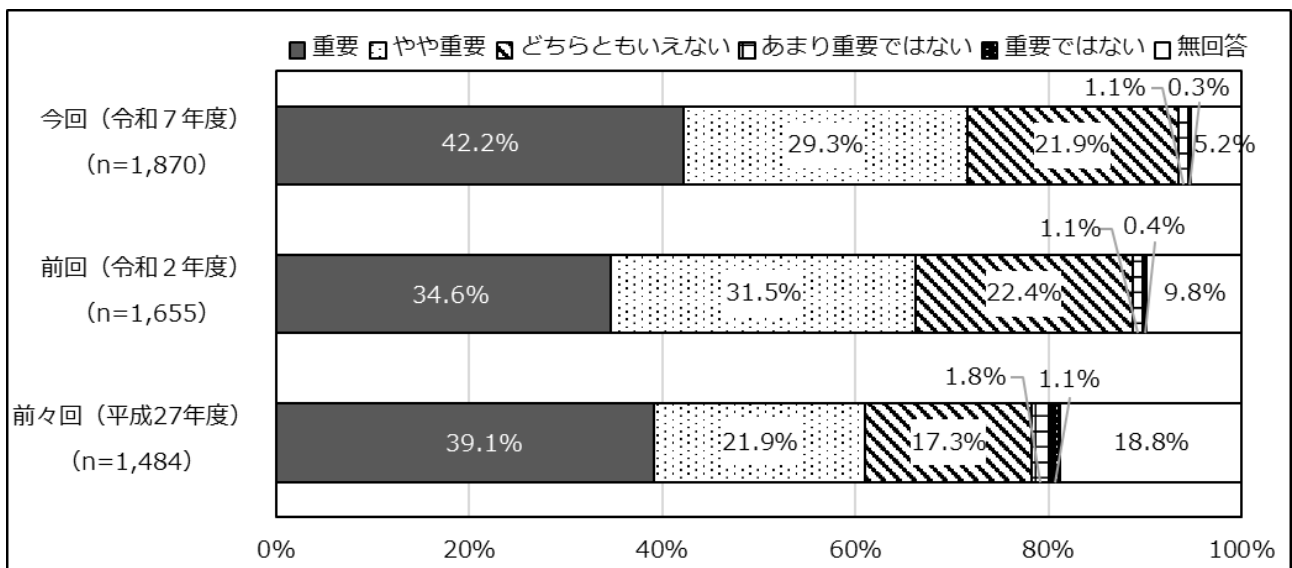
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は **71.5%** で、前回（令和 2 年度）の調査時点（66.1%）と比較すると、**5.4 ポイント増** となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は **1.4%** で、前回の調査時点（1.5%）と比較すると、**0.1 ポイント減** となっています。

図表 「上水道の健全な運営」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「上水道の健全な運営」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 10 下水道の整備

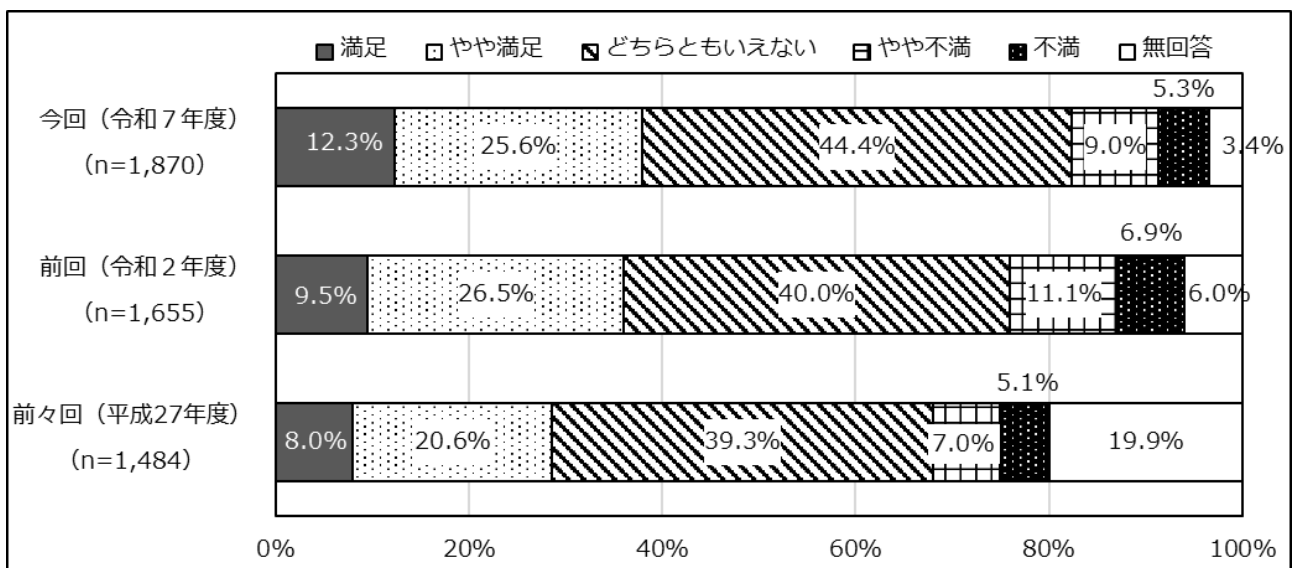
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は **37.9%**で、前回（令和2年度）の調査時点（36.0%）と比較すると、**1.9ポイント増**となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は **14.3%**で、前回の調査時点（18.0%）と比較すると、**3.7ポイント減**となっています。

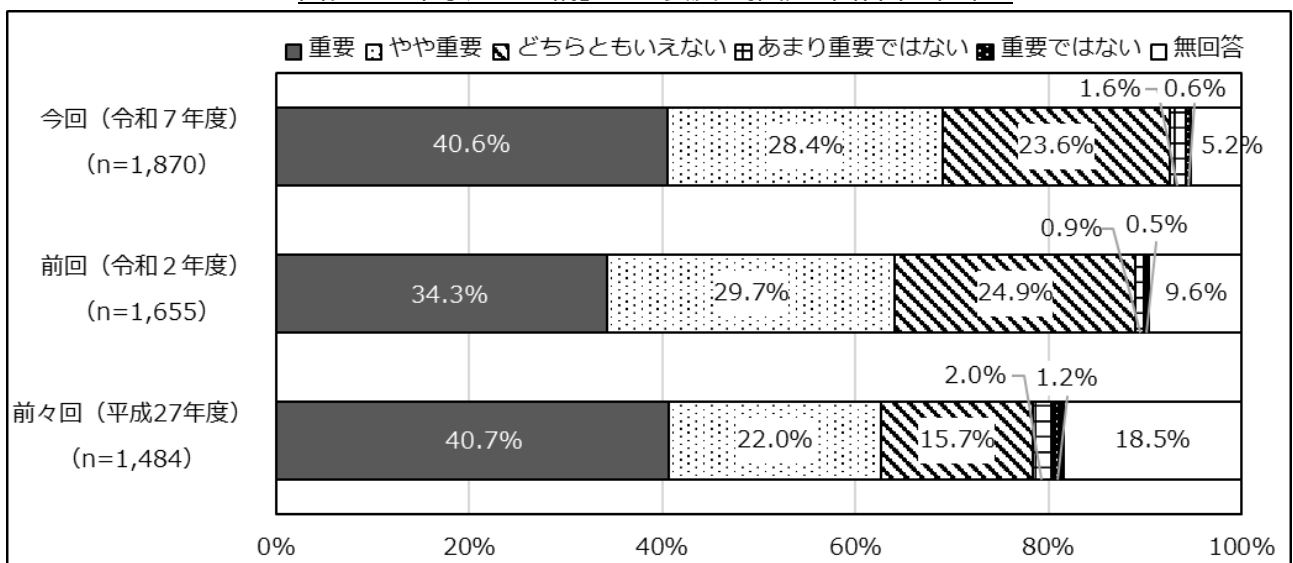
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は **69.0%**で、前回（令和2年度）の調査時点（64.0%）と比較すると、**5.0ポイント増**となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は **2.2%**で、前回の調査時点（1.4%）と比較すると、**0.8ポイント増**となっています。

図表 「下水道の整備」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「下水道の整備」の重要度の推移 回答率（%）



■ 基本政策 2 歴史や伝統文化を継承し、豊かな心を育むまちづくり

①基本政策 2 の各事業間の満足度・重要度

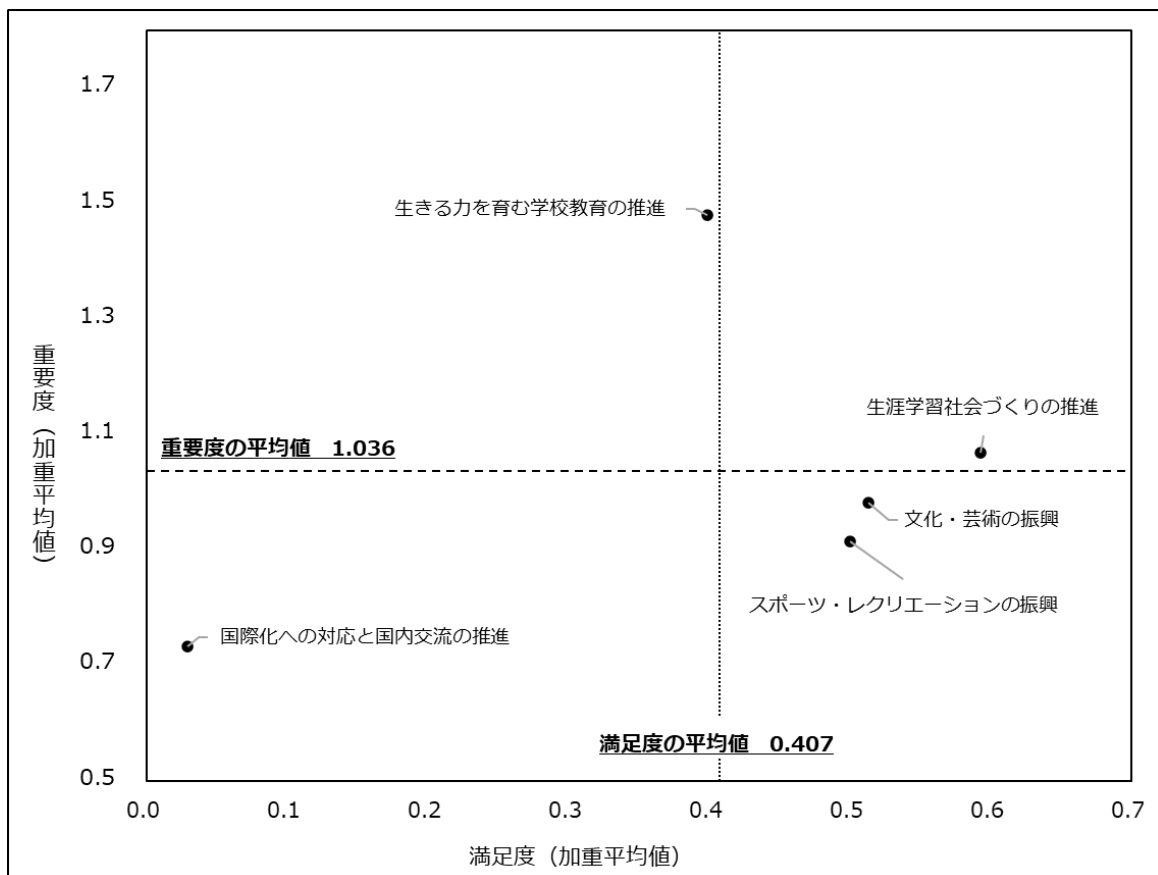
基本政策 2 の各事業における満足度及び重要度の位置付けをみると、表左上に位置する「生きる力を育む学校教育の推進」は、重要度が政策全体の平均を上回る一方で、満足度は平均を下回っており、政策的な対応の優先度が高い「重点改善項目」に該当します。教育内容の充実や学習環境の整備など、具体的な取組の強化が求められます。

次に、表右上に位置する「生涯学習社会づくりの推進」は、満足度・重要度ともに政策全体の平均を上回っており、市民から一定の評価を得ている分野です。生涯を通じた学びの機会の確保は今後予想される更なる高齢化に伴い重要性が高まる分野であるため、現状の水準を維持しつつ、さらなる充実を図っていく必要があります。

また、表左下に位置する「国際化への対応と国内交流の推進」は、満足度・重要度ともに平均を下回っています。相対的な優先度は高くないものの、グローバル化の進展を踏まえると、将来的な必要性を見据えながら、段階的かつ計画的な取組を進めていくことが求められます。

最後に、表右下に位置する「文化・芸術の振興」「スポーツ・レクリエーションの振興」は、満足度は平均を上回っている一方で、重要度は平均を下回っています。現状の取組に対する評価は比較的高いことから、当面は現在の水準を維持しつつ、市民ニーズの動向を踏まえた対応が求められます。

図表 基本政策 2 の各事業間の満足度・重要度 [n=1,780] 加重平均 (ポイント)



※横軸は満足度、縦軸は重要度を表し、点線はそれぞれの平均値 (満足度 0.407、重要度 1.036) を示しています。

②事業別の集計結果

➤ 11 生涯学習社会づくりの推進

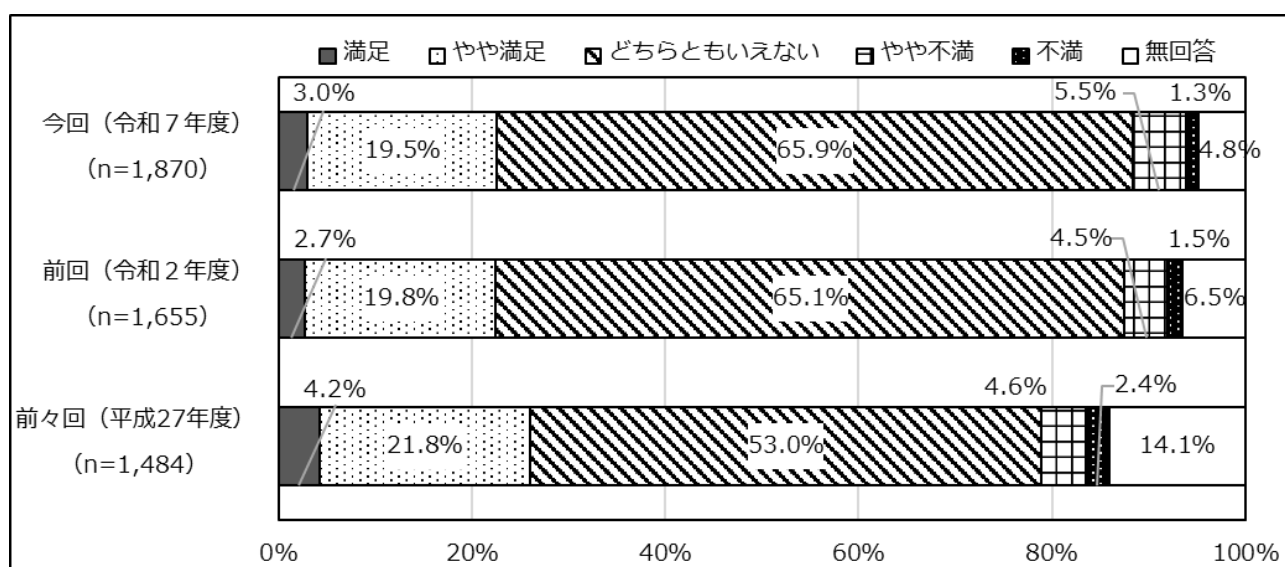
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は 22.5%で、前回（令和 2 年度）の調査時点（22.5%）と比較すると、同じ値となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は 6.8%で、前回の調査時点（6.0%）と比較すると、0.8 ポイント増となっています。

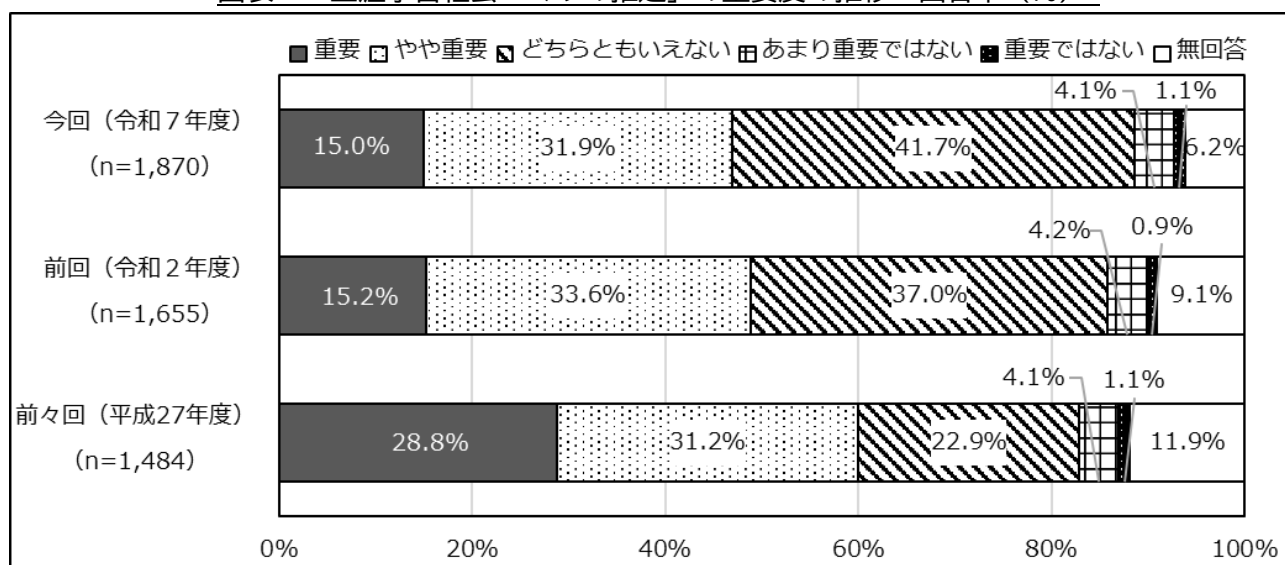
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は 46.9%で、前回（令和 2 年度）の調査時点（48.8%）と比較すると、1.9 ポイント減となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は 5.2%で、前回の調査時点（5.1%）と比較すると、0.1 ポイント増となっています。

図表 「生涯学習社会づくりの推進」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「生涯学習社会づくりの推進」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 12 生きる力を育む学校教育の推進

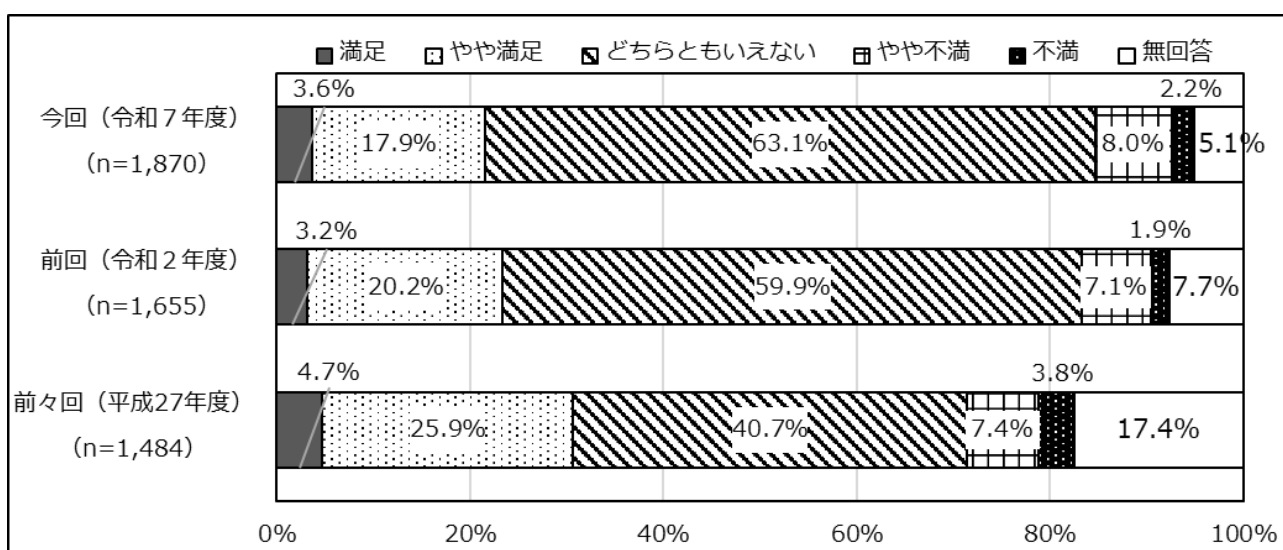
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は 21.5%で、前回（令和 2 年度）の調査時点（23.4%）と比較すると、1.9 ポイント減となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は 10.2%で、前回の調査時点（9.0%）と比較すると、1.2 ポイント増となっています。

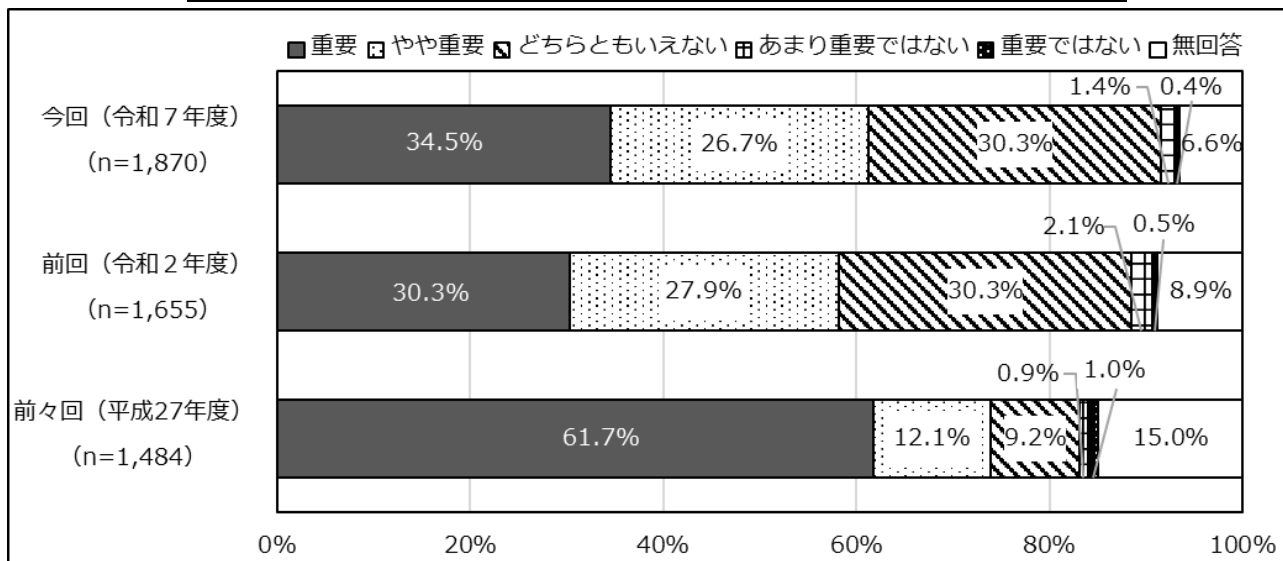
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は 61.2%で、前回（令和 2 年度）の調査時点（58.2%）と比較すると、3.0 ポイント増となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は 1.8%で、前回の調査時点（2.6%）と比較すると、0.8 ポイント減となっています。

図表 「生きる力を育む学校教育の推進」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「生きる力を育む学校教育の推進」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 13 文化・芸術の振興

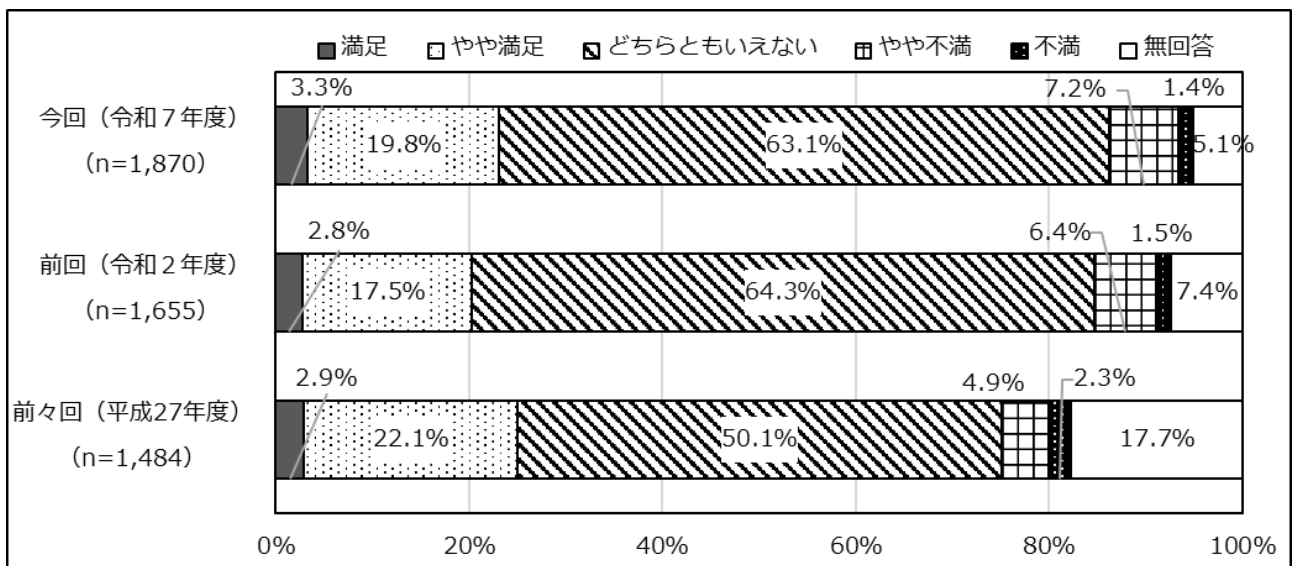
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は 23.1%で、前回（令和 2 年度）の調査時点（20.3%）と比較すると、2.8 ポイント増となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は 8.6%で、前回の調査時点（7.9%）と比較すると、0.7 ポイント増となっています。

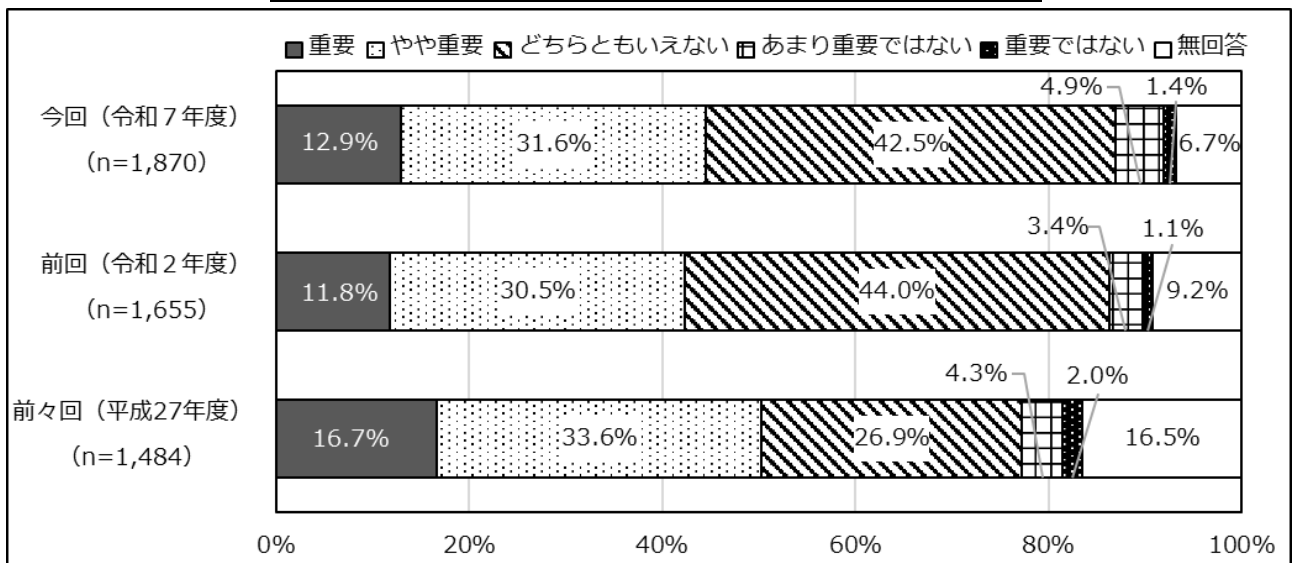
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は 44.5%で、前回（令和 2 年度）の調査時点（42.3%）と比較すると、2.2 ポイント増となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は 6.3%で、前回の調査時点（4.5%）と比較すると、1.8 ポイント増となっています。

図表 「文化・芸術の振興」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「文化・芸術の振興」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 14 スポーツ・レクリエーションの振興

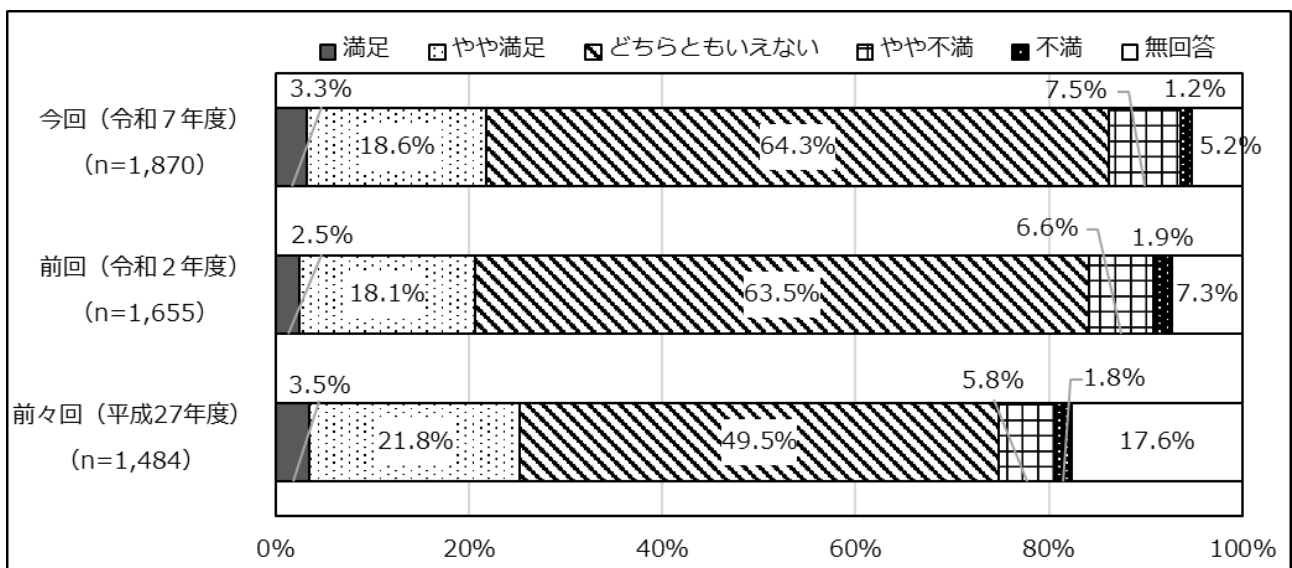
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は 21.9% で、前回（令和 2 年度）の調査時点（20.6%）と比較すると、1.3 ポイント増 となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は 8.7% で、前回の調査時点（8.5%）と比較すると、0.2 ポイント増 となっています。

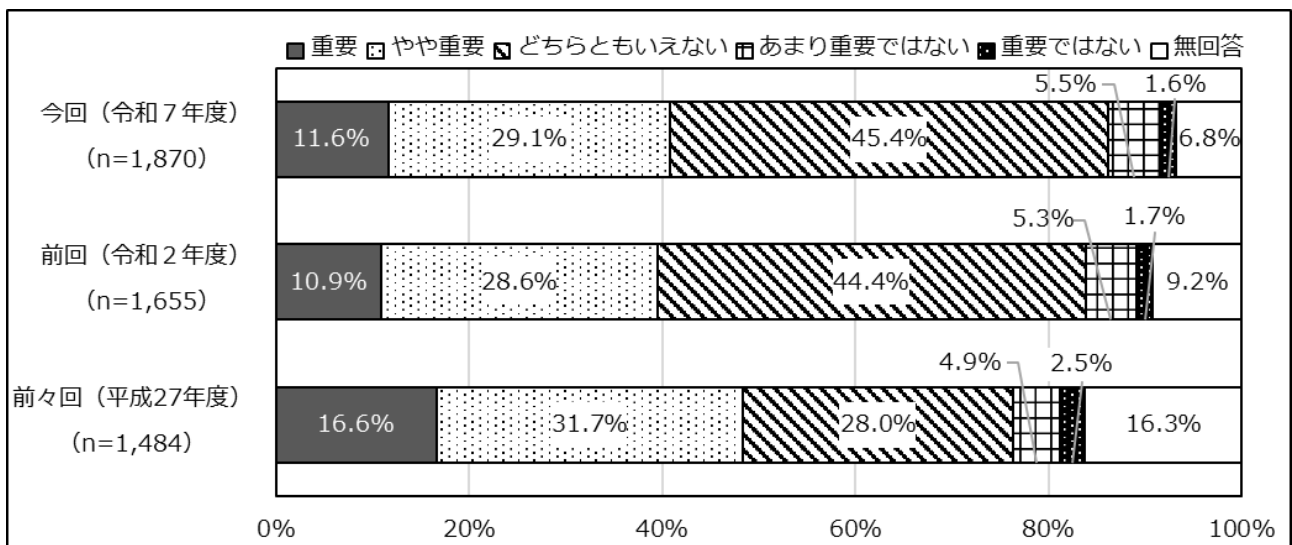
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は 40.7% で、前回（令和 2 年度）の調査時点（39.5%）と比較すると、1.2 ポイント増 となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は 7.1% で、前回の調査時点（7.0%）と比較すると、0.1 ポイント増 となっています。

図表 「スポーツ・レクリエーションの振興」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「スポーツ・レクリエーションの振興」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 15 国際化への対応と国内交流の推進

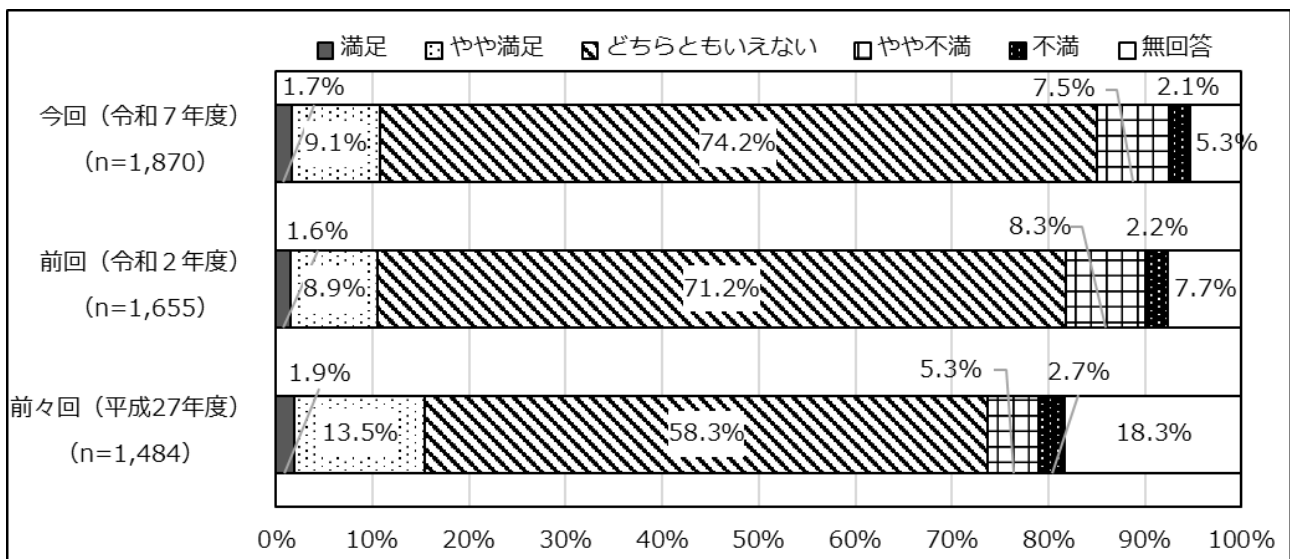
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は **10.8%** で、前回（令和 2 年度）の調査時点（10.5%）と比較すると、**0.3 ポイント増** となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は **9.6%** で、前回の調査時点（10.5%）と比較すると、**0.9 ポイント減** となっています。

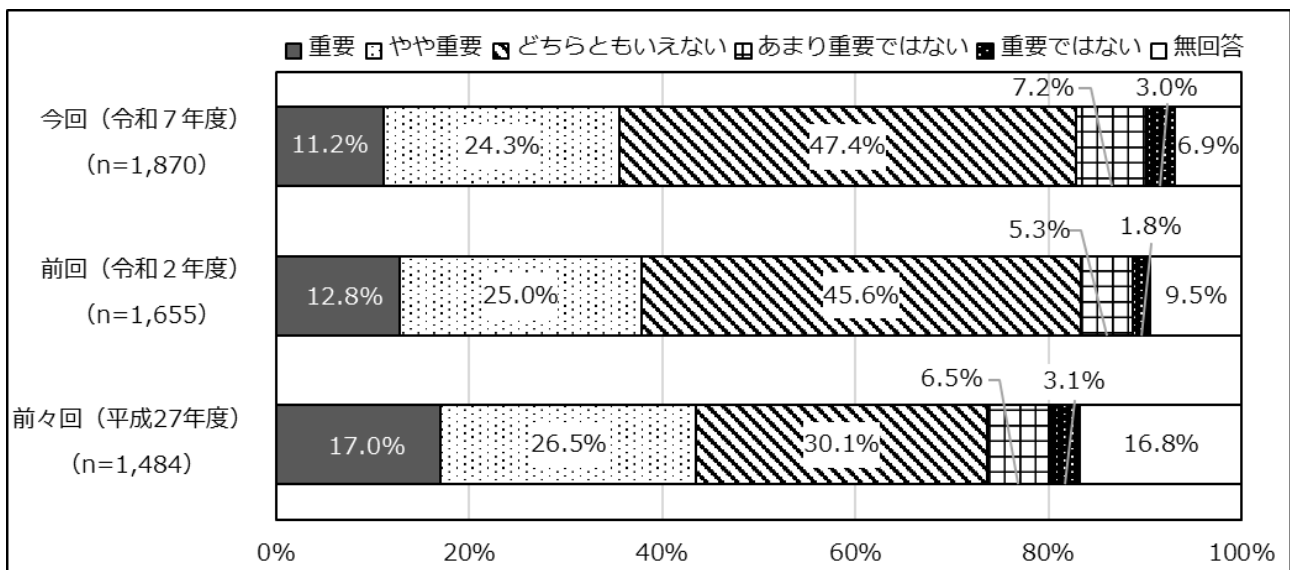
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は **35.5%** で、前回（令和 2 年度）の調査時点（37.8%）と比較すると、**2.3 ポイント減** となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は **10.2%** で、前回の調査時点（7.1%）と比較すると、**3.1 ポイント増** となっています。

図表 「国際化への対応と国内交流の推進」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「国際化への対応と国内交流の推進」の重要度の推移 回答率（%）



■ 基本政策 3 次代につなぐ賑わいを創生する、魅力と活力あふれる産業のまちづくり

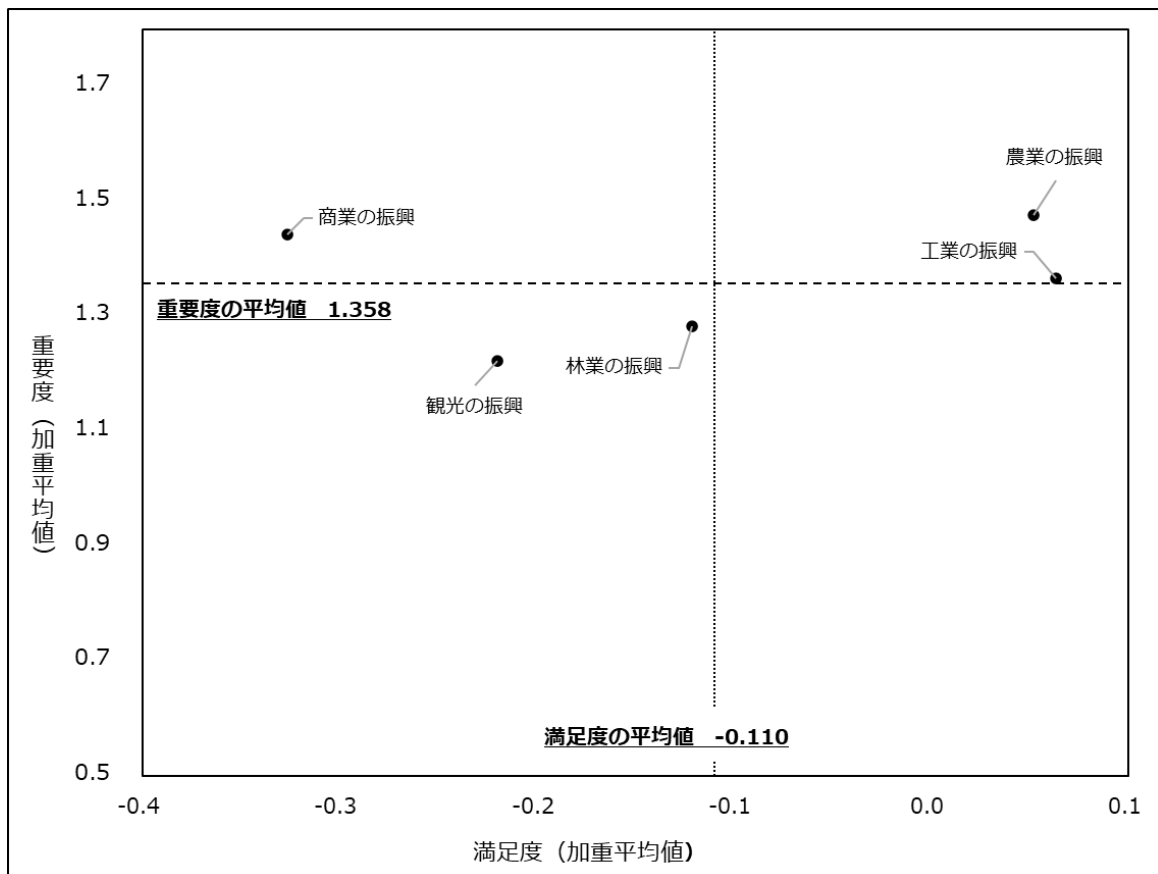
①基本政策 3 の各事業間の満足度・重要度

基本政策 3 の各事業における満足度及び重要度の位置付けをみると、表左上に位置する「商業の振興」は、重要度が政策全体の平均を上回る一方で、満足度は平均を下回っており、政策的な対応の優先度が高い「重点改善項目」に該当します。中心市街地等の活性化に向けた地域の事業者への経営支援など、具体的な活性化策の強化が求められます。

次に、表右上に位置する「農業の振興」「工業の振興」は、満足度・重要度ともに政策全体の平均を上回っており、市民から一定の評価を得ている分野です。本市の産業基盤を支える分野であり、雇用や地域経済への波及効果も大きいことから、現状の取組を着実に推進しつつ、担い手確保や生産性向上など将来を見据えた施策の充実を図っていく必要があります。

また、表左下に位置する「観光の振興」「林業の振興」は、満足度・重要度ともに平均を下回っています。相対的な優先度は高くない位置付けとなっていますが、地域の実情や市場動向を踏まえながら、効果的な施策展開を検討することが求められます。

図表 基本政策 3 の各事業間の満足度・重要度 [n=1,780] 加重平均 (ポイント)



※横軸は満足度、縦軸は重要度を表し、点線はそれぞれの平均値（満足度-0.110、重要度 1.358）を示しています。

②事業別の集計結果

➤ 16 農業の振興

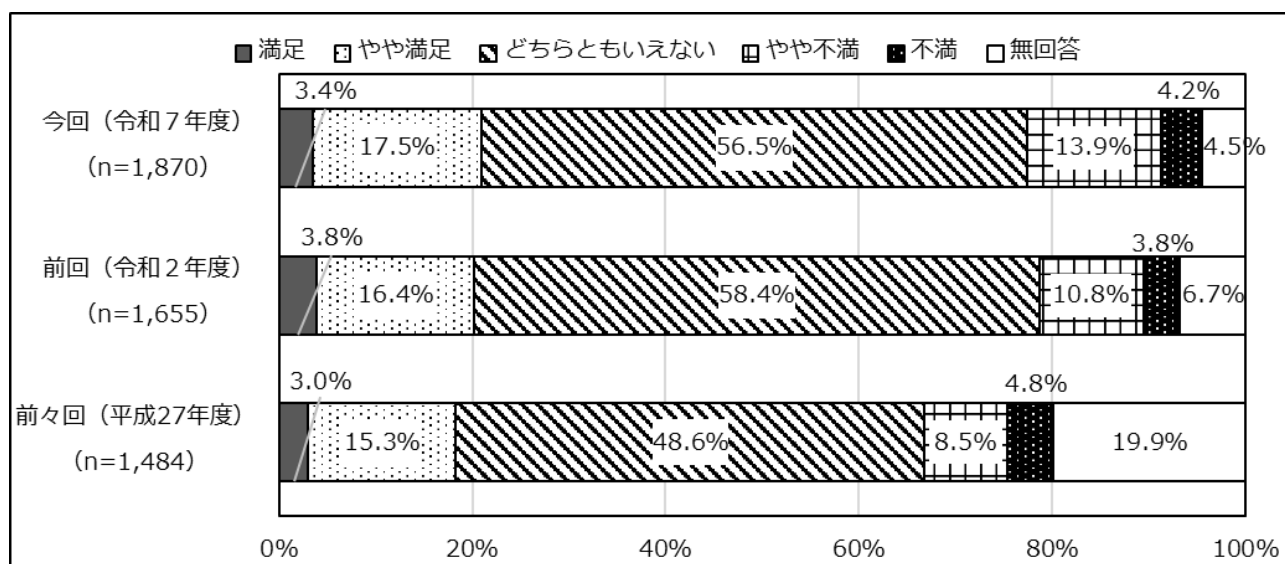
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は **20.9%**で、前回（令和2年度）の調査時点（20.2%）と比較すると、**0.7ポイント増**となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は **18.1%**で、前回の調査時点（14.6%）と比較すると、**3.5ポイント増**となっています。

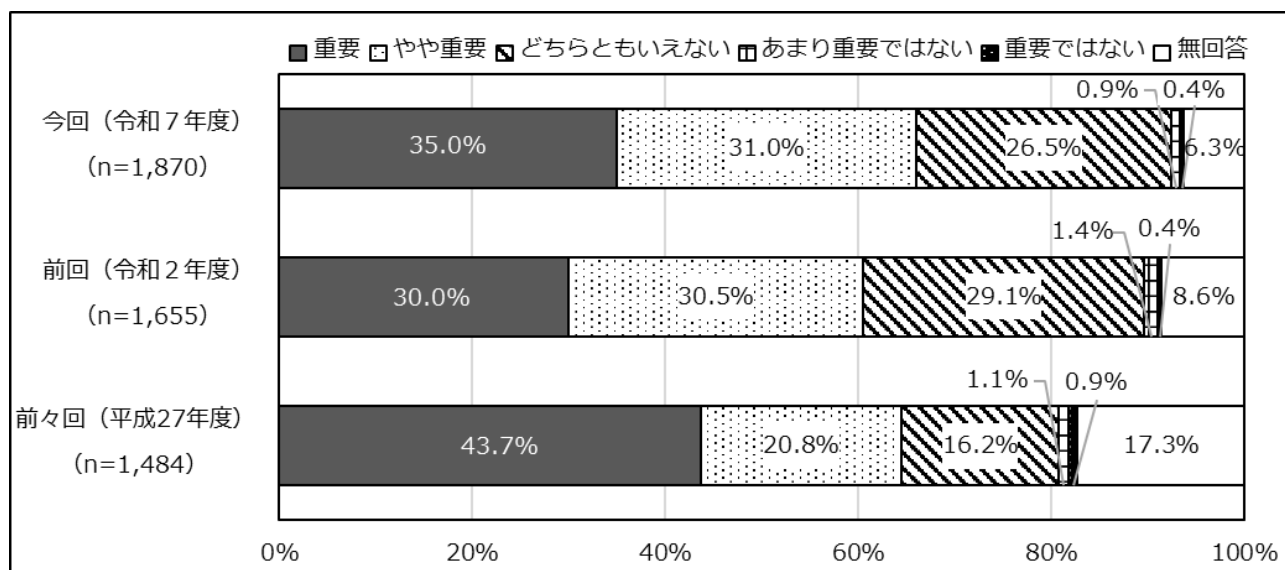
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は **66.0%**で、前回（令和2年度）の調査時点（60.5%）と比較すると、**5.5ポイント増**となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は **1.3%**で、前回の調査時点（1.8%）と比較すると、**0.5ポイント減**となっています。

図表 「農業の振興」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「農業の振興」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 17 林業の振興

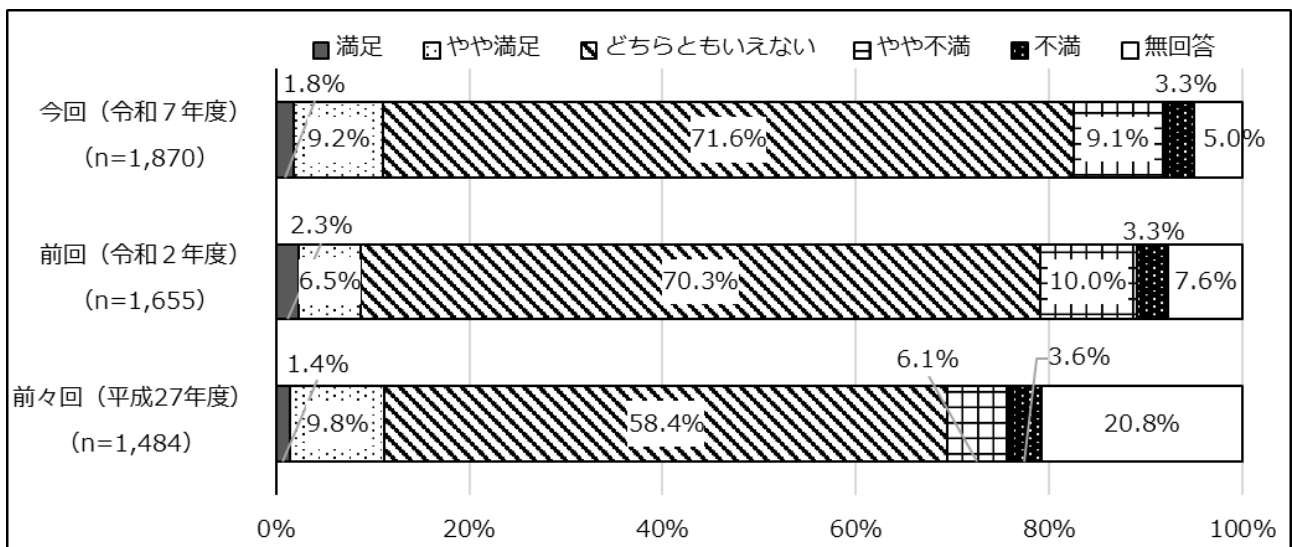
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は 11.0% で、前回（令和 2 年度）の調査時点（8.8%）と比較すると、2.2 ポイント増 となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は 12.4% で、前回の調査時点（13.3%）と比較すると、0.9 ポイント減 となっています。

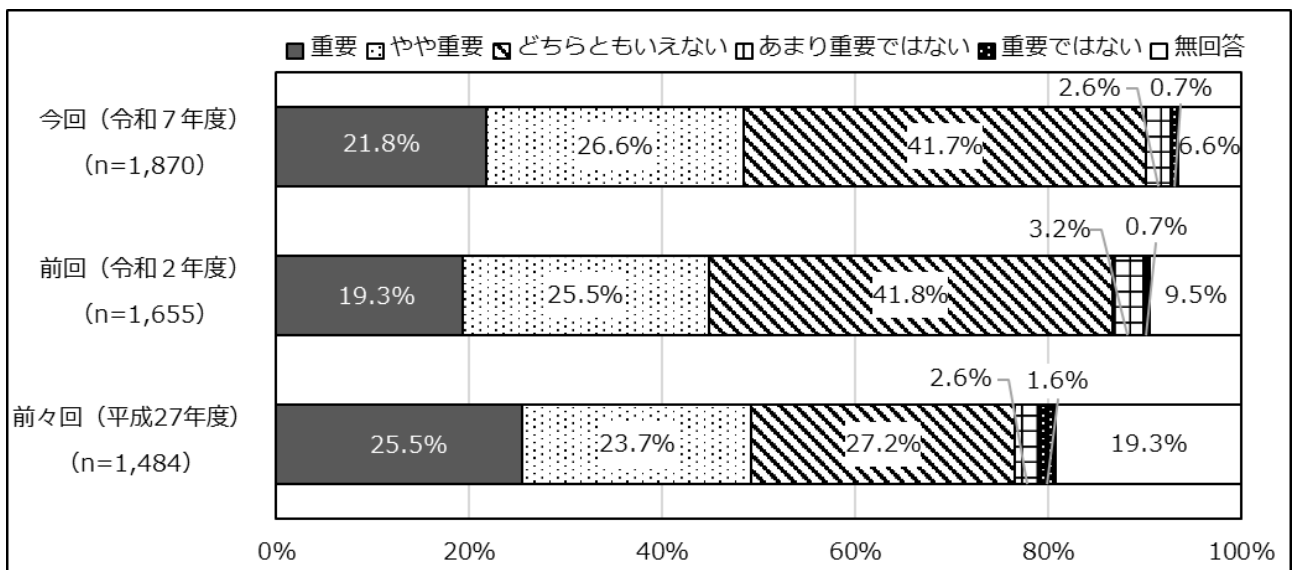
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は 48.4% で、前回（令和 2 年度）の調査時点（44.8%）と比較すると、3.6 ポイント増 となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は 3.3% で、前回の調査時点（3.9%）と比較すると、0.6 ポイント減 となっています。

図表 「林業の振興」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「林業の振興」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 18 商業の振興

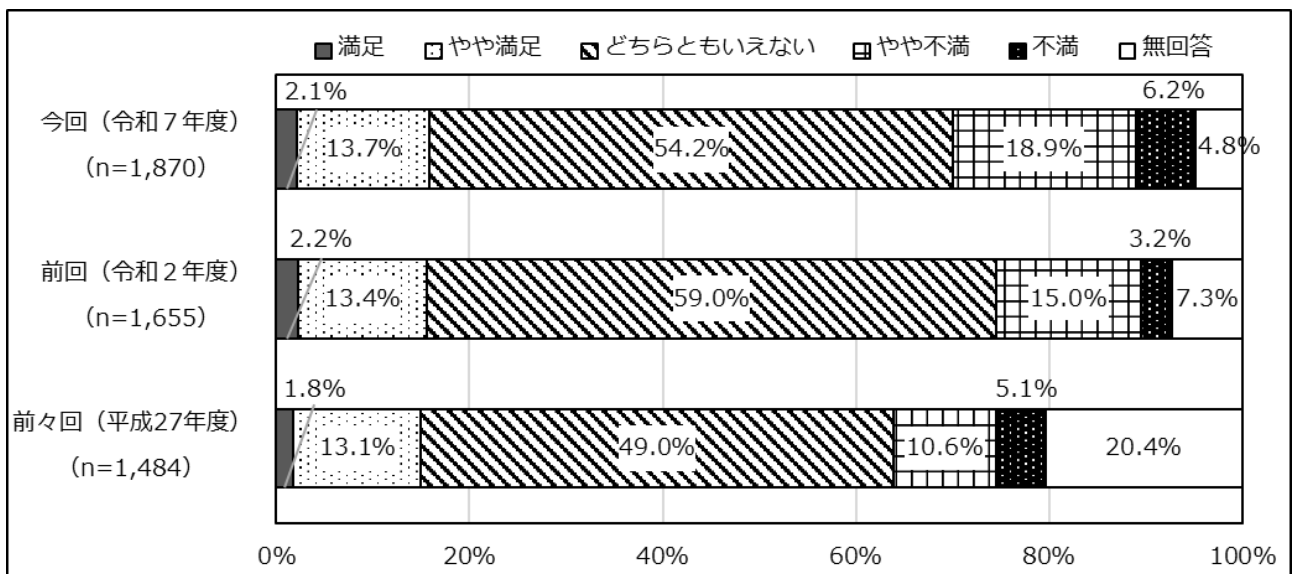
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は 15.8% で、前回（令和 2 年度）の調査時点（15.6%）と比較すると、0.2 ポイント増 となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は 25.1% で、前回の調査時点（18.2%）と比較すると、6.9 ポイント増 となっています。

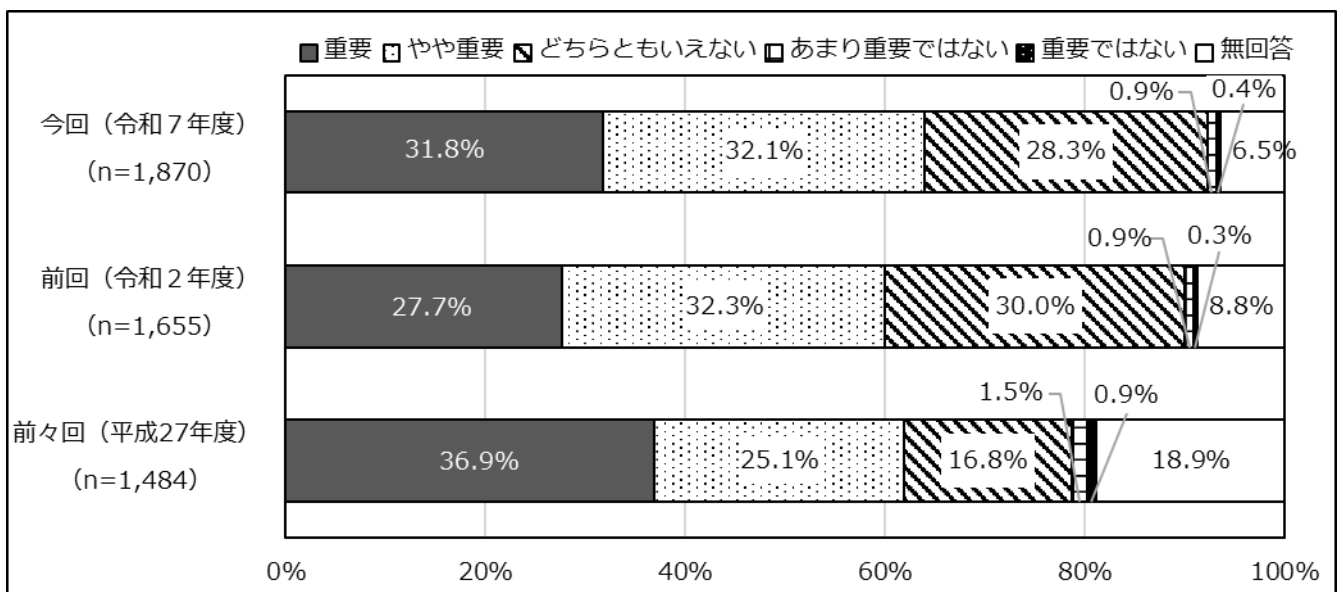
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は 63.9% で、前回（令和 2 年度）の調査時点（60.0%）と比較すると、3.9 ポイント増 となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は 1.3% で、前回の調査時点（1.2%）と比較すると、0.1 ポイント増 となっています。

図表 「商業の振興」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「商業の振興」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 19 工業の振興

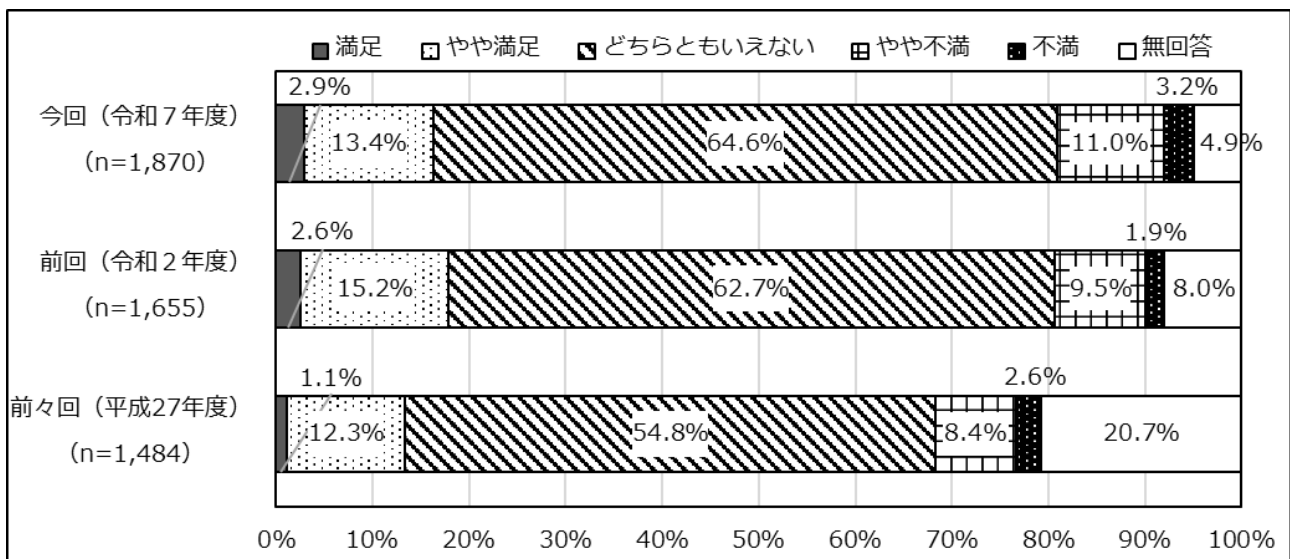
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は 16.3% で、前回（令和 2 年度）の調査時点（17.8%）と比較すると、1.5 ポイント減 となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は 14.2% で、前回の調査時点（11.4%）と比較すると、2.8 ポイント増 となっています。

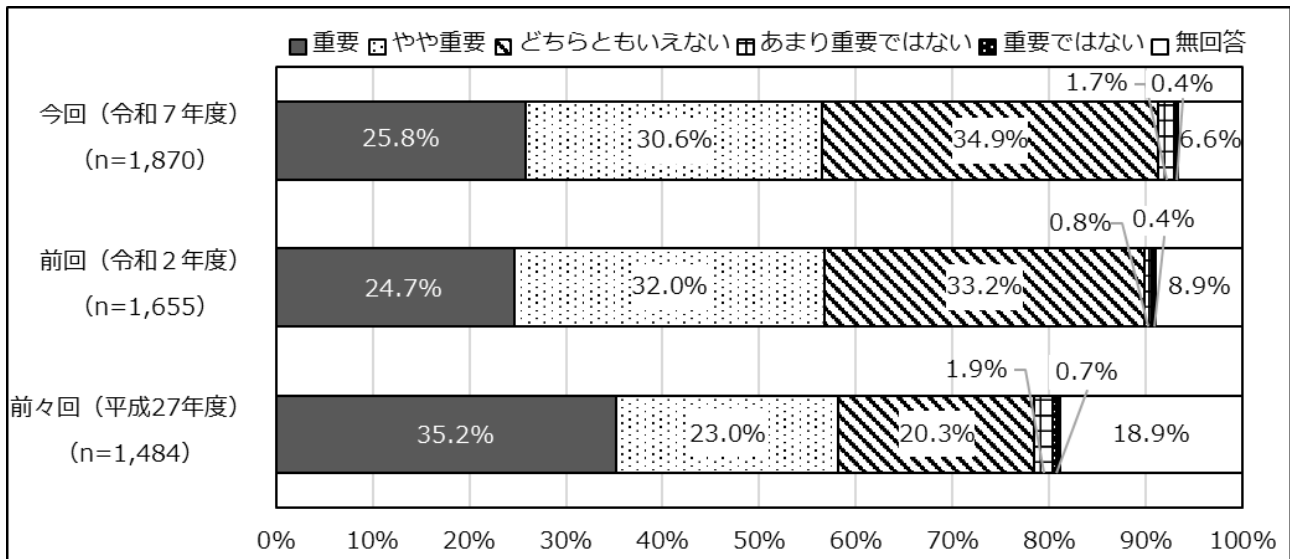
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は 56.4% で、前回（令和 2 年度）の調査時点（56.7%）と比較すると、0.3 ポイント減 となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は 2.1% で、前回の調査時点（1.2%）と比較すると、0.9 ポイント増 となっています。

図表 「工業の振興」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「工業の振興」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 20 観光の振興

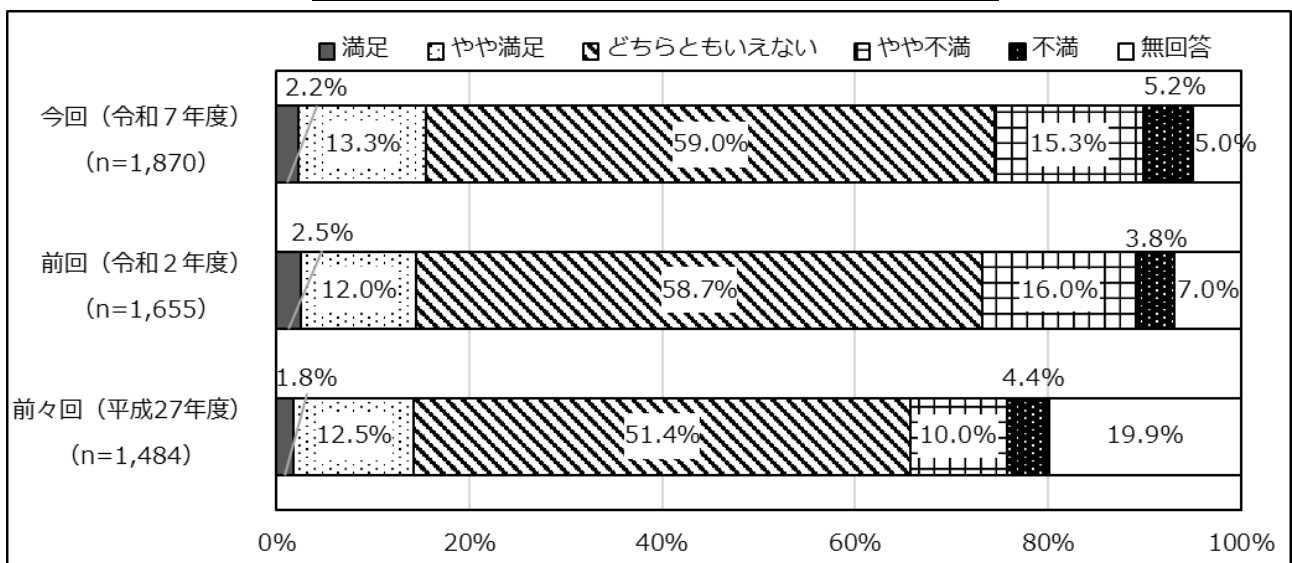
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は 15.5% で、前回（令和 2 年度）の調査時点（14.5%）と比較すると、1.0 ポイント増 となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は 20.5% で、前回の調査時点（19.8%）と比較すると、0.7 ポイント増 となっています。

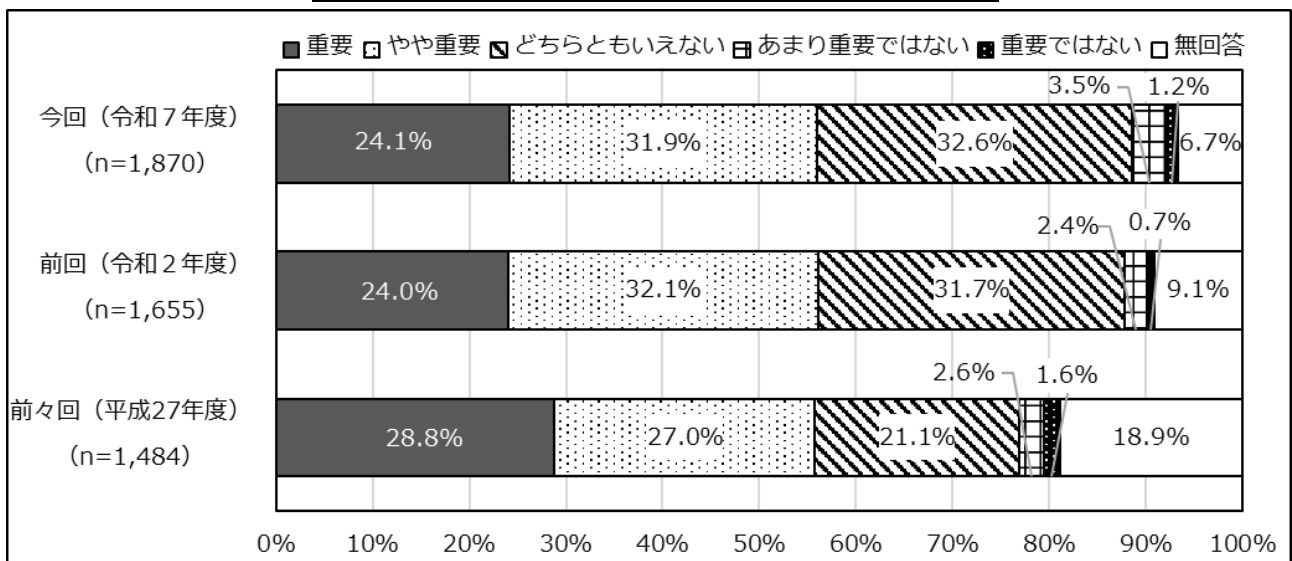
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は 56.0% で、前回（令和 2 年度）の調査時点（56.1%）と比較すると、0.1 ポイント減 となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は 4.7% で、前回の調査時点（3.1%）と比較すると、1.6 ポイント増 となっています。

図表 「観光の振興」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「観光の振興」の重要度の推移 回答率（%）



■ 基本政策 4 いたわり、支えあい、すべての市民が健康で安心して暮らせる心のかよったまちづくり

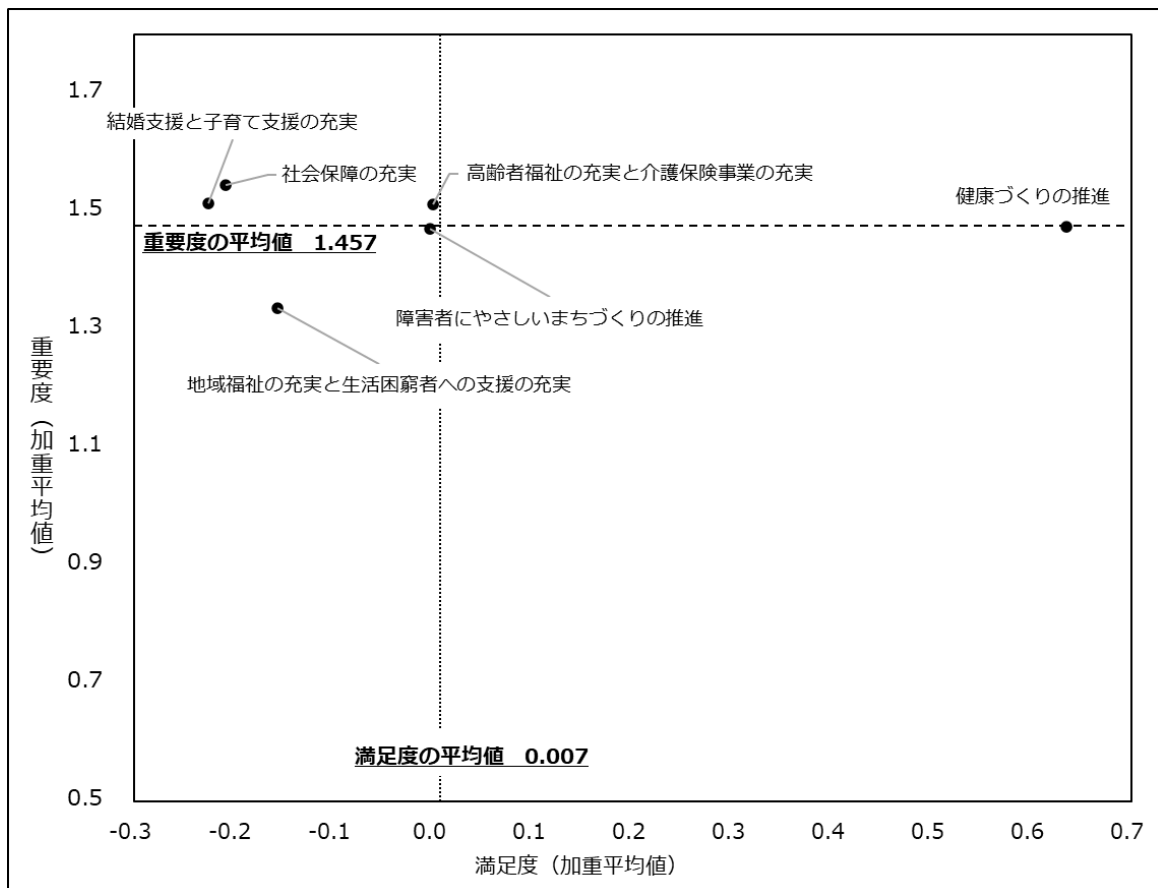
①基本政策 4 の各事業間の満足度・重要度

基本政策 4 の各事業における満足度及び重要度の位置付けをみると、表左上に位置する「結婚支援と子育て支援の充実」「社会保障の充実」「高齢者福祉の充実と介護保険事業の充実」は、重要度が施策全体の平均を上回る一方で、満足度は平均を下回っており、政策的な対応の優先度が高い「重点改善項目」に該当します。結婚や子育て支援などの若い世代に向けた支援と、高齢者への福祉の両方で課題が示唆されており、取組の対象者の課題の改善に向けた取組の強化が必要です。

次に、表右上に位置する「健康づくりの推進」は、重要度はほぼ平均ですが、満足度が政策全体の平均を大きく上回っており、市民から一定の評価を得ている分野です。健康寿命の延伸や疾病予防の観点からも重要性が高く、現状の水準を維持しつつ、継続的な取組の推進が必要です。

最後に、表左下に位置する「地域福祉の充実と生活困窮者への支援の充実」と「障害者にやさしいまちづくりの推進」は、満足度・重要度ともに平均を下回っており、改善が求められる分野に位置付けられます。

図表 基本政策 4 の各事業間の満足度・重要度 [n=1,780] 加重平均（ポイント）



※横軸は満足度、縦軸は重要度を表し、点線はそれぞれの平均値（満足度 0.007、重要度 1.457）を示しています。

②事業別の集計結果

➤ 21 健康づくりの推進

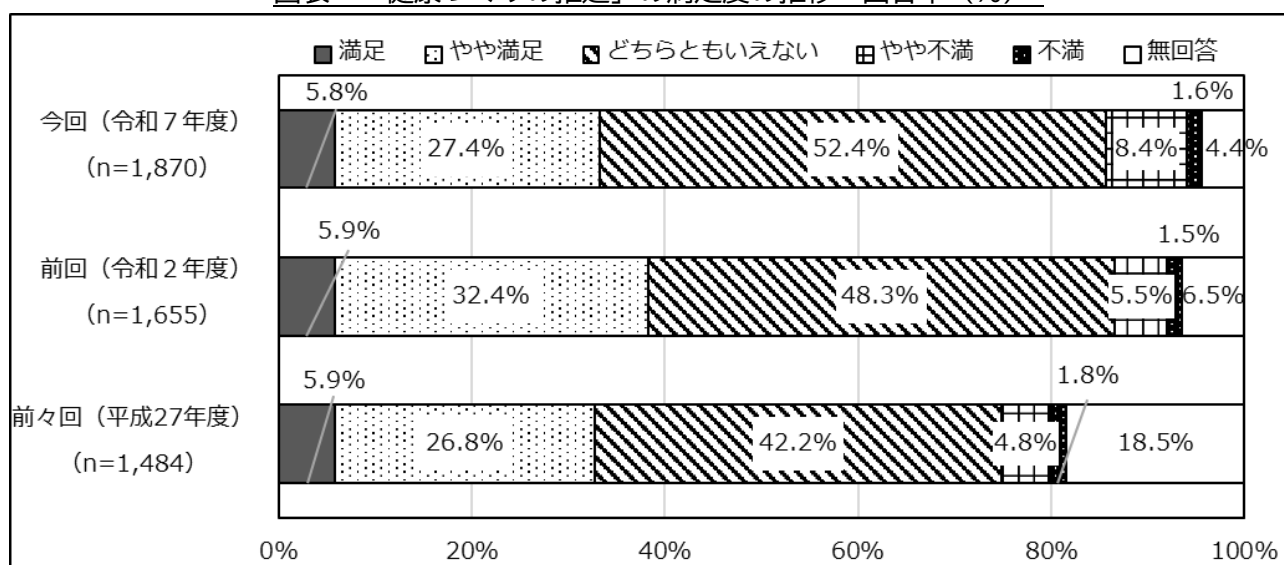
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は **33.2%** で、前回（令和 2 年度）の調査時点（38.3%）と比較すると、**5.1 ポイント減** となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は **10.0%** で、前回の調査時点（7.0%）と比較すると、**3.0 ポイント増** となっています。

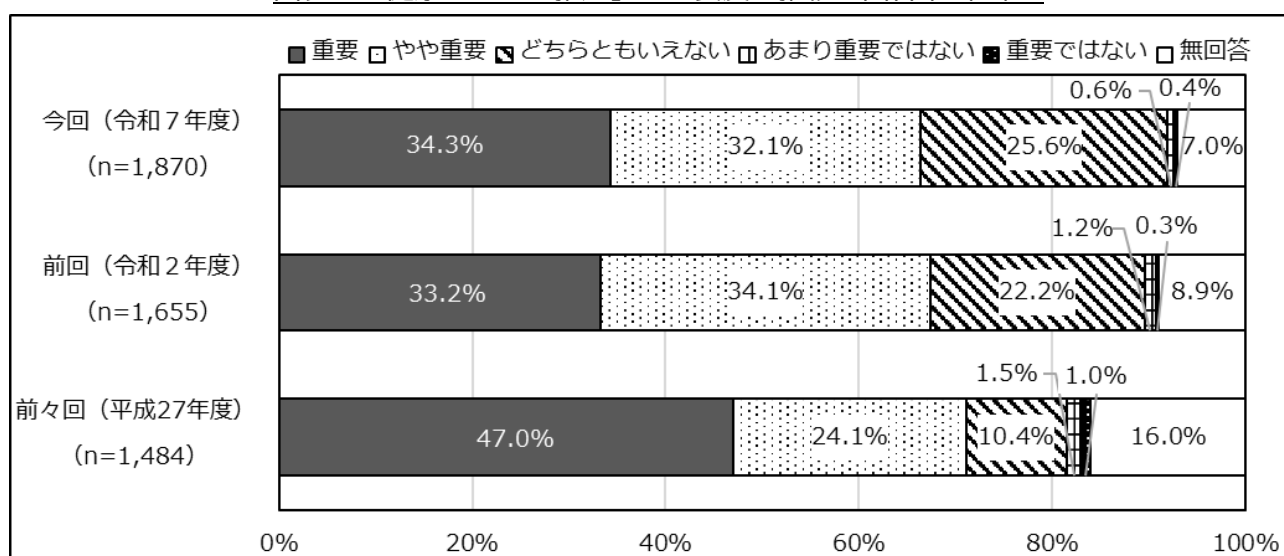
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は **66.4%** で、前回（令和 2 年度）の調査時点（67.3%）と比較すると、**0.9 ポイント減** となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は **1.0%** で、前回の調査時点（1.5%）と比較すると、**0.5 ポイント減** となっています。

図表 「健康づくりの推進」の満足度の推移 回答率 (%)



図表 「健康づくりの推進」の重要度の推移 回答率 (%)



➤ 22 結婚支援と子育て支援の充実

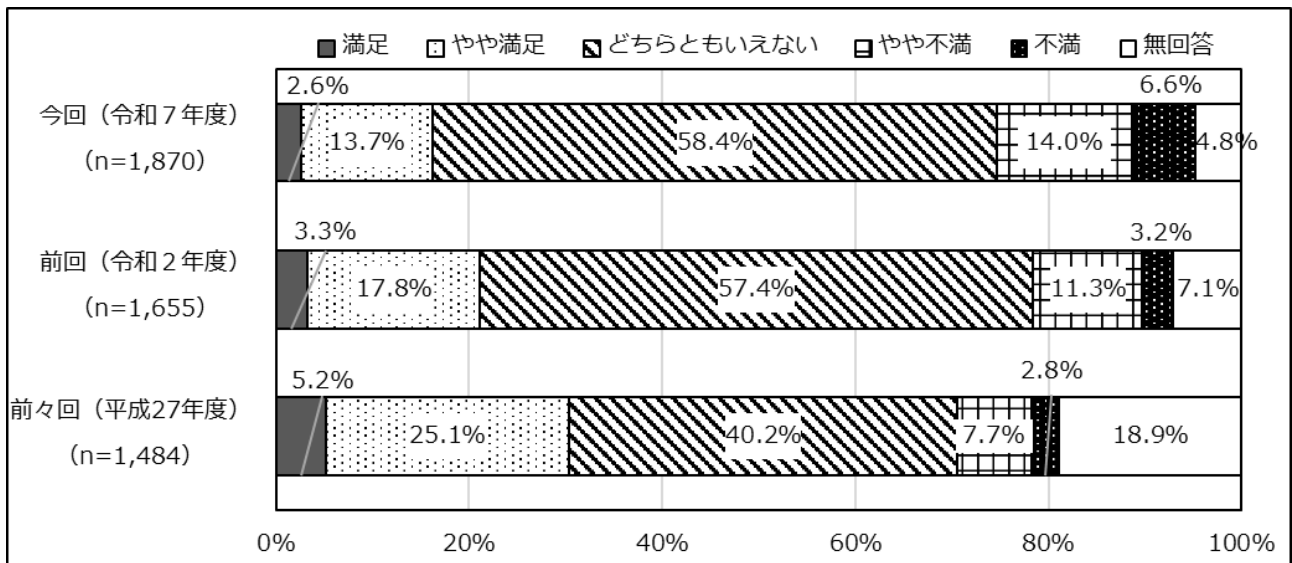
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は **16.3%**で、前回（令和2年度）の調査時点（21.1%）と比較すると、**4.8ポイント減**となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は **20.6%**で、前回の調査時点（14.5%）と比較すると、**6.1ポイント増**となっています。

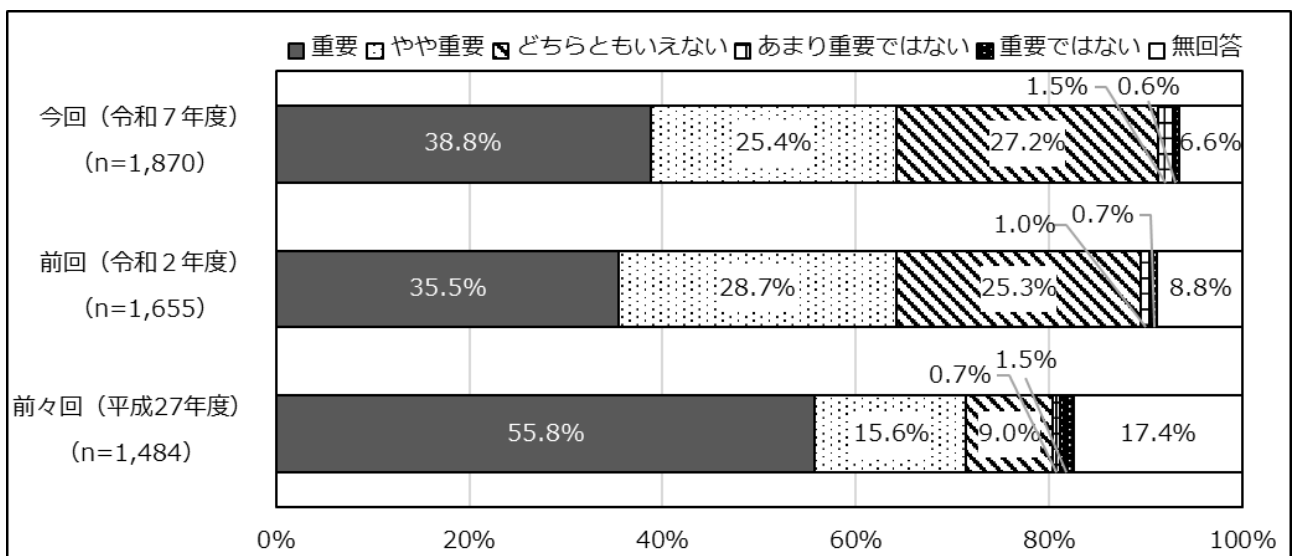
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は **64.2%**で、前回（令和2年度）の調査時点（64.2%）と**同じ値**となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は **2.1%**で、前回の調査時点（1.7%）と比較すると、**0.4ポイント増**となっています。

図表 「結婚支援と子育て支援の充実」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「結婚支援と子育て支援の充実」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 23 高齢者福祉の充実と介護保険事業の充実

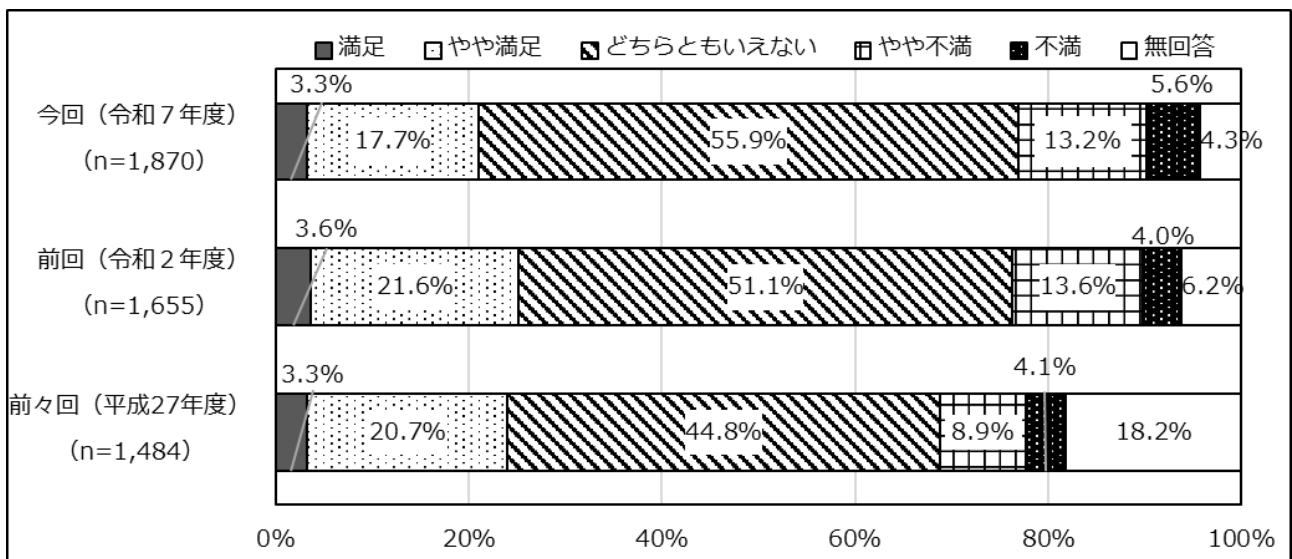
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は **21.0%** で、前回（令和 2 年度）の調査時点（25.2%）と比較すると、**4.2 ポイント減** となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は **18.8%** で、前回の調査時点（17.6%）と比較すると、**1.2 ポイント増** となっています。

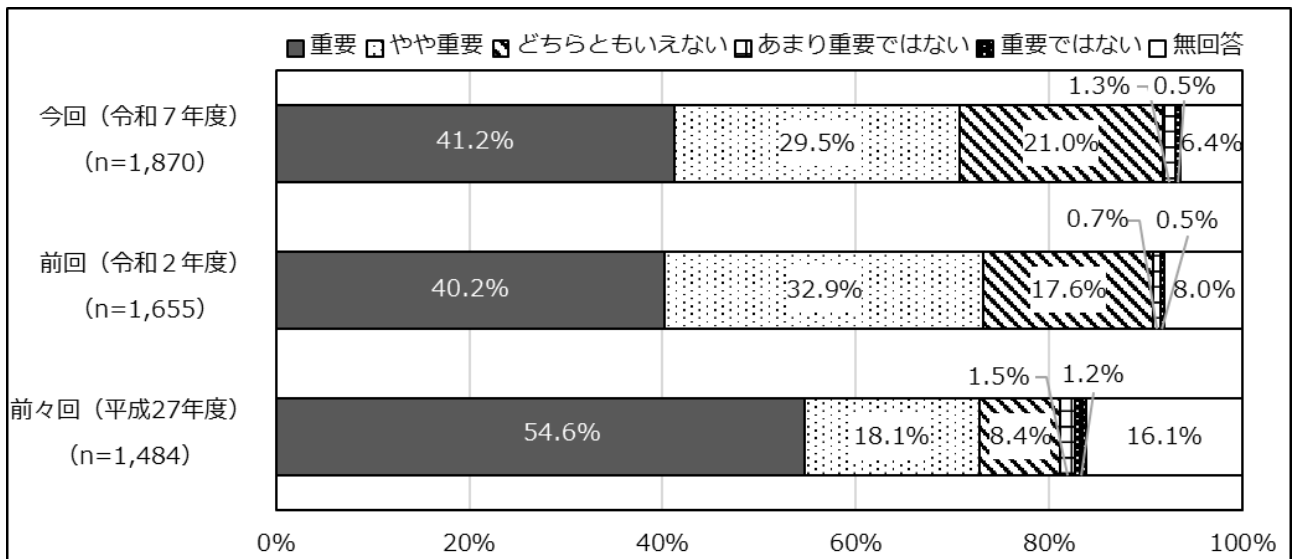
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は **70.7%** で、前回（令和 2 年度）の調査時点（73.1%）と比較すると、**2.4 ポイント減** となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は **1.8%** で、前回の調査時点（1.2%）と比較すると、**0.6 ポイント増** となっています。

図表 「高齢者福祉の充実と介護保険事業の充実」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「高齢者福祉の充実と介護保険事業の充実」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 24 障害者にやさしいまちづくりの推進

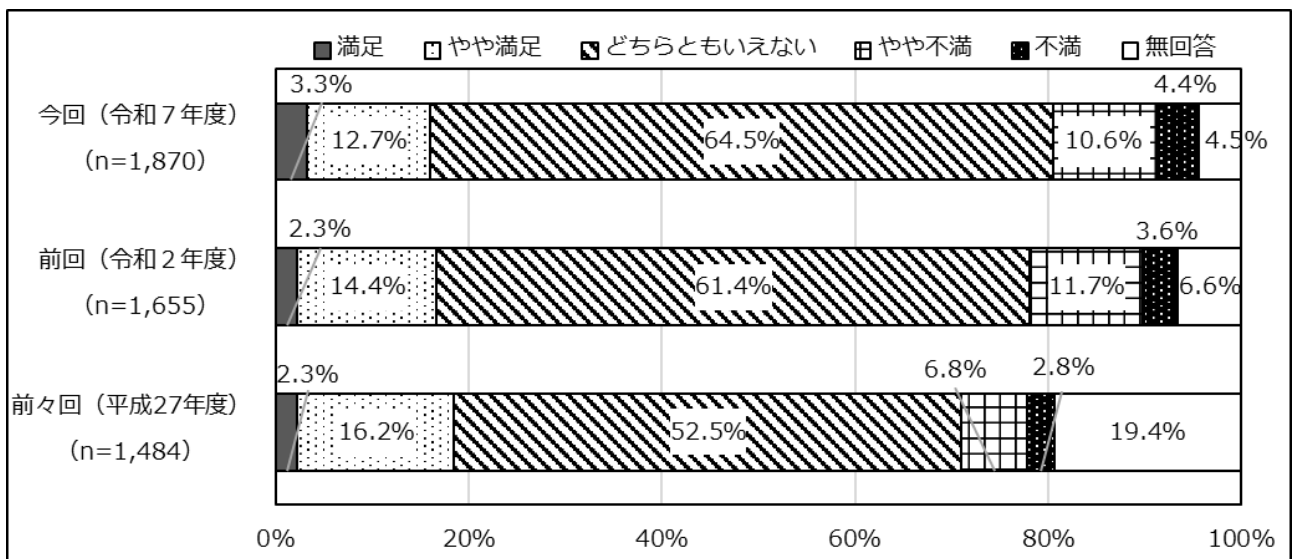
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は 16.0% で、前回（令和 2 年度）の調査時点（16.7%）と比較すると、0.7 ポイント減 となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は 15.0% で、前回の調査時点（15.3%）と比較すると、0.3 ポイント減 となっています。

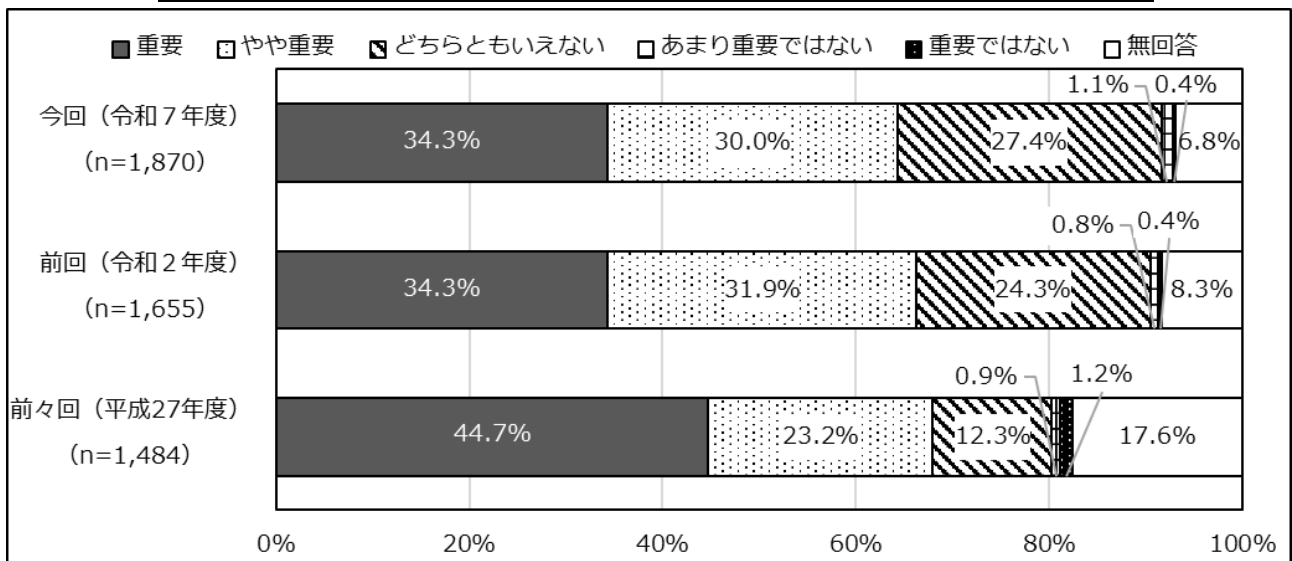
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は 64.3% で、前回（令和 2 年度）の調査時点（66.2%）と比較すると、1.9 ポイント減 となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は 1.5% で、前回の調査時点（1.2%）と比較すると、0.3 ポイント増 となっています。

図表 「障害者にやさしいまちづくりの推進」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「障害者にやさしいまちづくりの推進」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 25 地域福祉の充実と生活困窮者への支援の充実

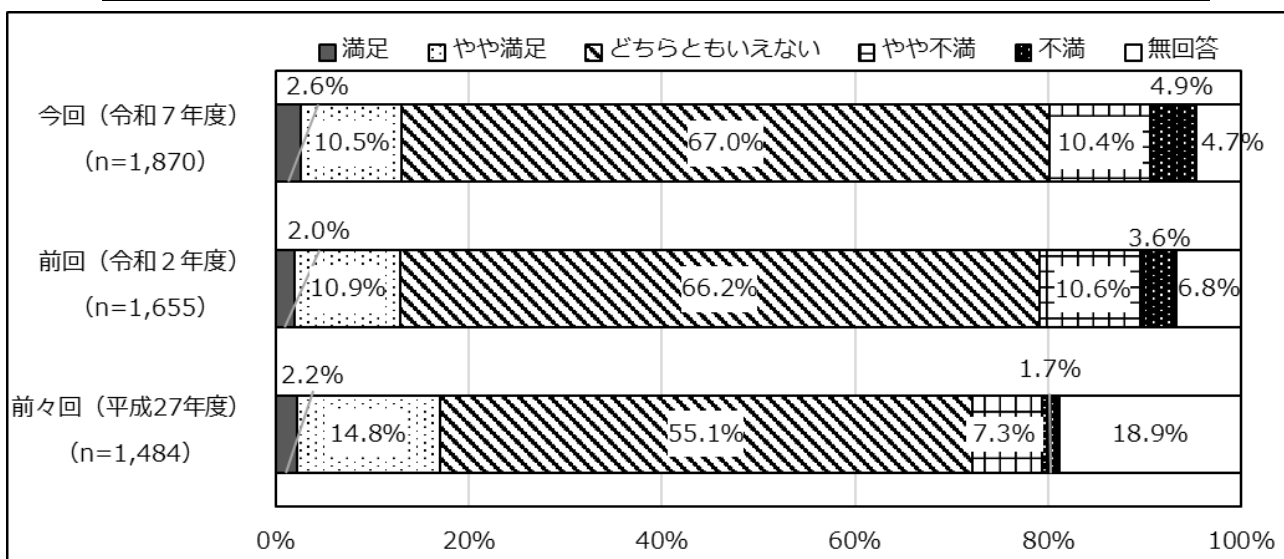
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は 13.1%で、前回（令和2年度）の調査時点（12.9%）と比較すると、0.2ポイント増となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は 15.3%で、前回の調査時点（14.2%）と比較すると、1.1ポイント増となっています。

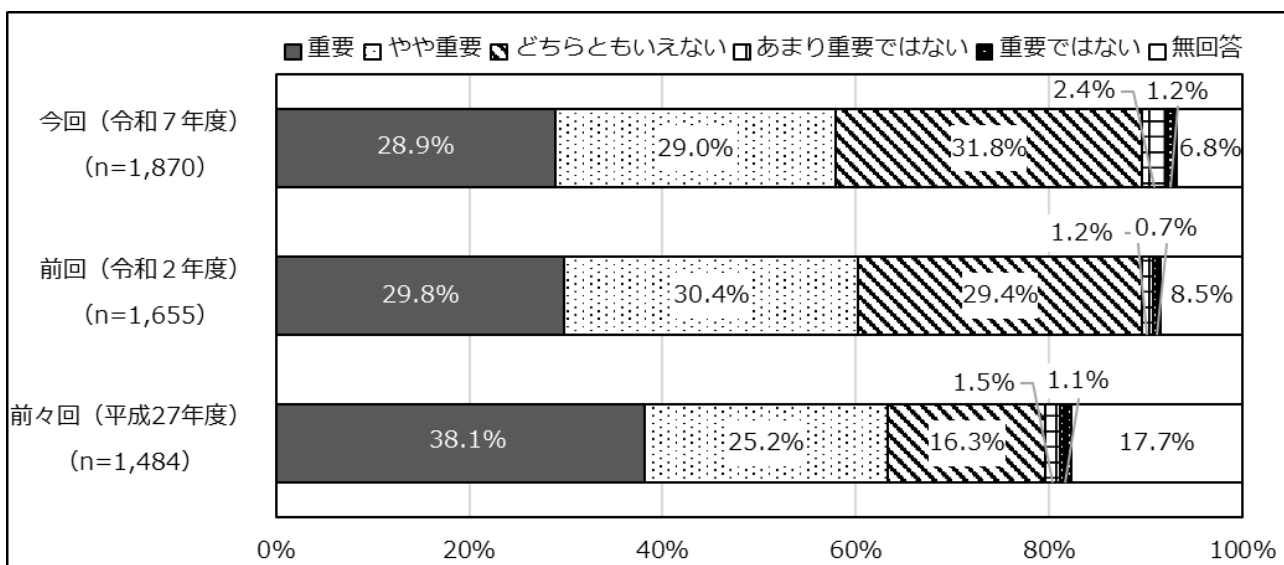
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は 57.9%で、前回（令和2年度）の調査時点（60.2%）と比較すると、2.3ポイント減となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は 3.6%で、前回の調査時点（1.9%）と比較すると、1.7ポイント増となっています。

図表 「地域福祉の充実と生活困窮者への支援の充実」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「地域福祉の充実と生活困窮者への支援の充実」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 26 社会保障の充実

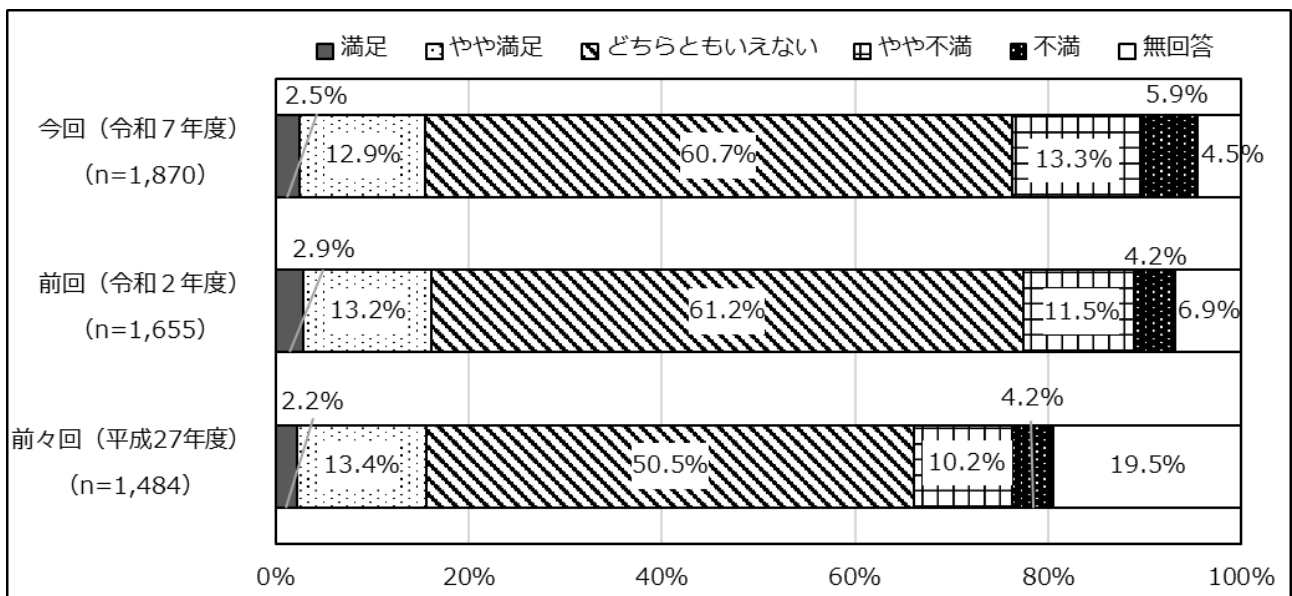
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は 15.4%で、前回（令和2年度）の調査時点（16.1%）と比較すると、0.7ポイント減となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は 19.2%で、前回の調査時点（15.7%）と比較すると、3.5ポイント増となっています。

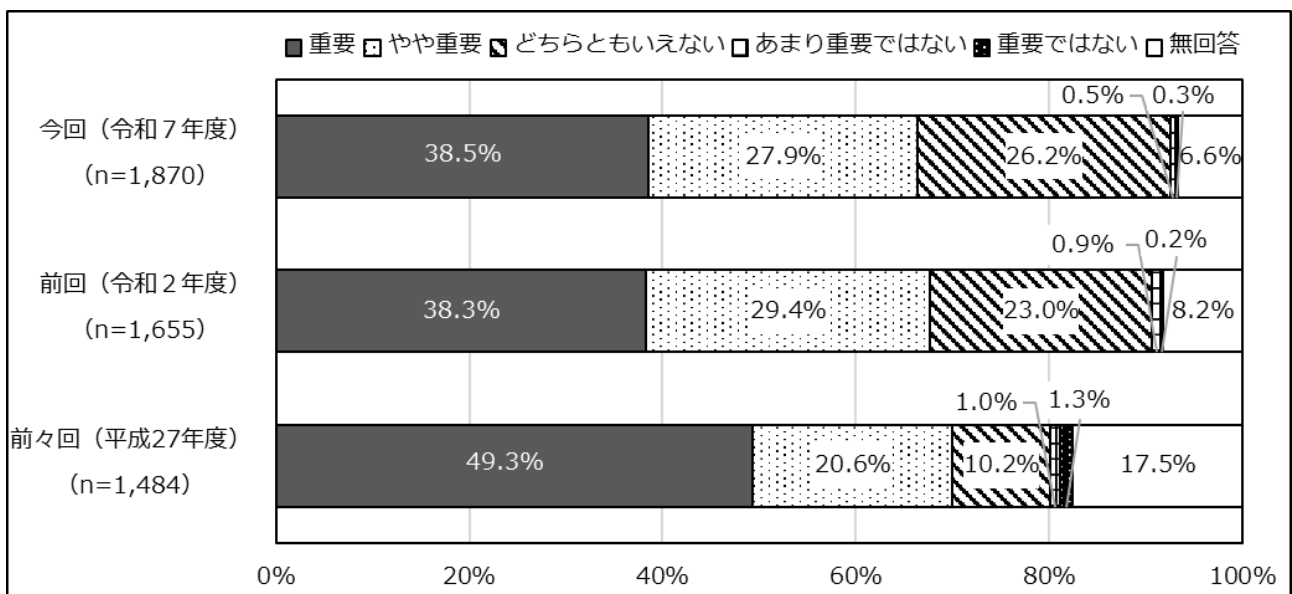
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は 66.4%で、前回（令和2年度）の調査時点（67.7%）と比較すると、1.3ポイント減となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は 0.8%で、前回の調査時点（1.1%）と比較すると、0.3ポイント減となっています。

図表 「社会保障の充実」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「社会保障の充実」の重要度の推移 回答率（%）



■ 基本政策 5 市民にひらかれた安全で安心な明るい地域をともにつくるまちづくり

①基本政策 5 の各事業間の満足度・重要度

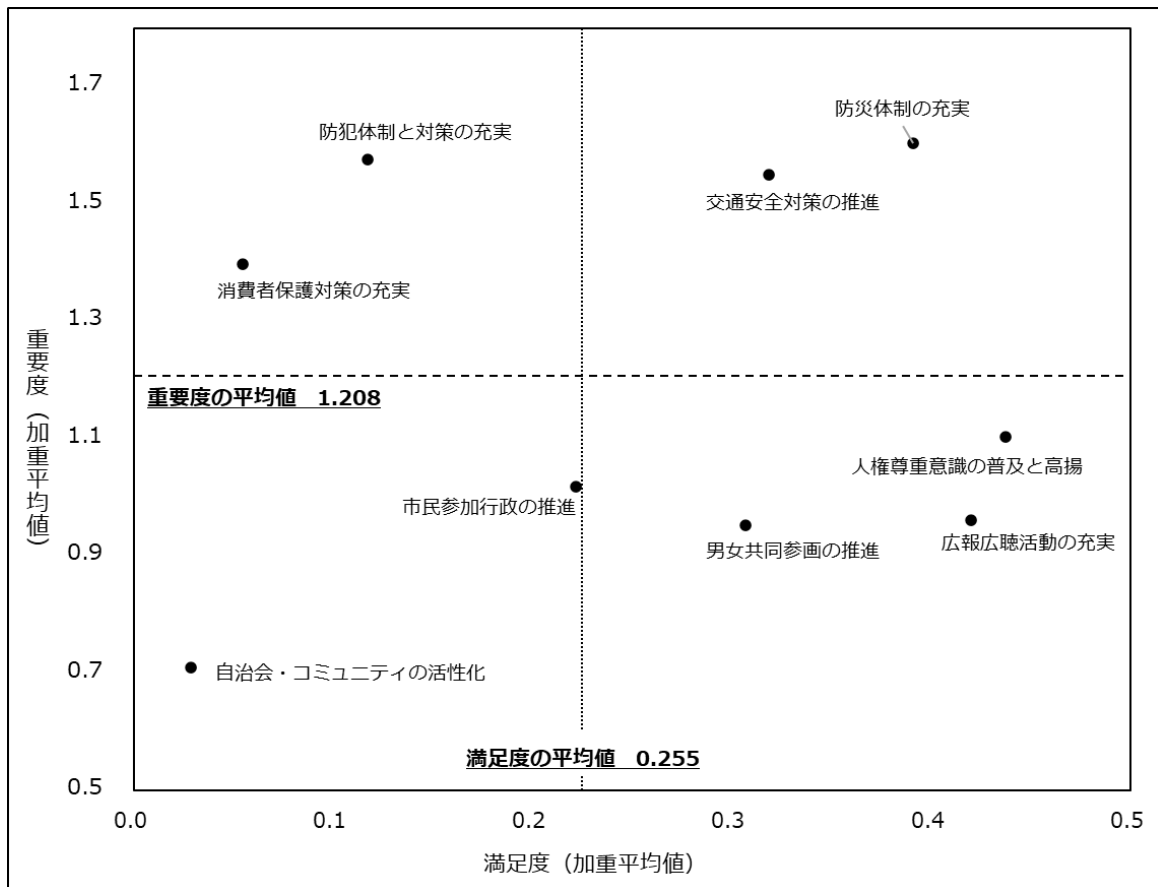
基本政策 5 の各事業における満足度及び重要度の位置付けをみると、表左上に位置する「防犯体制と対策の充実」「消費者保護対策の充実」は、重要度が施策全体の平均を上回る一方で、満足度は平均を下回っており、政策的な対応の優先度が高い「重点改善項目」に該当します。市民の安全・安心に直結する分野であることから、防犯体制の強化や相談体制の充実などの取組の強化・見直し求められます。

次に、表右上に位置する「防災体制の充実」「交通安全対策の推進」は、満足度・重要度ともに政策全体の平均を上回っており、市民から高い評価を得ている分野です。現状の水準を維持しつつ、継続的な強化を図る必要があります。

また、表左下に位置する「自治会・コミュニティの活性化」「市民参加行政の推進」は、満足度・重要度ともに平均を下回っています。相対的な優先度は高くないものの、地域の自助・共助を支える基盤であることから、担い手の確保や参加しやすい仕組みづくりなど、継続的な工夫が求められます。

最後に、表右下に位置する「男女共同参画の推進」「人権尊重意識の普及と高揚」「広報広聴活動の充実」は、満足度は平均を上回っている一方で、重要度は平均を下回っています。現状の取組に対する評価は一定程度得られていることから、当面は現在の水準を維持しつつ、市民意識の動向を踏まえた対応が求められます。

図表 基本政策 5 の各事業間の満足度・重要度 [n=1,780] 加重平均 (ポイント)



※横軸は満足度、縦軸は重要度を表し、点線はそれぞれの平均値（満足度 0.255、重要度 1.208）を示しています。

②事業別の集計結果

➤ 27 防犯体制と対策の充実

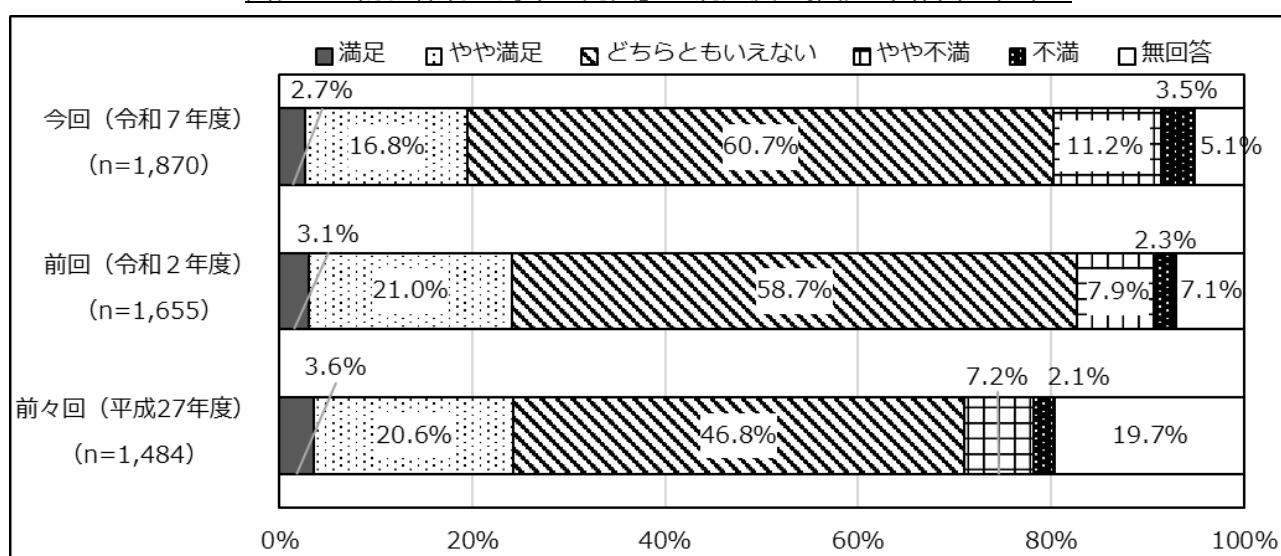
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は **19.5%**で、前回（令和2年度）の調査時点（24.1%）と比較すると、**4.6ポイント減**となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は **14.7%**で、前回の調査時点（10.2%）と比較すると、**4.5ポイント増**となっています。

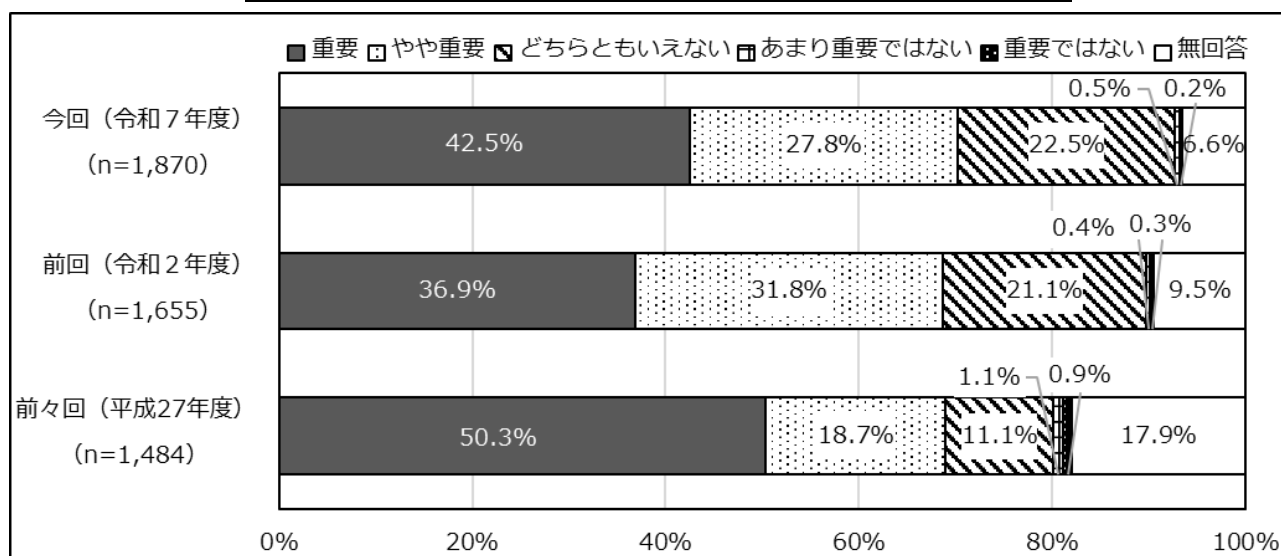
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は **70.3%**で、前回（令和2年度）の調査時点（68.7%）と比較すると、**1.6ポイント増**となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は **0.7%**で、前回の調査時点（0.7%）と**同じ値**となっています。

図表 「防犯体制と対策の充実」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「防犯体制と対策の充実」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 28 防災体制の充実

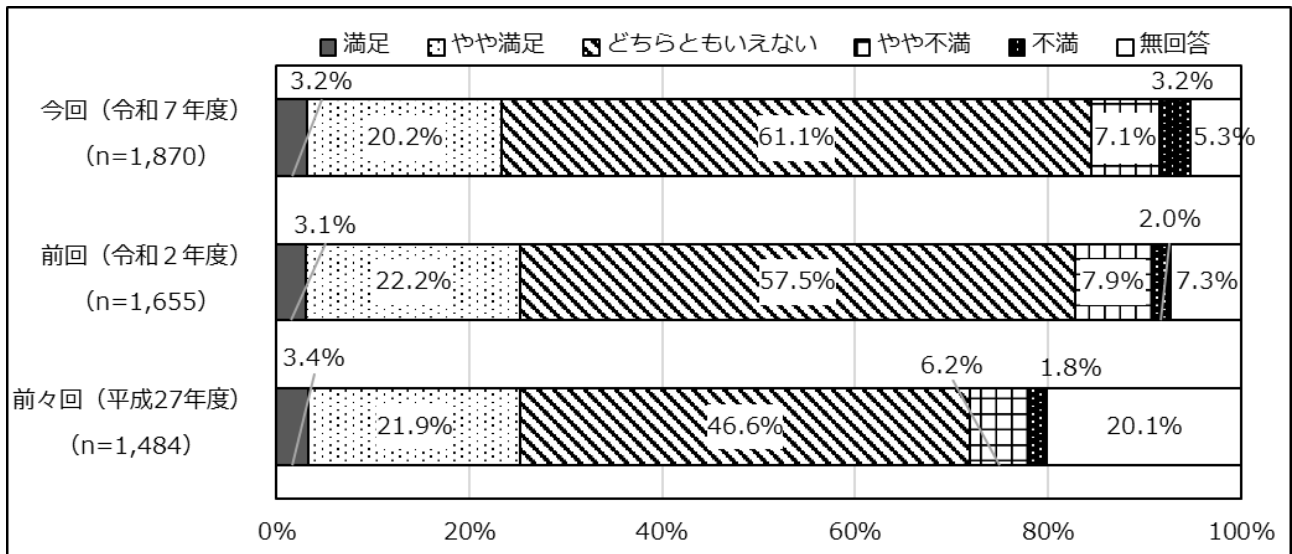
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は 23.4%で、前回（令和 2 年度）の調査時点（25.3%）と比較すると、1.9 ポイント減となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は 10.3%で、前回の調査時点（9.9%）と比較すると、0.4 ポイント増となっています。

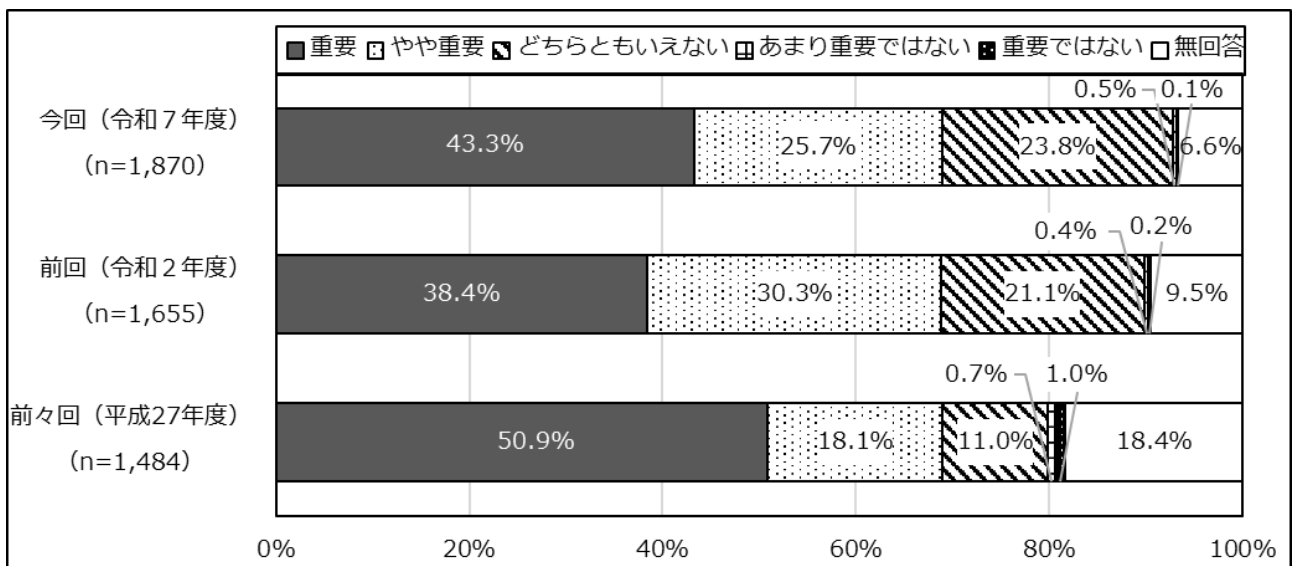
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は 69.0%で、前回（令和 2 年度）の調査時点（68.7%）と比較すると、0.3 ポイント増となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は 0.6%で、前回の調査時点（0.6%）と同じ値となっています。

図表 「防災体制の充実」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「防災体制の充実」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 29 交通安全対策の推進

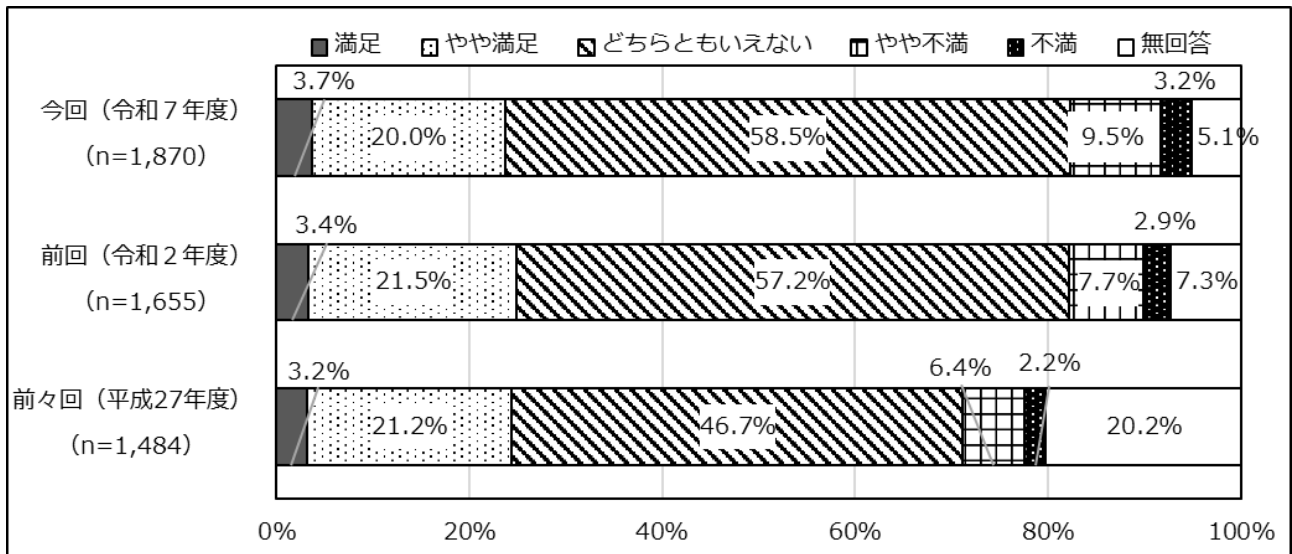
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は 23.7%で、前回（令和 2 年度）の調査時点（24.9%）と比較すると、1.2 ポイント減となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は 12.7%で、前回の調査時点（10.6%）と比較すると、2.1 ポイント増となっています。

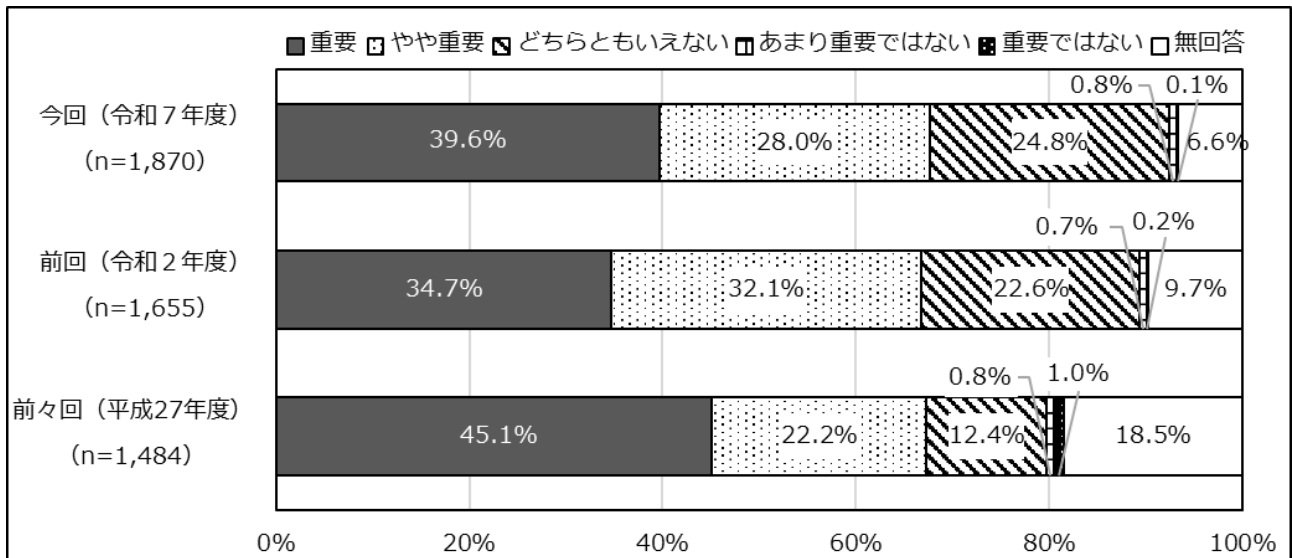
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は 67.6%で、前回（令和 2 年度）の調査時点（66.8%）と比較すると、0.8 ポイント増となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は 0.9%で、前回の調査時点（0.9%）と同じ値となっています。

図表 「交通安全対策の推進」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「交通安全対策の推進」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 30 消費者保護対策の充実

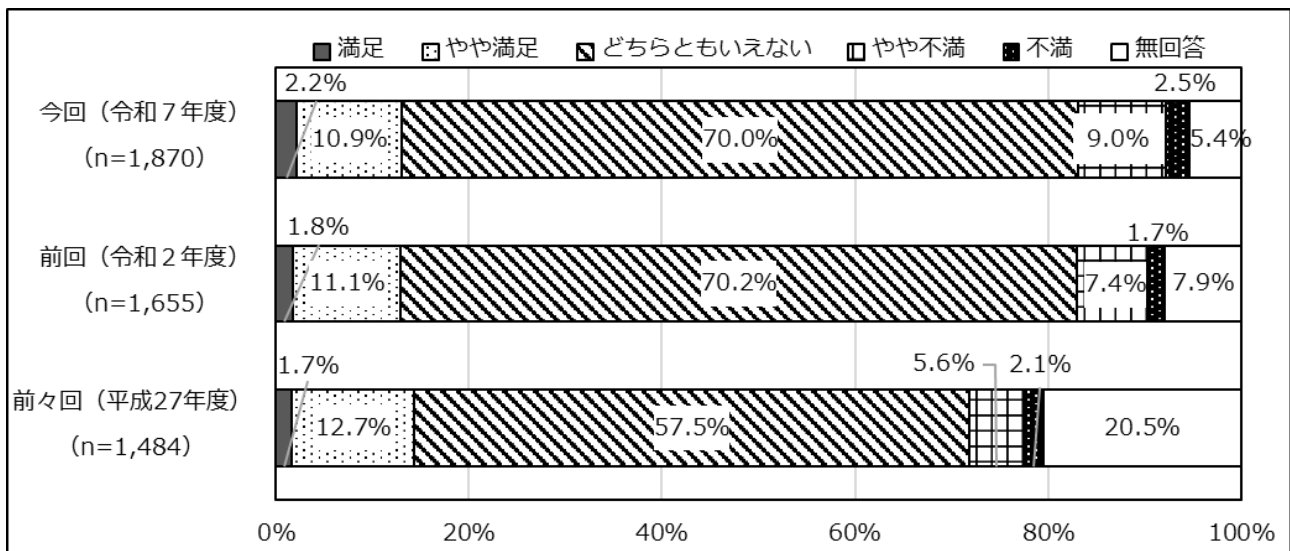
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は 13.1% で、前回（令和 2 年度）の調査時点（12.9%）と比較すると、0.2 ポイント増 となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は 11.5% で、前回の調査時点（9.1%）と比較すると、2.4 ポイント増 となっています。

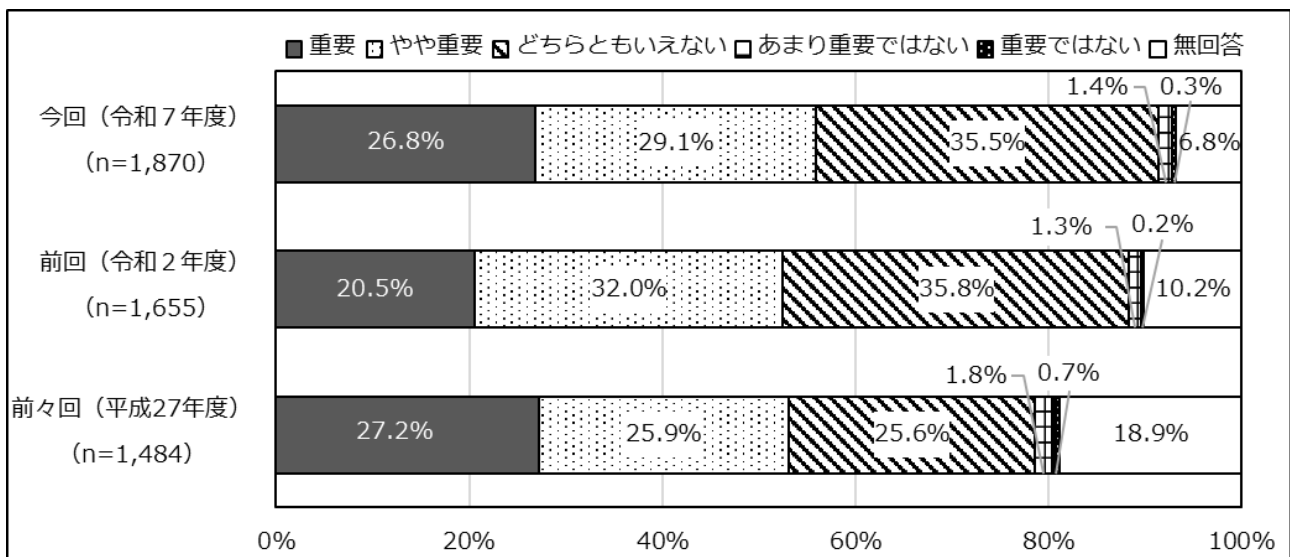
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は 55.9% で、前回（令和 2 年度）の調査時点（52.5%）と比較すると、3.4 ポイント増 となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は 1.7% で、前回の調査時点（1.5%）と比較すると、0.2 ポイント増 となっています。

図表 「消費者保護対策の充実」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「消費者保護対策の充実」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 31 市民参加行政の推進

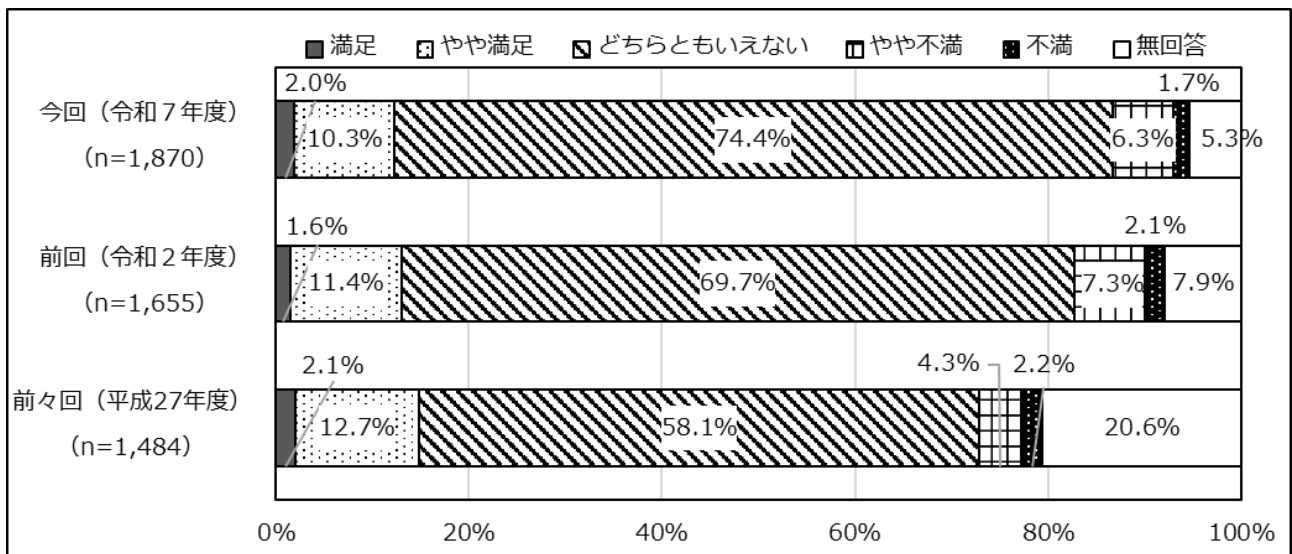
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は12.3%で、前回（令和2年度）の調査時点（13.0%）と比較すると、0.7ポイント減となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は8.0%で、前回の調査時点（9.4%）と比較すると、1.4ポイント減となっています。

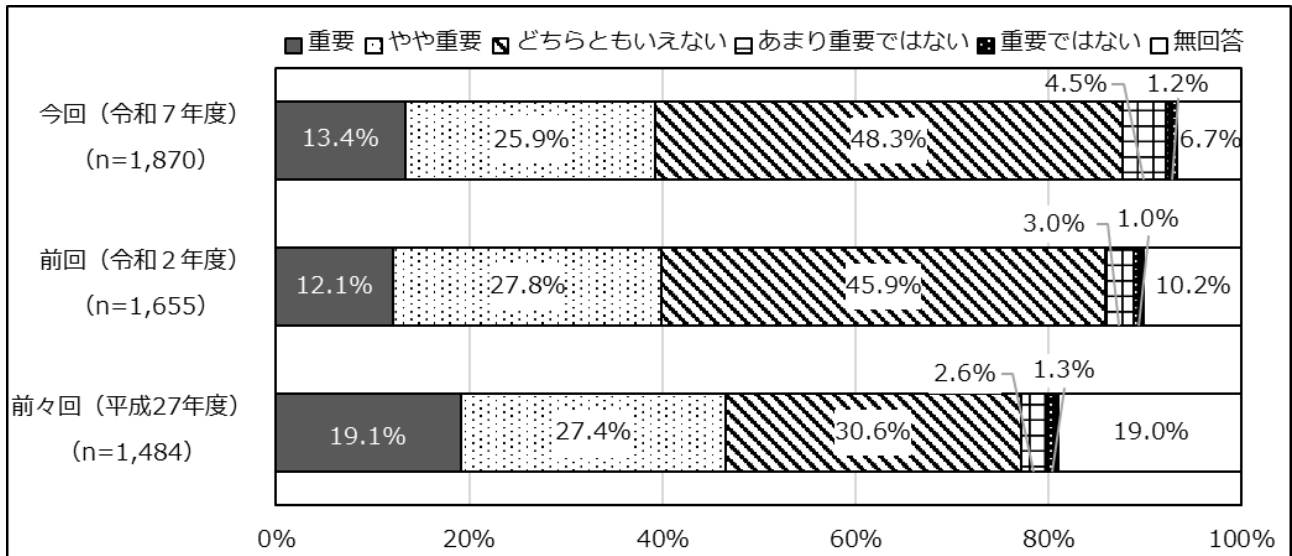
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は39.3%で、前回（令和2年度）の調査時点（39.9%）と比較すると、0.6ポイント減となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は5.7%で、前回の調査時点（4.0%）と比較すると、1.7ポイント増となっています。

図表 「市民参加行政の推進」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「市民参加行政の推進」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 32 広報広聴活動の充実

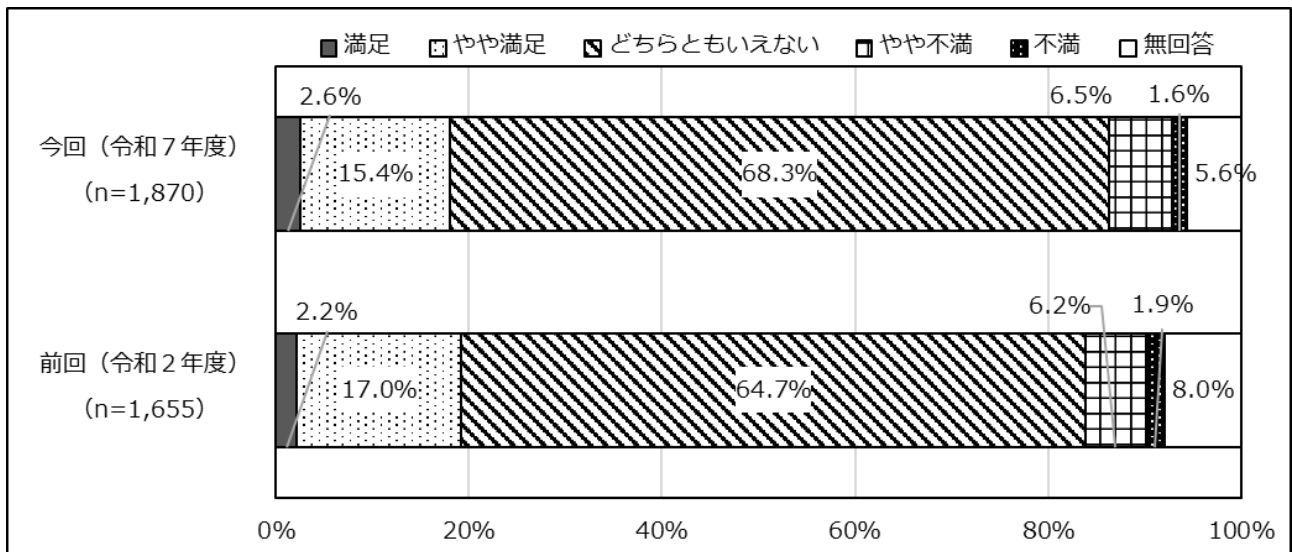
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は18.0%で、前回（令和2年度）の調査時点（19.2%）と比較すると、1.2ポイント減となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は8.1%で、前回の調査時点（8.1%）と同じ値となっています。

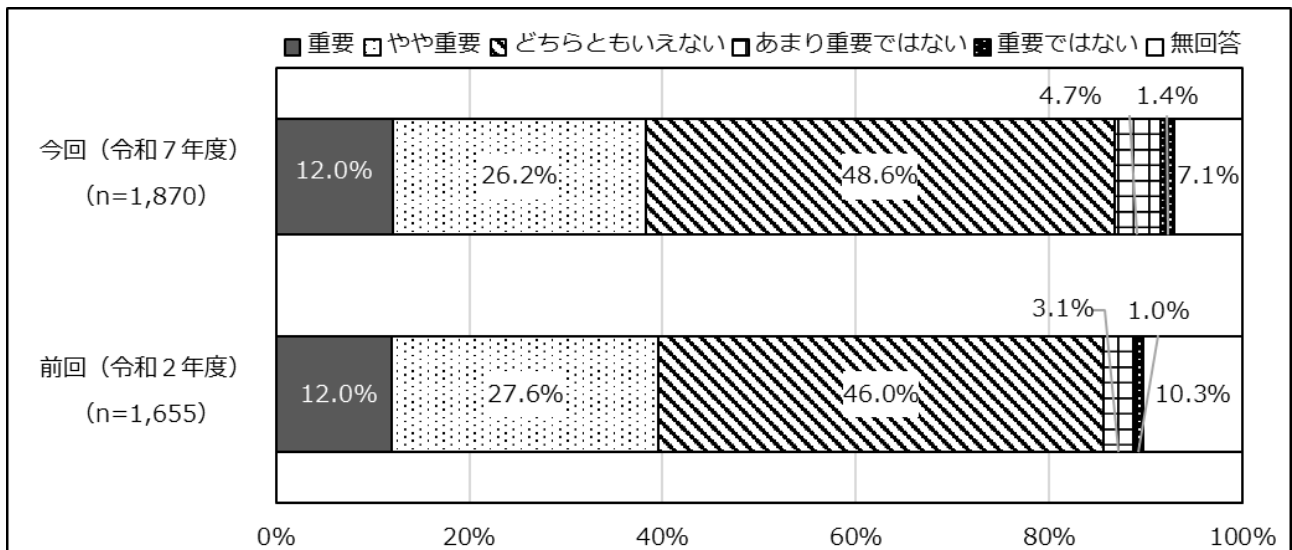
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は38.2%で、前回（令和2年度）の調査時点（39.6%）と比較すると、1.4ポイント減となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は6.1%で、前回の調査時点（4.1%）と比較すると、2.0ポイント増となっています。

図表 「広報広聴活動の充実」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「広報広聴活動の充実」の重要度の推移 回答率（%）



※「広報広聴活動の充実」については令和2年度調査より新たに加えた項目であるため、平成27年度との比較はない。

➤ 33 自治会・コミュニティの活性化

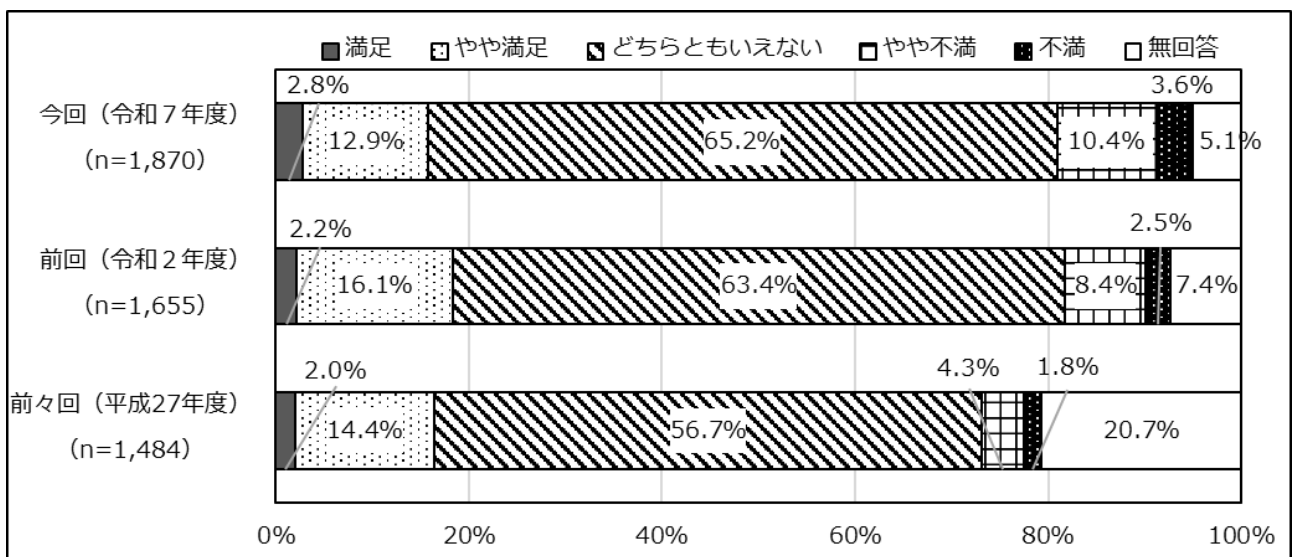
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は 15.7% で、前回（令和 2 年度）の調査時点（18.3%）と比較すると、2.6 ポイント減 となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は 14.0% で、前回の調査時点（10.9%）と比較すると、3.1 ポイント増 となっています。

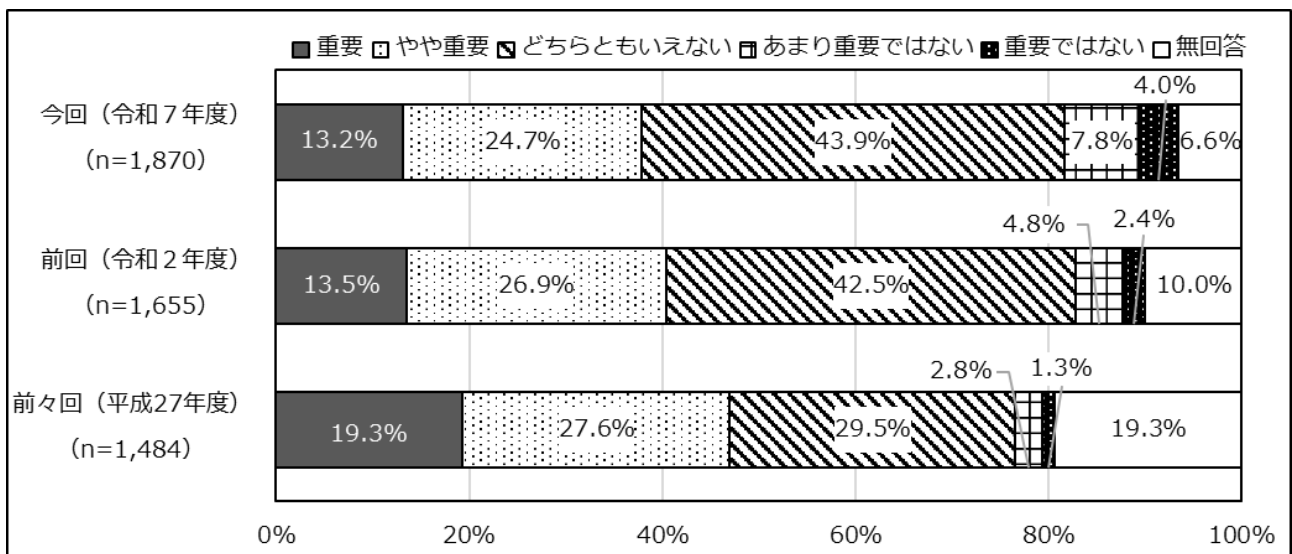
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は 37.9% で、前回（令和 2 年度）の調査時点（40.4%）と比較すると、2.5 ポイント減 となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は 11.8% で、前回の調査時点（7.2%）と比較すると、4.6 ポイント増 となっています。

図表 「自治会・コミュニティの活性化」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「自治会・コミュニティの活性化」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 34 人権尊重意識の普及と高揚

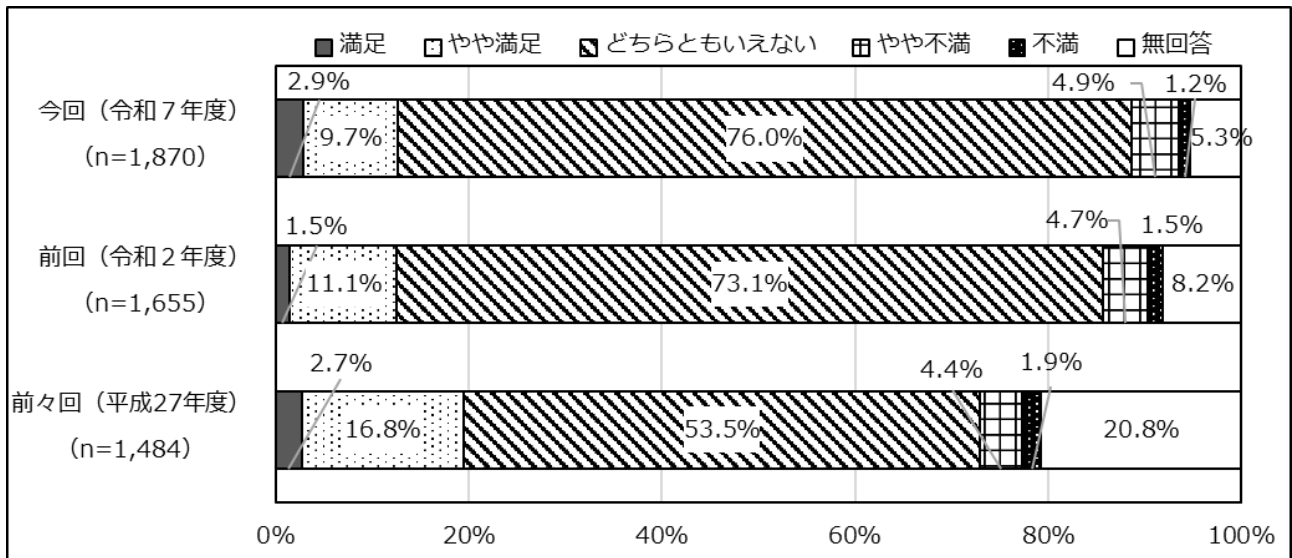
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は 12.6%で、前回（令和2年度）の調査時点（12.6%）と比較すると、同じ値となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は 6.1%で、前回の調査時点（6.2%）と比較すると、0.1ポイント減となっています。

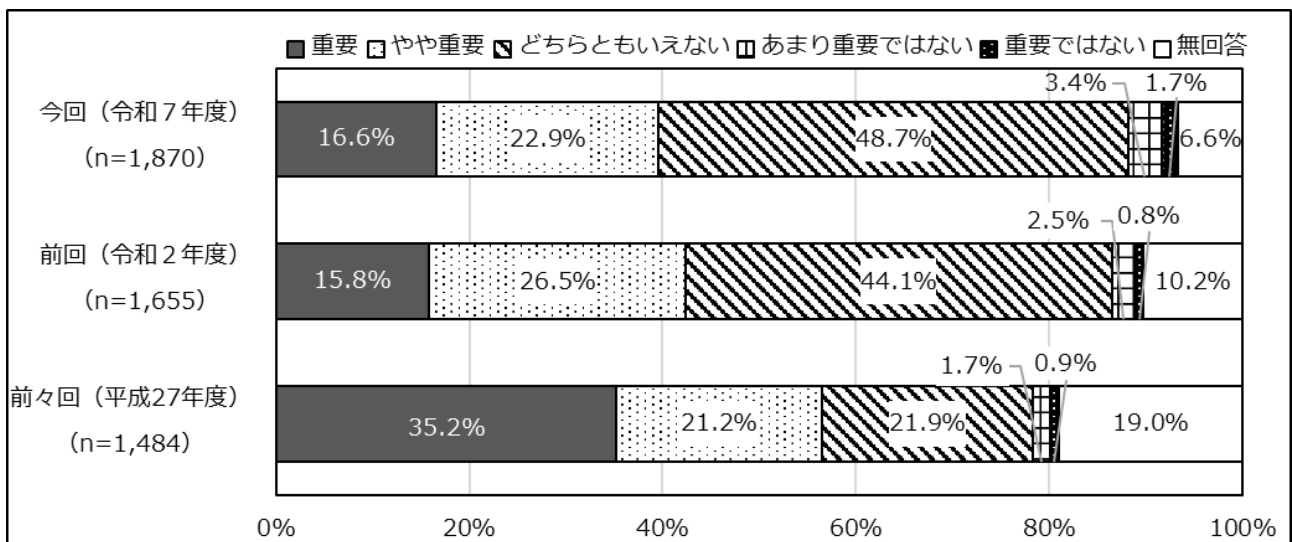
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は 39.5%で、前回（令和2年度）の調査時点（42.3%）と比較すると、2.8ポイント減となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は 5.1%で、前回の調査時点（3.3%）と比較すると、1.8ポイント増となっています。

図表 「人権尊重意識の普及と高揚」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「人権尊重意識の普及と高揚」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 35 男女共同参画の推進

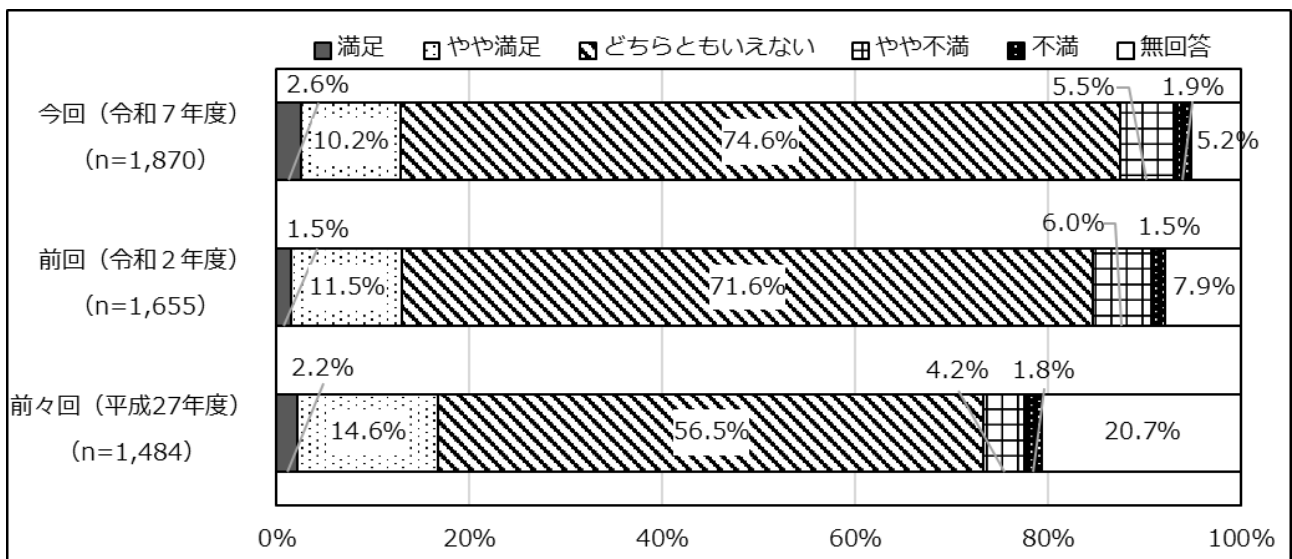
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は 12.8% で、前回（令和 2 年度）の調査時点（13.0%）と比較すると、0.2 ポイント減 となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は 7.4% で、前回の調査時点（7.5%）と比較すると、0.1 ポイント減 となっています。

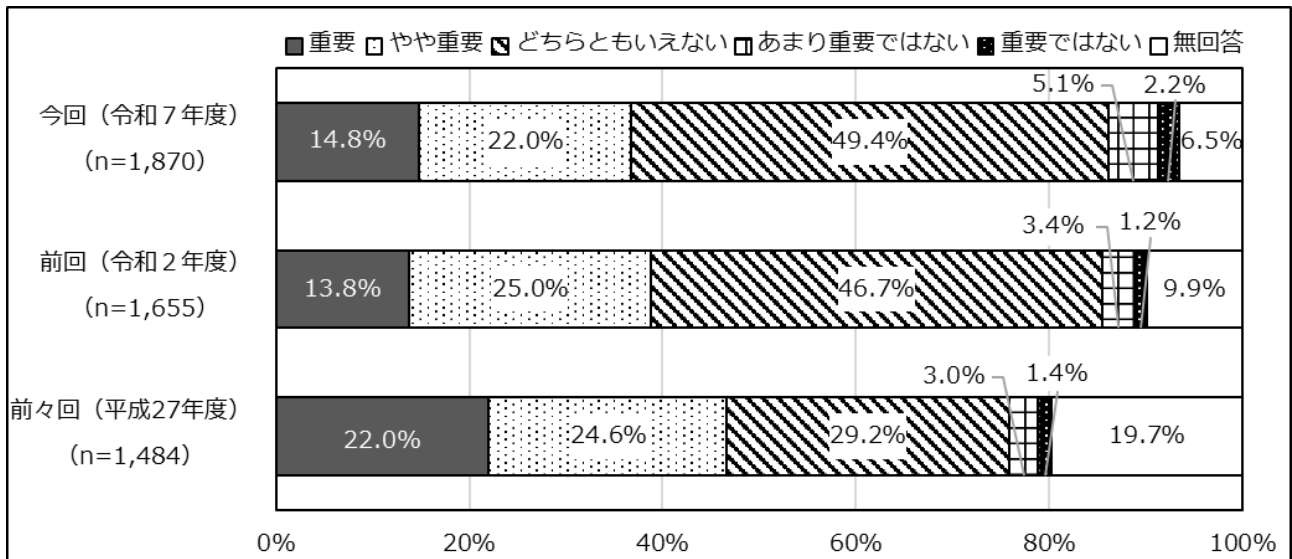
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は 36.8% で、前回（令和 2 年度）の調査時点（38.8%）と比較すると、2.0 ポイント減 となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は 7.3% で、前回の調査時点（4.6%）と比較すると、2.7 ポイント増 となっています。

図表 「男女共同参画の推進」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「男女共同参画の推進」の重要度の推移 回答率（%）



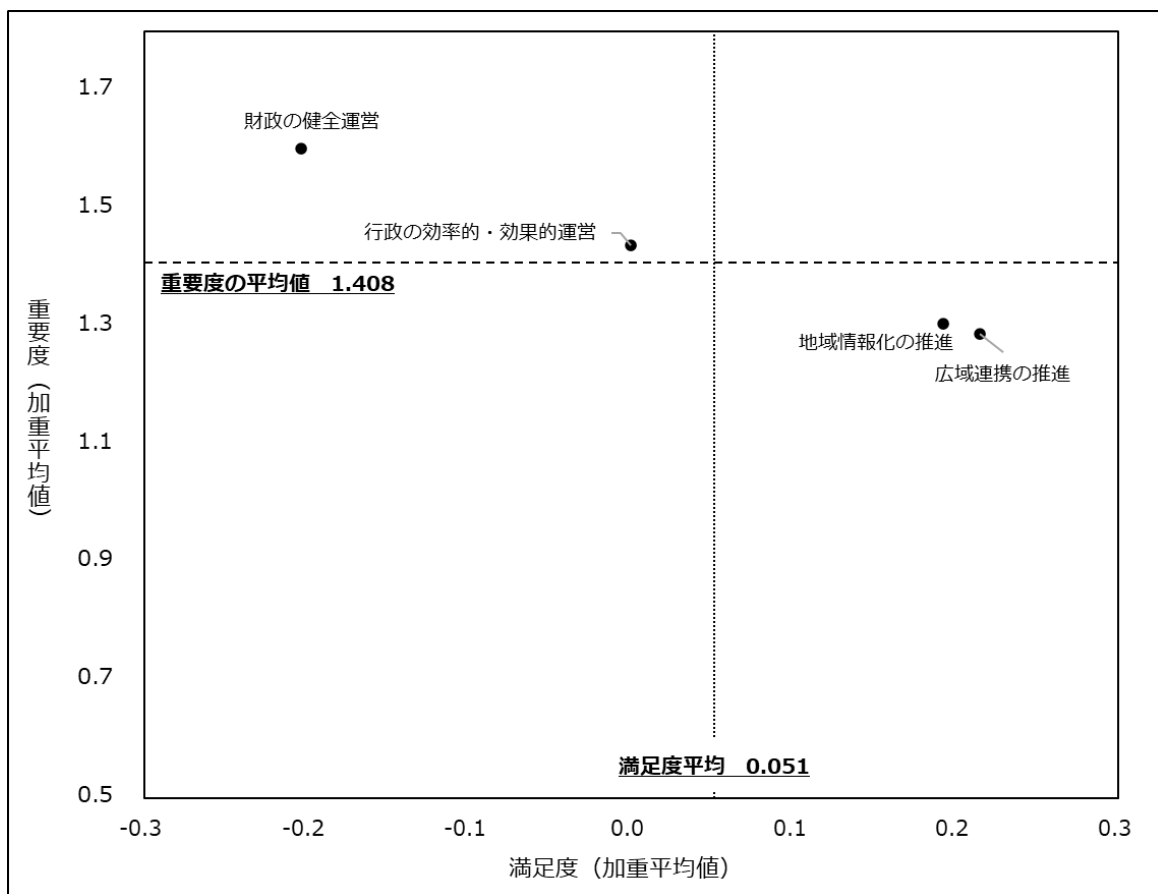
■ 基本政策 6 情報化と広域連携を進め、効率的・効果的な行財政運営のまちづくり

①基本政策 6 の各事業間の満足度・重要度

基本政策 6 の各事業における満足度及び重要度の位置付けをみると、表左上に位置する「財政の健全運営」「行政の効率的・効果的運営」は、重要度が政策全体の平均を上回る一方で、満足度は平均を下回っており、政策的な対応の優先度が高い「重点改善項目」に該当します。財源の確保や事務事業の見直し、DXなどの業務改善の推進による行政運営の効率化が求められます。

次に、表右下に位置する「地域情報化の推進」「広域連携の推進」は、満足度は平均を上回っている一方で、重要度は平均を下回っています。現状の取組に対する評価は一定程度得られているものの、政策全体の中での優先度は相対的に高くない位置付けとなっています。今後は現在の水準を維持しつつ、社会環境の変化や行政需要の動向を踏まえながら、必要に応じて取組内容の充実を図っていくことが求められます。

図表 基本政策 6 の各事業間の満足度・重要度 [n=1,780] 加重平均 (ポイント)



※横軸は満足度、縦軸は重要度を表し、点線はそれぞれの平均値（満足度 0.051、重要度 1.408）を示しています。

②事業別の集計結果

➤ 36 行政の効率的・効果的運営

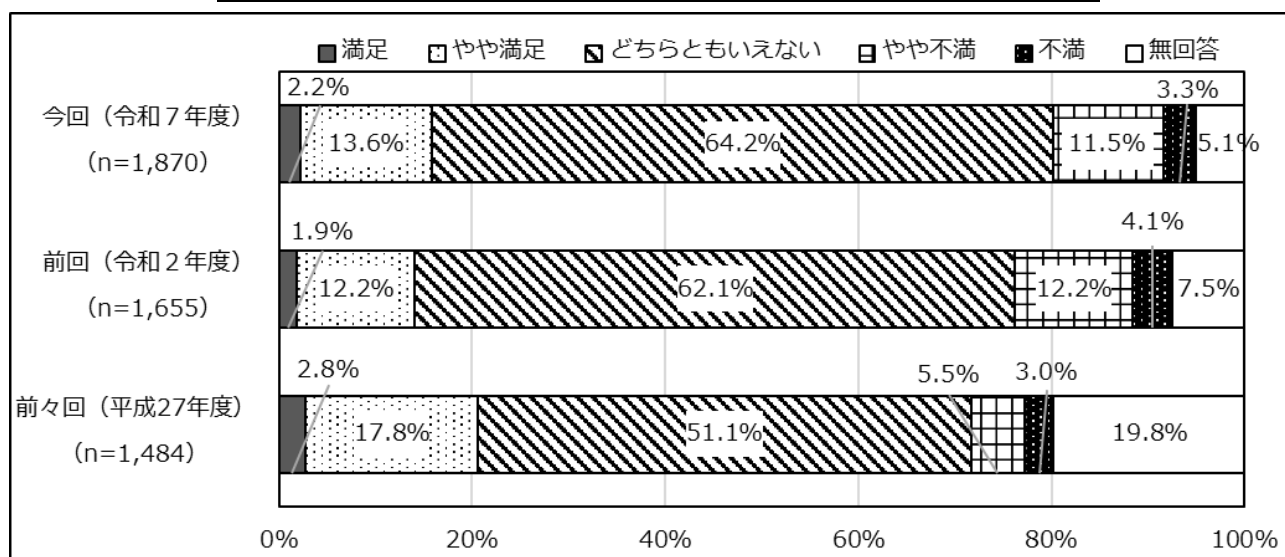
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は **15.8%**で、前回（令和2年度）の調査時点（14.1%）と比較すると、**1.7ポイント増**となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は **14.8%**で、前回の調査時点（16.3%）と比較すると、**1.5ポイント減**となっています。

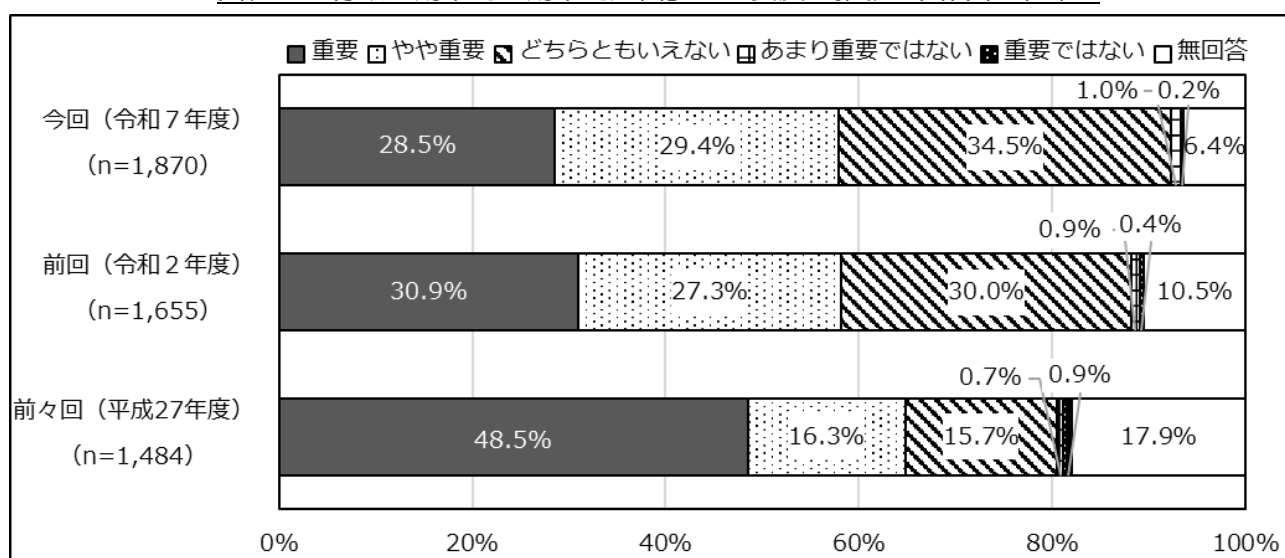
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は **57.9%**で、前回（令和2年度）の調査時点（58.2%）と比較すると、**0.3ポイント減**となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は **1.2%**で、前回の調査時点（1.3%）と比較すると、**0.1ポイント減**となっています。

図表 「行政の効率的・効果的運営」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「行政の効率的・効果的運営」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 37 財政の健全運営

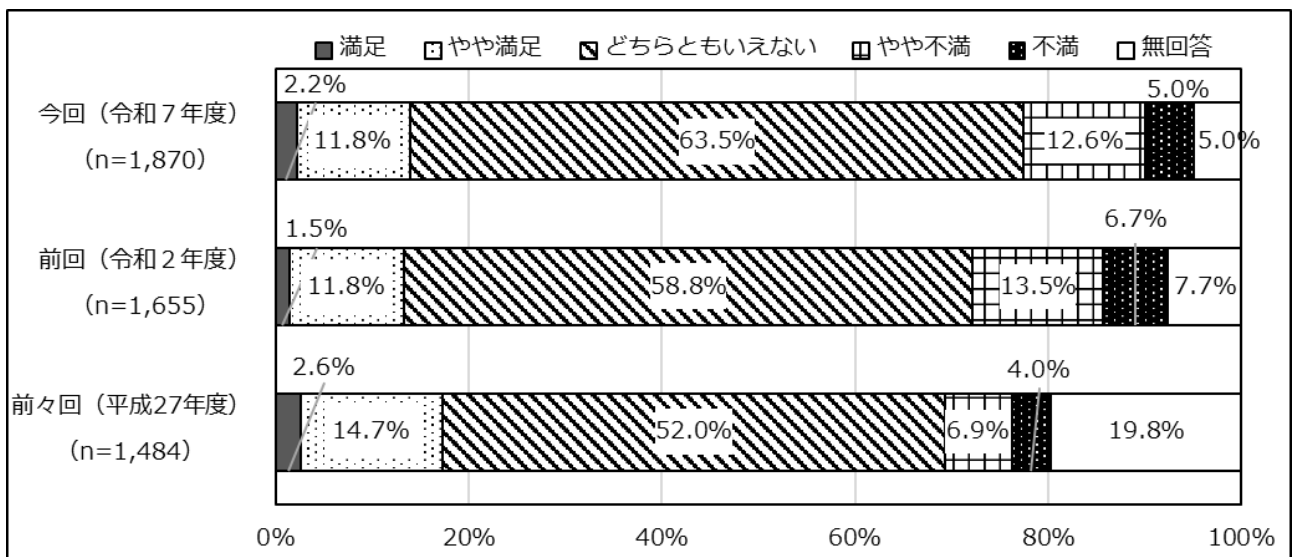
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は 14.0% で、前回（令和 2 年度）の調査時点（13.3%）と比較すると、0.7 ポイント増 となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は 17.6% で、前回の調査時点（20.2%）と比較すると、2.6 ポイント減 となっています。

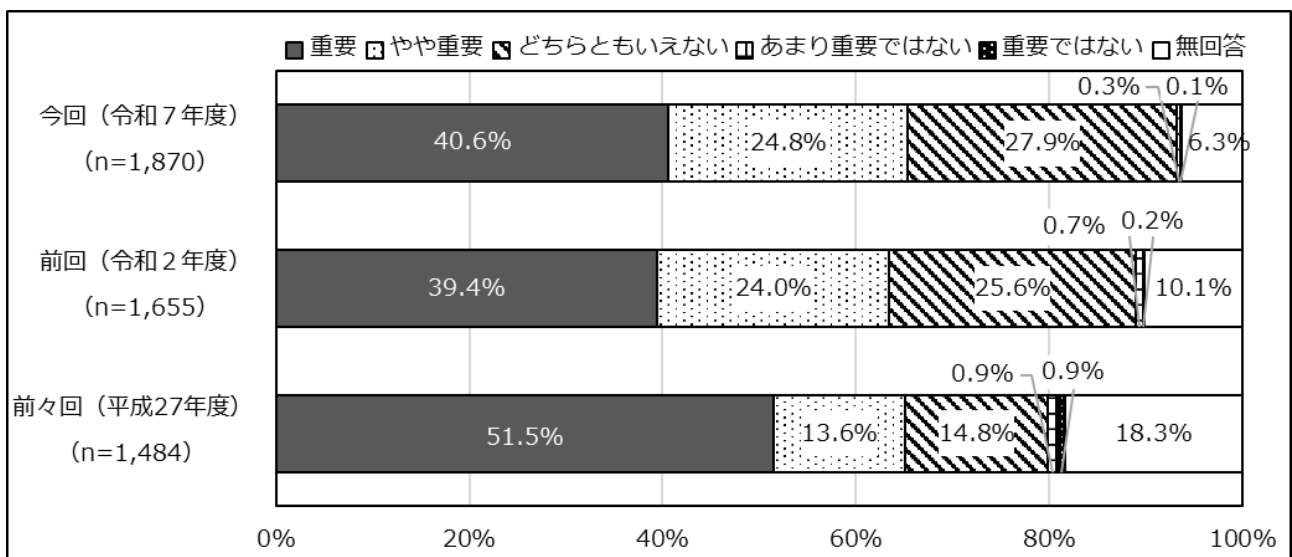
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は 65.4% で、前回（令和 2 年度）の調査時点（63.4%）と比較すると、2.0 ポイント増 となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は 0.4% で、前回の調査時点（0.9%）と比較すると、0.5 ポイント減 となっています。

図表 「財政の健全運営」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「財政の健全運営」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 38 広域連携の推進

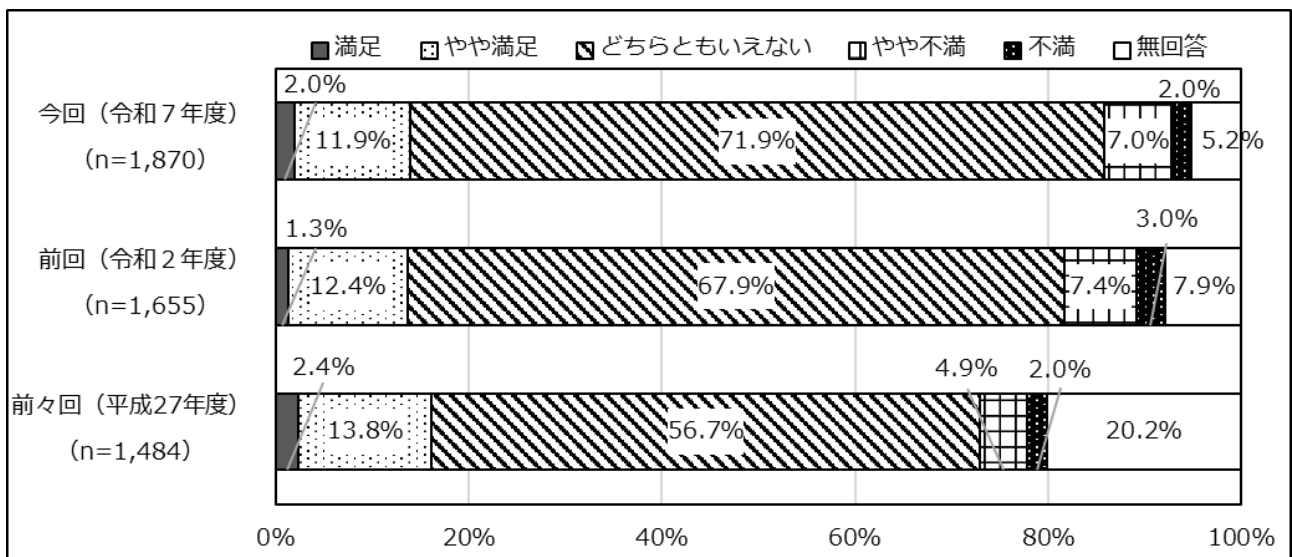
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は 13.9% で、前回（令和 2 年度）の調査時点（13.7%）と比較すると、0.2 ポイント増 となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は 9.0% で、前回の調査時点（10.4%）と比較すると、1.4 ポイント減 となっています。

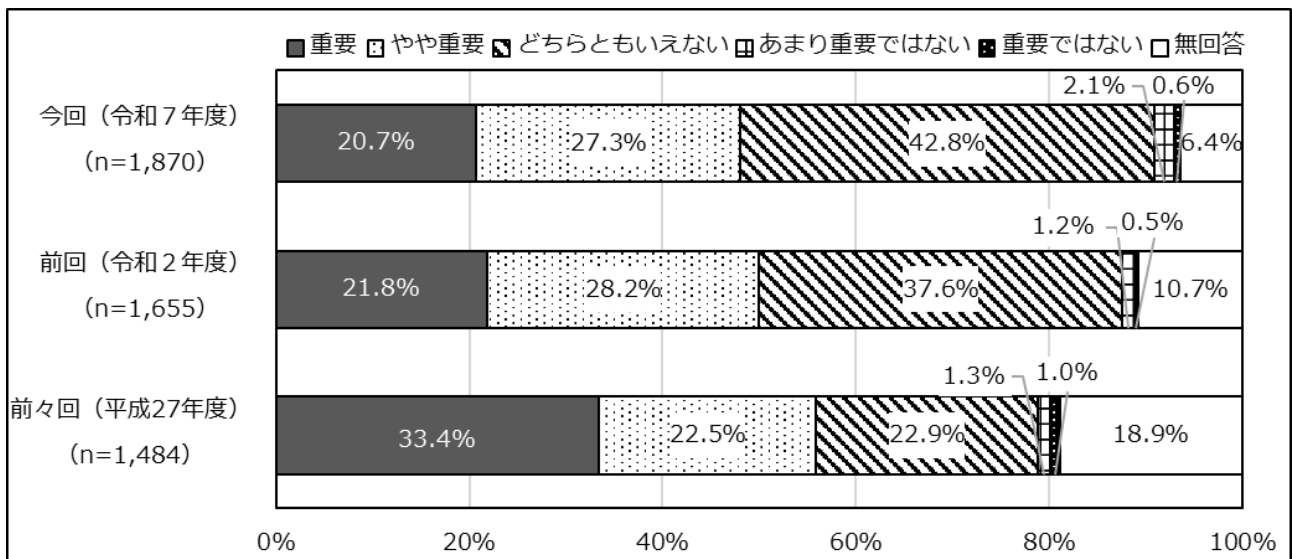
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は 48.0% で、前回（令和 2 年度）の調査時点（50.0%）と比較すると、2.0 ポイント減 となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は 2.7% で、前回の調査時点（1.7%）と比較すると、1.0 ポイント増 となっています。

図表 「広域連携の推進」の満足度の推移 回答率（%）



図表 「広域連携の推進」の重要度の推移 回答率（%）



➤ 39 地域情報化の推進

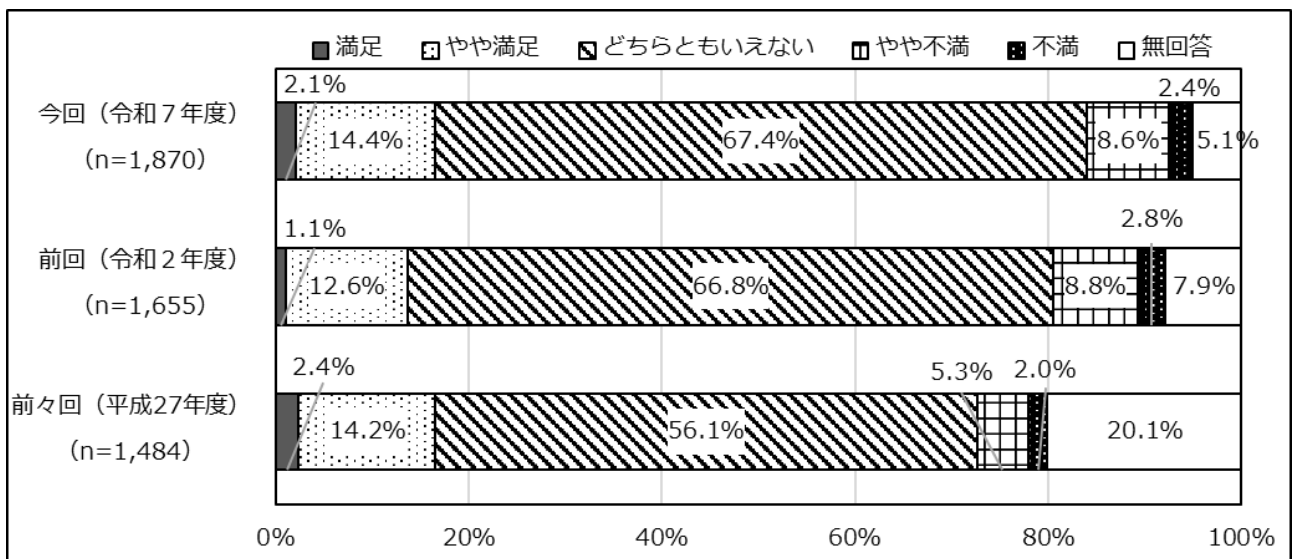
・満足度

「満足」または「やや満足」と回答した人の割合は 16.5% で、前回（令和 2 年度）の調査時点（13.7%）と比較すると、2.8 ポイント増 となっています。また、「不満」または「やや不満」と回答した人の割合は 11.0% で、前回の調査時点（11.6%）と比較すると、0.6 ポイント減 となっています。

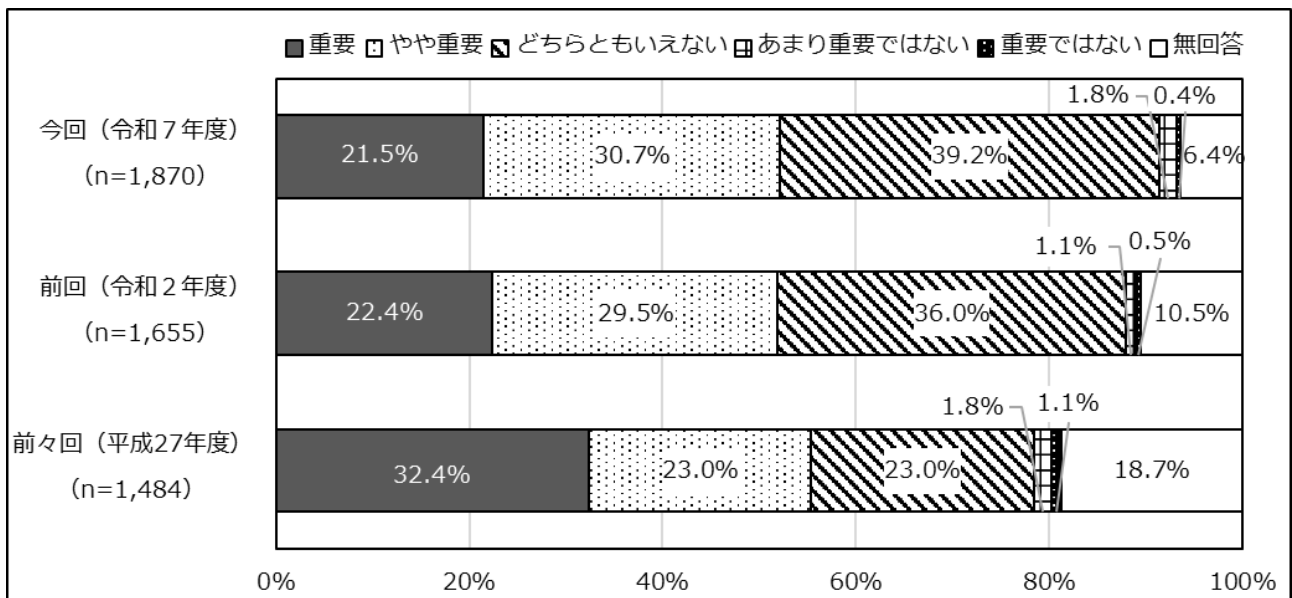
・重要度

「重要」または「やや重要」と回答した人の割合は 52.2% で、前回（令和 2 年度）の調査時点（51.9%）と比較すると、0.3 ポイント増 となっています。また、「重要ではない」または「あまり重要ではない」と回答した人の割合は 2.2% で、前回の調査時点（1.6%）と比較すると、0.6 ポイント増 となっています。

図表 「地域情報化の推進」の満足度の推移 回答率 (%)



図表 「地域情報化の推進」の重要度の推移 回答率 (%)



5. 今後のまちづくりについて

問 25 市民活動の経験

問 25 あなたは、市の事業等への参加経験（市民活動の経験）がありますか。
あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

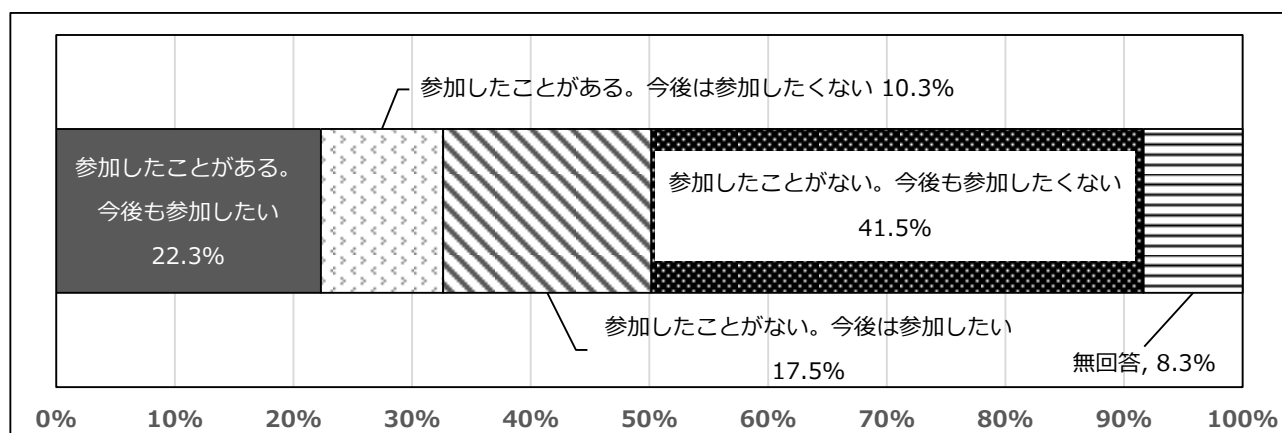
市民活動への参加経験について、「参加したことがない。今後も参加したくない」が41.5%と最も高くなっています。次いで、「参加したことがある。今後も参加したい」が22.3%、「参加したことがない。今後は参加したい」が17.5%、「参加したことがある。今後は参加したくない」は10.3%と続いています。

前回（令和2年度）、前々回調査（平成27年度）結果と比較すると、「参加したことがある。今後も参加したい」と回答した割合が前回調査から減少しており、「参加したことがない。今後も参加したくない」と回答した割合が増加しています。

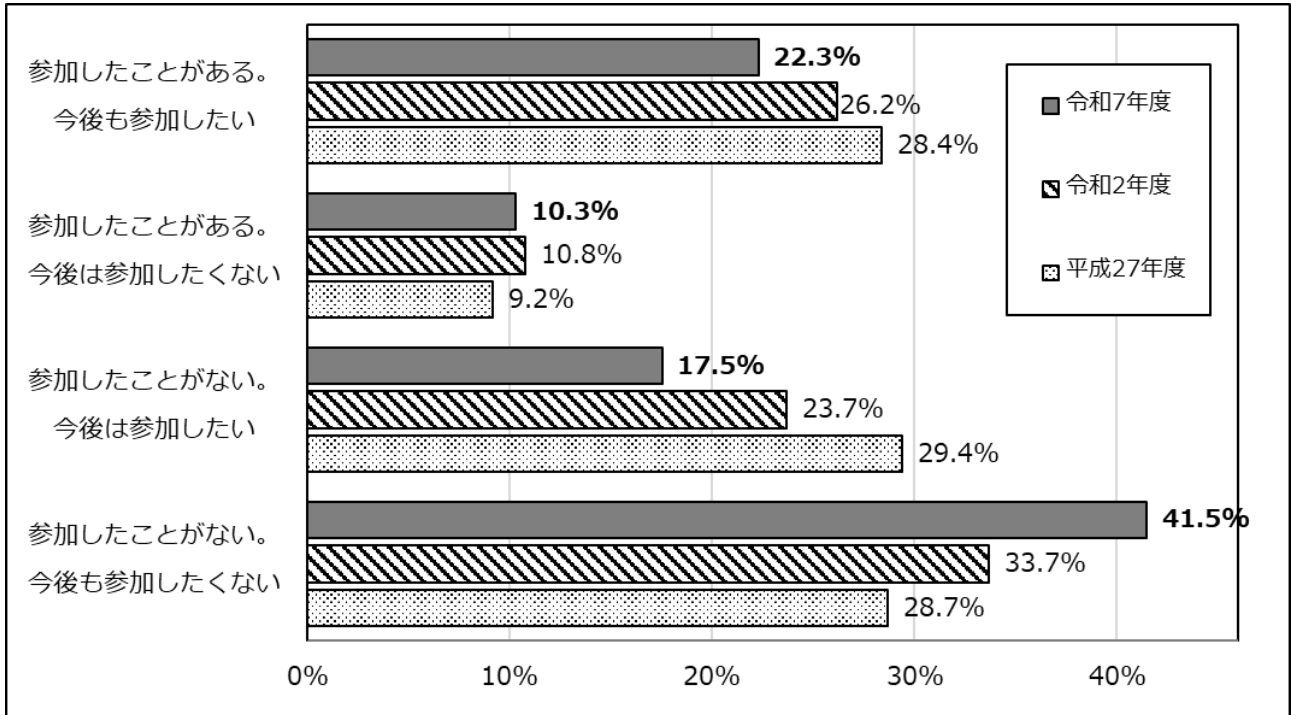
年代別では、「参加したことがある。今後も参加したい。」と回答した割合が最も高いのは60歳代の30.3%であり、次いで70歳代の30.2%、80歳以上の27.7%、50歳代の24.3%、40歳代の20.3%、29歳以下の16.9%、30歳代の12.5%となっています。一方、「参加したことがない。今後は参加したい。」と回答した割合が最も高いのは30歳代の26.6%であり、次いで29歳以下の25.1%、50歳代の21.6%、40歳代の17.9%、60歳代の17.1%、80歳以上の13.9%、70歳代の13.7%となっています。これらのことから29歳以下から30歳代を中心とした市民活動の実施が求められると考えられます。

地区別では、「参加したことがある。今後も参加したい。」と回答した割合が最も高いのは「両郷地区」の36.4%であり、次いで「須賀川地区」の36.0%、「親園地区」の35.4%と続いています。一方、「参加したことがない。今後は参加したい。」と回答した割合が最も高いのは「金田地区」の21.8%であり、次いで「野崎地区」及び「川西地区」の20.8%、両郷地区の20.5%と続いています。

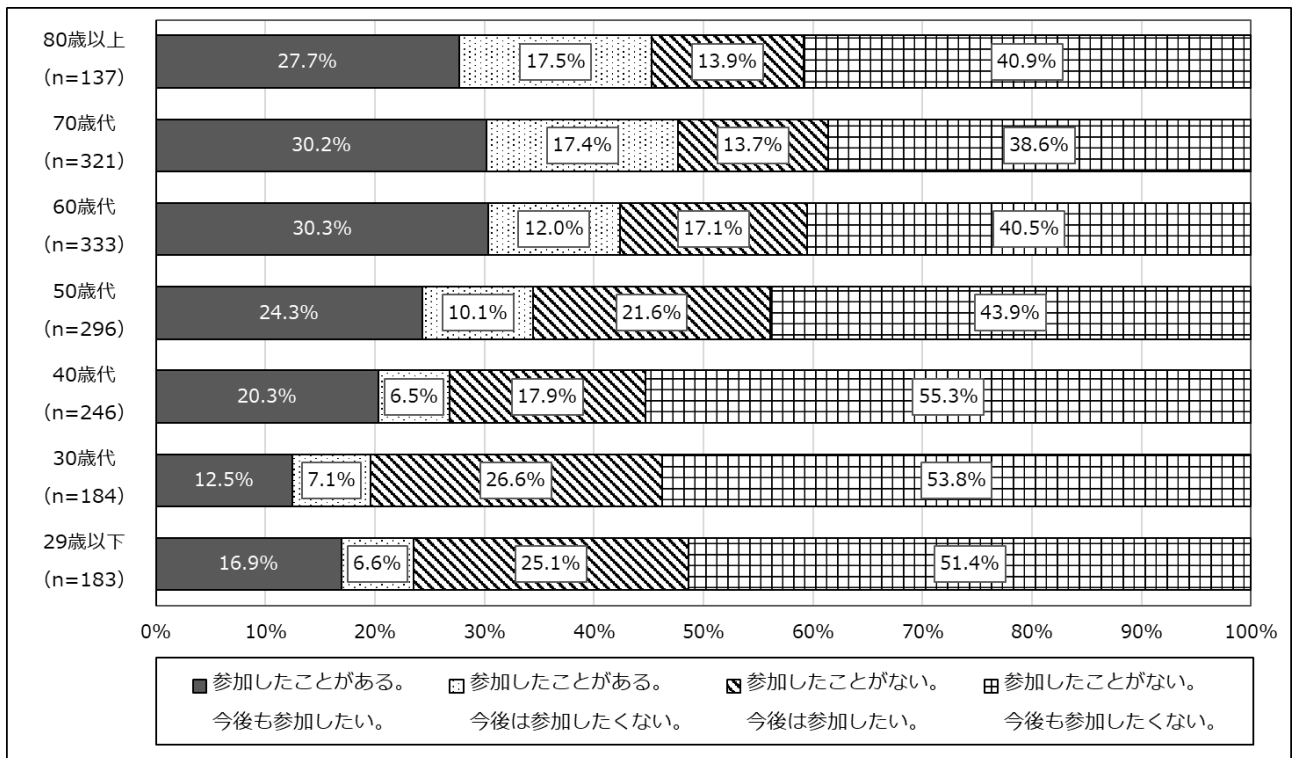
図表 市の事業等への参加経験 [n=1,870] 回答率 (%)



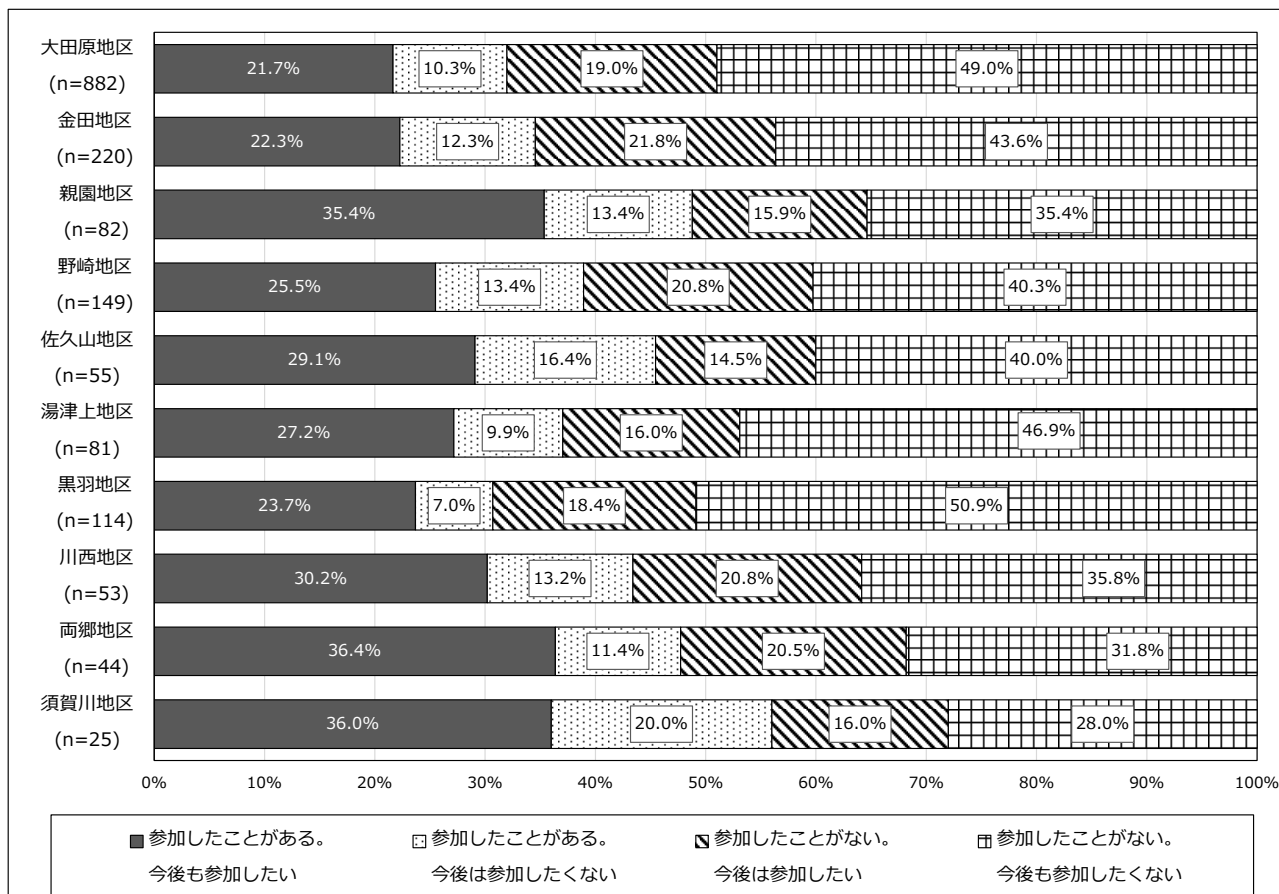
図表 参加経験の推移 回答率 (%)



図表 年代別の参加経験 [n=1,700] 回答率 (%)



図表 地区別の参加経験（地区別のクロス集計） [n=1,705] 回答率（%）



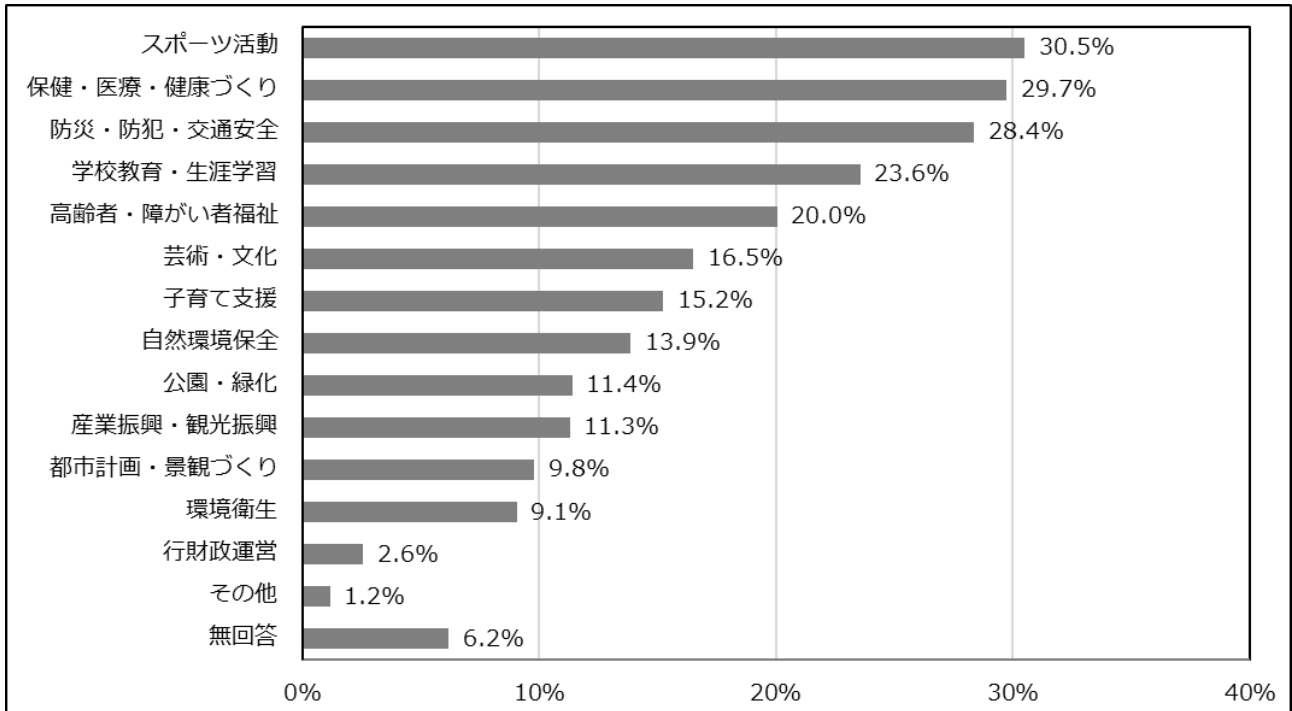
問 25-1 参加したことがある市民活動・今後参加したい市民活動

問 25-1 問 25 で「1. 参加したことがある。今後も参加したい」、「2. 参加したことがある。今後は参加したくない」、「3. 参加したことがない。今後は参加したい」と回答した方のみ参加したことがある市民活動は何ですか。また、今後参加したい活動は何ですか。あてはまる番号に 3 つまで丸をつけてください。

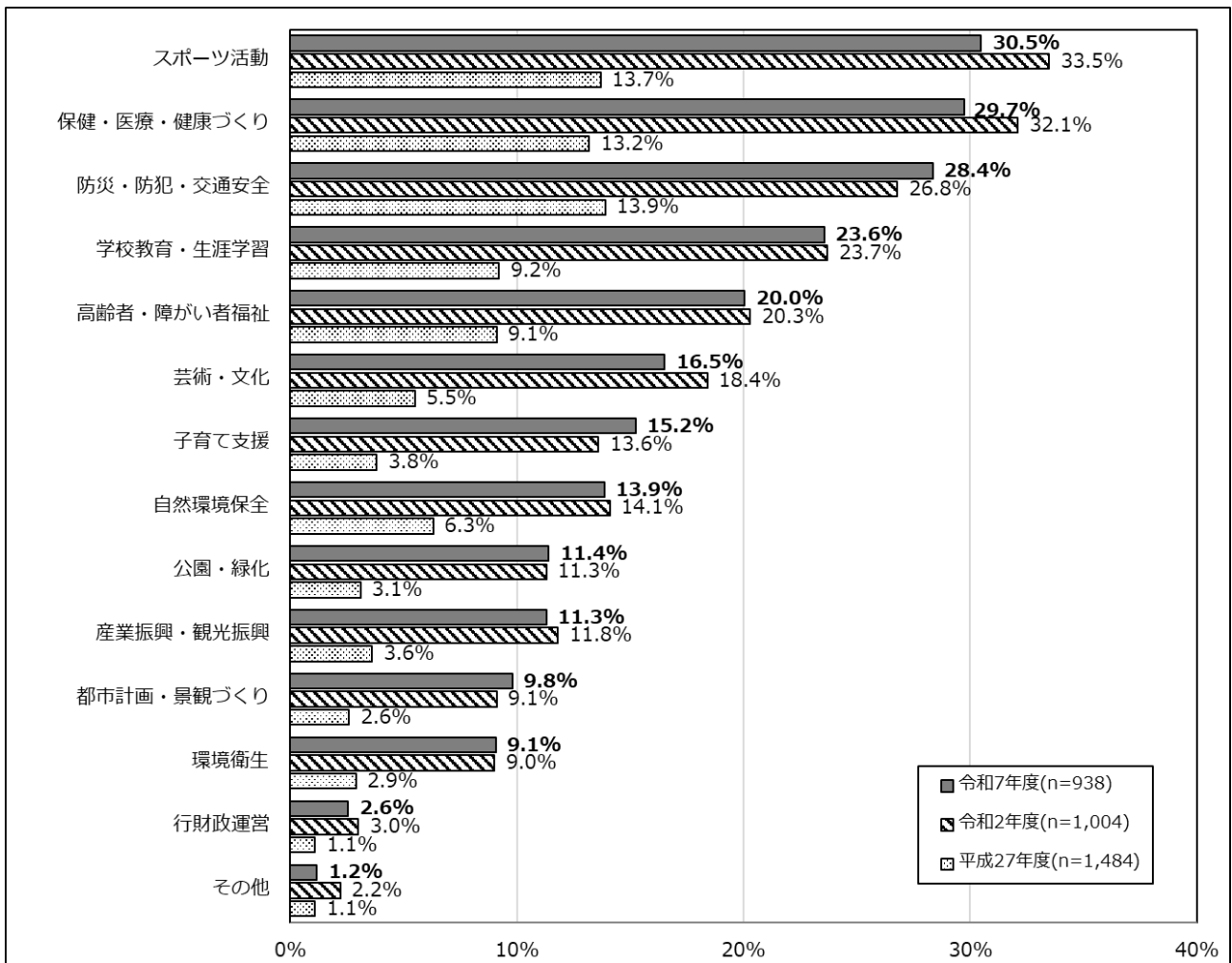
参加したことがある市民活動または今後参加したい市民活動は、「スポーツ活動」が 30.5%と最も高くなっており、次いで、「保健・医療・健康づくり」の 29.7%、「防災・防犯・交通安全」の 28.4%、「学校教育・生涯学習」の 23.6%、「高齢者・障がい者福祉」の 20.0%と続いています。

前回（令和 2 年度）、前々回（平成 27 年度）の調査結果と比較すると、全体的な傾向に大きな変化はみられません。前回調査で 18.4%だった「芸術・文化」は 16.5%に低下した一方、13.6%だった「子育て支援」は 15.2%へ上昇しています。

図表 参加したことがある市民活動 [n=938] 回答率 (%)



図表 参加したことがある市民活動の推移 回答率 (%)



※平成27年度調査の集計は、全回答者に対する回答率となっております。

問 25-2 市民活動に参加したくない理由

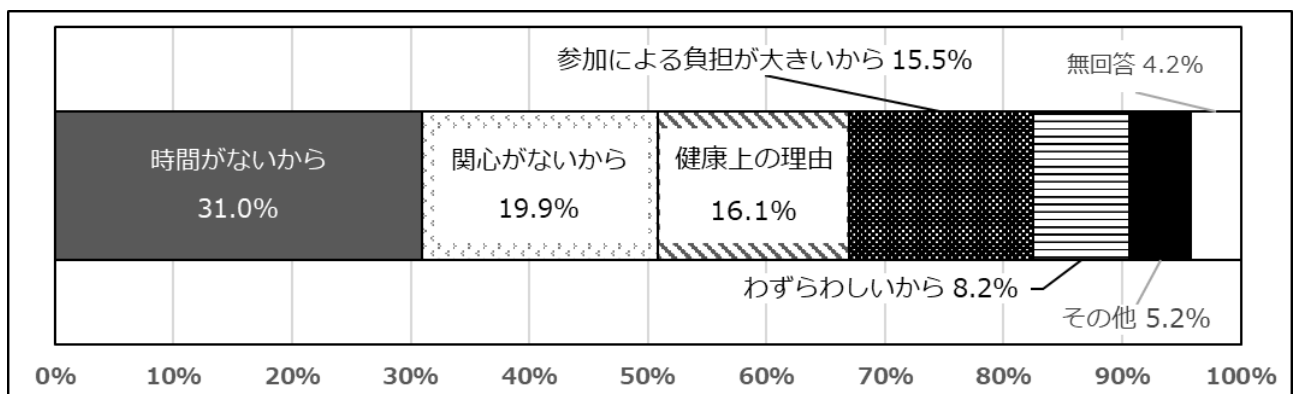
問 25-2 問 25 で「2. 参加したことがある。今後は参加したくない」、「4. 参加したことがない。今後も参加したくない」と回答した方のみ
 市民活動に参加したくない理由は何ですか。
 あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

市民活動に参加したくない理由については、「時間がないから」が31.0%と最も高くなっており、次いで、「関心がないから」が19.9%、「健康上の理由」が16.1%、「参加による負担が大きいから」が15.5%、「わずらわしいから」が8.2%と続いています。

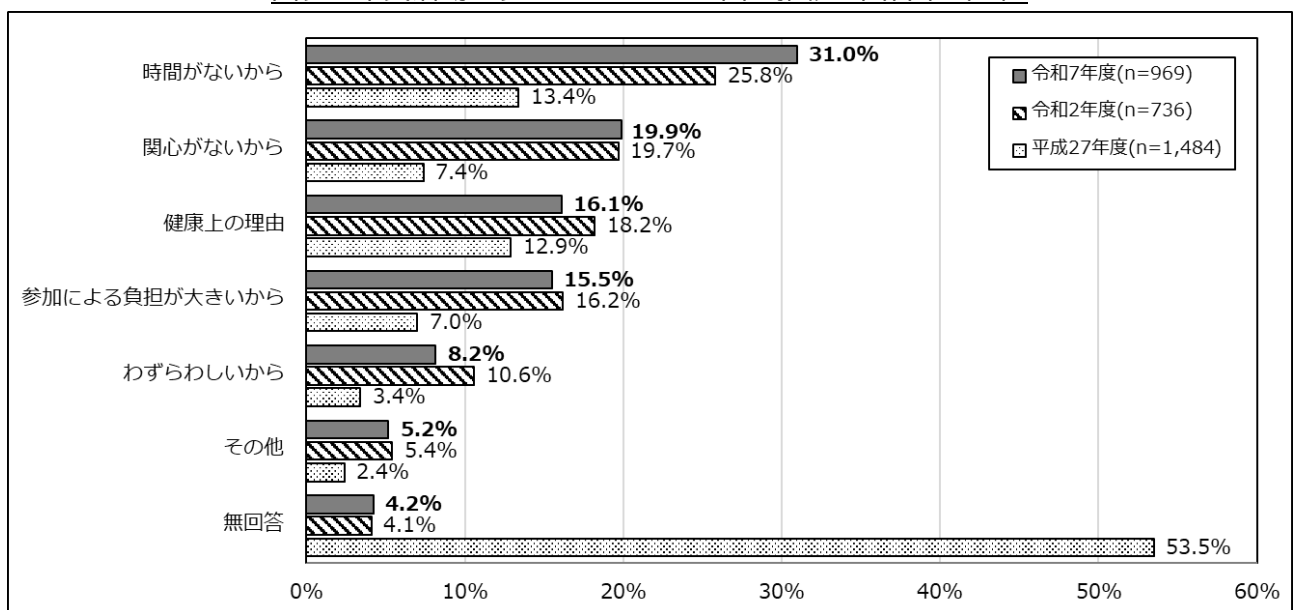
前回（令和2年度）の調査結果と比較すると、「時間がないから」「健康上の理由」と回答した割合が減少し、「関心がないから」「わずらわしいから」と回答した割合が増加しています。

年代別では、若年層ほど「時間がないから」「関心がないから」と回答した割合が高く、年齢が上がるにつれて「わずらわしいから」を理由とする割合が高くなる傾向がみられます。また、29歳以下から50歳代までの層では「関心がないから」と回答した割合が相対的に高いことから、この年代の市民活動への参加を促す取組が求められると考えられます。

図表 市民活動に参加したくない理由 [n=969] 回答率 (%)

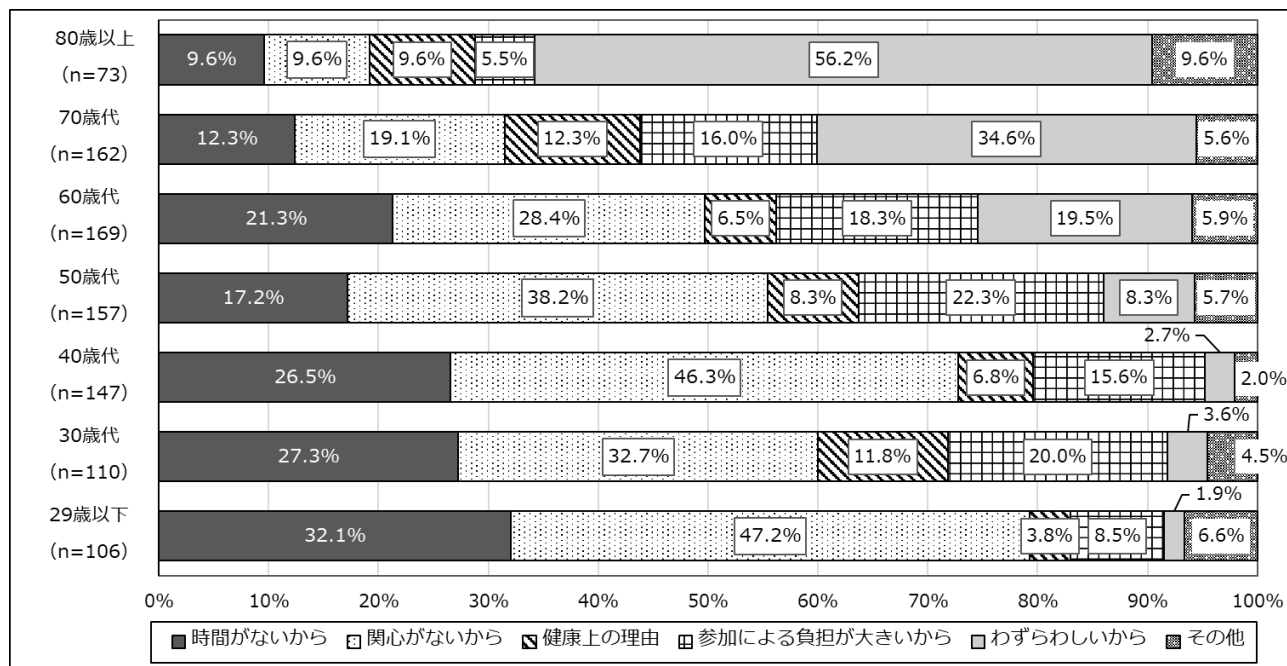


図表 市民活動に参加したくない理由の推移 回答率 (%)



※平成27年度調査の集計は、全回答者に対する回答率となっております。

図表 市民活動に参加したくない理由（年代別クロス集計） [n=924] 回答率（%）



問 26 今後の大田原市への期待

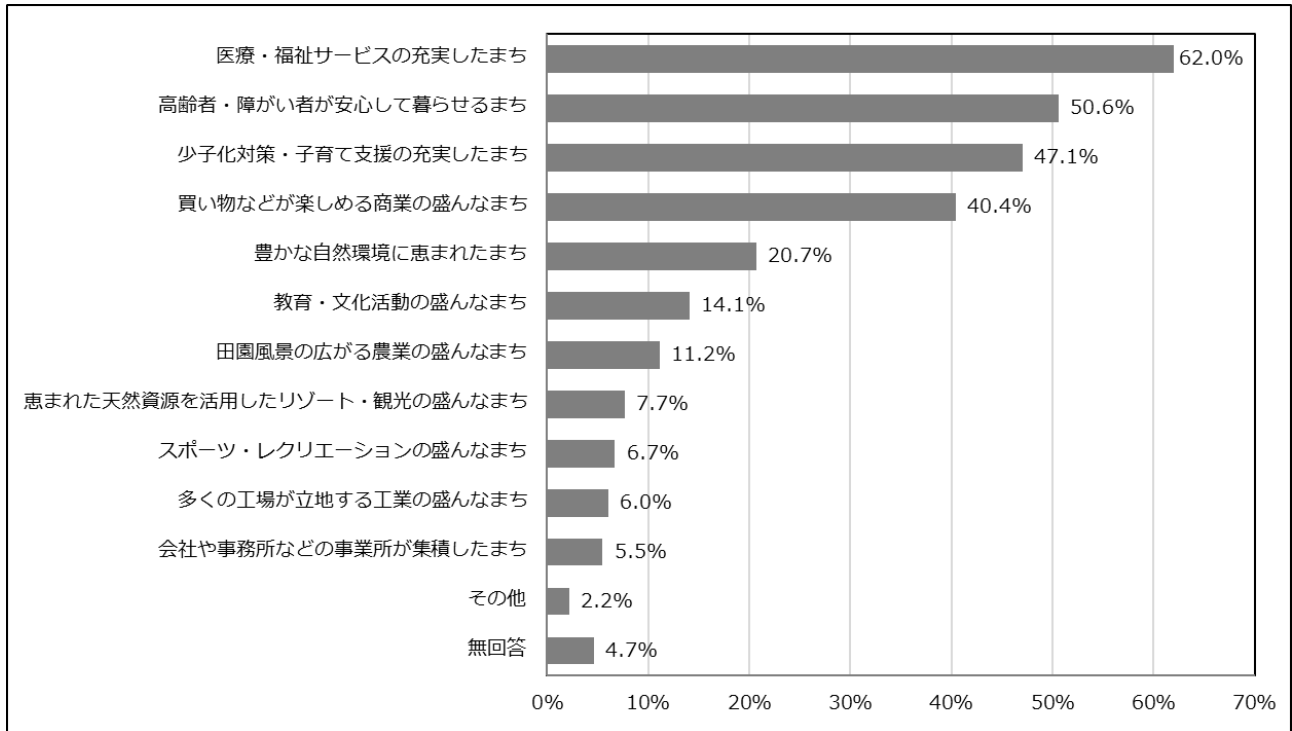
問 26 あなたは、今後、大田原市がどのようなまちになればいいと思いますか。
 あてはまる番号に3つまで丸をつけてください。

今後の大田原市への期待として、最も多い意見は「医療・福祉サービスの充実したまち」であり、次いで「高齢者・障がい者が安心して暮らせるまち」、「少子化対策・子育て支援の充実したまち」、「買い物などが楽しめる商業の盛んなまち」、「豊かな自然環境に恵まれたまち」の順となっています。年代別に比較すると、すべての世代で「医療・福祉サービスの充実したまち」が上位3位以内に入り、幅広い世代が望んでいることが明らかになりました。また、若年層ほど「少子化対策・子育て支援の充実したまち」を求める傾向がみられ、年代が上がるにつれて「高齢者・障がい者が安心して暮らせるまち」を望む傾向が強くなっています。さらに、29歳以下と30歳代では、「買い物などが楽しめる商業の盛んなまち」を望む声が2番目に多い結果となりました。

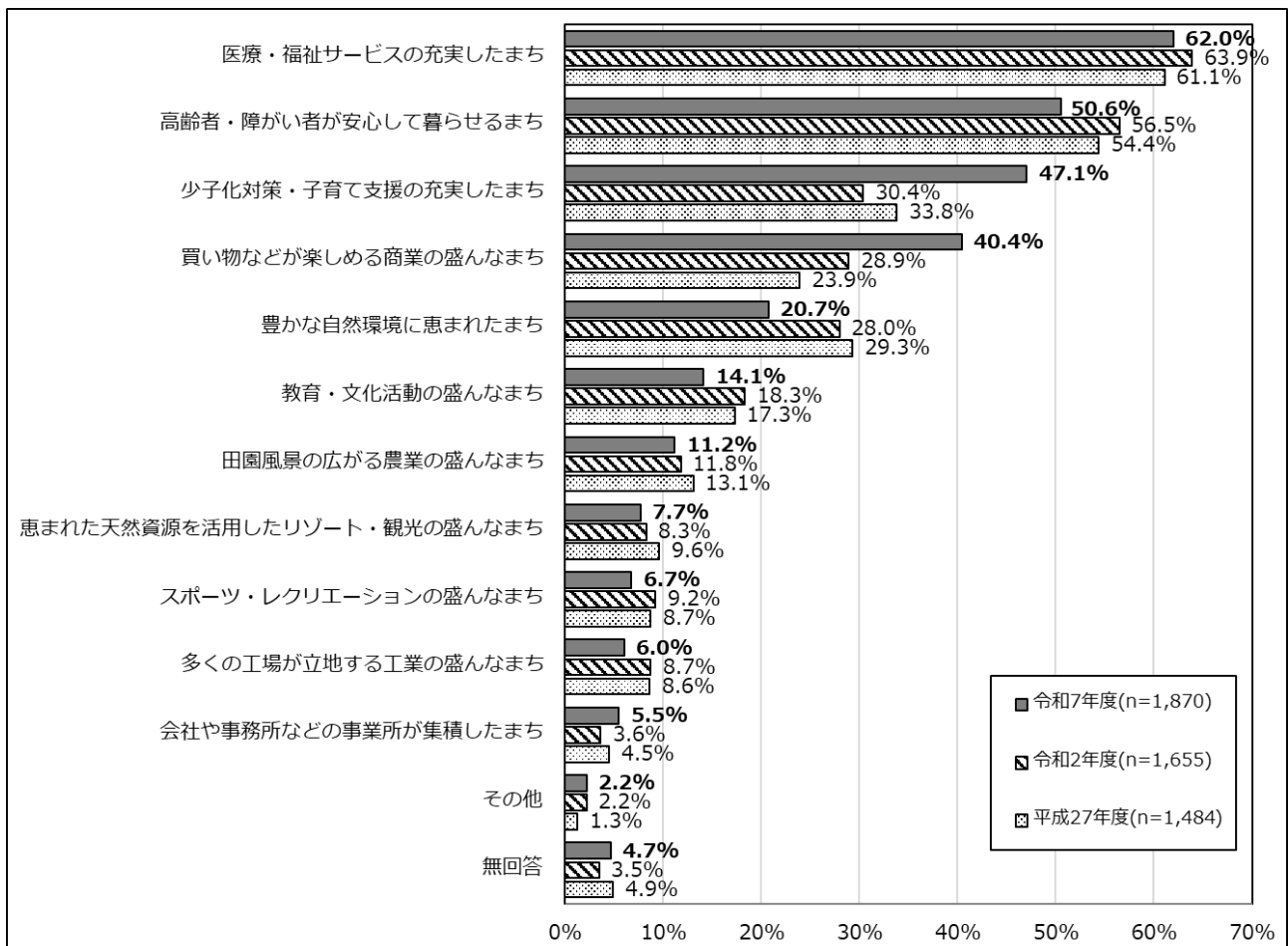
地区ごとに比較すると、いずれの地域においても「医療・福祉サービスの充実したまち」「高齢者・障がい者が安心して暮らせるまち」を期待する声が上位3位以内に入っており、広く期待されていることが明らかになりました。一方で、地区によっては「少子化対策・子育て支援の充実したまち」や「買い物などが楽しめる商業の盛んなまち」がより多く挙がるなど、地域特性に応じた期待の違いがあります。

また、各クロス集計を通じて、「多くの工場が立地する工業の盛んなまち」「恵まれた天然資源を活用したリゾート・観光の盛んなまち」「会社や事務所などの事業所が集積したまち」といった産業振興に関するニーズはごくわずかであり、全体として福祉サービスの充実を求める傾向が強い結果となりました。

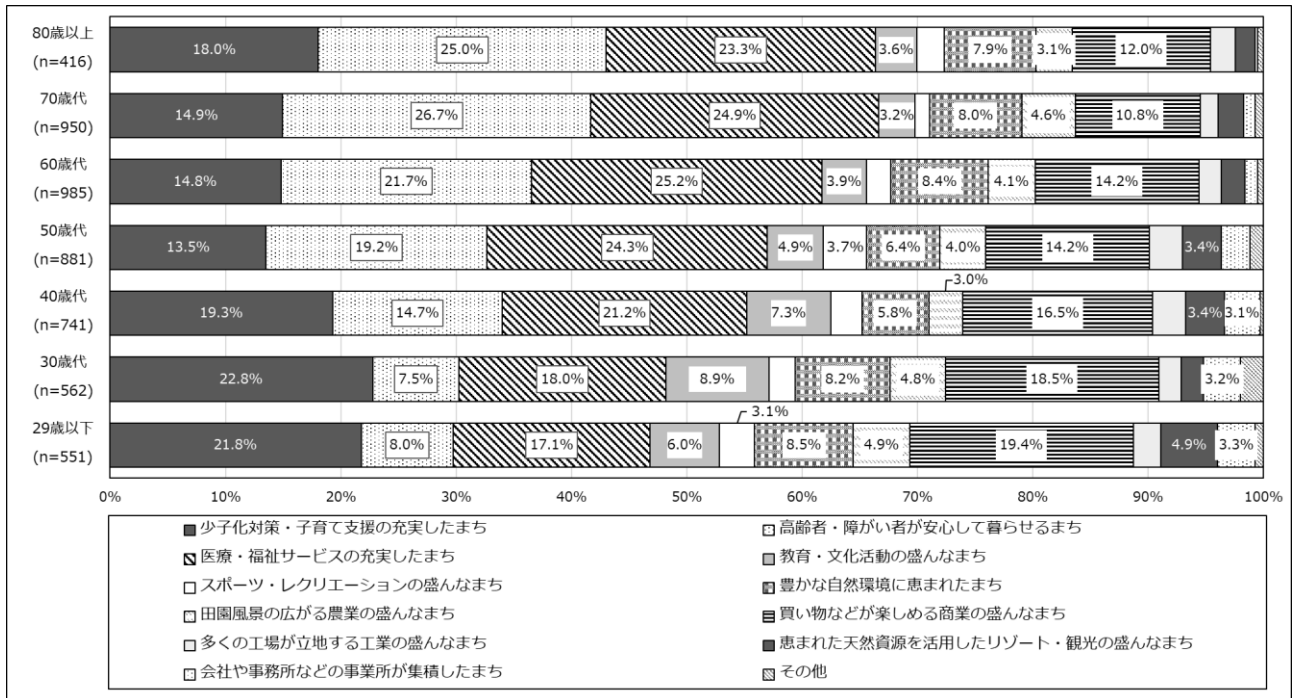
図表 今後の大田原市への期待 [n=1,870] 回答率 (%)



図表 今後の大田原市への期待の推移 回答率 (%)



図表 今後の大田原市への期待（各世代のクロス集計） [n=5,086] 回答率（%）

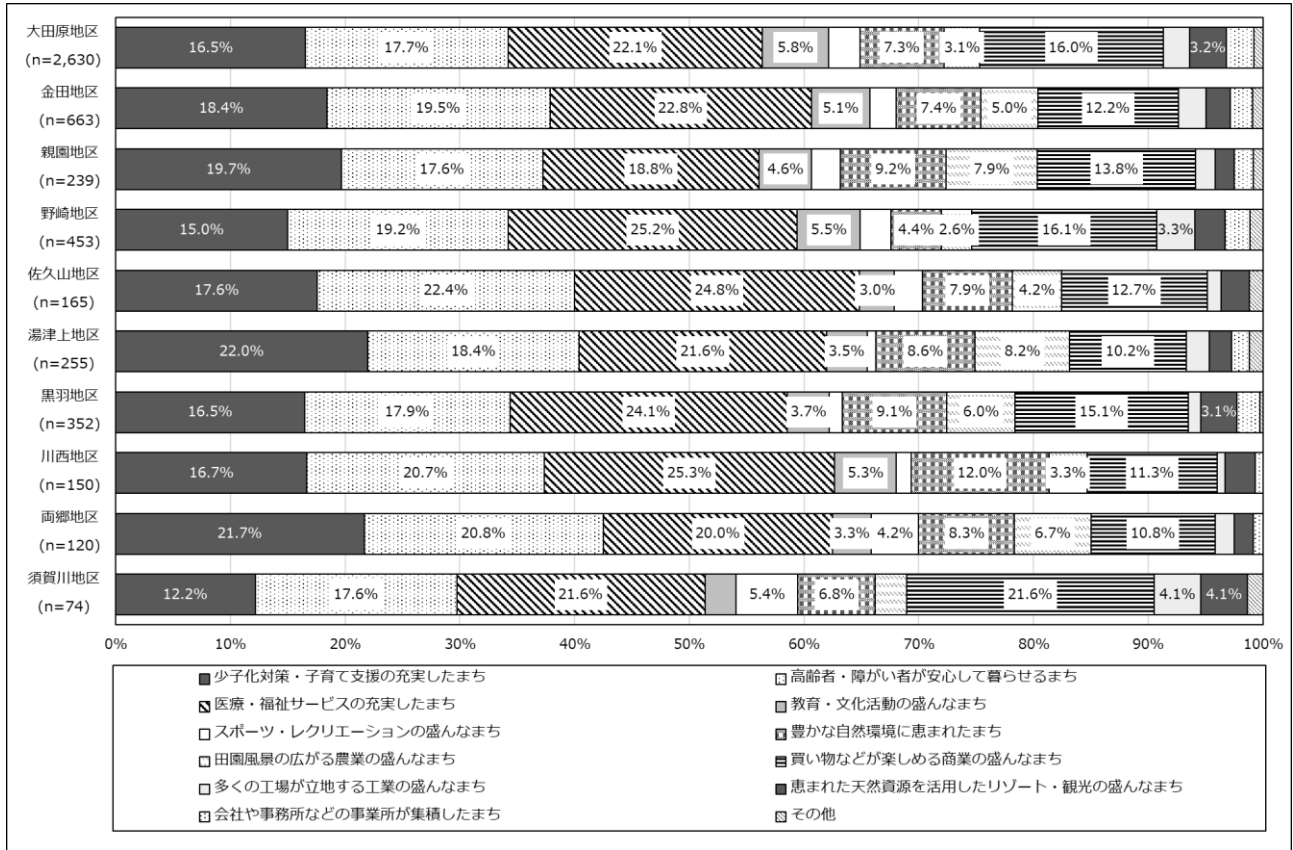


注) グラフの見やすさに配慮し、3%未満は非表示としている。

	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
少子化対策・子育て支援の充実したまち	21.8%	22.8%	19.3%	13.5%	14.8%	14.9%	18.0%
高齢者・障がい者が安心して暮らせるまち	8.0%	7.5%	14.7%	19.2%	21.7%	26.7%	25.0%
医療・福祉サービスの充実したまち	17.1%	18.0%	21.2%	24.3%	25.2%	24.9%	23.3%
教育・文化活動の盛んなまち	6.0%	8.9%	7.3%	4.9%	3.9%	3.2%	3.6%
スポーツ・レクリエーションの盛んなまち	3.1%	2.3%	2.7%	3.7%	2.1%	1.3%	2.4%
豊かな自然環境に恵まれたまち	8.5%	8.2%	5.8%	6.4%	8.4%	8.0%	7.9%
田園風景の広がる農業の盛んなまち	4.9%	4.8%	3.0%	4.0%	4.1%	4.6%	3.1%
買い物などが楽しめる商業の盛んなまち	19.4%	18.5%	16.5%	14.2%	14.2%	10.8%	12.0%
多くの工場が立地する工業の盛んなまち	2.4%	2.0%	2.8%	2.8%	1.9%	1.6%	2.2%
恵まれた天然資源を活用したリゾート・観光の盛んなまち	4.9%	2.0%	3.4%	3.4%	2.0%	2.2%	1.7%
会社や事務所などの事業所が集積したまち	3.3%	3.2%	3.1%	2.5%	1.1%	0.9%	0.2%
その他	0.7%	2.0%	0.3%	1.1%	0.5%	0.7%	0.5%

注) 表中の網掛けは、各属性の回答率の上位3番目までを指す。

図表 今後の大田原市への期待（地域別のクロス集計） [n=5,101] 回答率（%）



注) グラフの見やすさに配慮し、3%未満は非表示としている。

	大田原地区	金田地区	親園地区	野崎地区	佐久山地区	湯津上地区	黒羽地区	川西地区	両郷地区	須賀川地区
少子化対策・子育て支援の充実したまち	16.5%	18.4%	19.7%	15.0%	17.6%	22.0%	16.5%	16.7%	21.7%	12.2%
高齢者・障がい者が安心して暮らせるまち	17.7%	19.5%	17.6%	19.2%	22.4%	18.4%	17.9%	20.7%	20.8%	17.6%
医療・福祉サービスの充実したまち	22.1%	22.8%	18.8%	25.2%	24.8%	21.6%	24.1%	25.3%	20.0%	21.6%
教育・文化活動の盛んなまち	5.8%	5.1%	4.6%	5.5%	3.0%	3.5%	3.7%	5.3%	3.3%	2.7%
スポーツ・レクリエーションの盛んなまち	2.7%	2.3%	2.5%	2.6%	2.4%	0.8%	1.1%	1.3%	4.2%	5.4%
豊かな自然環境に恵まれたまち	7.3%	7.4%	9.2%	4.4%	7.9%	8.6%	9.1%	12.0%	8.3%	6.8%
田園風景の広がる農業の盛んなまち	3.1%	5.0%	7.9%	2.6%	4.2%	8.2%	6.0%	3.3%	6.7%	2.7%
買い物などが楽しめる商業の盛んなまち	16.0%	12.2%	13.8%	16.1%	12.7%	10.2%	15.1%	11.3%	10.8%	21.6%
多くの工場が立地する工業の盛んなまち	2.3%	2.4%	1.7%	3.3%	1.2%	2.0%	1.1%	0.7%	1.7%	4.1%
恵まれた天然資源を活用したリゾート・観光の盛んなまち	3.2%	2.1%	1.7%	2.6%	2.4%	2.0%	3.1%	2.7%	1.7%	4.1%
会社や事務所などの事業所が集積したまち	2.4%	2.0%	1.7%	2.2%	0.0%	1.6%	2.0%	0.7%	0.8%	0.0%
その他	0.8%	0.9%	0.8%	1.1%	1.2%	1.2%	0.3%	0.0%	0.0%	1.4%

注) 表中の網掛けは、各属性の回答率の上位3番目までを指す。

問 27 自由回答

問 27 今後のまちづくりや市政についてのご意見を、ご自由にお書きください。

今後のまちづくりや市政についての自由記述では、各年代から以下のような意見が挙げられています。

29 歳以下～40 歳代では、東武百貨店の閉店に伴う商業施設の確保や給食費・学費などの子育てに対する「経済的な支援」に関する意見が多く、50 歳代及び 60 歳代では、地域医療や道路整備などの安全性と利便性に関する意見が多く見られます。また、70 歳代及び 80 歳以上では、免許返納後の移動手段の確保やデジタル手段によらない行政情報の確保などに関する意見が挙がっています。

図表 今後の大田原市への期待（年代別） [n=551] 回答数（件）

年代(回答件数)	主な意見
29 歳以下 (n=49)	結婚や子育て支援の強化
	東武百貨店の閉店に伴う、代替りの商業施設の誘致
	交通手段の充実
30 歳代 (n=60)	物価高に伴う生活支援の強化
	東武百貨店の閉店に伴う、代替りの商業施設の誘致
	子どもを安心して遊ばせられる公園の整備
	登下校中の子どもの見守り強化
40 歳代 (n=100)	結婚や子育て支援の強化
	東武百貨店の閉店に伴う、代替りの商業施設の誘致
	空き家・空き店舗対策
	低所得者や年金受給者等への支援の強化
50 歳代 (n=101)	高齢者や障害者の移動手段の充実
	子育て世代から高齢者まで、全世代が安心して暮らせるまちづくり
	医療や介護従事者の担い手確保
	財政の健全化
60 歳代 (n=124)	免許返納後の交通手段の確保
	中心市街地の活性化
	結婚や子育て支援の強化
	道路の整備や渋滞緩和の取組
70 歳代 (n=86)	高齢者や障害者の移動手段の充実
	DX による市役所の手続きの簡素化や行財政の効率化
	よいちメール等の情報発信手段の有効活用
80 歳以上 (n=31)	買い物や病院への交通手段の充実
	スマートフォンが使えない層へのテレビ等による市の情報の発信
	市への来訪者数を増やすためのイベントの充実

III. 資料

新たな総合計画の策定に向けた

大田原市 市民意識調査

皆さまの声を計画に反映します

《アンケート調査ご協力をお願い》

日頃から、市民の皆様におかれましては、市政に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

大田原市では、令和8（2026）年度を目標年度とした大田原市総合計画（おおたわら国造りプラン）や人口減少克服と地方創生への課題解決に取り組むための「第3期大田原市未来創造戦略」に基づき、まちの将来像として掲げる「知恵と愛のある 協働互敬のまち おおたわら」の実現に向け、さまざまな施策・事業を進めてまいりました。

この度、現行の総合計画の計画期間終了に伴い、新たに、令和9（2027）年度から8年間のまちづくりの指針を示す「次期大田原市総合計画（基本構想及び前期基本計画）」を策定することといたしました。本調査は、計画策定にあたり、市民の皆様のご意見をいただき、新たな計画づくり、そしてまちづくりに活かすために実施するものです。

この調査票は、令和7年10月1日現在の住民基本台帳から市内にお住いの18歳以上の方3,000名を無作為に抽出し、お送りしています。

なお、本調査は無記名回答方式のため、個人に関わる情報が公表されることは決してございません。また、ご回答は全て統計的に処理し、目的以外には使用することはありません。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解の上、ぜひご回答いただきますようお願いいたします。

令和7年11月

大田原市長 相馬憲一

ご回答にあたって

○封筒のあて名となっているご本人がお答えください。

(ご本人が記載できない場合は、ご家族等の代筆でも構いません。)

○このアンケートは無記名で、かつ、調査結果は統計的に処理するとともに、調査目的以外には利用いたしません。あなた自身のご意見をありのままご記入ください。

○このアンケートは、インターネット・郵送どちらからでも回答することができます。

<11月30日(日曜日)までにご回答ください>

★スマートフォンまたはパソコンによる回答の場合、この紙の調査票への記入・返送は不要です。

<スマートフォンの場合>

○以下のQRコードにアクセスし、次のパスワードを入力してご回答ください。
パスワード『〇〇〇〇』(半角英数)



<パソコンの場合>

次の手順で回答フォームを開いてご回答願います。

①大田原市ホームページ

(<https://www.city.ohawara.tochigi.jp/top.html>)を開く

②「トピックス」内の『「大田原市 市民意識調査票」が届いたみなさまへ』を開く

③ページ内にあるリンク (<https://xxxx.co.jp/xxxxxx>)をクリック

④次のパスワード『〇〇〇〇』(半角英数)を入力し、回答フォームにログインしご回答ください。

【郵送で回答いただく場合】

<11月30日(日曜日)までに投函して下さい>

○この調査票に直接ご記入いただき、終わりましたら同封の返信用封筒にアンケート用紙を入れて郵便ポストに投函願います。

○切手を貼っていただく必要はありません。

◎この調査についてのお問い合わせは、下記へお願いします。

【お問い合わせ先】

〔設問内容について〕

大田原市 総合政策部 政策推進課 政策企画係

TEL : 0287-23-8701 FAX : 0287-23-8748

MAIL : seisakusuishin@city.ohawara.tochigi.jp

〔回答方法について〕

株式会社日本政策総研 担当：竹田、松田、久保

〒112-0002 東京都文京区小石川5丁目2-2

TEL : 03-3830-0611 FAX 03-3830-0612

URL : <https://www.j-pri.co.jp/>

はじめに、調査結果を統計的に分析するための資料として、あなたご自身のことについてお伺いします。該当する番号に丸を付けてください。

問1 あなたの性別をおたずねします。あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|---------------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他（回答したくない人も含む） |
|-------|-------|---------------------|

問2 あなたの年齢をおたずねします。あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 18～19歳 | 2. 20～24歳 | 3. 25～29歳 |
| 4. 30～34歳 | 5. 35～39歳 | 6. 40～44歳 |
| 7. 45～49歳 | 8. 50～54歳 | 9. 55～59歳 |
| 10. 60～64歳 | 11. 65～69歳 | 12. 70～74歳 |
| 13. 75～79歳 | 14. 80歳以上 | |

問3 あなたのお住まいの地区をおたずねします。あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| 1. 大田原地区 | 2. 金田地区 | 3. 親園地区 |
| 4. 野崎地区 | 5. 佐久山地区 | 6. 湯津上地区 |
| 7. 黒羽地区 | 8. 川西地区 | 9. 両郷地区 |
| 10. 須賀川地区 | | |

問4 あなたは大田原市に住んでから何年になりますか。

あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- | | | |
|----------|------------|-------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5～10年未満 | 3. 10～20年未満 |
| 4. 20年以上 | | |

問5 あなたの職業はどれですか。あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

（2つ以上の職業に該当する方は主たる職業を選んでください。）

- | | | |
|--------|--------------|-----------|
| 1. 農林業 | 2. 自営業 | 3. 会社員 |
| 4. 公務員 | 5. アルバイト・パート | 6. 主婦・主夫 |
| 7. 学生 | 8. 無職 | 9. その他（ ） |

問6 あなたの主な勤務先、通学先はどちらですか。あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

（2. 栃木県内、3. 県外と回答した方は市町村名を記載してください。）

- | | | |
|---------------|------------|----------|
| 1. 大田原市内 | 2. 栃木県内（ ） | 3. 県外（ ） |
| 4. 通勤・通学していない | | |

問7 あなたの家族構成についておたずねします。あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------------|---------------|
| 1. 単身 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. 二世帯同居（親と子） |
| 4. ひとり親家庭 | 5. 三世帯同居（親と子と孫） | 6. その他（ ） |

問8 あなたを含め、現在同居している家族についておたずねします。

あてはまる番号すべてに丸をつけてください。

- | | | |
|--------------|----------|-----------------|
| 1. 就学前 | 2. 小学生 | 3. 中学生 |
| 4. 高校生・大学生 | 5. 65歳以上 | 6. *介護・介助等が必要な方 |
| 7. 1~6に該当しない | | |

*年齢に関係なく、日常生活に支援が必要な方

問9 あなたを含めた世帯の総収入（令和6年の1年間）についておたずねします。

あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- | | | |
|----------------|----------------|------------------|
| 1. 収入はなかった | 2. 100万円未満 | 3. 100~300万円未満 |
| 4. 300~500万円未満 | 5. 500~700万円未満 | 6. 700~1,000万円未満 |
| 7. 1,000万円以上 | | |

大田原市の暮らしについてお伺いします。

問10 あなたは、大田原市の住み心地についてどのように感じていますか。

あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば住みにくい |
| 5. 住みにくい | |

問10-1 問10で「4.どちらかといえば住みにくい」、「5.住みにくい」と回答した方のみ

大田原市に住みにくい理由は何ですか。あてはまる番号に3つ丸をつけてください。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 交通が不便だから | 2. 買い物が不便だから |
| 3. 生活・住宅環境が悪いから | 4. 自然災害などが不安だから |
| 5. 医療や福祉面が不安だから | 6. 進学など教育上の問題があるから |
| 7. 娯楽や余暇の場が少ないから | 8. 新しい物や情報が不足しているから |
| 9. 人が少なくさみしいから | 10. 近所づきあいがわずらわしいから |
| 11. 自然環境が厳しいから | 12. その他（ ） |

問11 大田原市では、適度な費用で住居（持ち家、借家含む）を確保できますか。

あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- | | | |
|---------------|--------------|--------------|
| 1. 非常にあてはまる | 2. ある程度あてはまる | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりあてはまらない | 5. 全くあてはまらない | |

問12 あなたは、今後、大田原市にずっと住み続けたいと思いますか。

あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 2. どちらかといえば住み続けたい |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば転出したい |
| 5. 早急に転出したい | |

問13 あなたは、大田原市に「わがまち」といった愛着をおもちですか。
あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. 強くもっている | 2. ある程度もっている | 3. あまりもっていない |
| 4. 全くもっていない | 5. わからない | |

問14 大田原市には、性別・年齢に関わらず活躍しやすい雰囲気がありますか。
あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- | | | |
|---------------|--------------|--------------|
| 1. 非常にあてはまる | 2. ある程度あてはまる | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりあてはまらない | 5. 全くあてはまらない | |

問15 大田原市には、困ったときに相談できる人が身近にいますか。
あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- | | | |
|---------------|--------------|--------------|
| 1. 非常にあてはまる | 2. ある程度あてはまる | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりあてはまらない | 5. 全くあてはまらない | |

問16 あなたは、近所の人困っていたら手助けをしますか。
あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- | | | |
|---------------|--------------|--------------|
| 1. 非常にあてはまる | 2. ある程度あてはまる | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりあてはまらない | 5. 全くあてはまらない | |

問17 大田原市では、やりたい仕事を見つけやすいと思いますか。
あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- | | | |
|---------------|--------------|--------------|
| 1. 非常にあてはまる | 2. ある程度あてはまる | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりあてはまらない | 5. 全くあてはまらない | |

問18 大田原市では、適切な収入を得るための仕事（アルバイト含む）があると思いますか。
あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- | | | |
|---------------|--------------|--------------|
| 1. 非常にあてはまる | 2. ある程度あてはまる | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりあてはまらない | 5. 全くあてはまらない | |

問19 大田原市には、新たな事に挑戦・成長するための機会があると思いますか。
なお、ここでいう「新たな事」とは仕事、学び、趣味などのことを指します。
あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- | | | |
|---------------|--------------|--------------|
| 1. 非常にあてはまる | 2. ある程度あてはまる | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりあてはまらない | 5. 全くあてはまらない | |

行政への関心についてお伺いします。

問20 あなたは、市の行政にどの程度関心をおもちですか。

あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- | | | |
|------------|--------------|-------------|
| 1. 関心がある | 2. ある程度関心がある | 3. あまり関心がない |
| 4. 全く関心がない | | |

問21 あなたは、市の行政に関する情報を主に何から知ることが多いですか。

あてはまる番号に2つ丸をつけてください。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 市広報、市議会だより | 2. 新聞、テレビ、ラジオ |
| 3. 市のホームページ | 4. 市の窓口、担当課 |
| 5. 掲示板、回覧板 | 6. 知人からの口コミ |
| 7. SNS(フェイスブック、エックス)等 | 8. メール配信サービス(よいちメール) |
| 9. 大田原市公式LINEアカウント | 10. その他() |
| 11. 行政に関する情報は得ていない | |

問22 あなたは、市のどのような情報が主に必要ですか。

あてはまる番号に3つ丸をつけてください。

- | | | |
|---------------|---------------|----------------|
| 1. 都市計画・景観づくり | 2. 防災・防犯・交通安全 | 3. 保健・医療・健康づくり |
| 4. スポーツ活動 | 5. 環境衛生 | 6. 子育て支援 |
| 7. 高齢者・障がい者福祉 | 8. 自然環境保全 | 9. 公園・緑化 |
| 10. 学校教育・生涯学習 | 11. 芸術・文化 | 12. 産業振興・観光振興 |
| 13. 行財政運営 | 14. その他() | |

問23 大田原市では、行政サービスのデジタル化が進んでいると思いますか。

あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- | | | |
|---------------|--------------|--------------|
| 1. 非常にあてはまる | 2. ある程度あてはまる | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりあてはまらない | 5. 全くあてはまらない | |

大田原市の全般的な施策や事業等についてお伺いします。

注) ご記入にあたって

満足度・・・左側各欄の施策の現状についてどのように感じているか、右側5段階のうちあてはまる番号を1つ選んでください。

「満足」 → 「5」 「やや満足」 → 「4」
 「どちらともいえない」 → 「3」
 「やや不満」 → 「2」 「不満」 → 「1」

重要度・・・左側各欄の施策について、大田原市のまちづくりや発展のために重視すべきだと思う度を右側5段階のうちあてはまる番号を1つ選んでください。

「重要」 → 「5」 「やや重要」 → 「4」
 「どちらともいえない」 → 「3」
 「あまり重要ではない」 → 「2」 「重要ではない」 → 「1」

※各設問「基本政策」1～6とは全て現行の総合計画に位置付けられた基本政策のことを指します

問24 以下に示す分野ごとの施策について、どのように感じますか。

次の項目（満足度・重要度）ごとに、あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
基本政策1 豊かな自然と調和する、安らぎある快適な環境のまちづくり										
1 生活環境の向上	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 自然環境の保全	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 廃棄物対策の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 住宅の整備と多世代が微笑む生活の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 土地利用対策の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 都市基盤の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 道路・河川の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 公共交通の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9 上水道の健全な運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10 下水道の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
基本政策2 歴史や伝統文化を継承し、豊かな心を育むまちづくり										
11 生涯学習社会づくりの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12 生きる力を育む学校教育の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13 文化・芸術の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14 スポーツ・レクリエーションの振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15 国際化への対応と国内交流の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
基本政策3 次代につなぐ賑わいを創生する、魅力と活力あふれる産業のまちづくり										
16 農業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17 林業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
18 商業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
19 工業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
20 観光の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
基本政策4 いたわり、支えあい、すべての市民が健康で安心して暮らせる心のかよったまちづくり										
21 健康づくりの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
22 結婚支援と子育て支援の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
23 高齢者福祉の充実と介護保険事業の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
24 障害者にやさしいまちづくりの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
25 地域福祉の充実と生活困窮者への支援の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
26 社会保障の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
基本政策5 市民にひらかれた安全で安心な明るい地域をともにつくるまちづくり										
27 防犯体制と対策の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
28 防災体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
29 交通安全対策の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
30 消費者保護対策の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
31 市民参加行政の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
32 広報広聴活動の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
33 自治会・コミュニティの活性化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
34 人権尊重意識の普及と高揚	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
35 男女共同参画の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
基本政策6 情報化と広域連携を進め、効率的・効果的な行財政運営のまちづくり										
36 行政の効率的・効果的運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
37 財政の健全運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
38 広域連携の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
39 地域情報化の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

今後のまちづくりについてお伺いします。

問25 あなたは、市の事業等への参加経験（市民活動の経験）がありますか。
あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1. 参加したことがある。今後も参加したい | ⇒問25-1へ進む |
| 2. 参加したことがある。今後は参加したくない | ⇒問25-1・問25-2へ進む |
| 3. 参加したことがない。今後は参加したい | ⇒問25-1へ進む |
| 4. 参加したことがない。今後も参加したくない | ⇒問25-2へ進む |

問25-1 問25で「1.参加したことがある。今後も参加したい」、「2.参加したことがある。今後は参加したくない」、「3.参加したことがない。今後は参加したい」と回答した方のみ
参加したことがある市民活動は何ですか。また、今後参加したい活動は何ですか。
あてはまる番号に3つまで丸をつけてください。

- | | | |
|---------------|---------------------------------|----------------|
| 1. 都市計画・景観づくり | 2. 防災・防犯・交通安全 | 3. 保健・医療・健康づくり |
| 4. スポーツ活動 | 5. 環境衛生 | 6. 子育て支援 |
| 7. 高齢者・障がい者福祉 | 8. 自然環境保全 | 9. 公園・緑化 |
| 10. 学校教育・生涯学習 | 11. 芸術・文化 | 12. 産業振興・観光振興 |
| 13. 行財政運営 | 14. その他（ ） | |

問25-2 問25で「2.参加したことがある。今後は参加したくない」、「4.参加したことがない。今後も参加したくない」と回答した方のみ
市民活動に参加したくない理由は何ですか。
あてはまる番号に1つ丸をつけてください。

- | | |
|-------------|--------------------------------|
| 1. 関心がないから | 2. 時間がないから |
| 3. わずらわしいから | 4. 参加による負担が大きいから |
| 5. 健康上の理由 | 6. その他（ ） |

問26 あなたは、今後、大田原市がどのようなまちになればいいと思いますか。
あてはまる番号に3つまで丸をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 少子化対策・子育て支援の充実したまち |
| 2. 高齢者・障がい者が安心して暮らせるまち |
| 3. 医療・福祉サービスの充実したまち |
| 4. 教育・文化活動の盛んなまち |
| 5. スポーツ・レクリエーションの盛んなまち |
| 6. 豊かな自然環境に恵まれたまち |
| 7. 田園風景の広がる農業の盛んなまち |
| 8. 買い物などが楽しめる商業の盛んなまち |
| 9. 多くの工場が立地する工業の盛んなまち |
| 10. 恵まれた天然資源を活用したリゾート・観光の盛んなまち |
| 11. 会社や事務所などの事業所が集積したまち |
| 12. その他（ ） |

